

裾野市
生活習慣等に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和2年3月

裾 野 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査の内容	1
4	回収結果	2
5	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	一般調査	3
	(1) 回答者属性	3
	(2) あなたの健康について	6
	(3) 食生活について	26
	(4) 食育について	68
	(5) 運動および日常生活について	90
	(6) アルコールについて	107
	(7) 喫煙について	111
	(8) こころの健康づくりについて	125
	(9) 歯科保健について	152
	(10) その他	166
2	小学校・中学校調査	176
3	幼稚園・保育園年長児調査	188
	(1) 基本事項について	188
	(2) お子さんの健康状態や生活状況について	189
	(3) 保護者について	194
4	受動喫煙防止対策に関する調査	197
III	目標一覧	200
IV	自由意見	203
V	調査票	210

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和2年度に予定している「第2次すその健康増進プラン」「第3次裾野市食育推進計画」「第2次裾野市歯科保健計画」「第2次裾野市自殺総合対策計画」「第2次裾野市母子保健計画」を策定するにあたり、アンケート調査を実施することにより、食の現状や課題、日常生活での健康観や生活習慣等を把握し、基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の設計

調査時期：令和元年8月29日から令和元年9月30日

調査種別と調査対象

調査種別	調査対象
① 一般調査	市内在住の20歳以上の男女個人1,000人（無作為抽出）
② 小学校・中学校調査	小学校5年生216人、中学校2年生136人
③ 幼稚園・保育園年長児調査	年長児童の保護者381人
④ 受動喫煙防止対策に関する調査	市内の医療機関・公共機関等158施設

調査方法

調査種別	調査方法
① 一般調査	郵送調査（ハガキによる督促1回）
② 小学校・中学校調査	各施設に直接調査票を手渡し配布、手渡し回収
③ 幼稚園・保育園年長児調査	
④ 受動喫煙防止対策に関する調査	各施設に直接調査票を手渡し配布、FAX・郵送等で回収

3 調査の内容

調査種別	調査内容	
① 一般調査	<ul style="list-style-type: none">・属性（性別・年齢等）・食生活について・食文化について・食の安全性について・飲酒習慣について・こころの健康について・その他（地域社会活動等）	<ul style="list-style-type: none">・健康感について・食育への関心について・地産地消について・運動及び日常生活について・喫煙習慣について・歯科保健について
② 小学校・中学校調査	<ul style="list-style-type: none">・性別・健康状態について・家庭での食事について	<ul style="list-style-type: none">・起床、就寝時間・排便習慣・ダイエット経験について

調査種別	調査内容	
③ 幼稚園・保育園年長児調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性（年齢等） ・ 起床、就寝時間 ・ 普段の遊びについて ・ 保護者の生活習慣について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康状態について ・ 家庭での食事について ・ 歯磨きについて
④ 受動喫煙防止対策に関する調査	・ 施設管理者と職員の喫煙状況について	
	・ 施設の現在の状況について	

4 回収結果

調査種別	調査数	有効回収数	有効回収率
① 一般調査	1,000 人	499 人	49.9%
② 小学校・中学校調査	352 人	336 人	95.5%
③ 幼稚園・保育園年長児調査	381 人	359 人	94.2%
④ 受動喫煙防止対策に関する調査	158 施設	158 施設	100.0%

5 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを で網かけをしています。（無回答を除く）

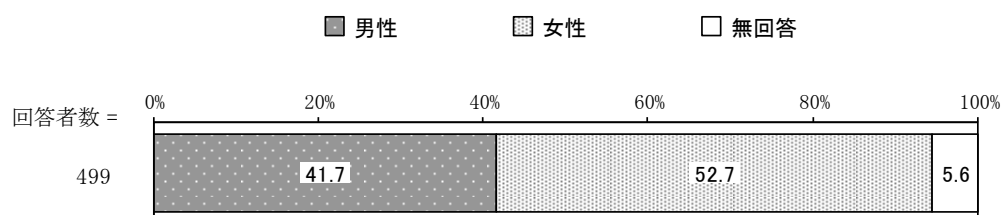
II 調査結果

1 一般調査

(1) 回答者属性

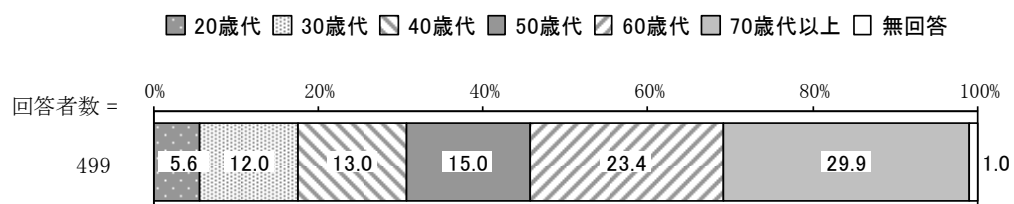
性別

「男性」の割合が41.7%、「女性」の割合が52.7%となっています。



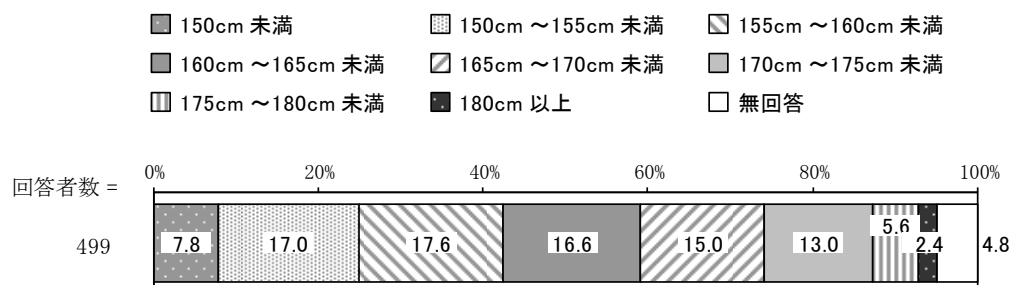
年齢

「70歳代以上」の割合が29.9%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が23.4%、「50歳代」の割合が15.0%となっています。



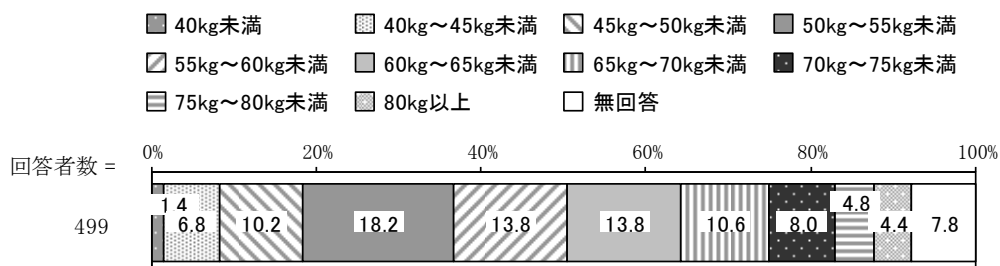
身長

「155cm～160cm未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「150cm～155cm未満」の割合が17.0%、「160cm～165cm未満」の割合が16.6%となっています。



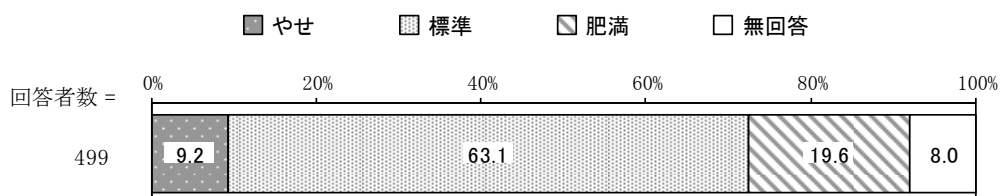
体 重

「50kg～55kg 未満」の割合が18.2%と最も高く、次いで「55kg～60kg 未満」、「60kg～65kg 未満」の割合が13.8%となっています。



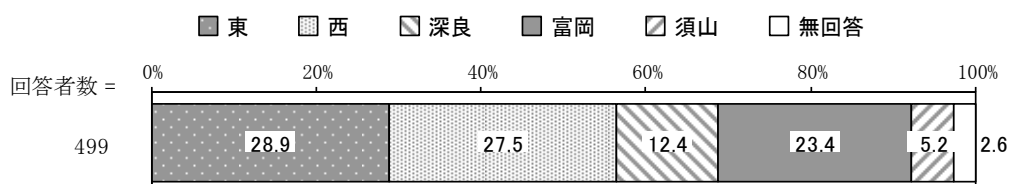
BMI

「標準」の割合が63.1%と最も高く、次いで「肥満」の割合が19.6%となっています。



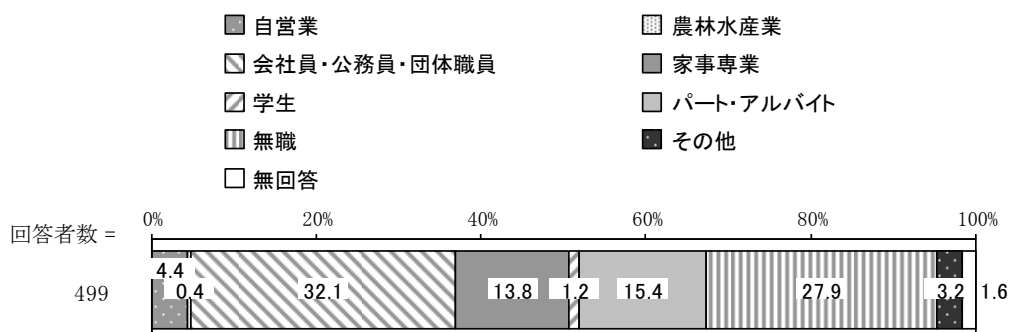
お住まいの地区

「東」の割合が28.9%と最も高く、次いで「西」の割合が27.5%、「富岡」の割合が23.4%となっています。



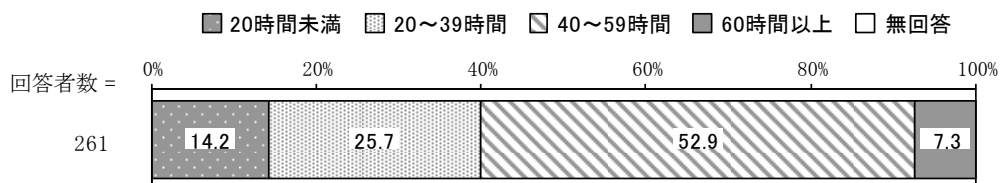
現在の職業

「会社員・公務員・団体職員」の割合が32.1%と最も高く、次いで「無職」の割合が27.9%、「パート・アルバイト」の割合が15.4%となっています。



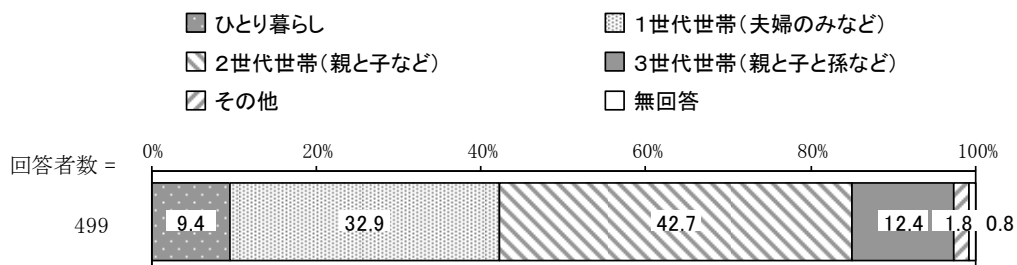
平均労働時間（1週間）

「40～59時間」の割合が52.9%と最も高く、次いで「20～39時間」の割合が25.7%、「20時間未満」の割合が14.2%となっています。



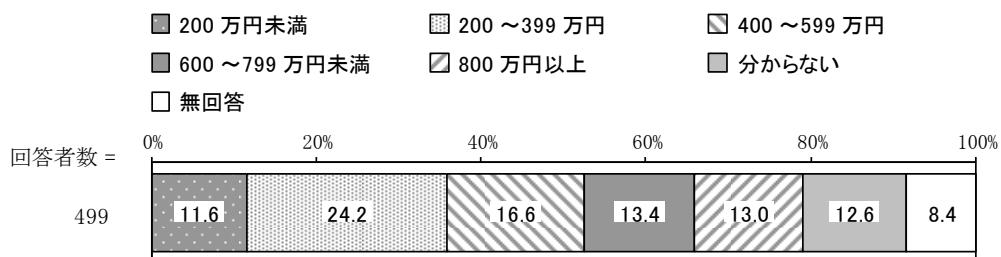
世帯構成

「2世代世帯（親と子など）」の割合が42.7%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみなど）」の割合が32.9%、「3世代世帯（親と子と孫など）」の割合が12.4%となっています。



世帯収入

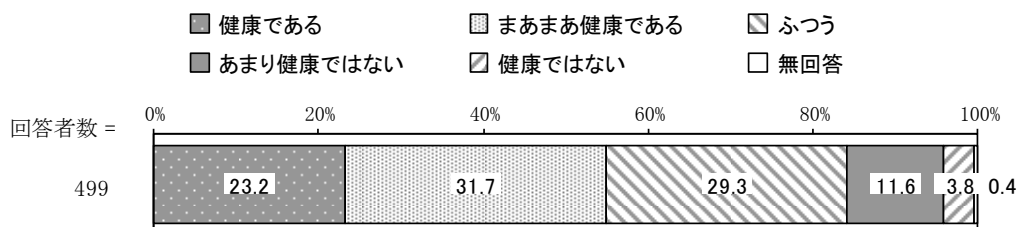
「200～399万円」の割合が24.2%と最も高く、次いで「400～599万円」の割合が16.6%、「600～799万円未満」の割合が13.4%となっています。



(2) あなたの健康について

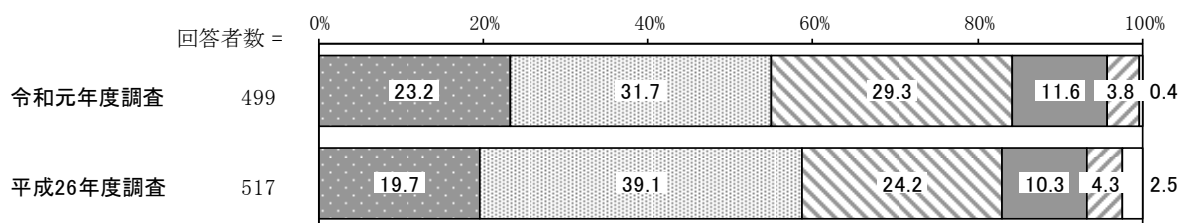
問1 自分の健康状態についてどのように感じていますか。(〇は1つ)

「健康である」と「まあまあ健康である」を合わせた“健康である”の割合が54.9%、「あまり健康でない」と「健康でない」を合わせた“健康でない”の割合が15.4%となっています。



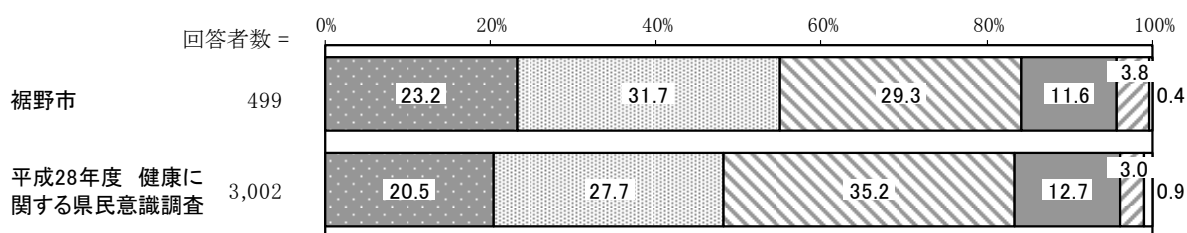
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「まあまあ健康である」が7.4ポイント減少し、「ふつう」が5.1ポイント増加しています。



【県調査との比較】

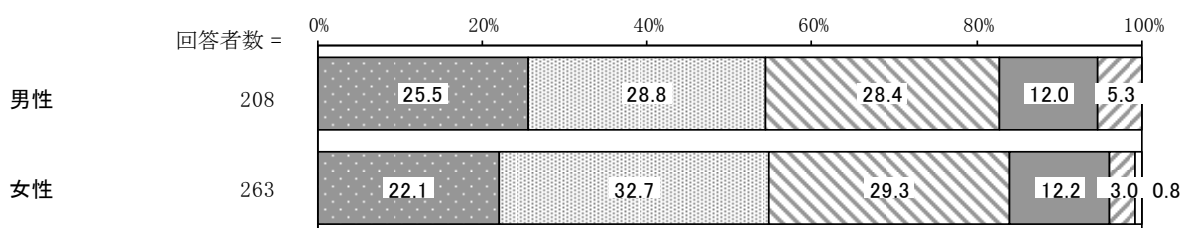
県調査と比較すると、「ふつう」が5.9ポイント低くなっています。



※平成28年度 健康に関する県民意識調査では選択肢は「よい」、「まあよい」、「ふつう」、「あまりよくない」、「よくない」となっている。

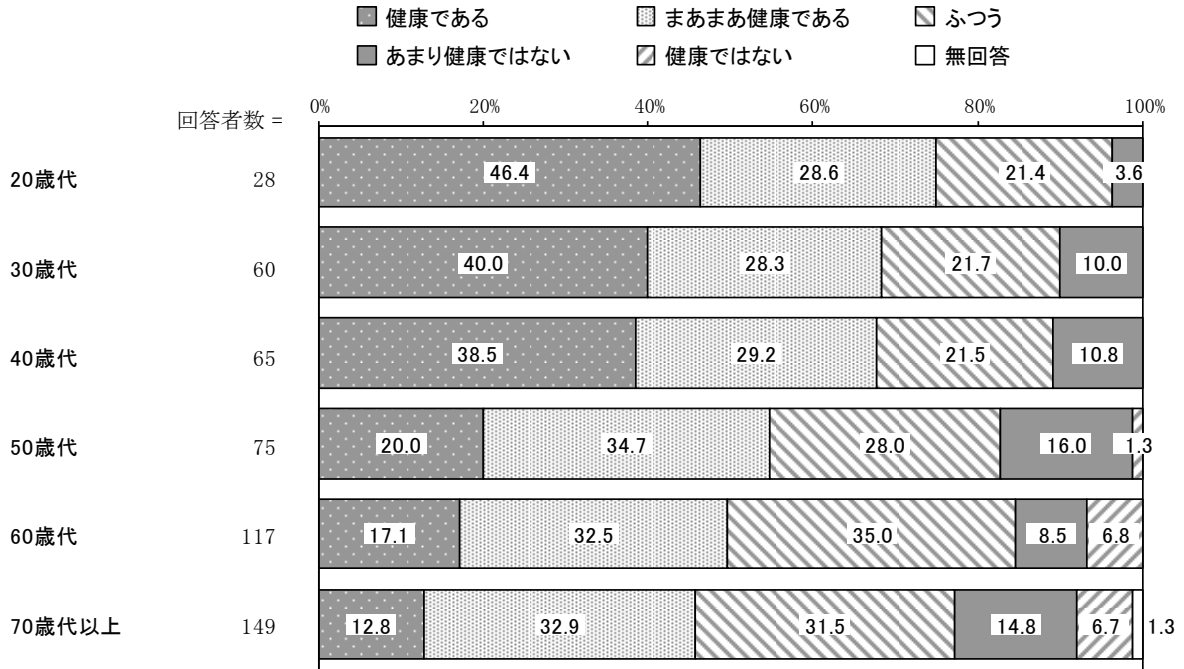
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



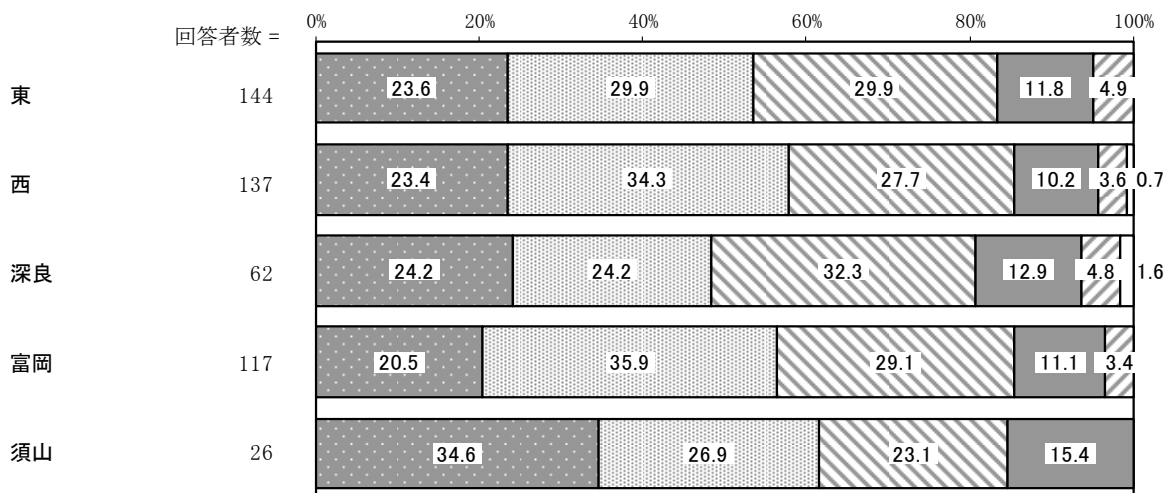
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、年齢が低くなるにつれ“健康である”の割合が高く、年齢が高くなるにつれ“健康ではない”の割合が高くなっています。



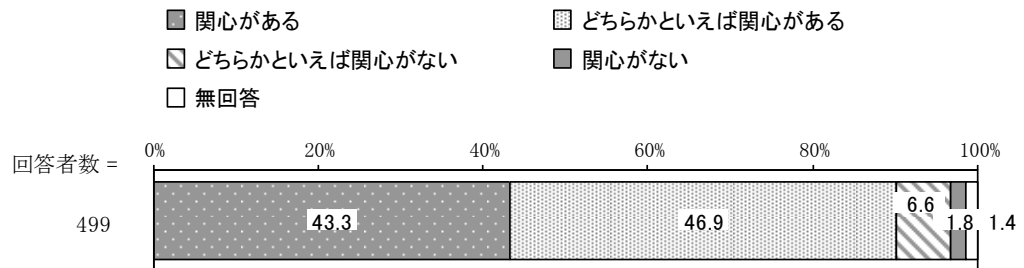
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“健康である”の割合が高くなっています。



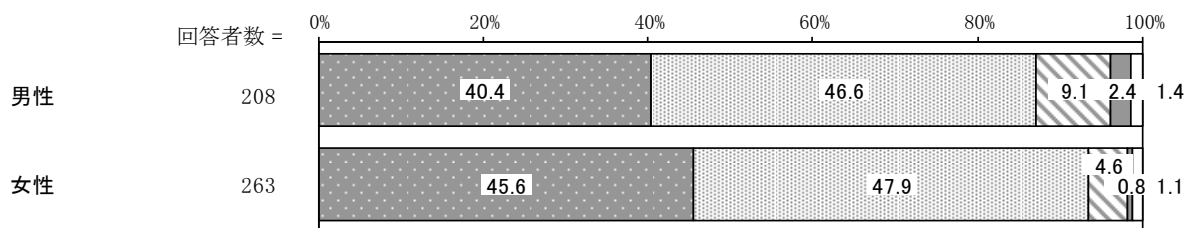
問2 自分自身や家族の健康づくりに関心がありますか。(○は1つ)

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が90.2%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が8.4%となっています。



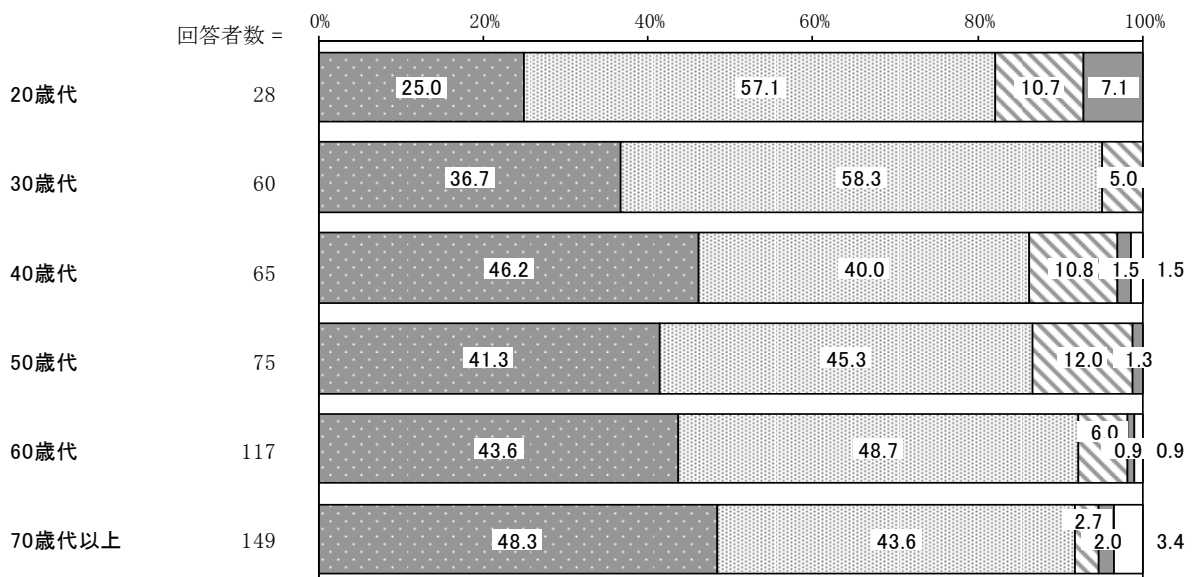
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。



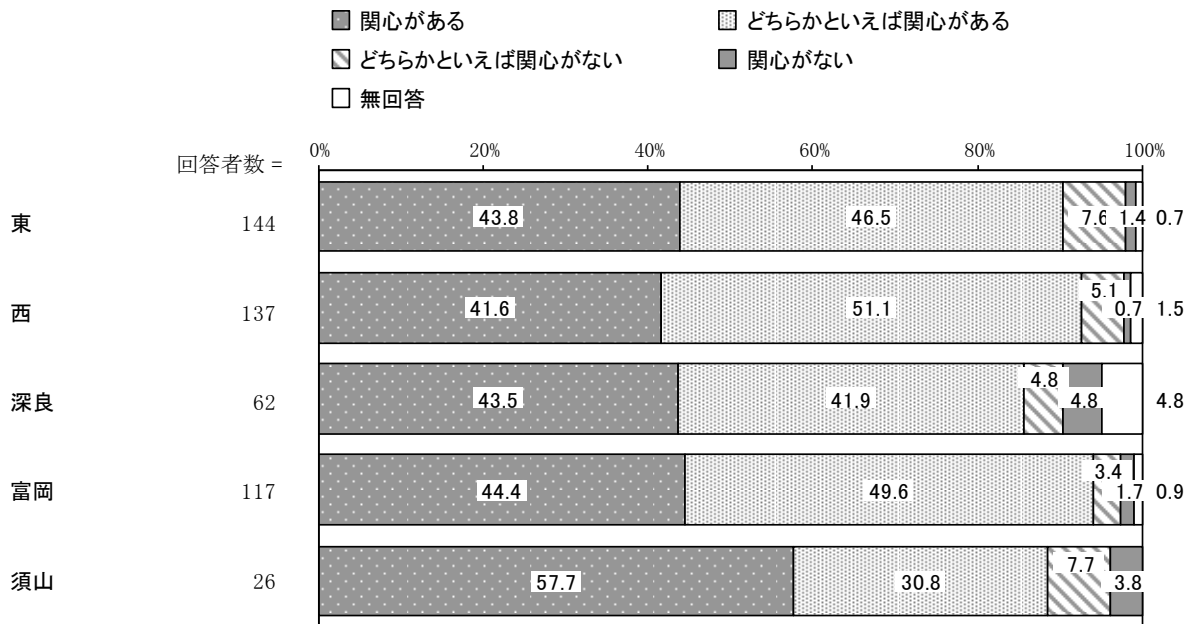
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で“関心がある”の割合が高くなっています。また、20歳代で“関心がない”の割合が高くなっています。



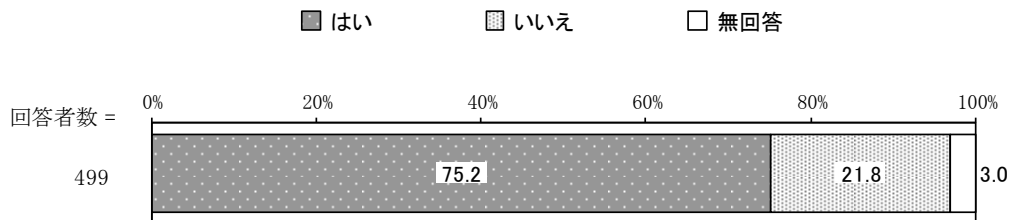
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で“関心がある”の割合が高くなっています。また、東、深良、須山で“関心がない”の割合が高くなっています。



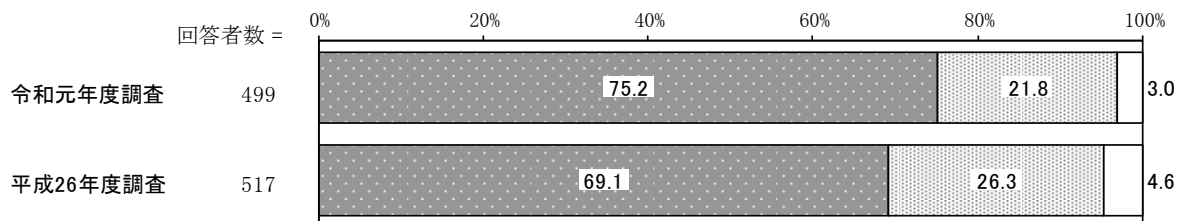
問3 自分の適正体重を知っていますか。(○は1つ)

「はい」の割合が75.2%、「いいえ」の割合が21.8%となっています。



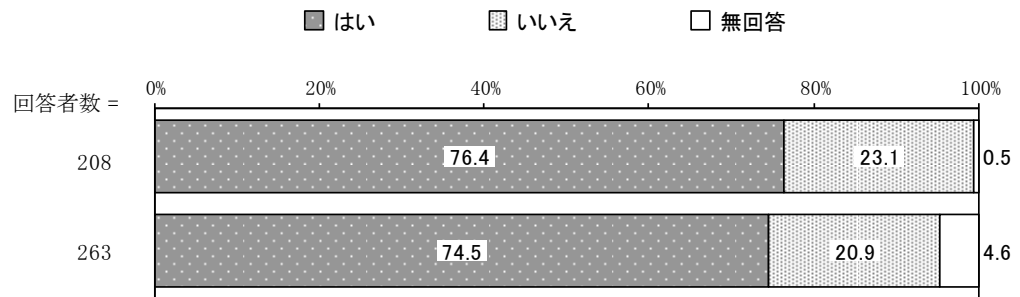
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「はい」が6.1ポイント増加しています。



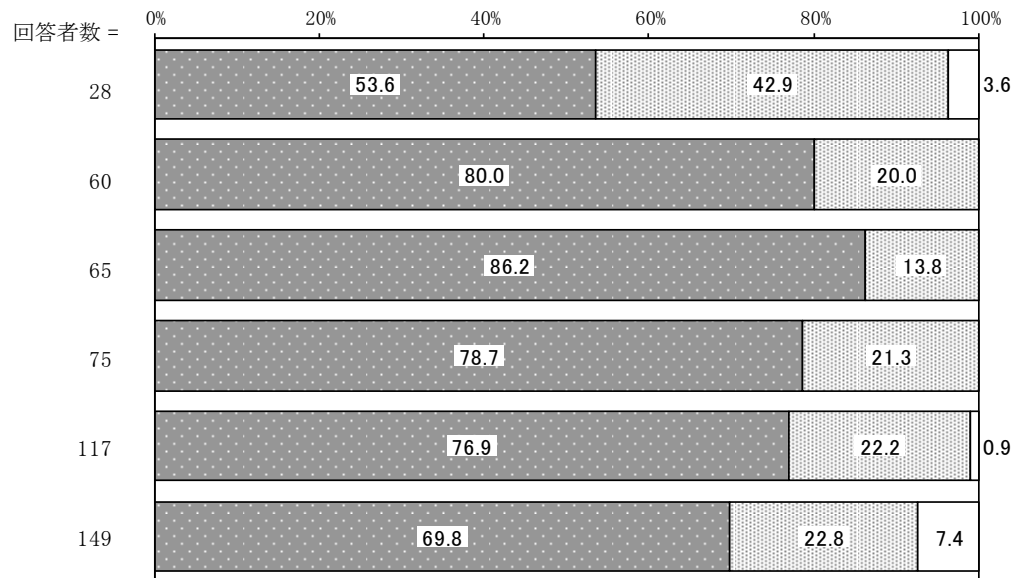
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



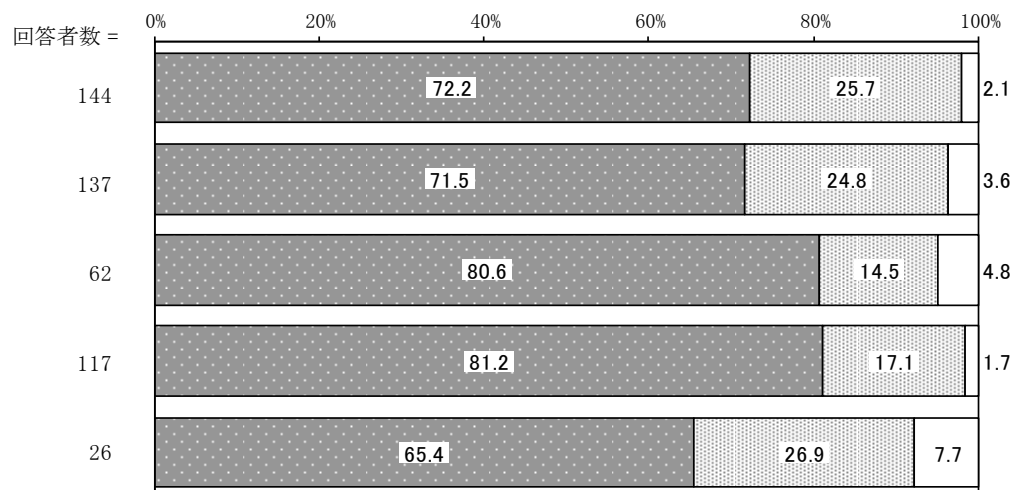
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



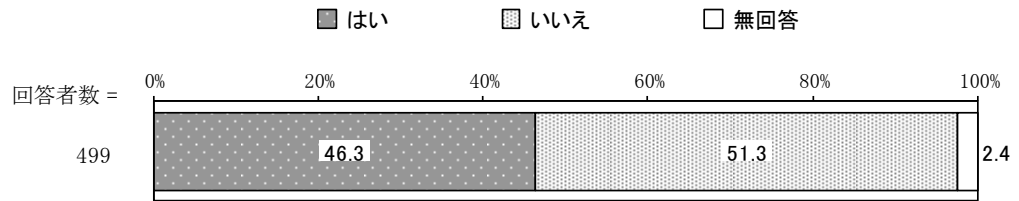
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡で「はい」の割合が高くなっています。



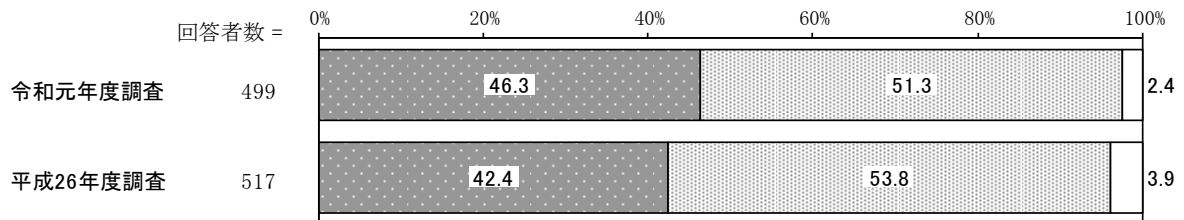
問4 適正体重に近づくように体重コントロールを実践していますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が46.3%、「いいえ」の割合が51.3%となっています。



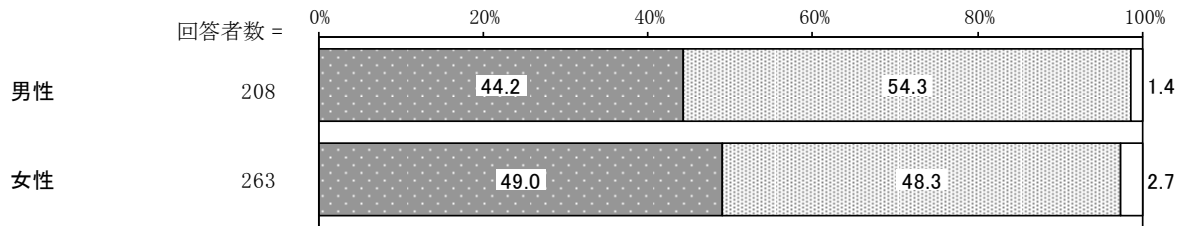
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



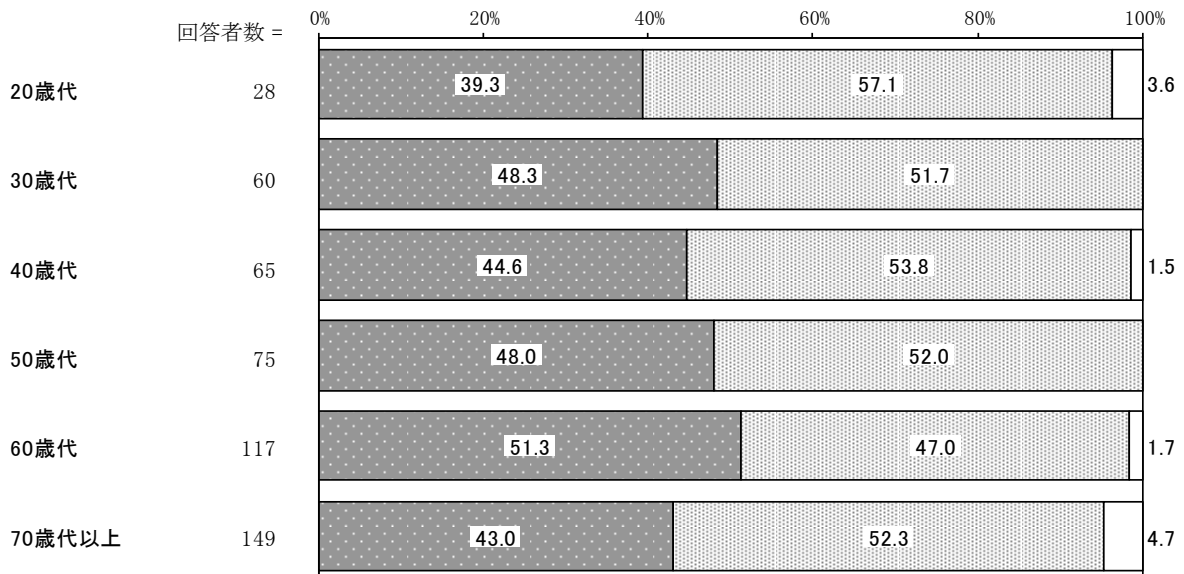
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。



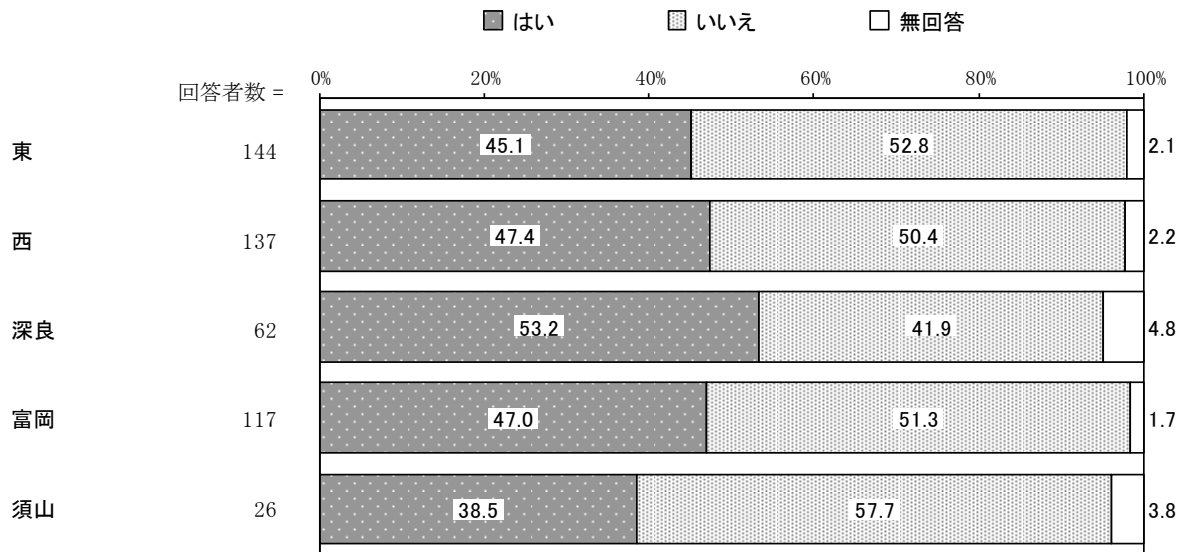
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代、50歳代、60歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



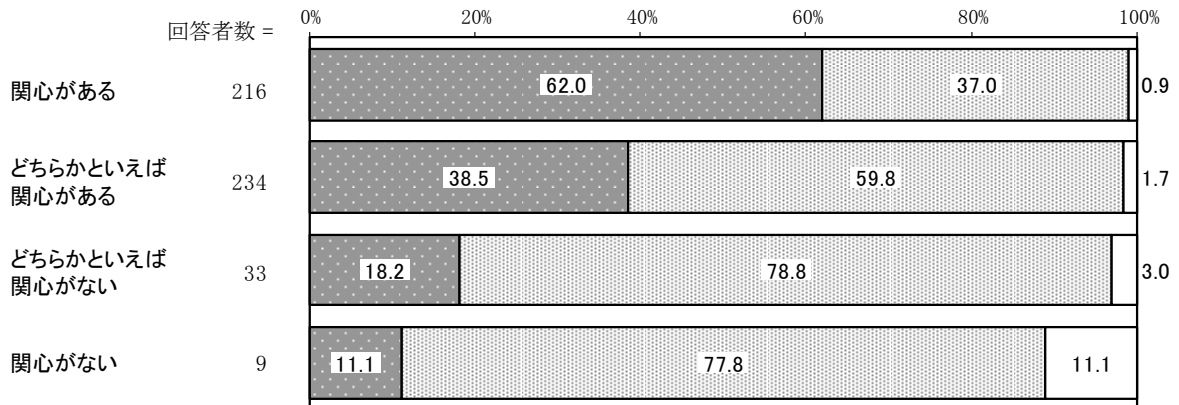
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「はい」の割合が高くなっています。また、須山で「いいえ」の割合が高くなっています。



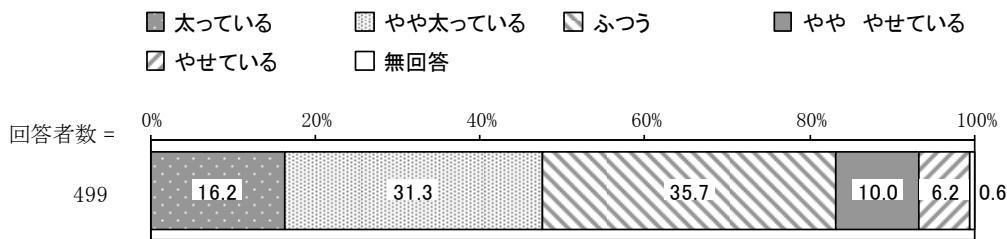
【健康づくりへの関心度別】（問4 体重コントロールの実践×問2 健康づくりへの関心度）

健康づくりへの関心度別でみると、関心がある人ほど「はい」の割合が高くなっています。



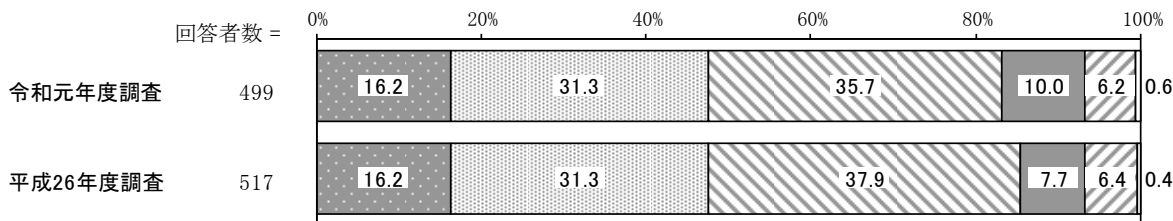
問5 ご自分の体型をどのように感じていますか。(〇は1つ)

「太っている」と「やや太っている」を合わせた“太っている”の割合が47.5%、「やややせている」と「やせている」を合わせた“やせている”の割合が16.2%となっています。



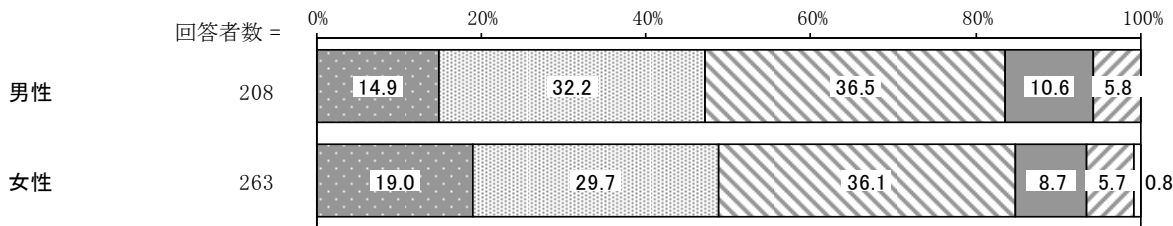
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



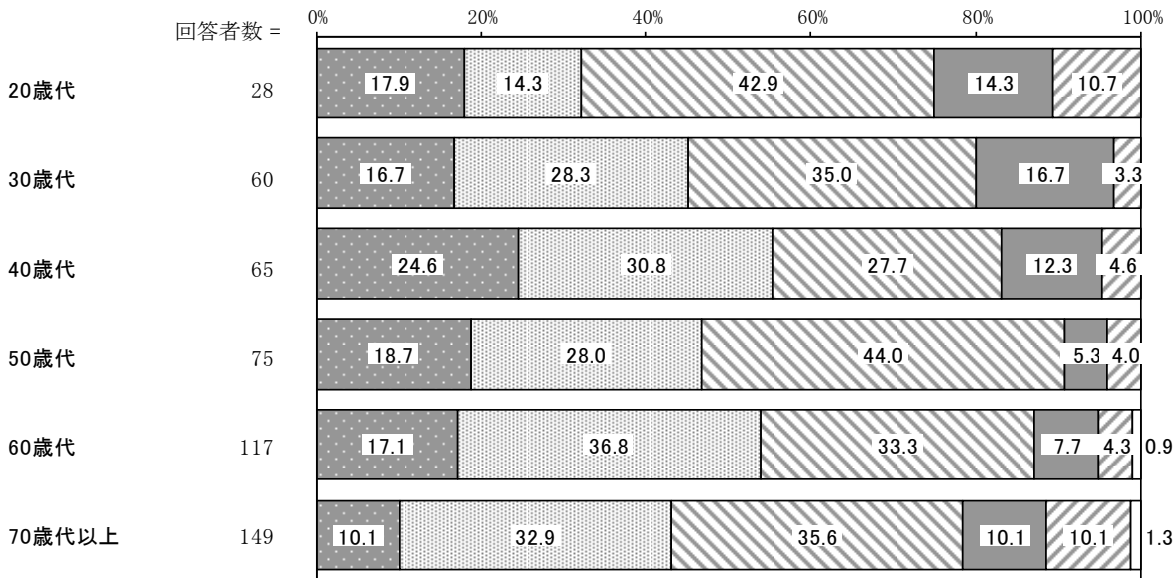
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



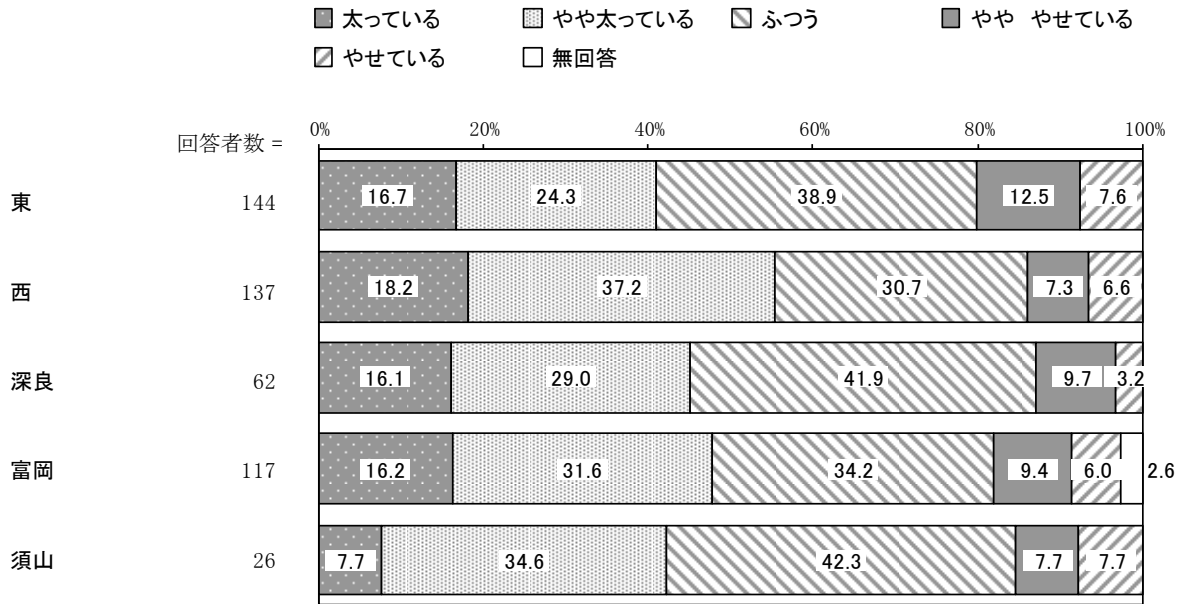
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、40歳代、60歳代で“太っている”の割合が高くなっています。また、20歳代で“やせている”の割合が高くなっています。



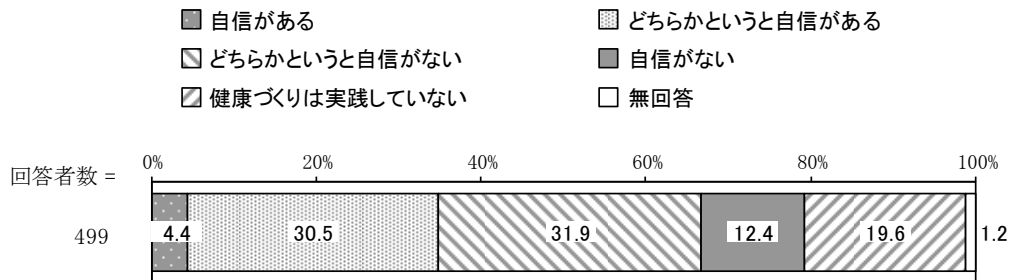
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で“太っている”の割合が、東で“やせている”の割合が高くなっています。



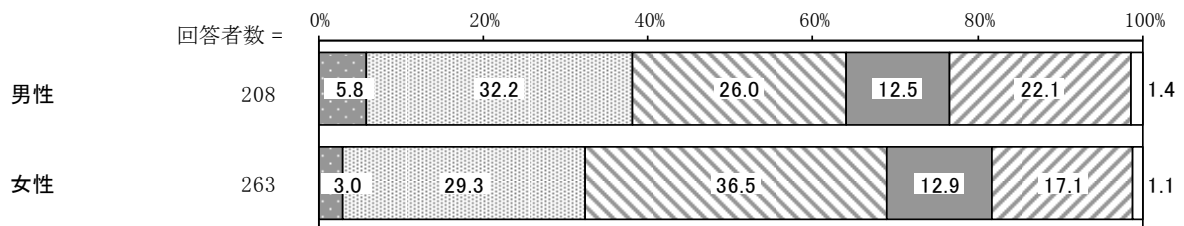
問6 ご自分が実践している健康づくりに自信がありますか。(〇は1つ)

「自信がある」と「どちらかという自信がある」を合わせた“自信がある”の割合が34.9%、「どちらかという自信がない」と「自信がない」を合わせた“自信がない”の割合が44.3%、「健康づくりは実践していない」の割合が19.6%となっています。



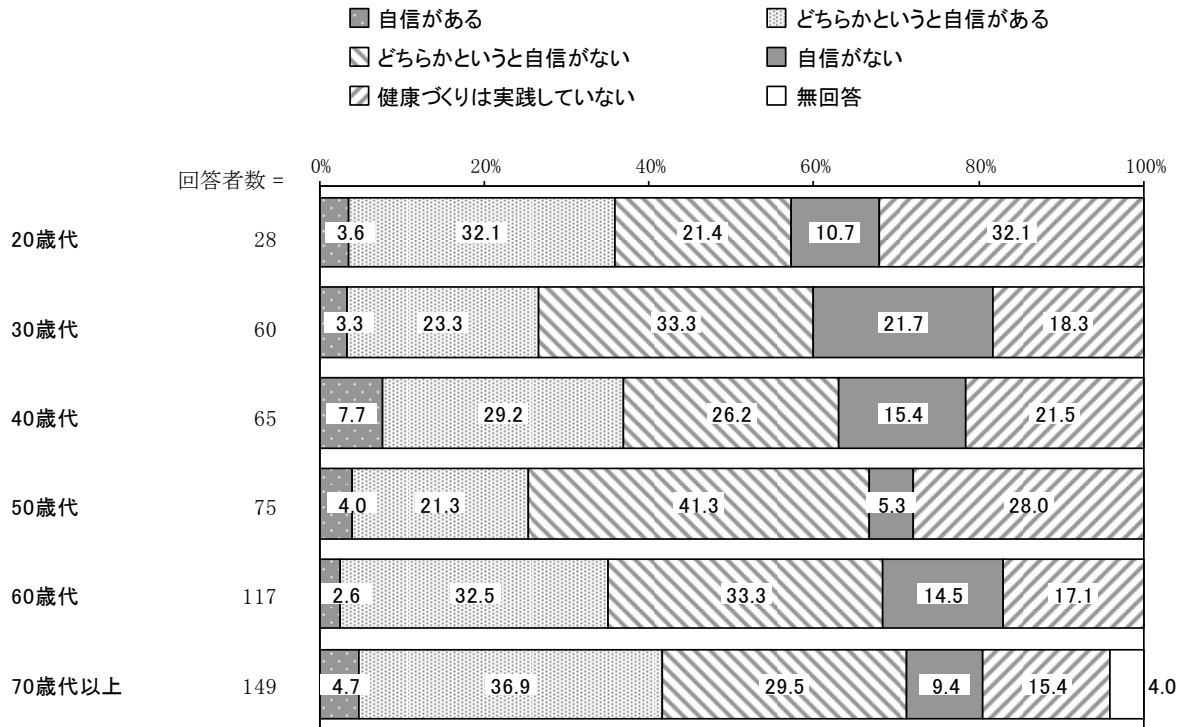
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「健康づくりは実践していない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“自信がない”の割合が高くなっています。



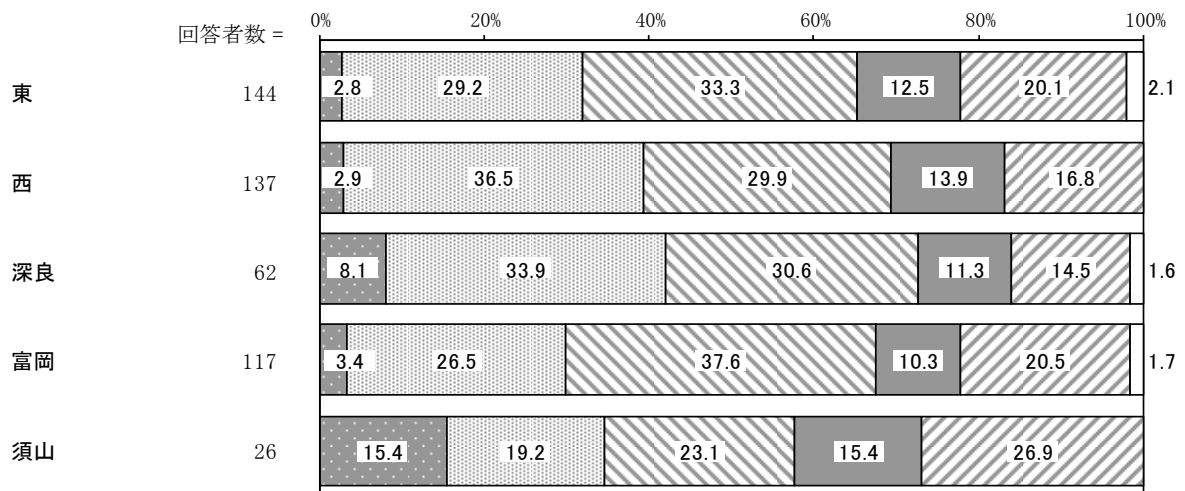
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で“自信がある”の割合が高くなっています。また、30歳代で“自信がない”の割合が高くなっています。



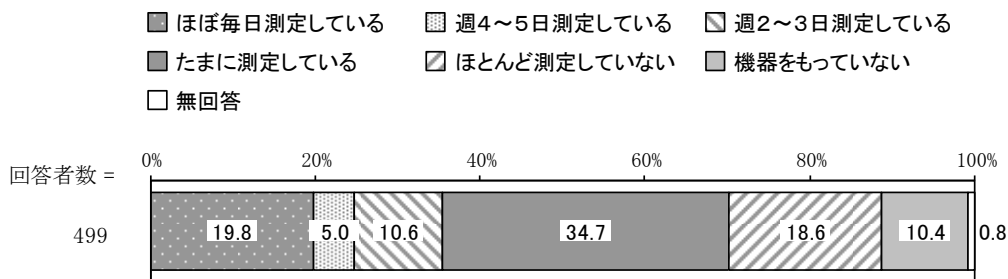
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西、深良で“自信がある”の割合が高くなっています。また、富岡で“自信がない”の割合が高くなっています。



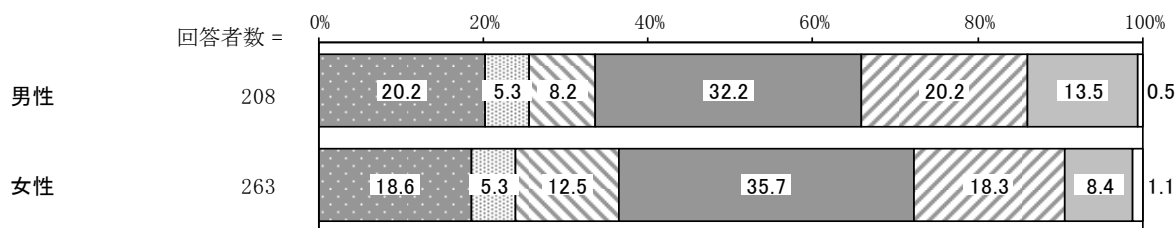
問7 ご自分で体重計や歩数計、血圧計等自らの健康管理に必要な機器をそろえ、定期的に測定していますか。(〇は1つ)

「たまに測定している」の割合が34.7%と最も高く、次いで「ほぼ毎日測定している」の割合が19.8%、「ほとんど測定していない」の割合が18.6%となっています。



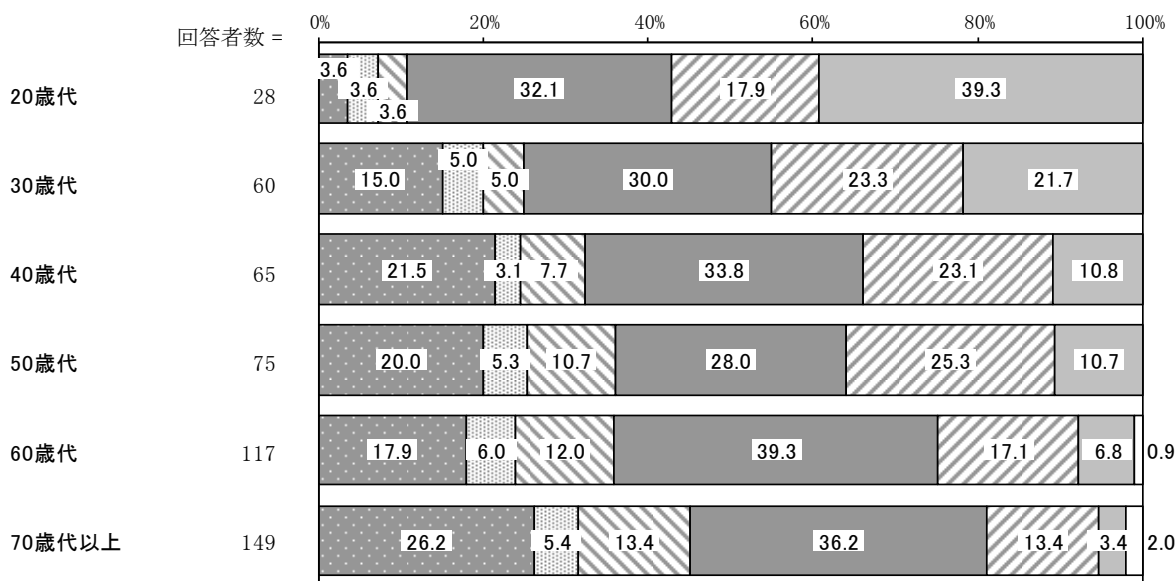
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「機器をもっていない」の割合が高くなっています。



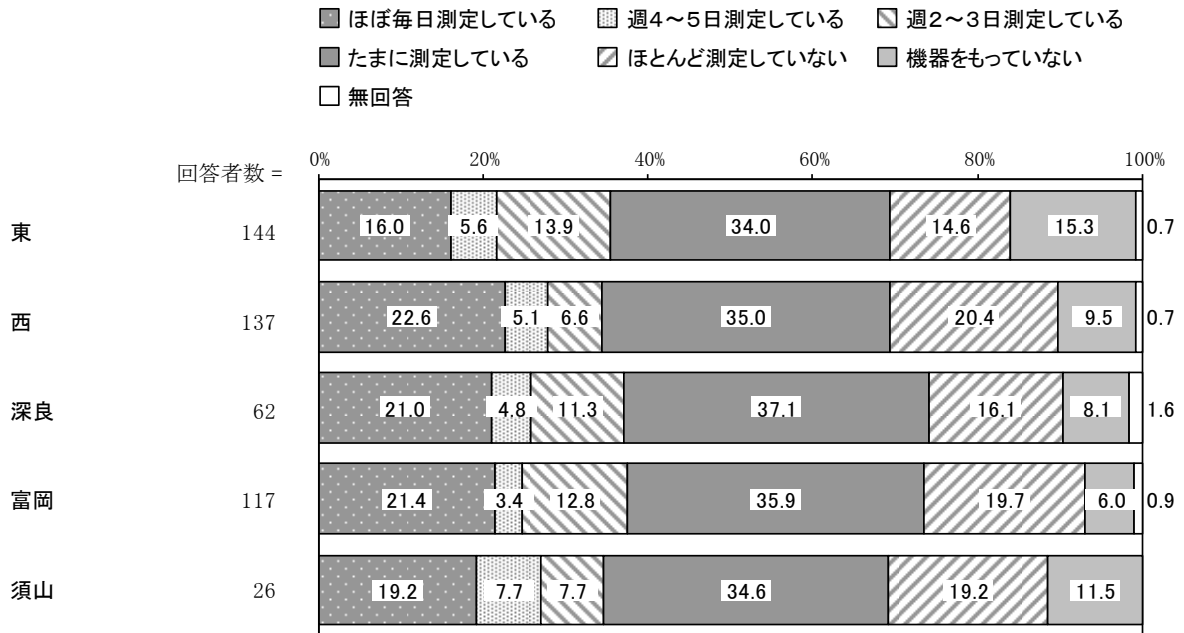
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「週2~3日測定している」の割合が、年齢が低くなるにつれ「機器をもっていない」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、70歳代以上で「ほぼ毎日測定している」の割合が高くなっています。



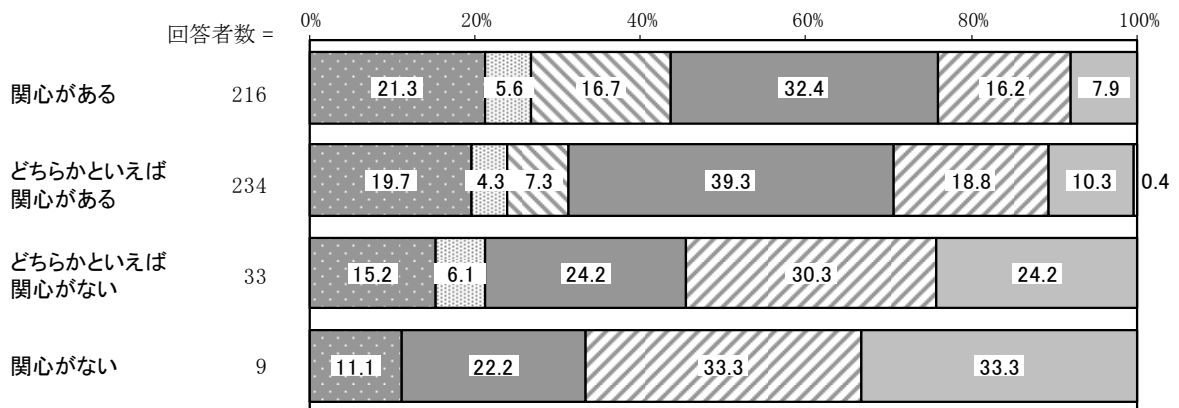
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「機器をもっていない」の割合が高くなっています。



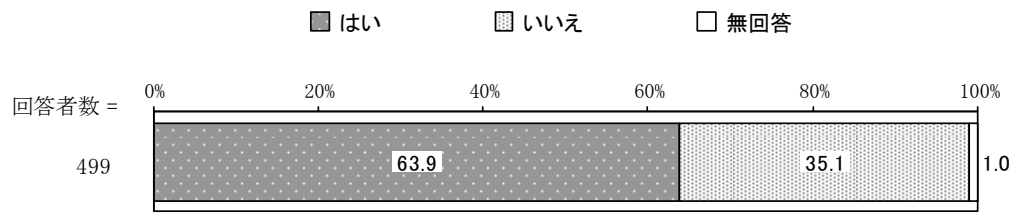
【健康づくりへの関心度別】（問7 健康管理×問2 健康づくりへの関心度）

健康づくりへの関心度別でみると、関心がない人ほど「機器をもっていない」の割合が高くなっています。



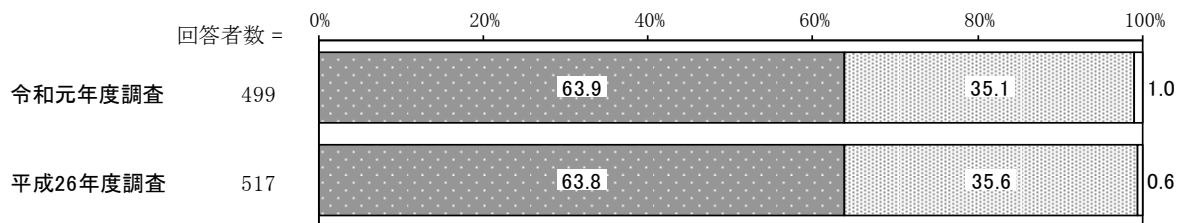
問8 ご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」を持っていますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が63.9%、「いいえ」の割合が35.1%となっています。



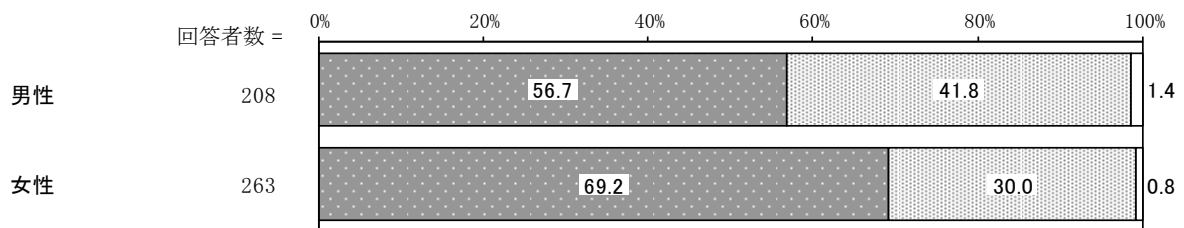
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



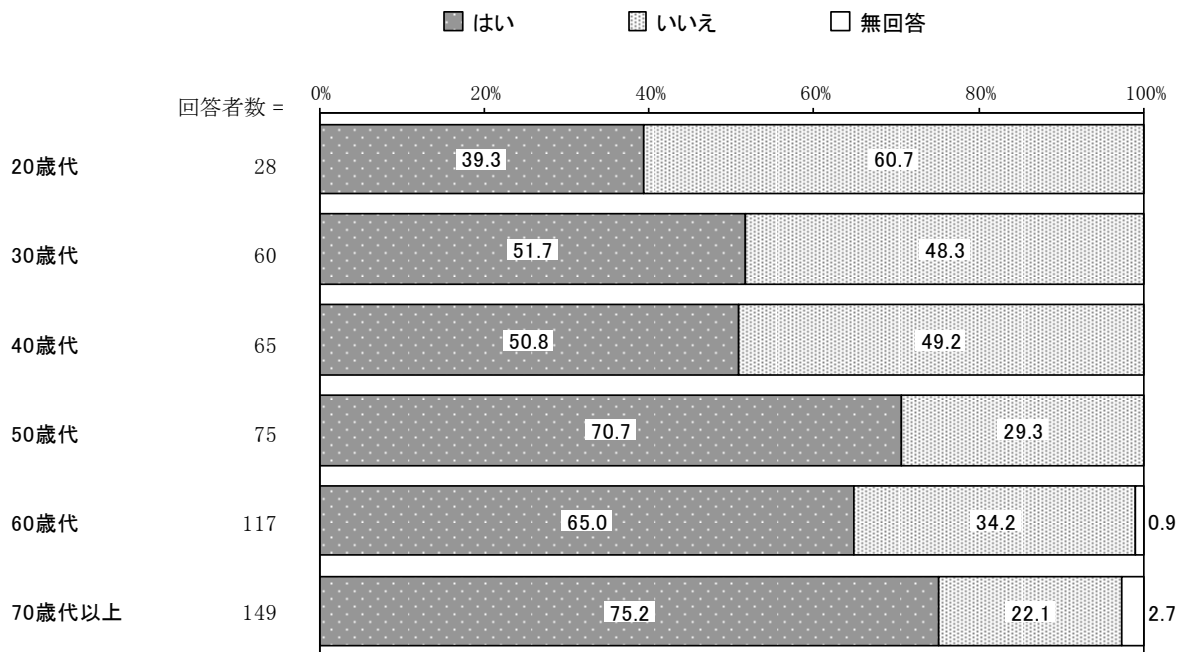
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



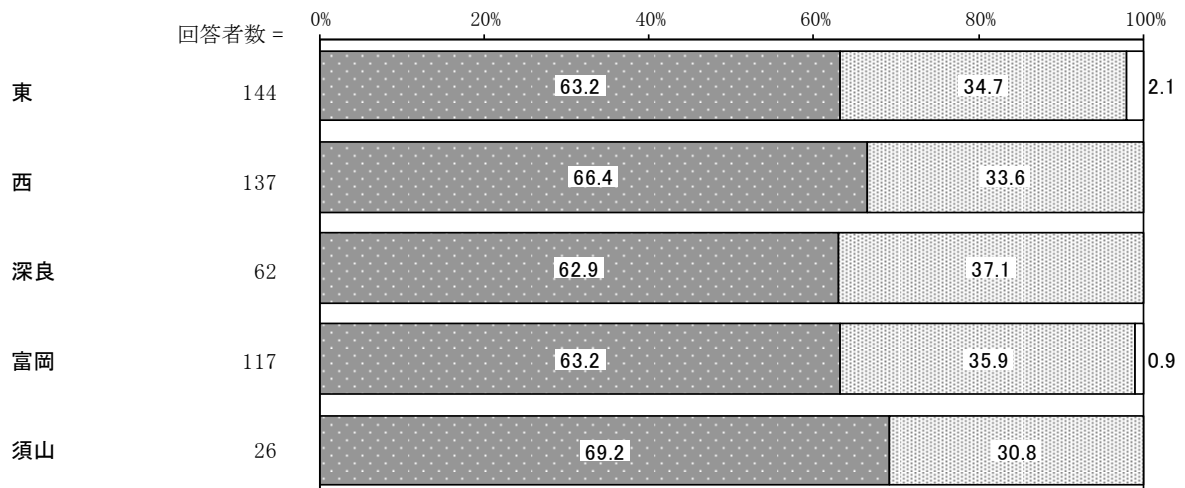
【年齢別】

年齢別でみると、40歳代以下に比べ、50歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。



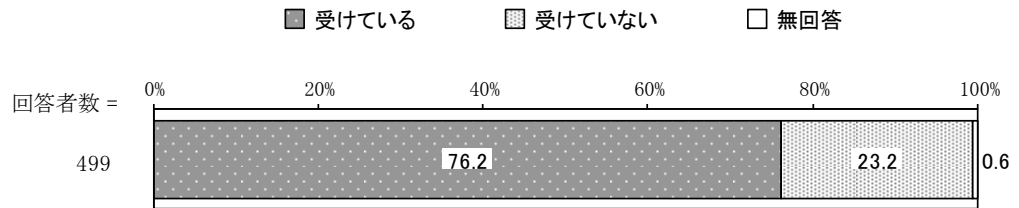
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。



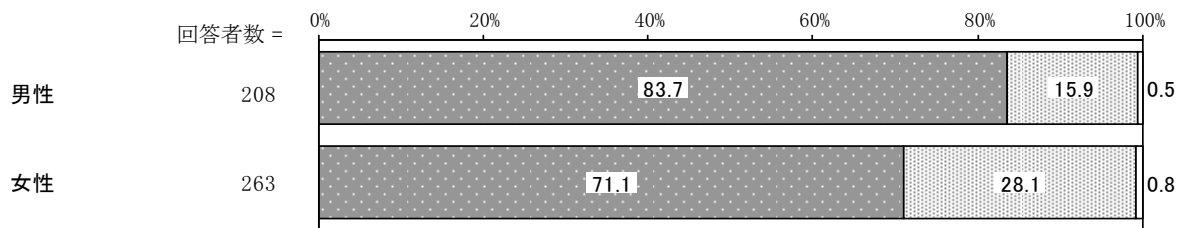
問9 あなたは、ほぼ毎年、健康診査を受けていますか。(○は1つ)

「受けている」の割合が76.2%、「受けていない」の割合が23.2%となっています。



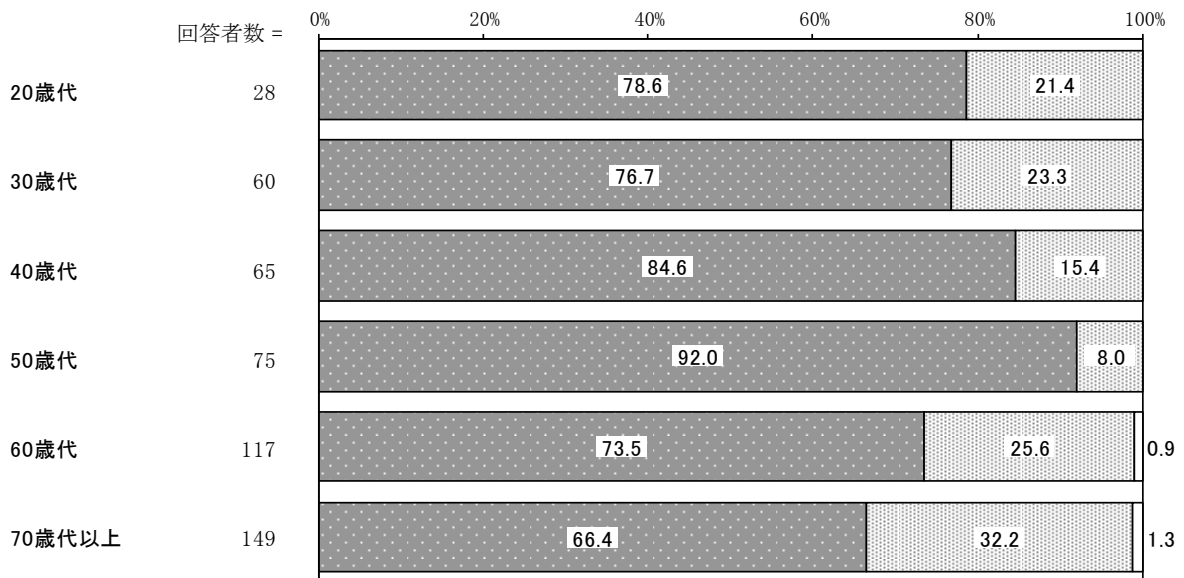
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高くなっています。



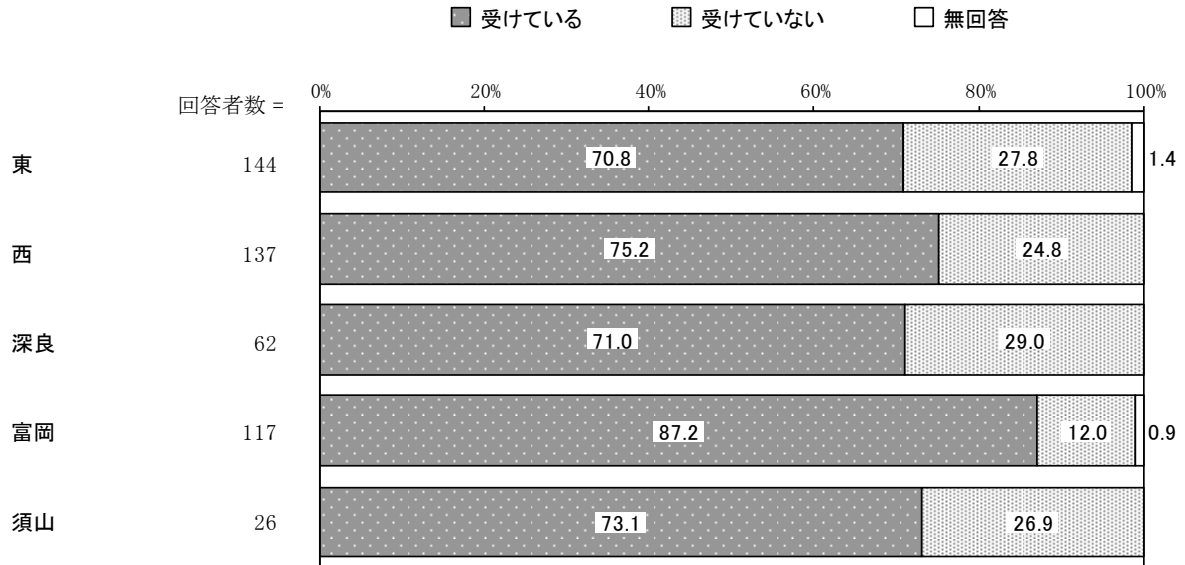
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「受けている」の割合が高くなっています。また、70歳代以上で「受けていない」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「受けている」の割合が高くなっています。



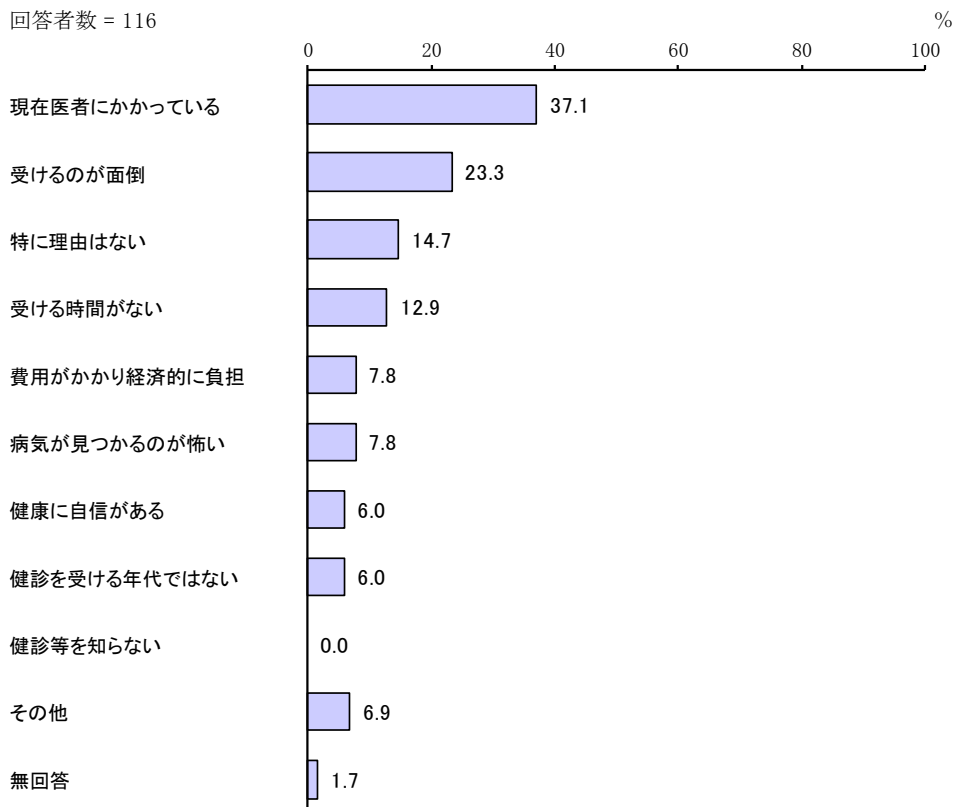
【健康づくりへの関心度別】 (問9 健康診査の受診×問2 健康づくりへの関心度)

健康づくりへの関心度別でみると、関心がある人ほど「受けている」の割合が高くなっています。



問9-1 問9で「受けていない」と答えた方にうかがいます。
健康診査を受けていない理由はなんですか。(〇は2つまで)

「現在医者にかかっている」の割合が37.1%と最も高く、次いで「受けるのが面倒」の割合が23.3%、「特に理由はない」の割合が14.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「健診を受ける年代ではない」「費用がかかり経済的に負担」「現在医者にかかっている」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「受ける時間がない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	健康に自信がある	健診を受ける年代ではない	健診等を知らない	受ける時間がない	受けるのが面倒	費用がかかり経済的に負担	病気が見つかるのが怖い	現在医者にかかっている	特に理由はない	その他	無回答
男性	33	6.1	12.1	—	9.1	21.2	12.1	6.1	42.4	15.2	3.0	—
女性	74	6.8	2.7	—	16.2	24.3	6.8	6.8	33.8	16.2	8.1	2.7

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「現在医者にかかっている」の割合が高くなっています。また、40歳代で「受ける時間がない」の割合が、30歳代で「受けるのが面倒」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康に自信がある	健診を受ける年代ではない	健診等を知らない	受ける時間がない	受けるのが面倒	費用がかかり経済的に負担	病気が見つかるのが怖い	現在医者にかかっている	特に理由はない	その他	無回答
20歳代	6	—	33.3	—	16.7	16.7	16.7	—	—	16.7	16.7	16.7
30歳代	14	—	21.4	—	28.6	35.7	21.4	14.3	14.3	7.1	—	—
40歳代	10	—	—	—	40.0	20.0	10.0	10.0	20.0	20.0	20.0	—
50歳代	6	16.7	—	—	33.3	33.3	—	33.3	—	16.7	—	16.7
60歳代	30	10.0	—	—	6.7	30.0	13.3	3.3	36.7	13.3	6.7	—
70歳代以上	48	6.3	4.2	—	4.2	16.7	—	6.3	58.3	14.6	4.2	—

【地区別】

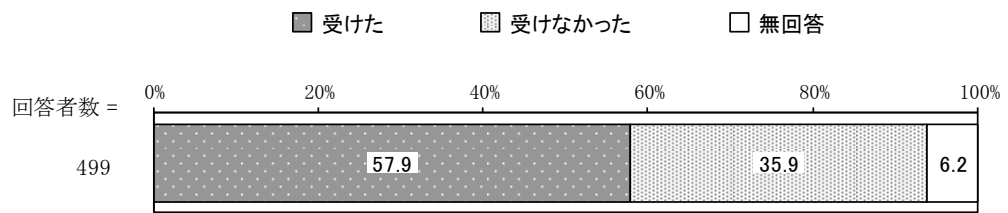
地区別でみると、他の地区に比べ、東、西で「現在医者にかかっている」の割合が高くなっています。また、西で「受けるのが面倒」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	健康に自信がある	健診を受ける年代ではない	健診等を知らない	受ける時間がない	受けるのが面倒	費用がかかり経済的に負担	病気が見つかるのが怖い	現在医者にかかっている	特に理由はない	その他	無回答
東	40	5.0	12.5	—	10.0	17.5	12.5	5.0	42.5	7.5	7.5	5.0
西	34	5.9	2.9	—	8.8	32.4	5.9	11.8	41.2	11.8	8.8	—
深良	18	11.1	—	—	11.1	16.7	11.1	5.6	33.3	33.3	5.6	—
富岡	14	7.1	—	—	21.4	21.4	—	14.3	35.7	14.3	—	—
須山	7	—	14.3	—	28.6	28.6	—	—	14.3	14.3	14.3	—

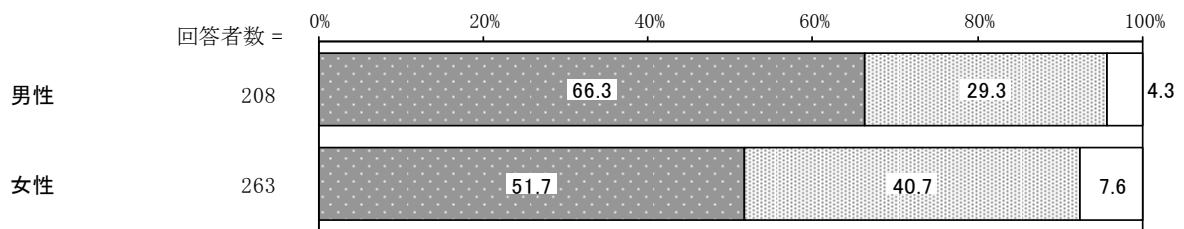
問 10 あなたは、健康診査の結果について、医師、保健師、管理栄養士などから説明を受けたり、アドバイスを受けたりしたことがありますか。(○は1つ)

「受けた」の割合が57.9%、「受けなかった」の割合が35.9%となっています。



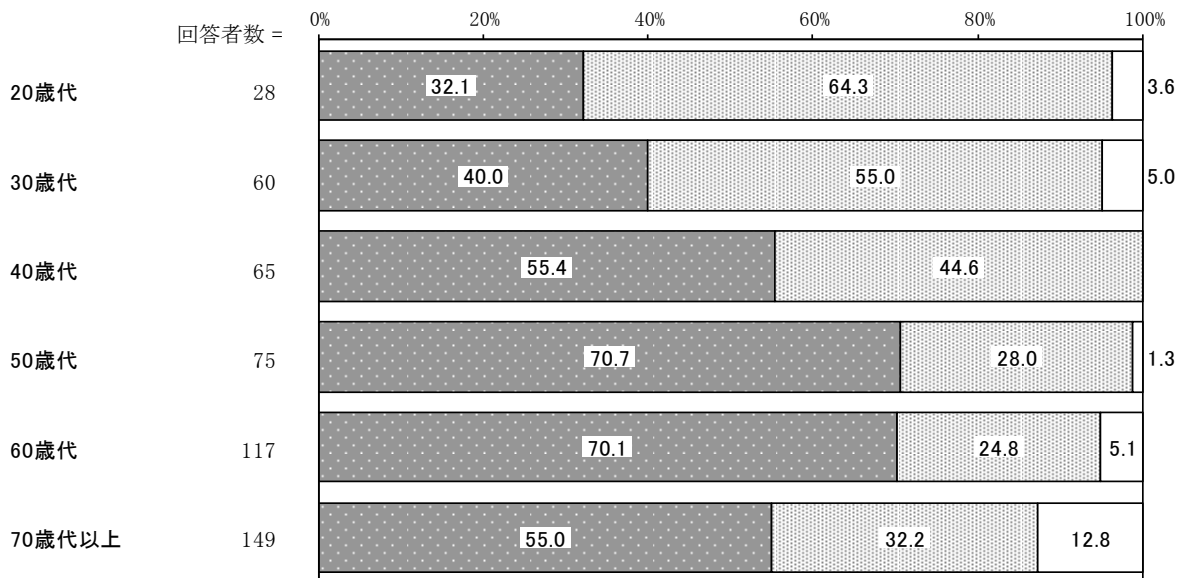
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けた」の割合が高くなっています。



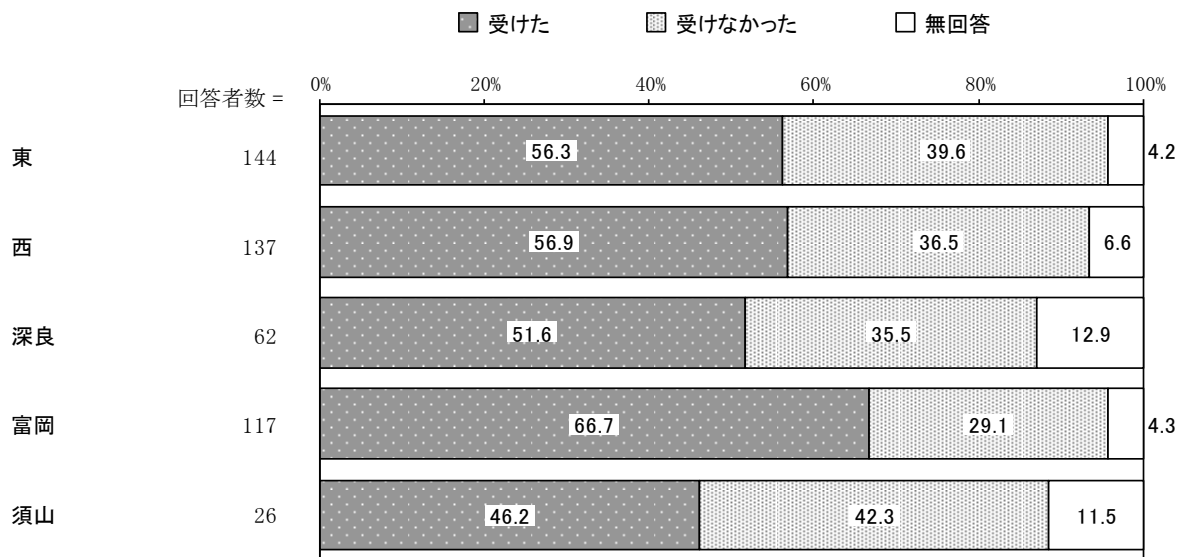
【年齢別】

年齢別でみると、60歳代以下で年齢が高くなるにつれ「受けた」の割合が高くなる傾向がみられます。



【地区別】

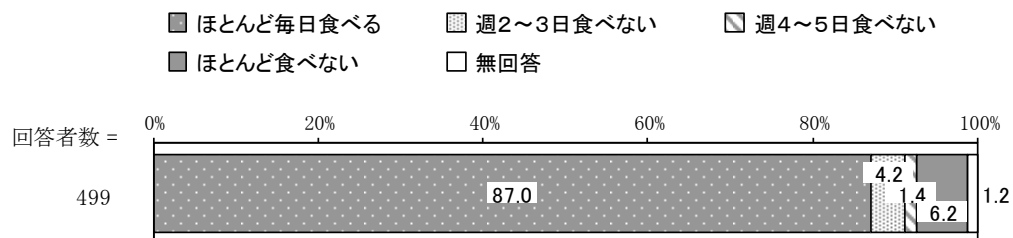
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「受けた」の割合が高くなっています。また、須山で「受けなかった」の割合が高くなっています。



(3) 食生活について

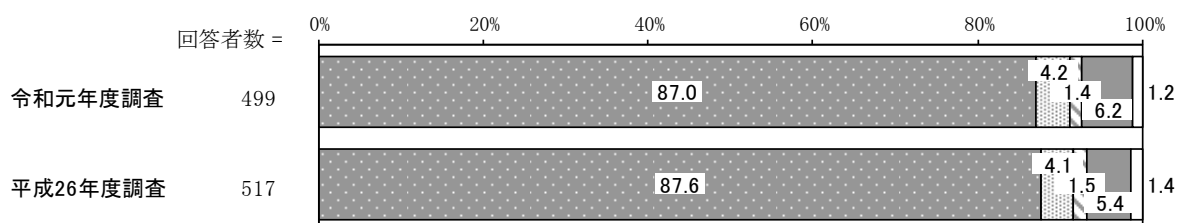
問 11 普段、朝食を食べますか。(○は1つ)

「ほとんど毎日食べる」の割合が87.0%と最も高くなっています。



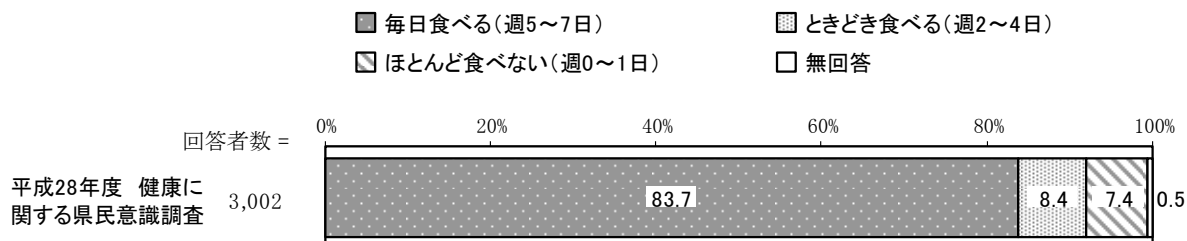
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



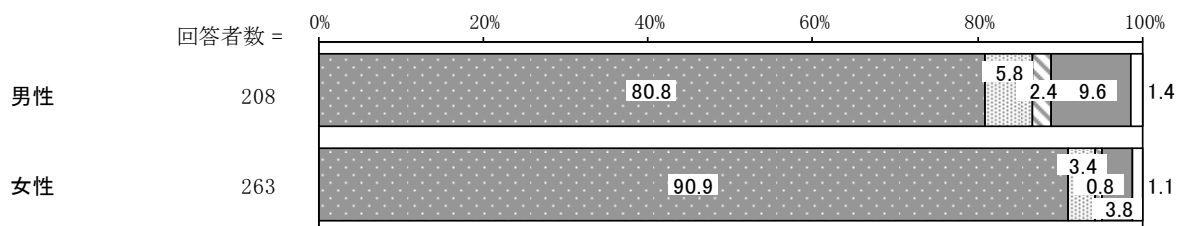
【県調査（参考）】

県調査では、「毎日食べる（週5〜7日）」の割合が83.7%となっています。



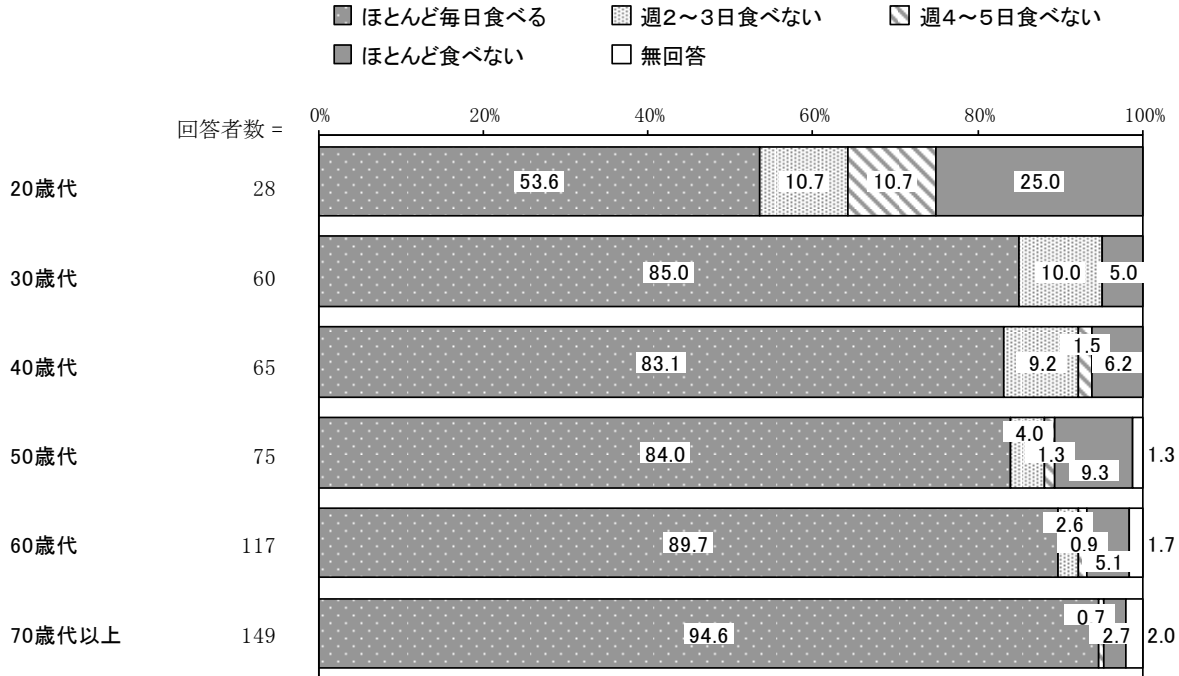
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。



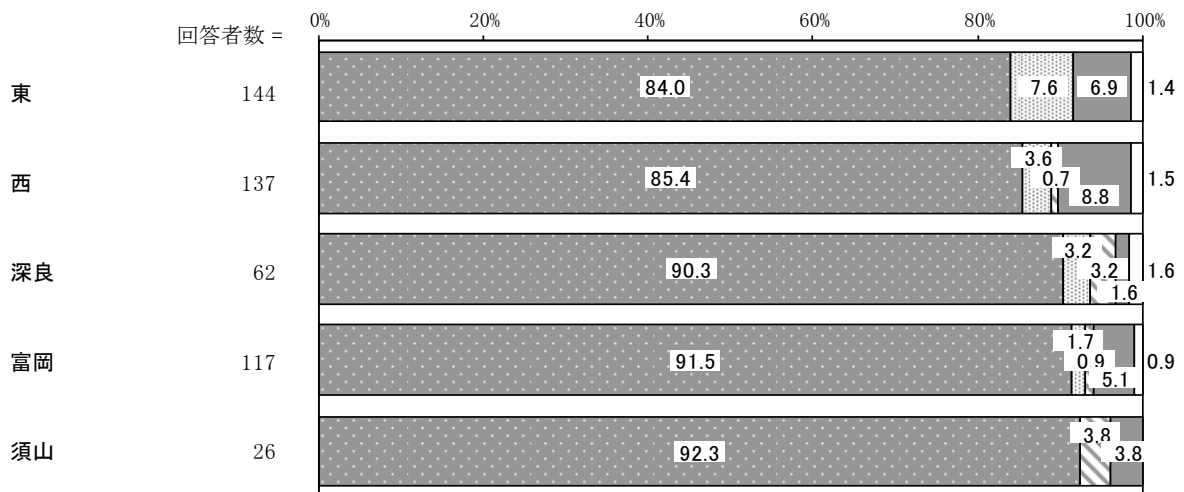
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。また、20歳代で「週4～5日食べない」「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。



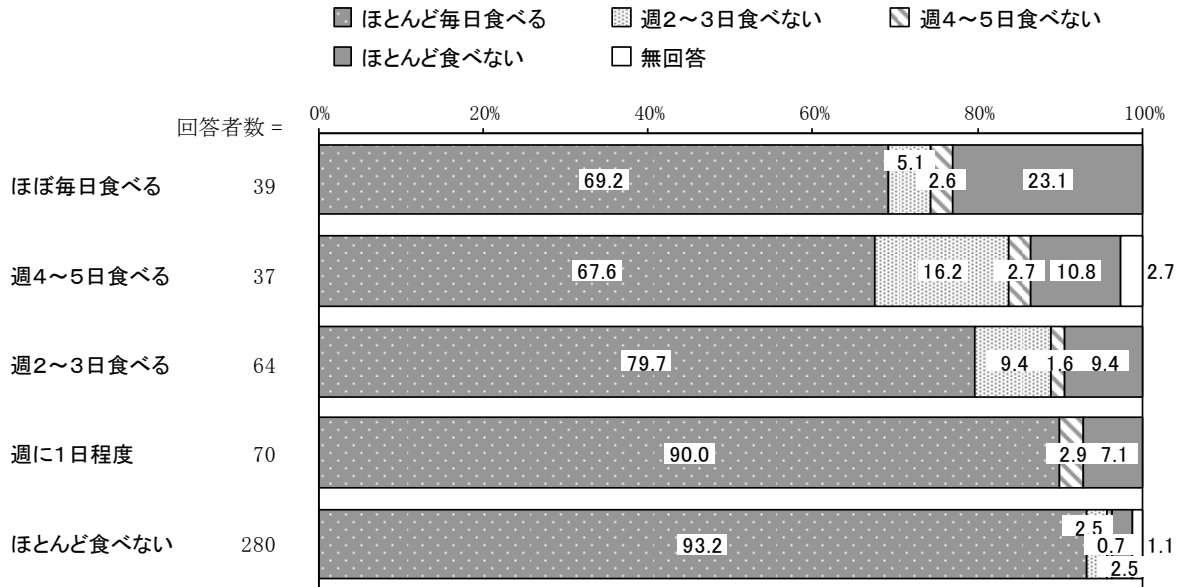
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡、須山で「ほとんど毎日食べる」の割合が高くなっています。



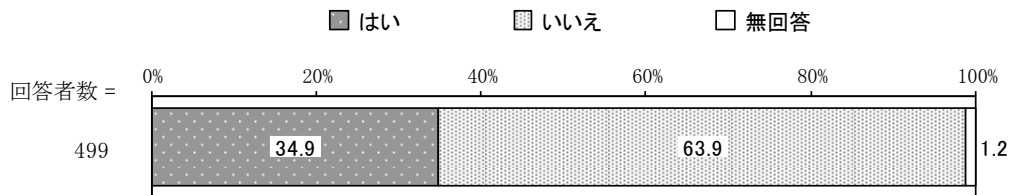
【20時以降の食事の回数別】（問11 朝食の摂取状況×問19 20時以降の食事の回数）

20時以降の食事の回数別で見ると、20時以降食事をとる頻度が高くなるにつれ朝食を「ほとんど毎日食べる」の割合が低く、「ほとんど食べない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、20時以降の食事の回数が週4～5日食べる人で朝食を「週2～3日食べない」の割合が高くなっています。



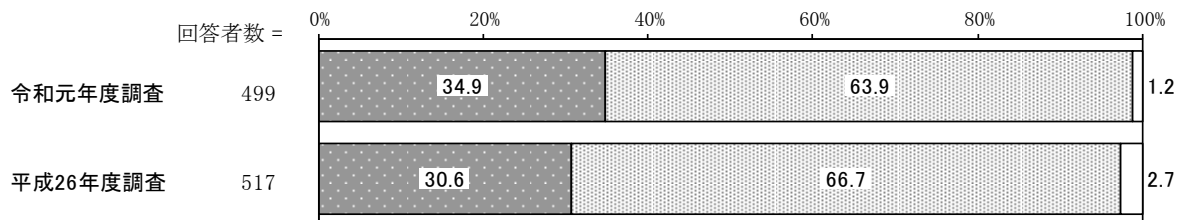
問12 外食をするときや食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしますか。（○は1つ）

「はい」の割合が34.9%、「いいえ」の割合が63.9%となっています。



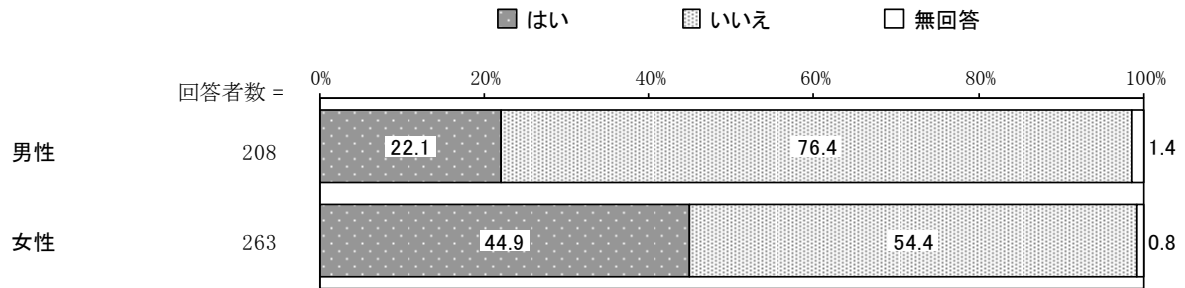
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



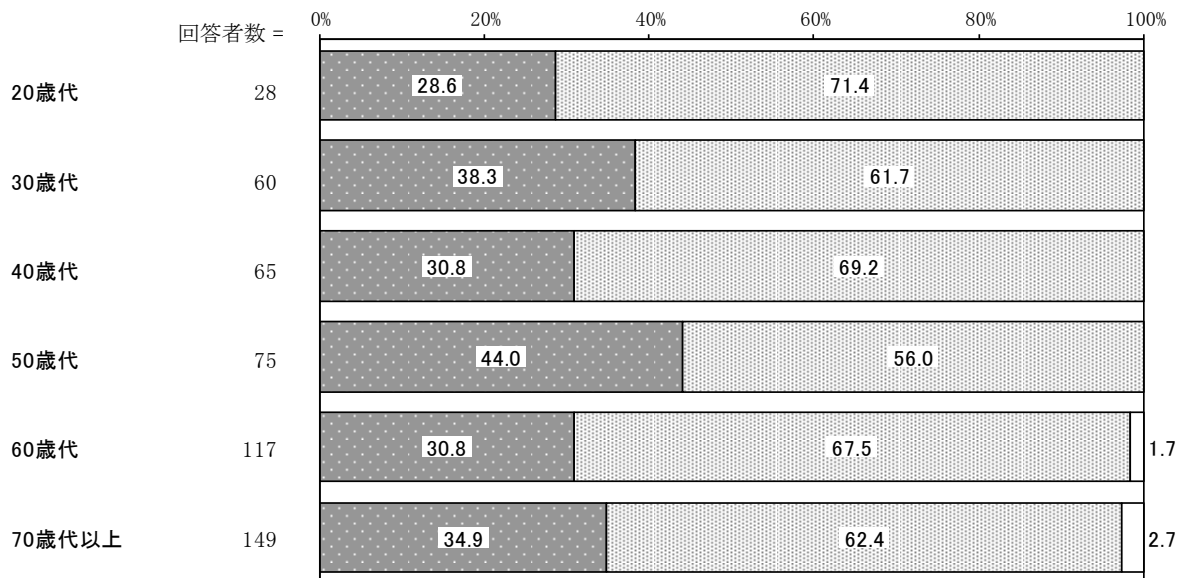
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



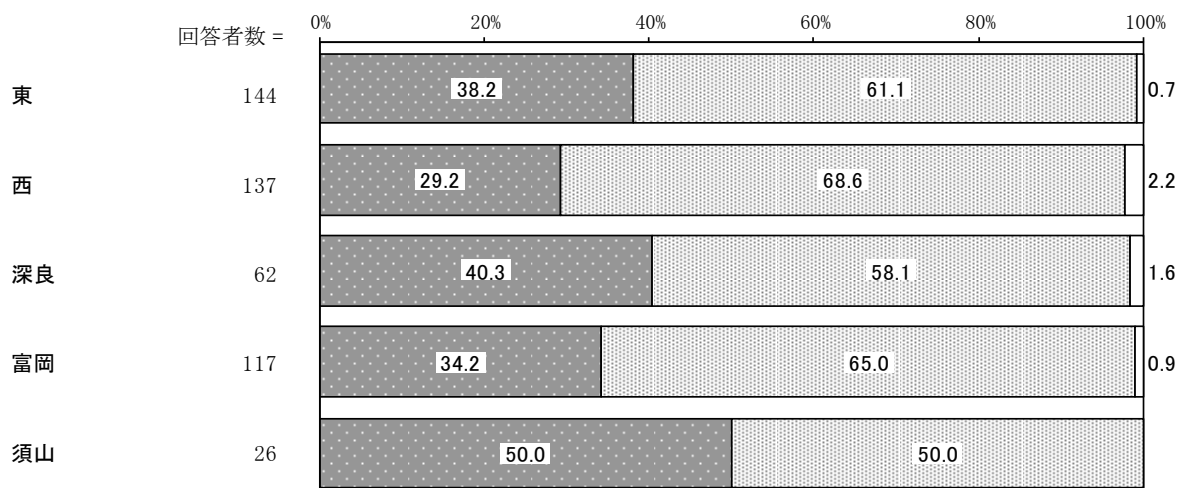
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



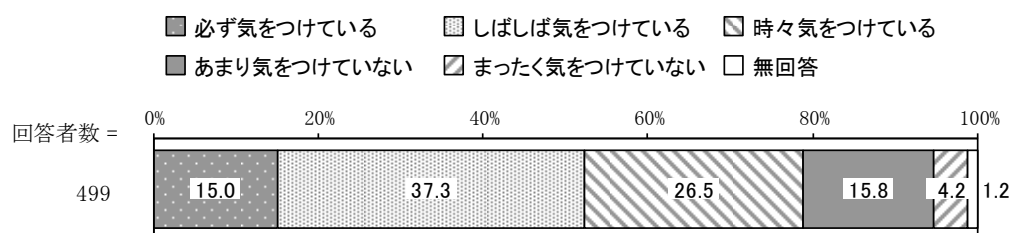
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。また、西で「いいえ」の割合が高くなっています。



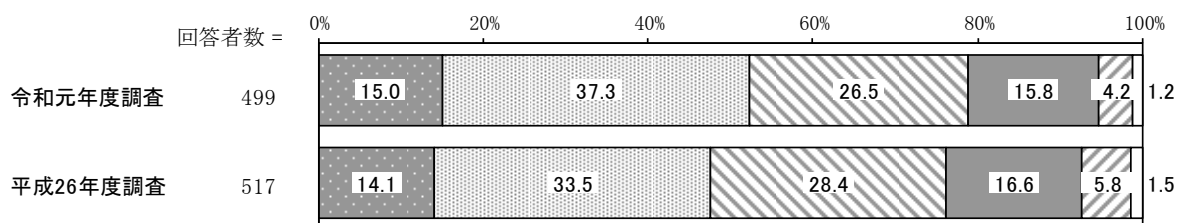
問 13 普段の食事で栄養のバランスに気をつけて食べていますか。(〇は1つ)

「しばしば気をつけている」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「時々気をつけている」の割合が 26.5%、「あまり気をつけていない」の割合が 15.8%となっています。



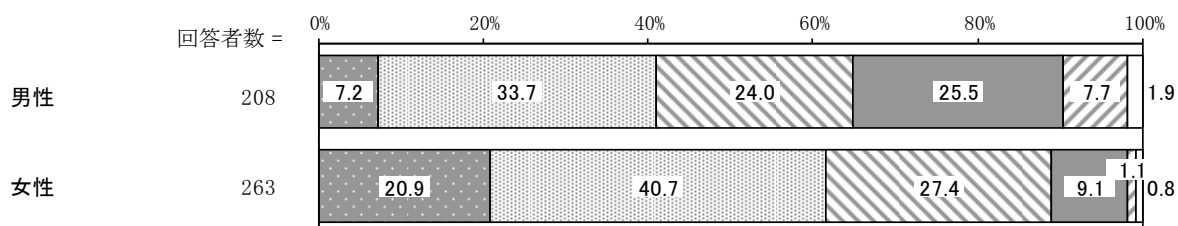
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



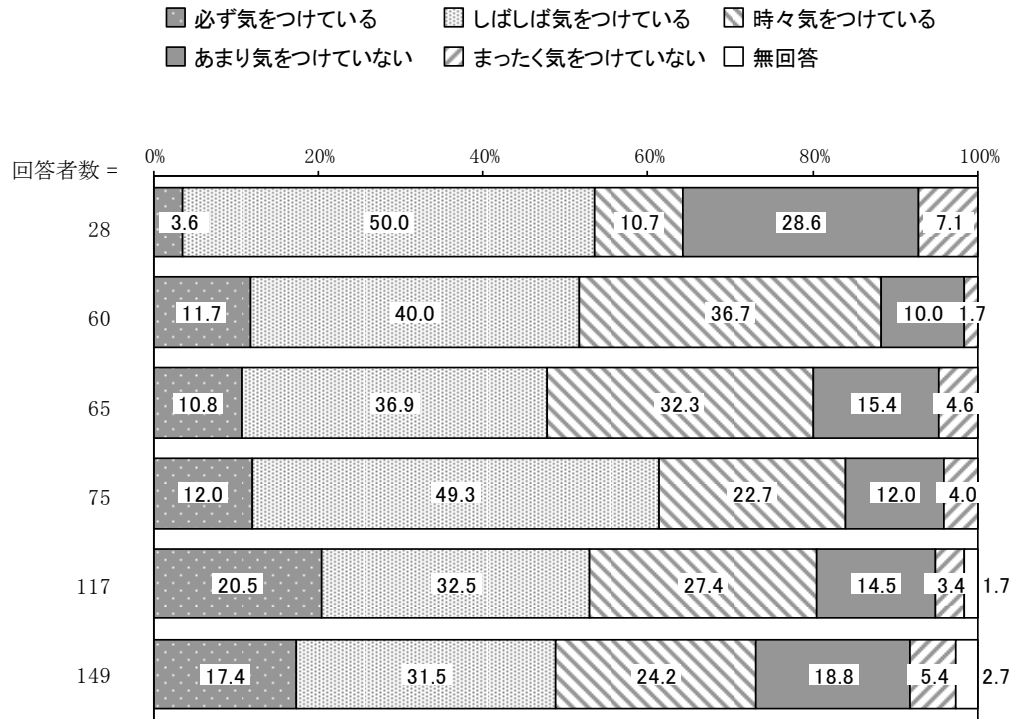
【性 別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「あまり気をつけていない」「まったく気をつけていない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「必ず気をつけている」「しばしば気をつけている」の割合が高くなっています。



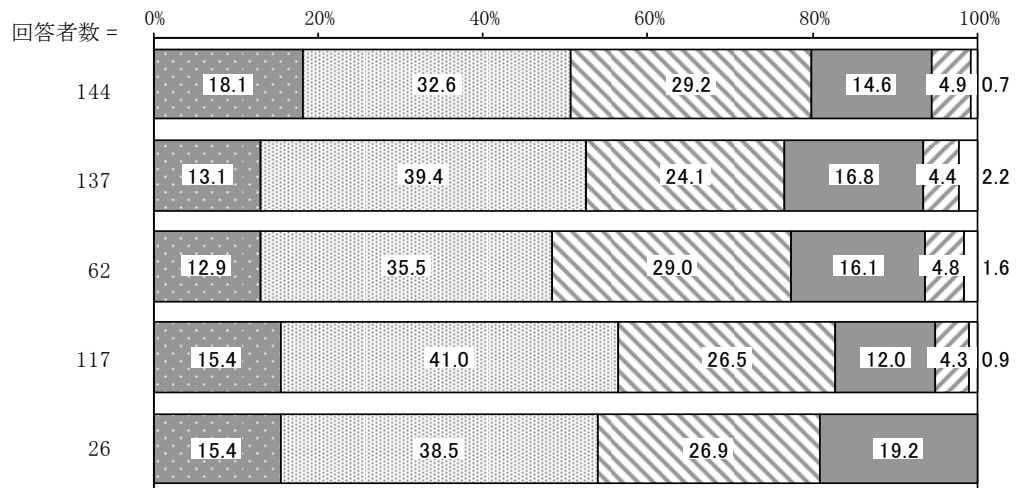
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳代以上で「必ず気をつけている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「あまり気をつけていない」の割合が高くなっています。



【地区別】

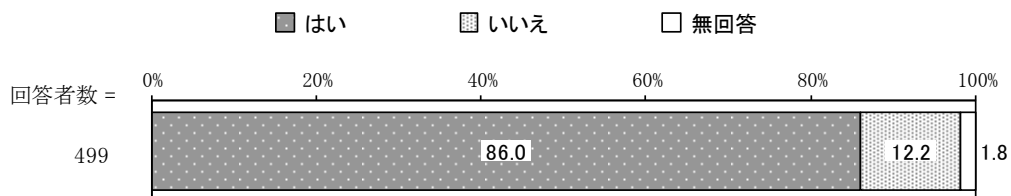
地区別でみると、他の地区に比べ、西、富岡で「しばしば気をつけている」の割合が高くなっています。



問 14 普段の食事で糖質をとりすぎないようにどのようなことに気をつけて食べていますか。(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

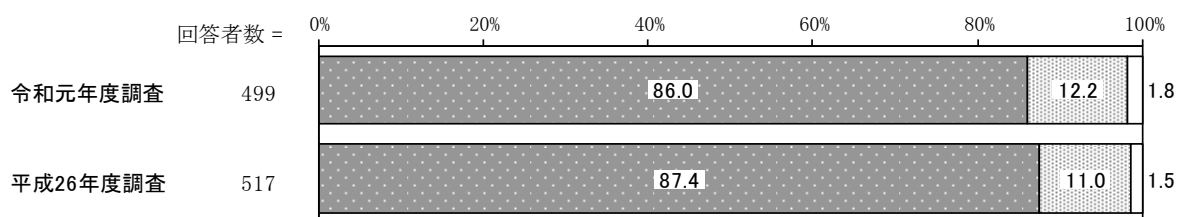
① ご飯は1食につき茶碗1杯程度にしている

「はい」の割合が86.0%、「いいえ」の割合が12.2%となっています。



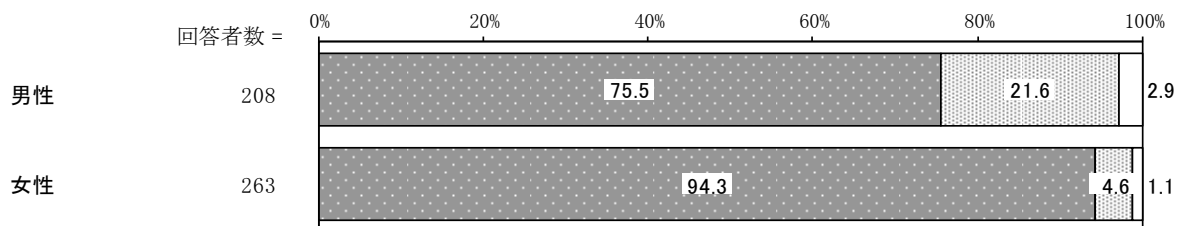
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



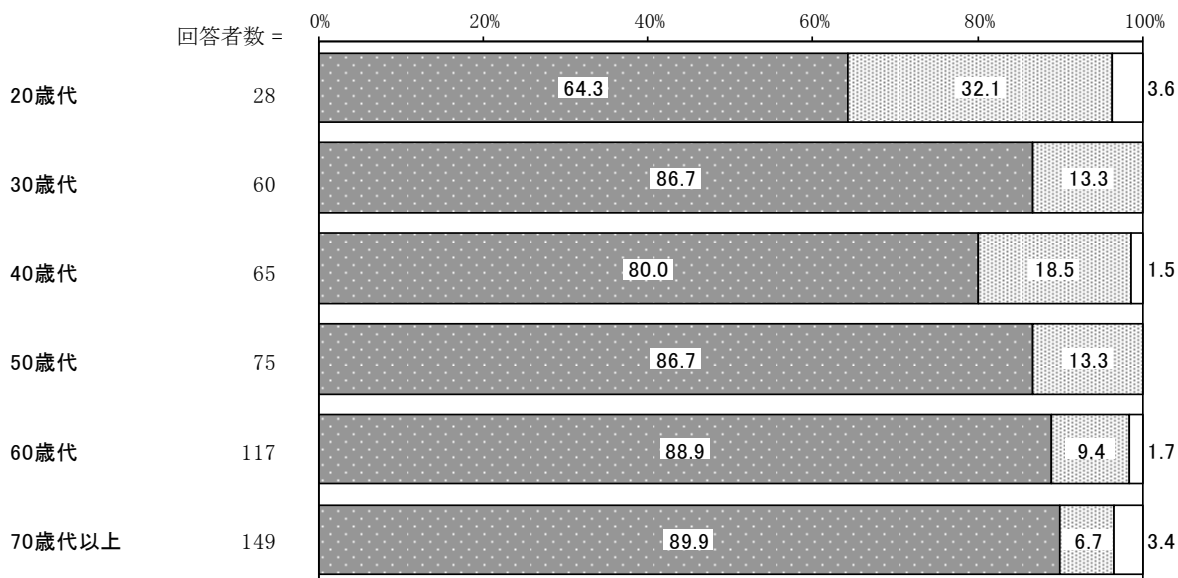
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



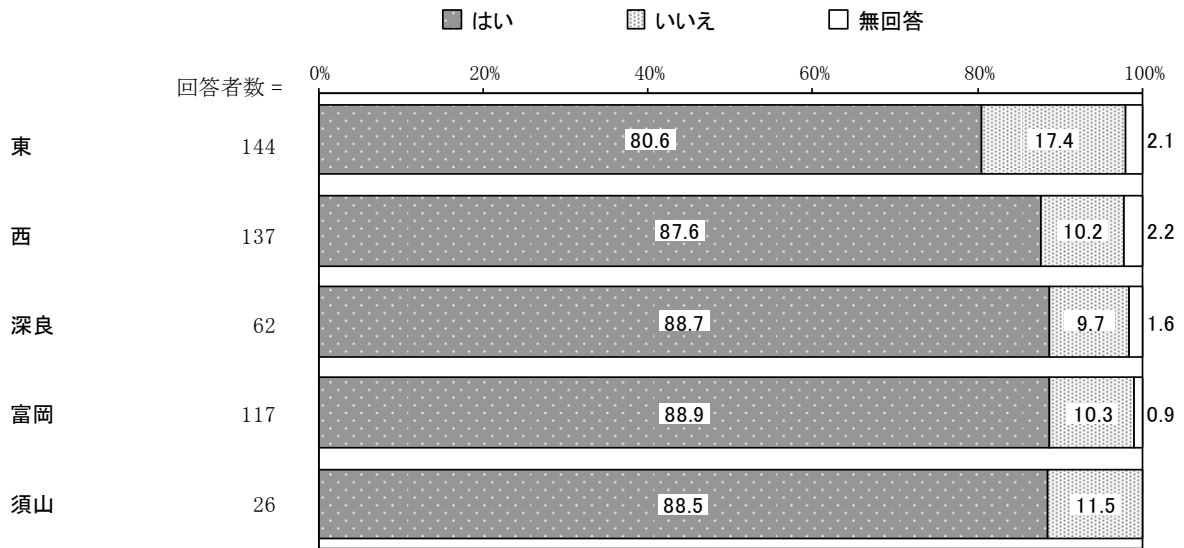
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



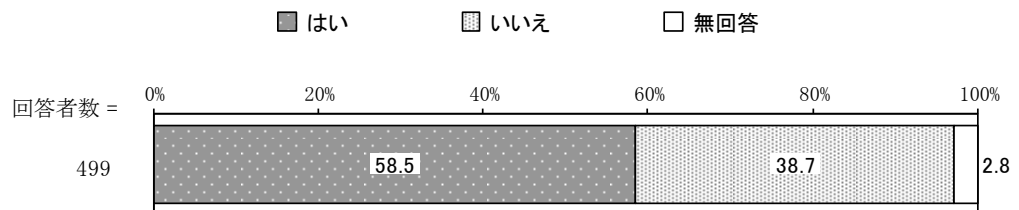
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「いいえ」の割合が高くなっています。



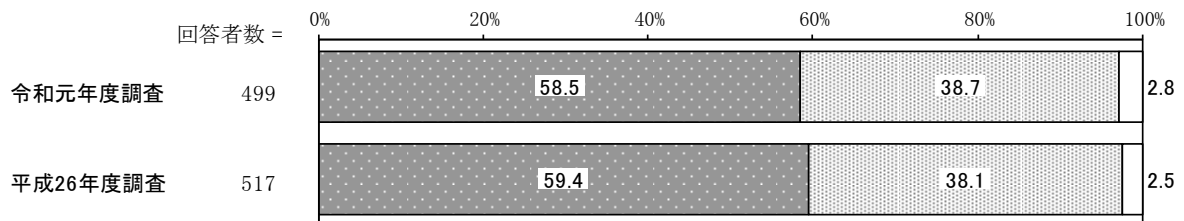
②めん類は頻度が多くならないようにしている

「はい」の割合が58.5%、「いいえ」の割合が38.7%となっています。



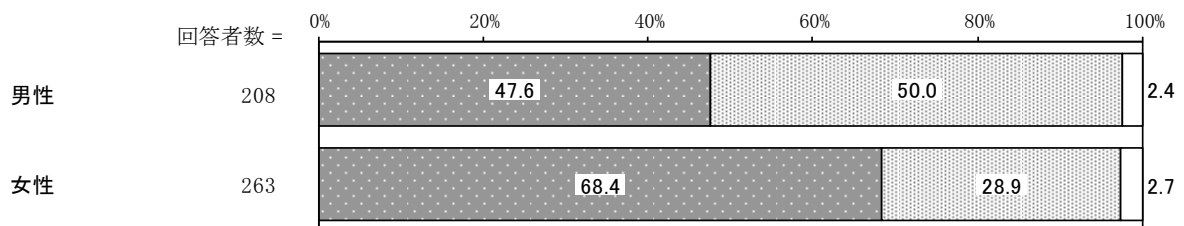
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



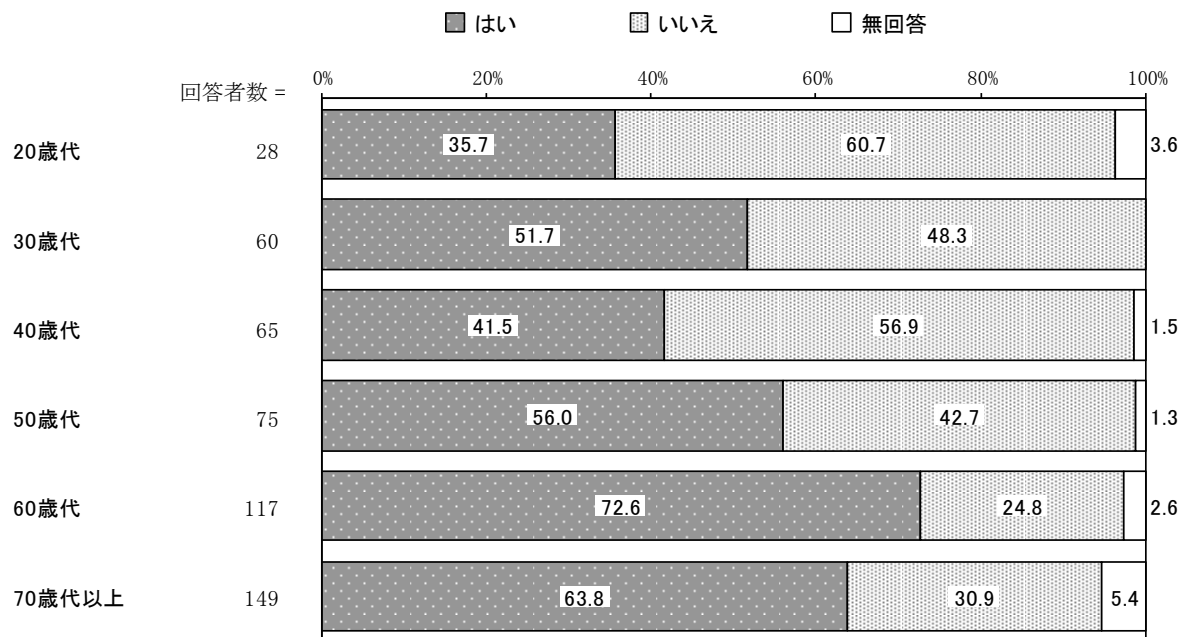
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



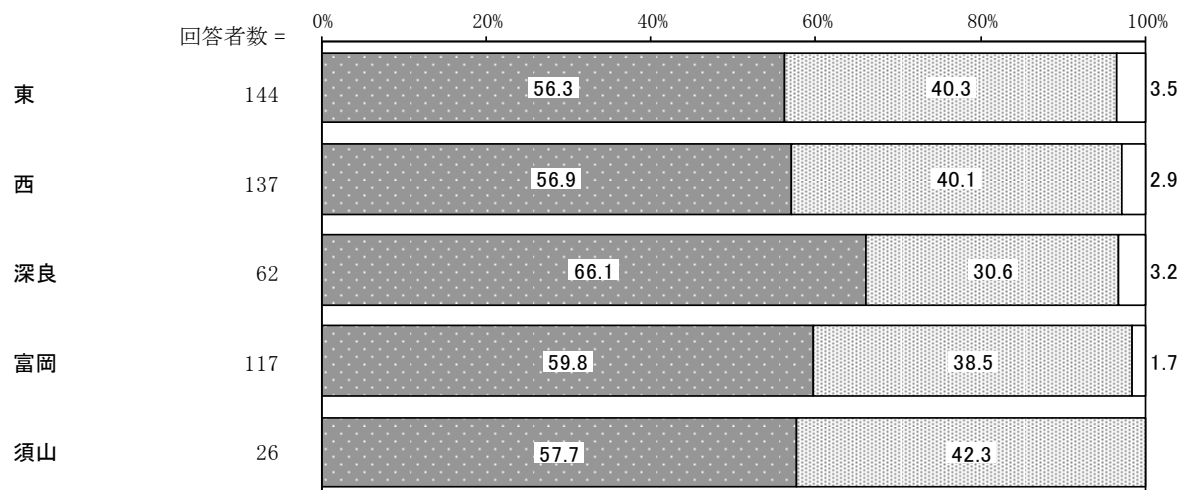
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



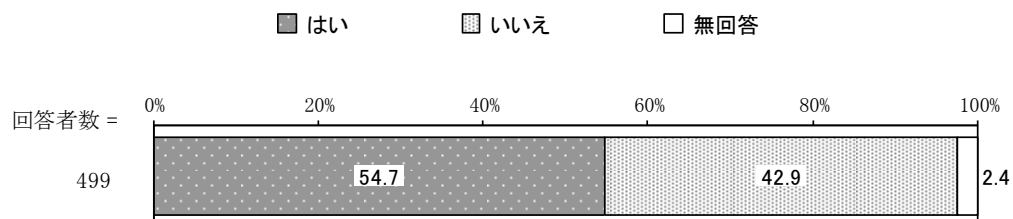
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「はい」の割合が高くなっています。



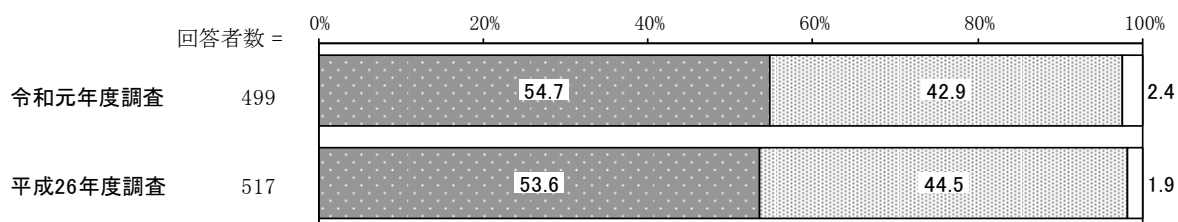
③果物を食べすぎないようにしている

「はい」の割合が54.7%、「いいえ」の割合が42.9%となっています。



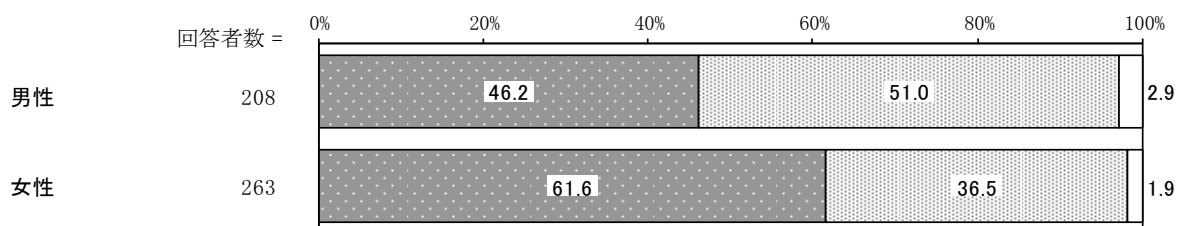
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



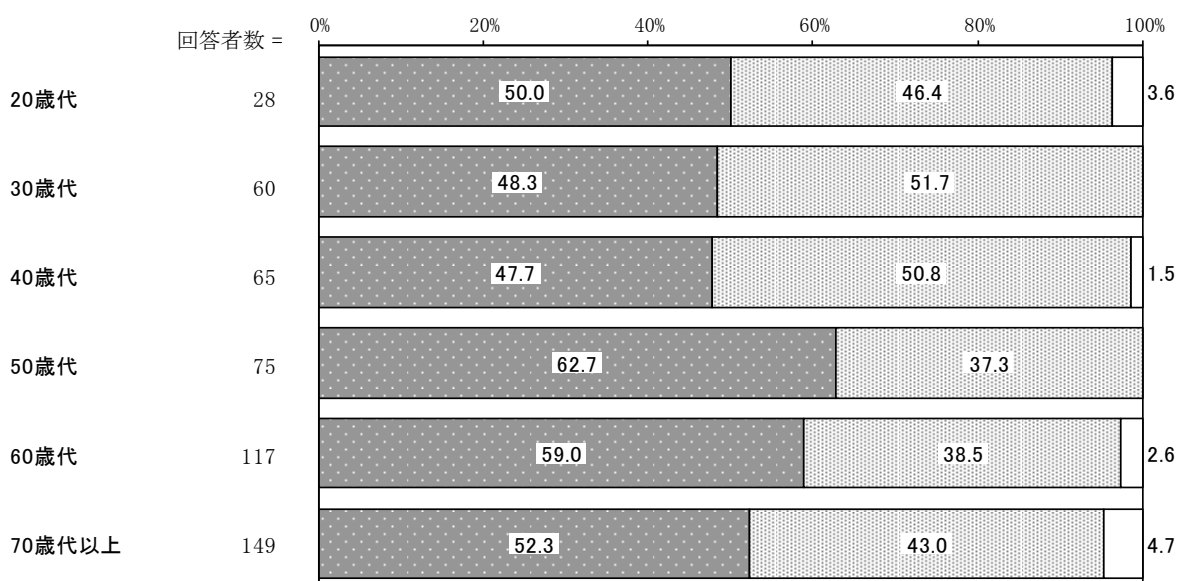
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



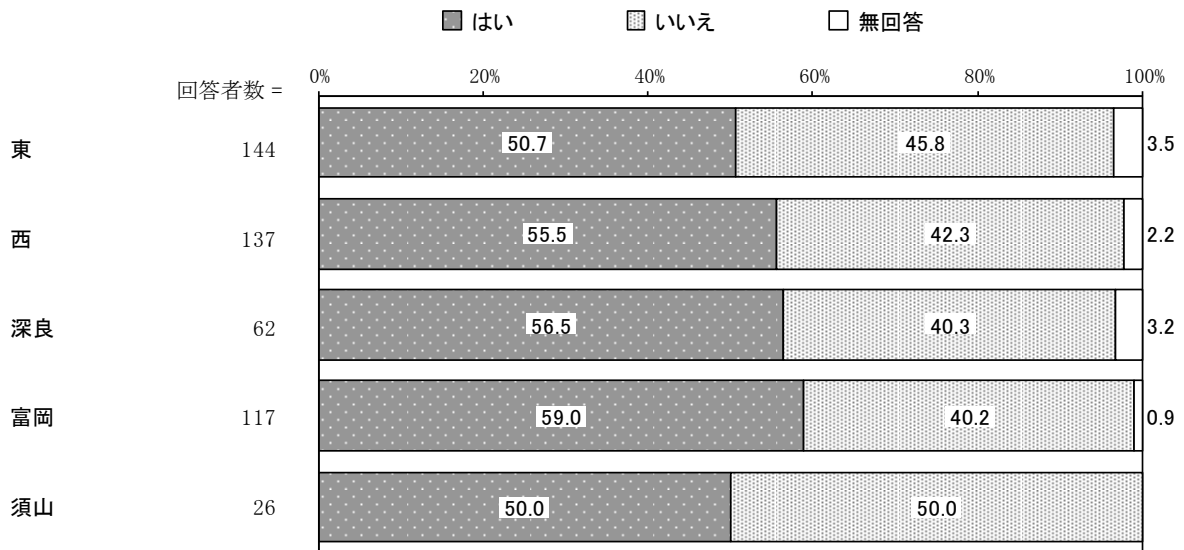
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「はい」の割合が高くなっています。



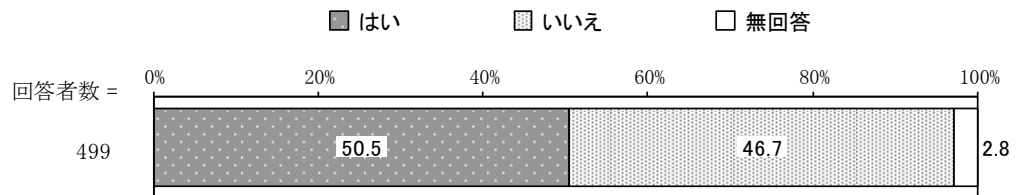
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「はい」の割合が高くなっています。また、須山で「いいえ」の割合が高くなっています。



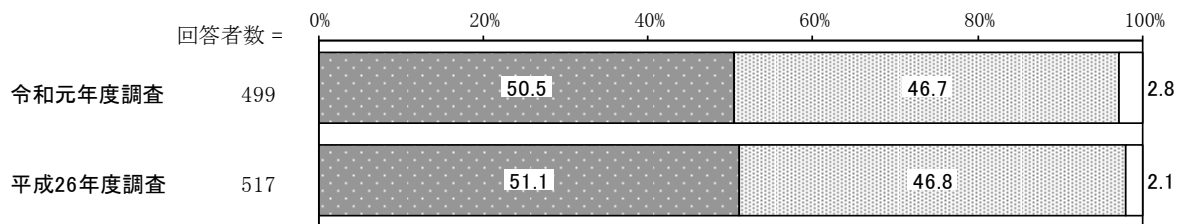
④間食で菓子類を食べないようにしている

「はい」の割合が50.5%、「いいえ」の割合が46.7%となっています。



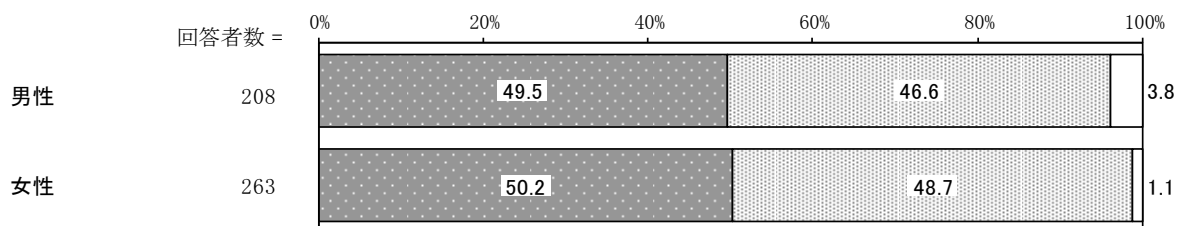
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



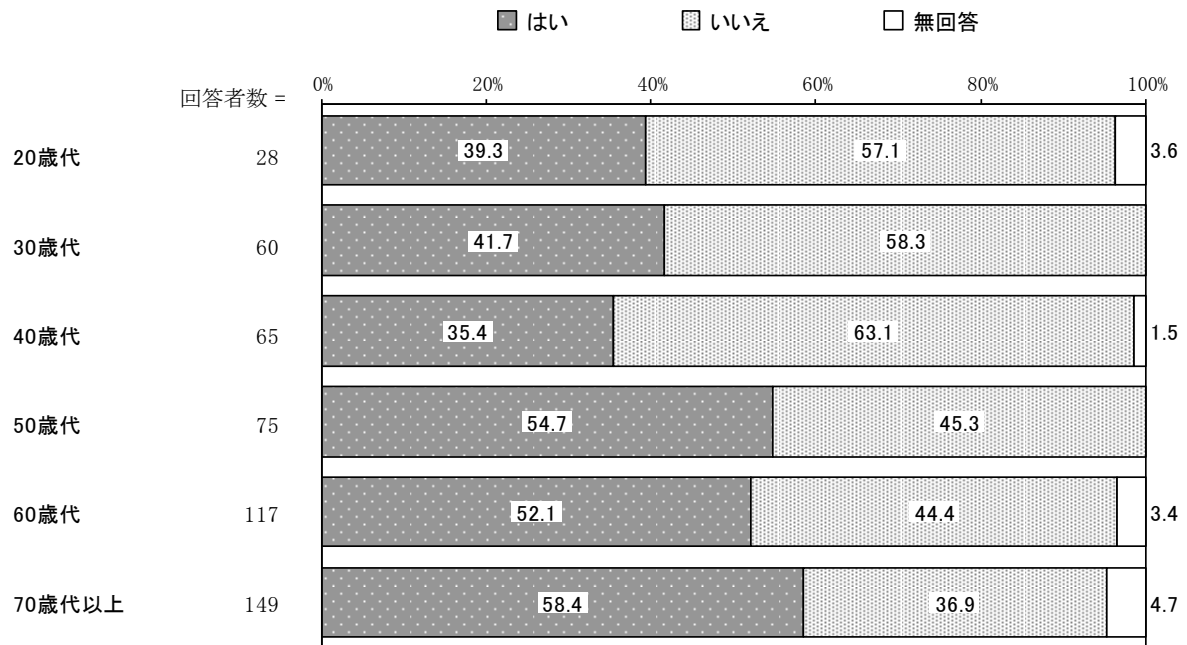
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



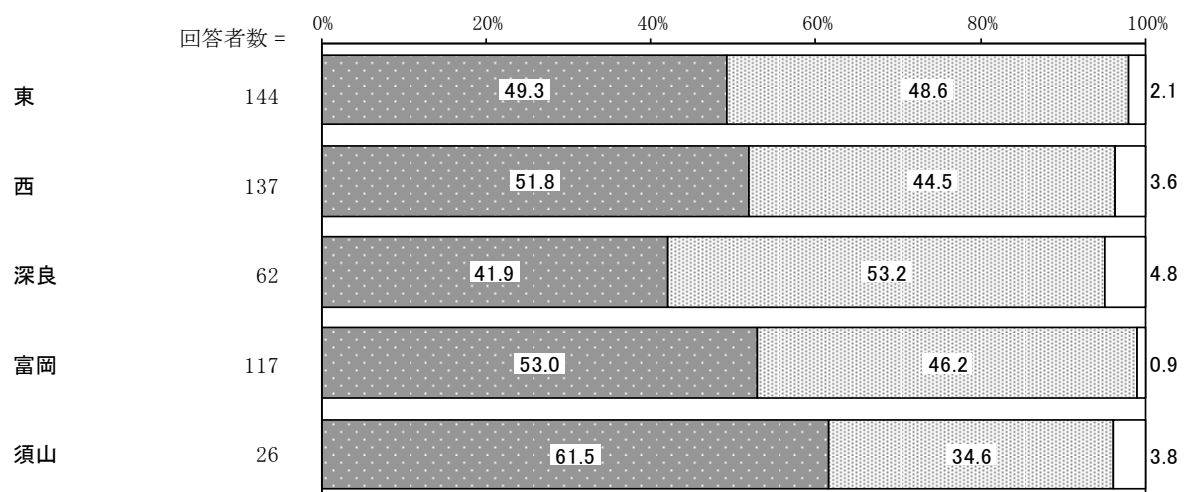
【年齢別】

年齢別で見ると、40歳代以下に比べ、50歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



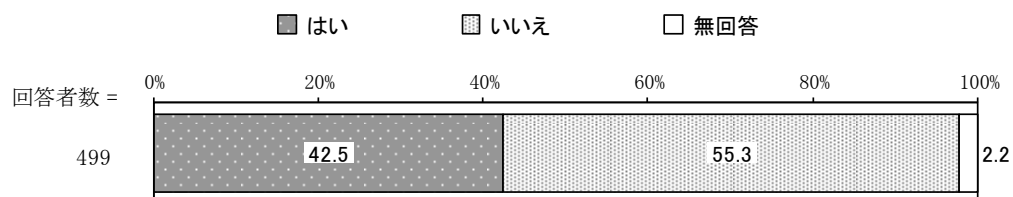
【地区別】

地区別で見ると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。また、深良で「いいえ」の割合が高くなっています。



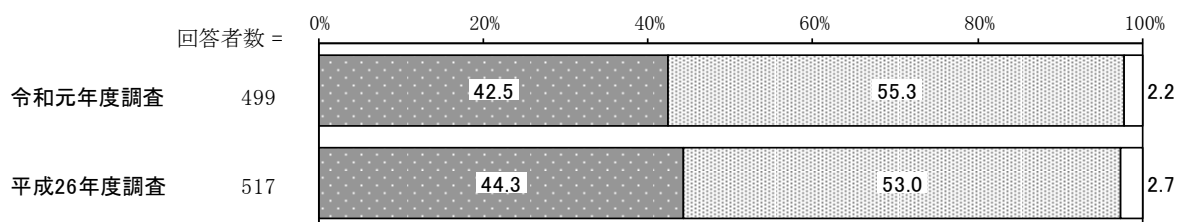
⑤調味料（砂糖など）や食品（飲料、アルコールなど）を購入する際に、糖質が少ないものを選んで購入している

「はい」の割合が42.5%、「いいえ」の割合が55.3%となっています。



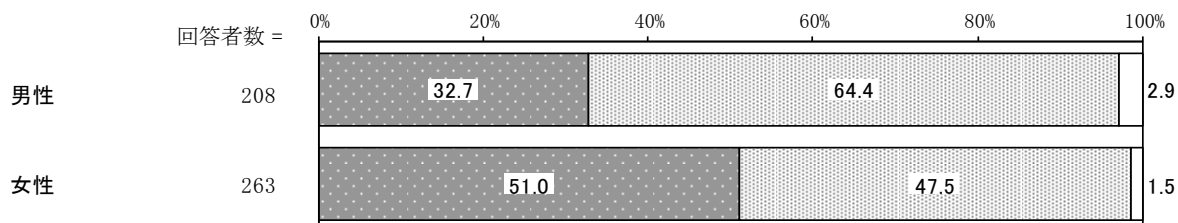
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



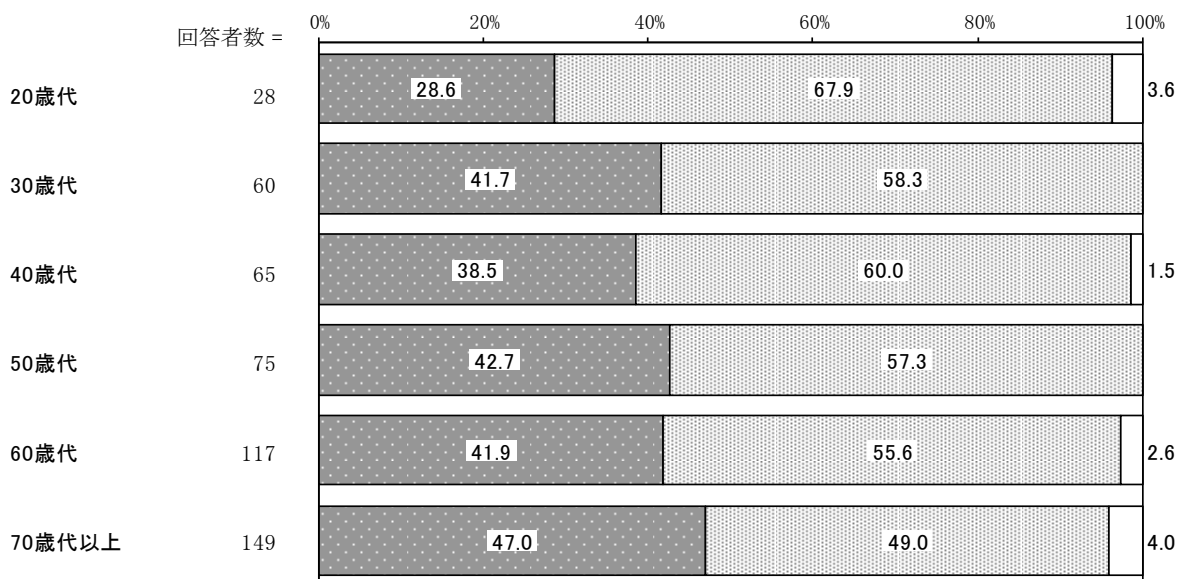
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



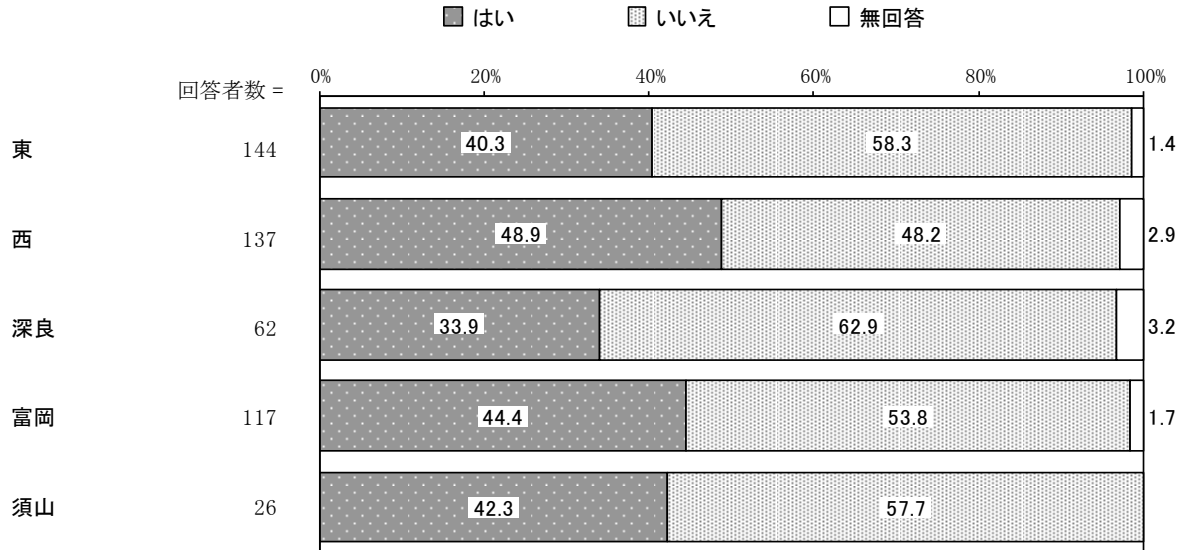
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【地区別】

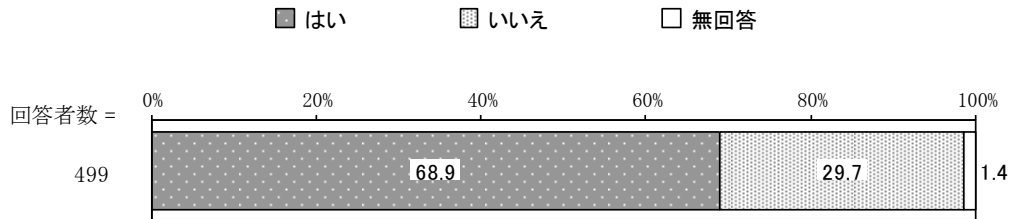
地区別でみると、他の地区に比べ、西で「はい」の割合が高くなっています。また、深良で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 15 普段の食事で塩分をとりすぎないようにどのようなことに気をつけて食べていますか。(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

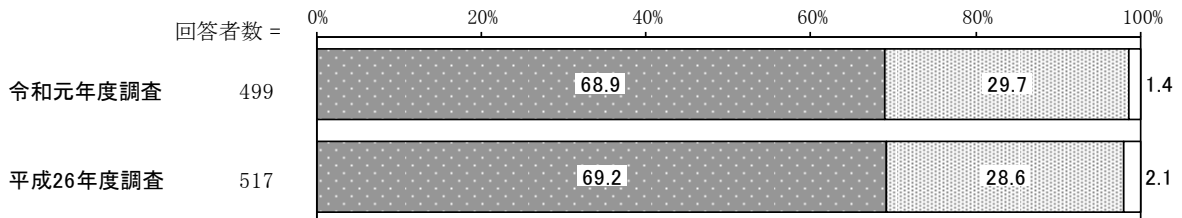
①めん類の汁を残すようにしている

「はい」の割合が68.9%、「いいえ」の割合が29.7%となっています。



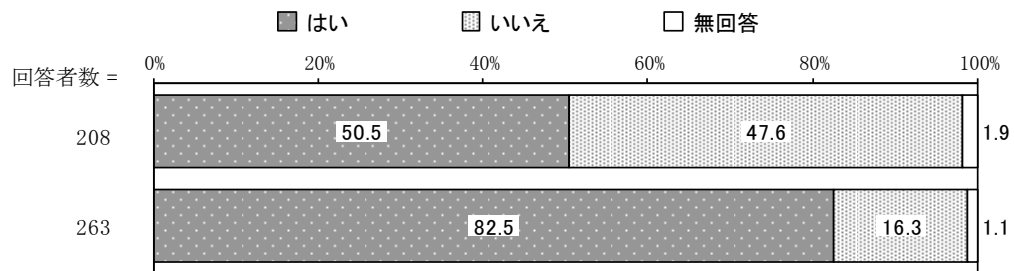
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



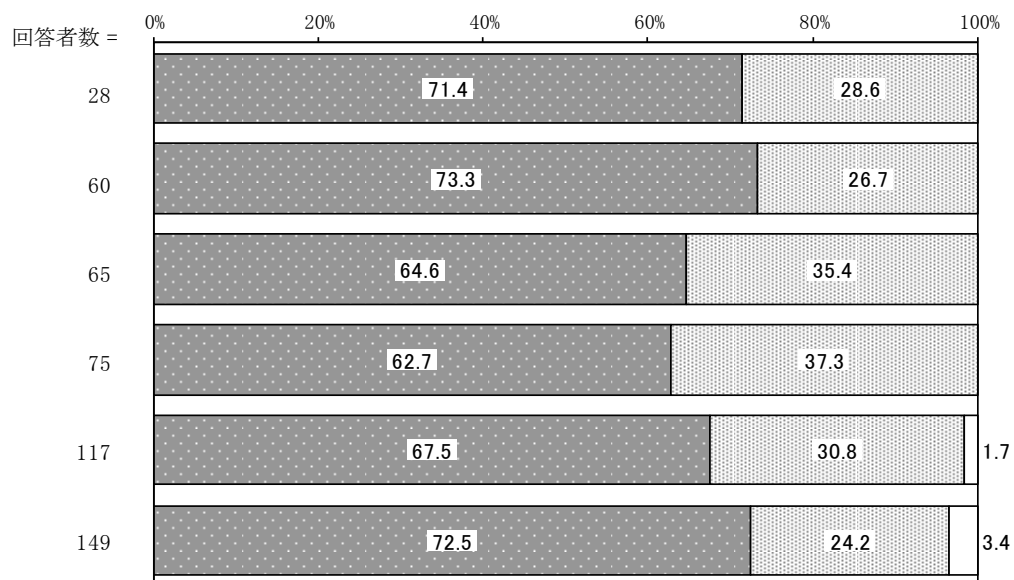
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



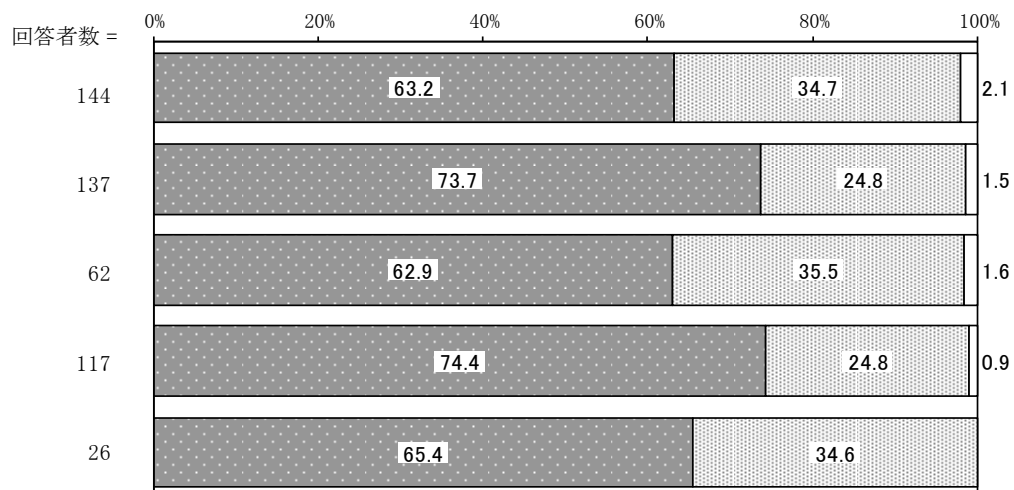
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、40歳代、50歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。

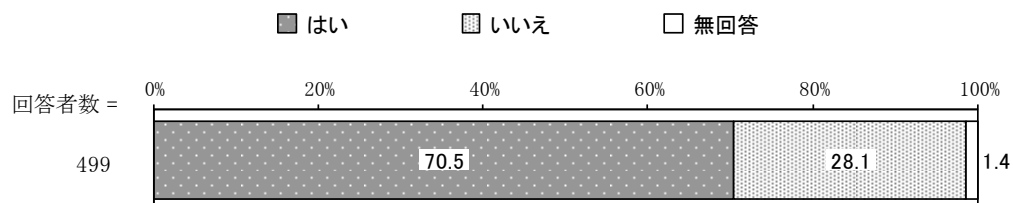


【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西、富岡で「はい」の割合が高くなっています。

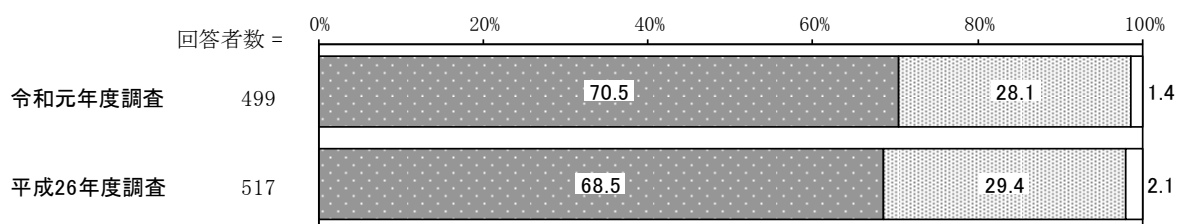


②味のついていないおかずに、しょう油・ソース・塩などをかけないようにしている
「はい」の割合が70.5%、「いいえ」の割合が28.1%となっています。



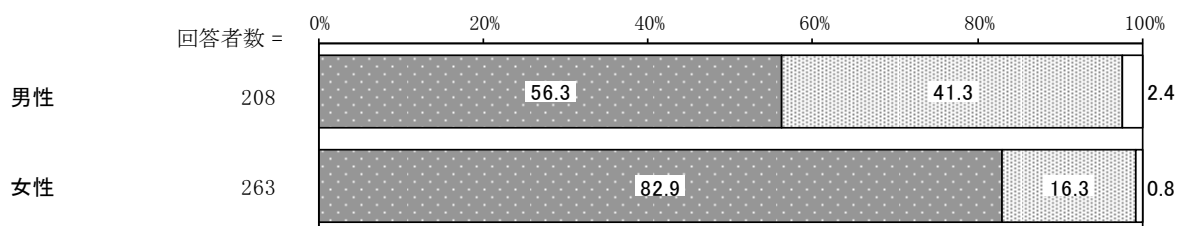
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



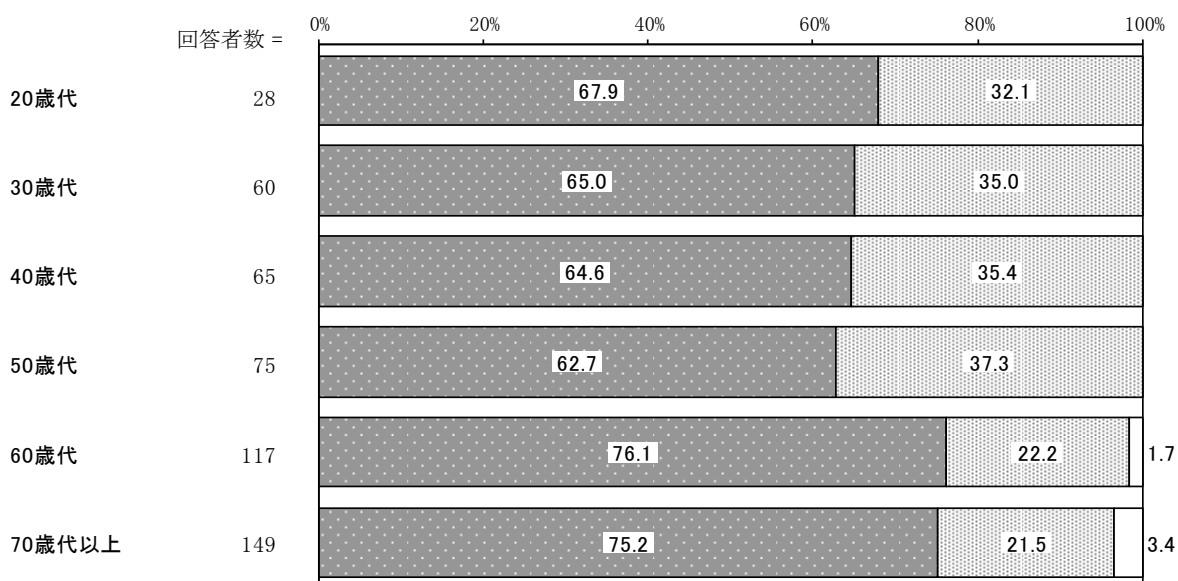
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



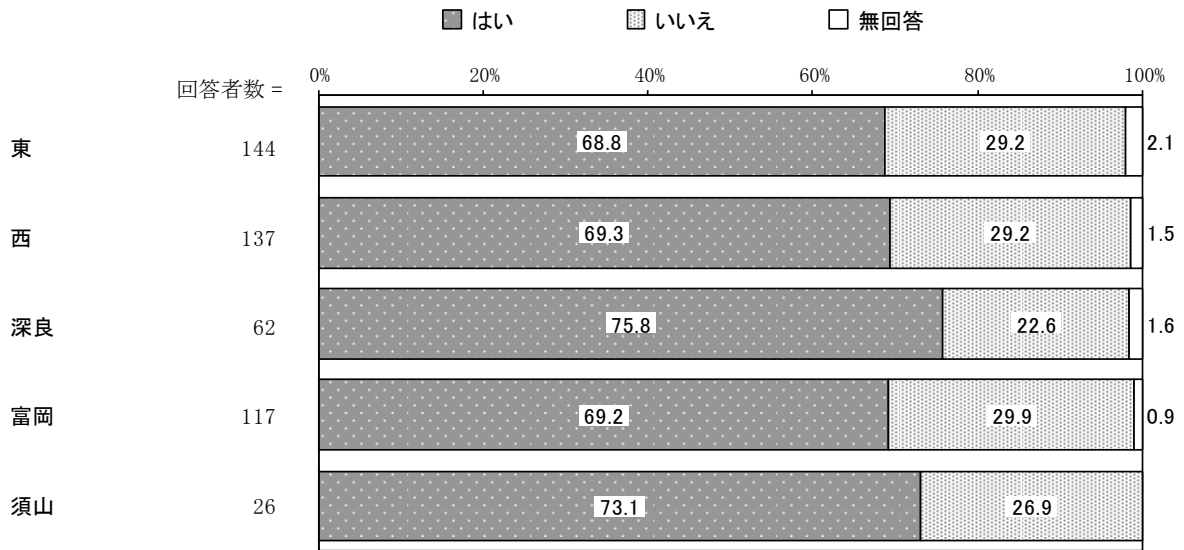
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。



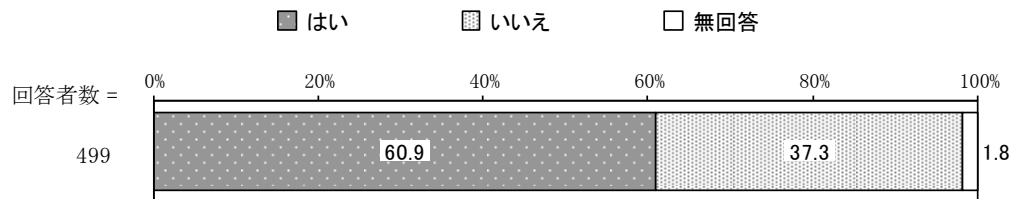
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、須山で「はい」の割合が高くなっています。



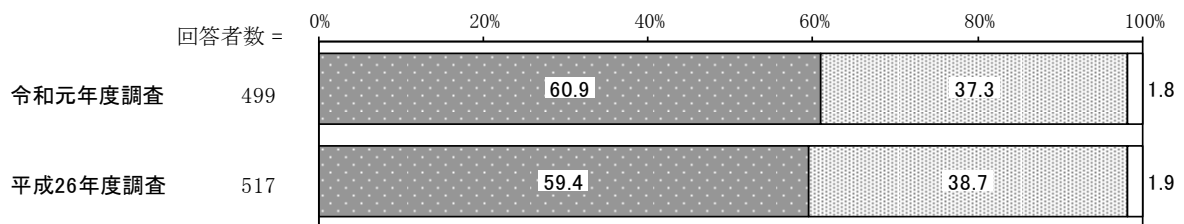
③料理のとき、薄味に調味している（してもらっている）

「はい」の割合が60.9%、「いいえ」の割合が37.3%となっています。



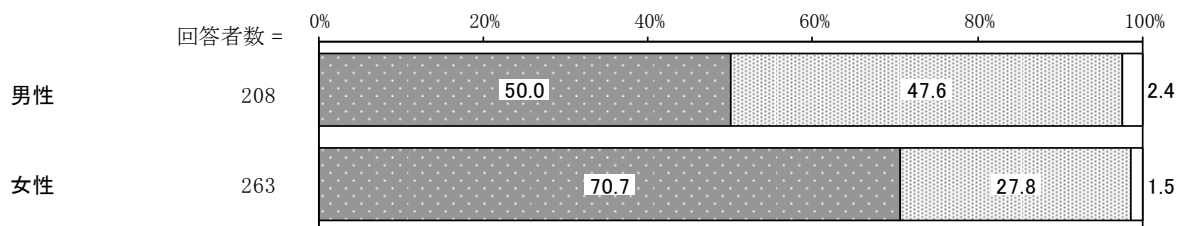
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



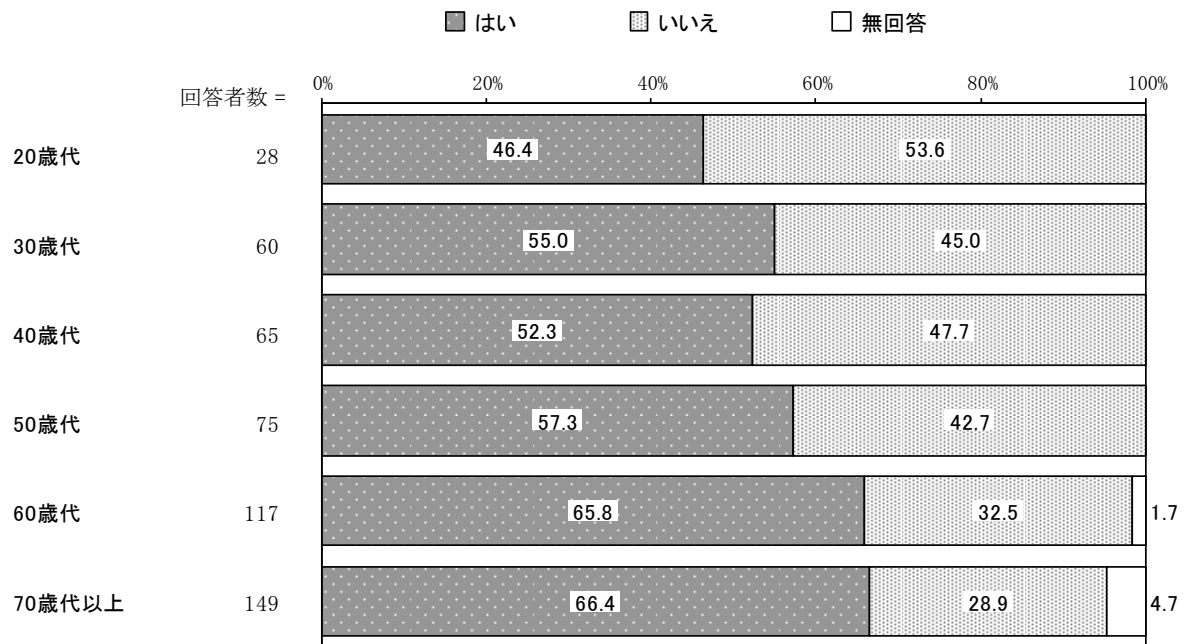
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



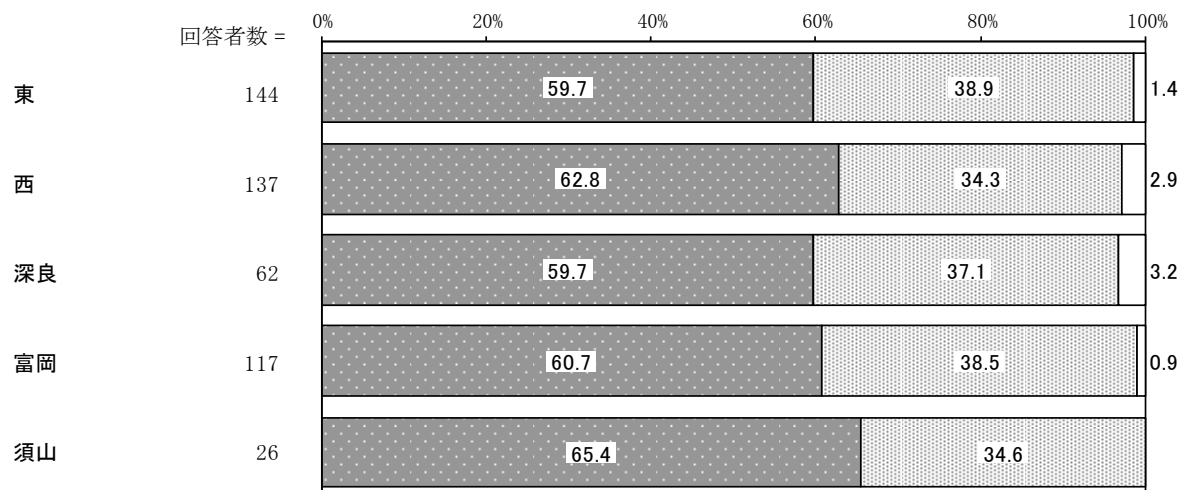
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



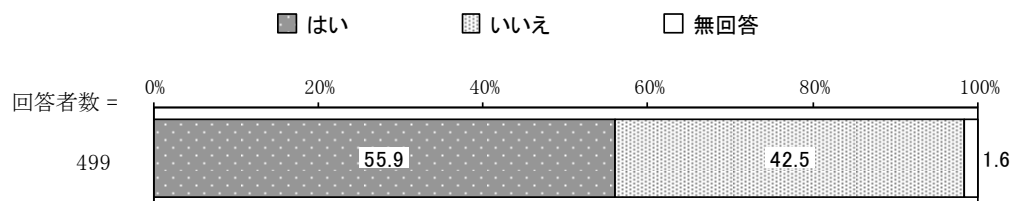
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。



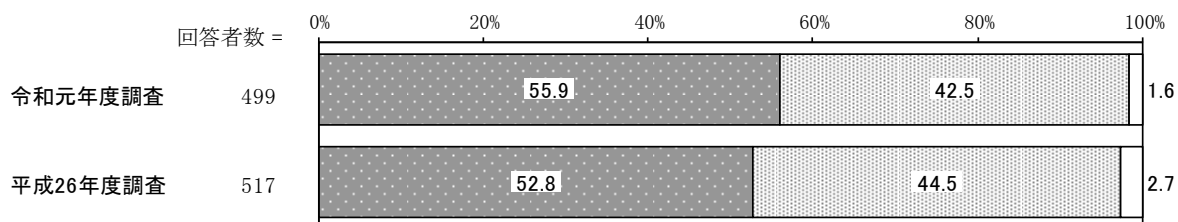
④生姜やこしょう、柚子、ハーブなどの香辛料をよく使う

「はい」の割合が55.9%、「いいえ」の割合が42.5%となっています。



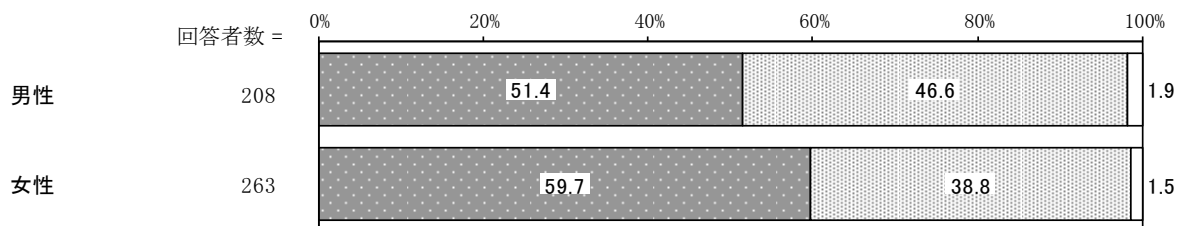
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



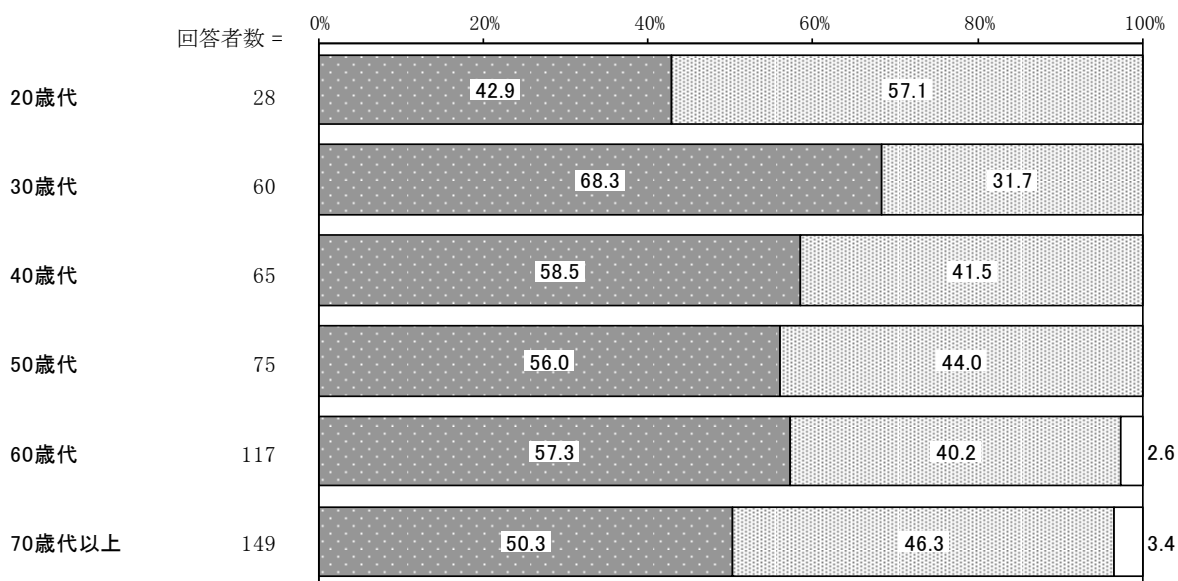
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



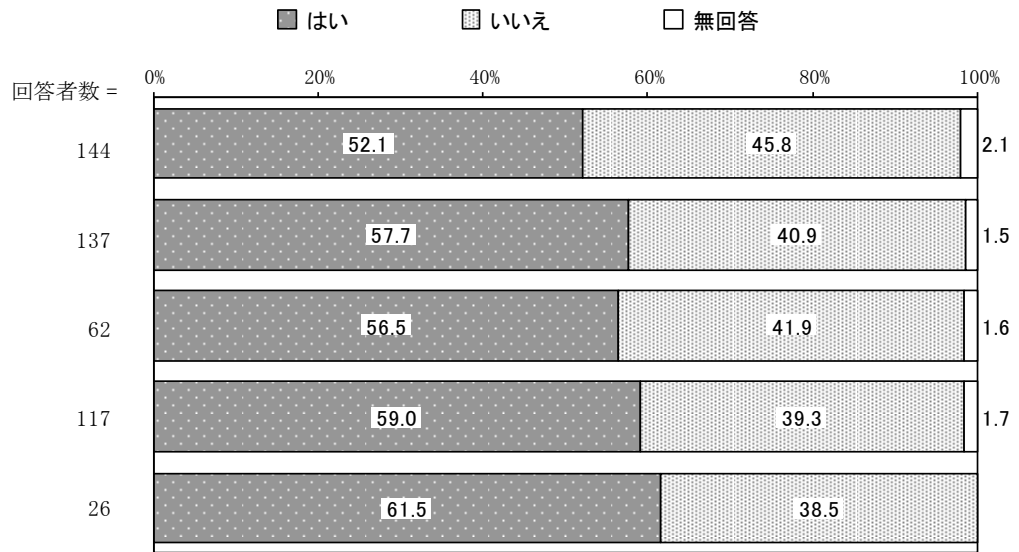
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代以上で年齢が高くなるにつれ「いいえ」の割合が高くなっています。



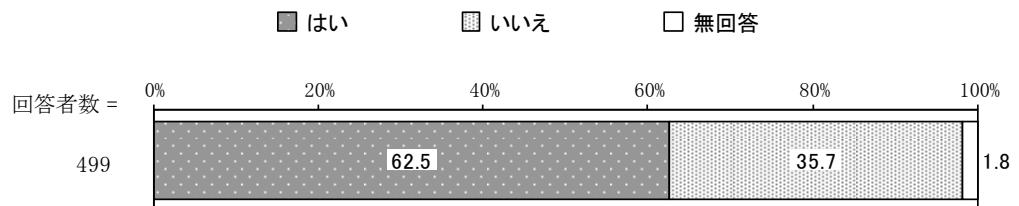
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「いいえ」の割合が高くなっています。



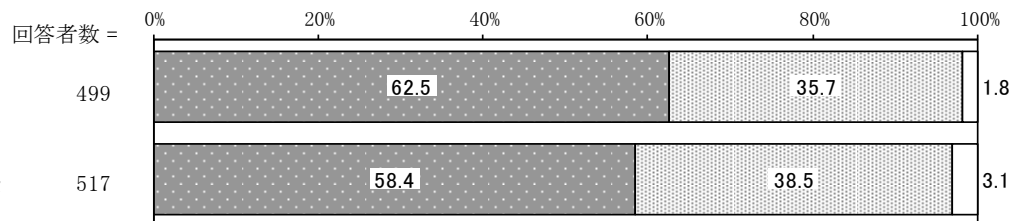
⑤干物やちりめんじゃこ、漬物などを取りすぎないようにしている

「はい」の割合が62.5%、「いいえ」の割合が35.7%となっています。



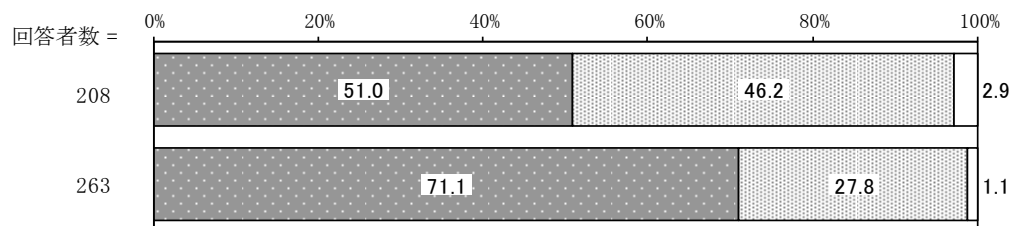
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



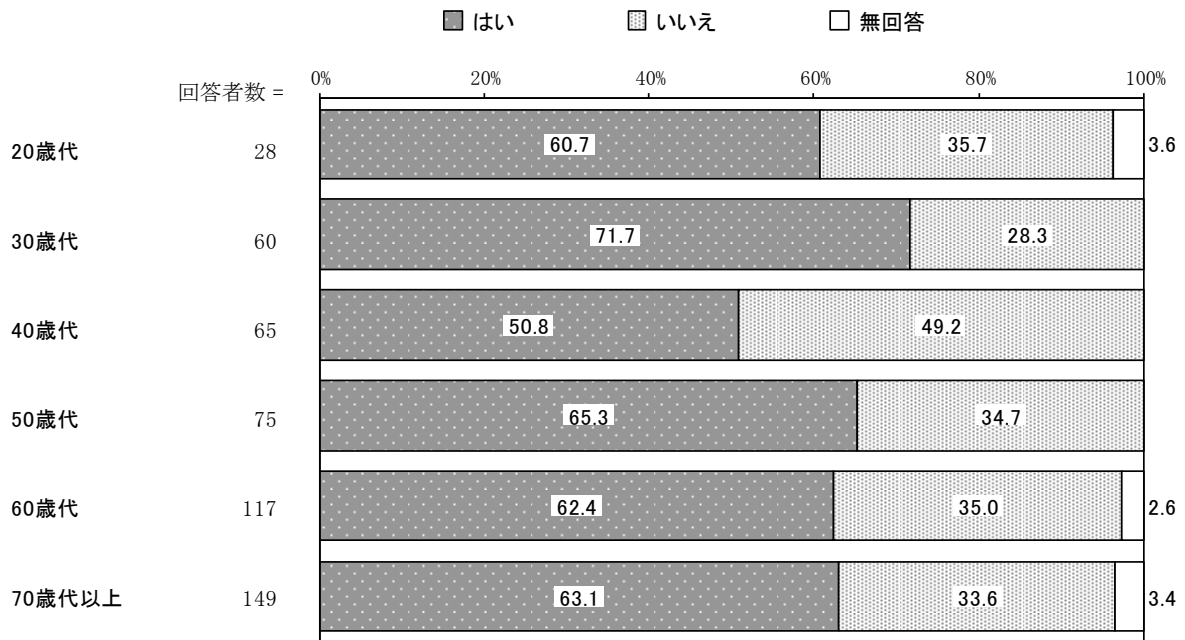
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



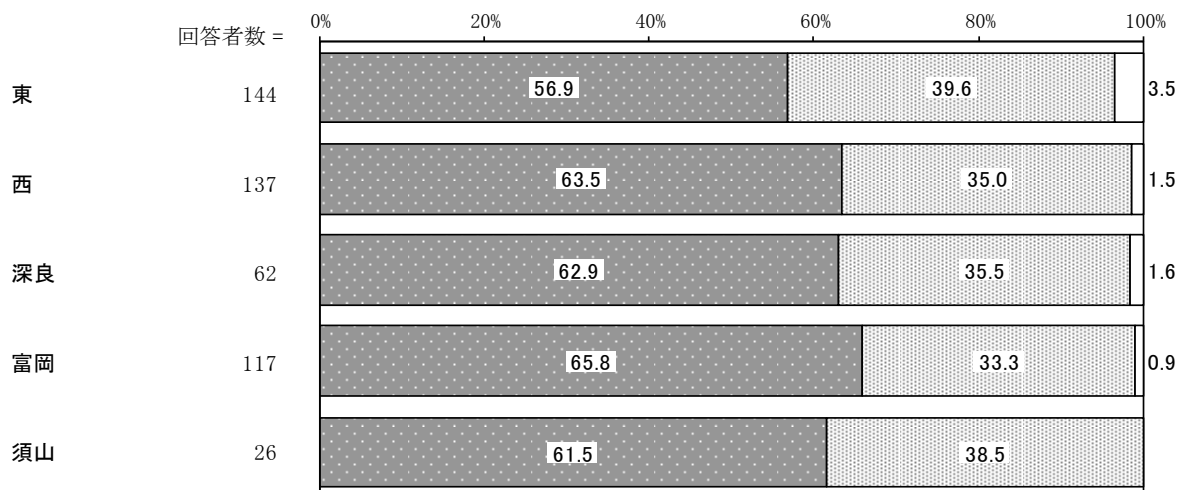
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。

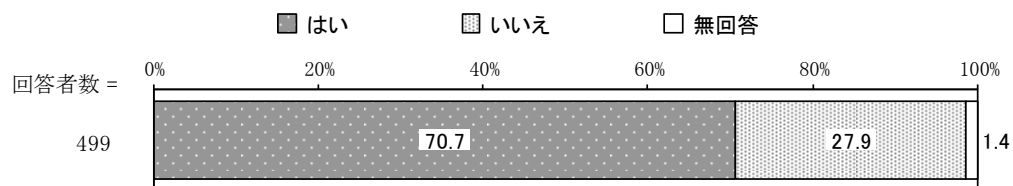


【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、須山で「いいえ」の割合が高くなっています。

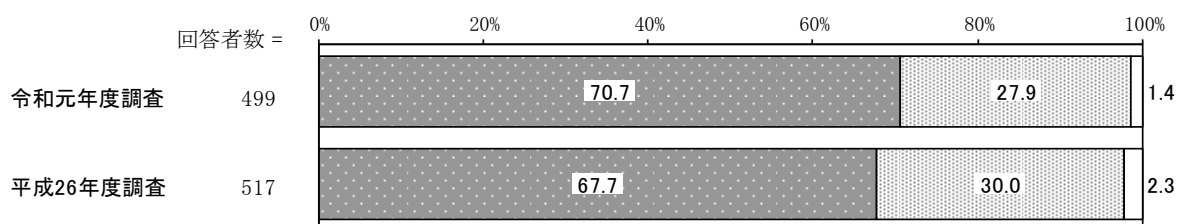


⑥加工食品、インスタント食品、味付けの濃い出来合いのお総菜などをとりすぎないようにしている「はい」の割合が70.7%、「いいえ」の割合が27.9%となっています。



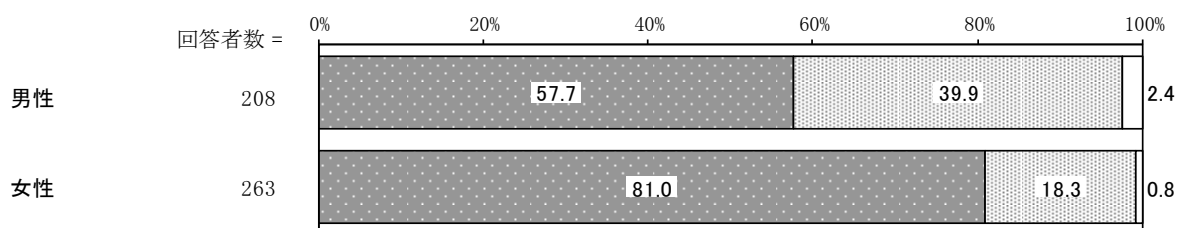
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



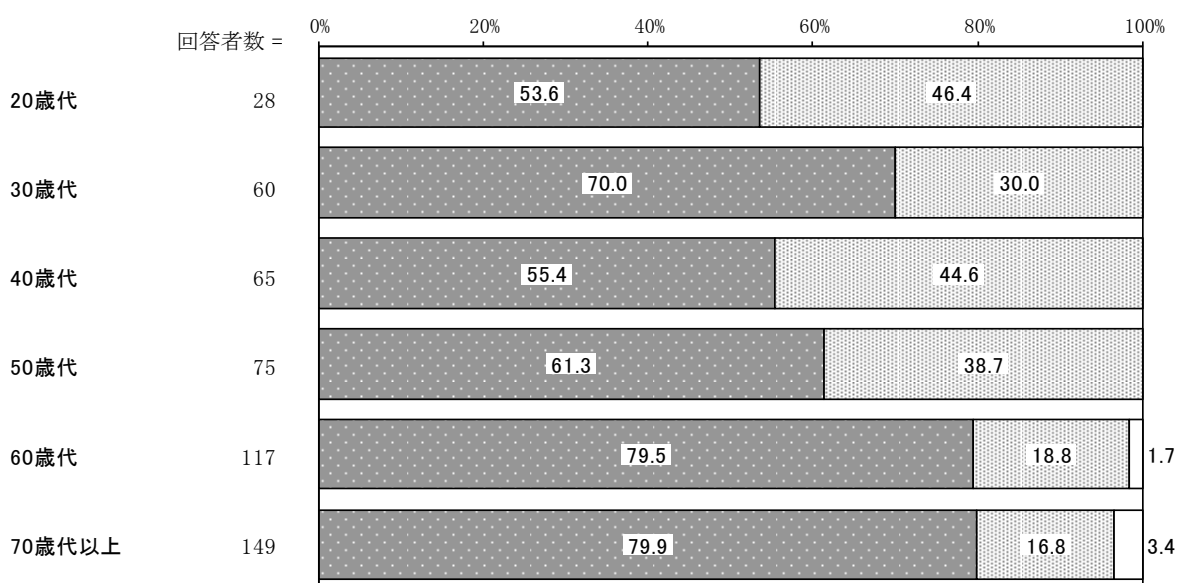
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



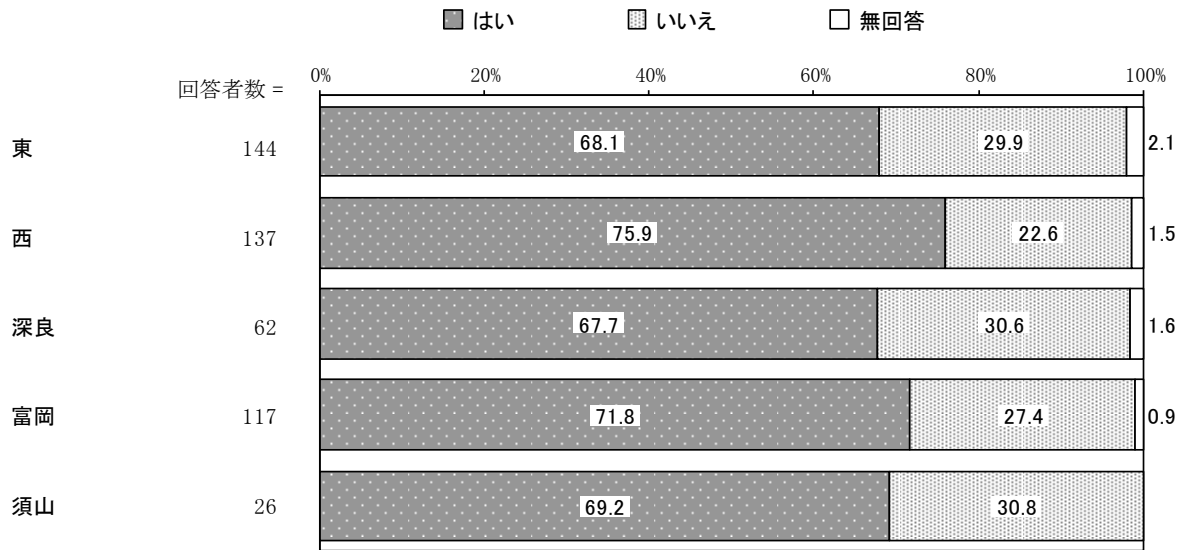
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



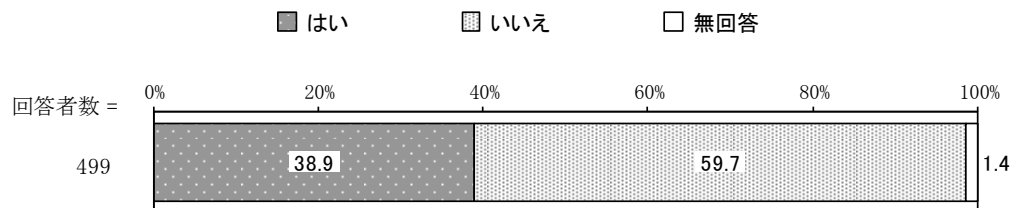
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「はい」の割合が高くなっています。



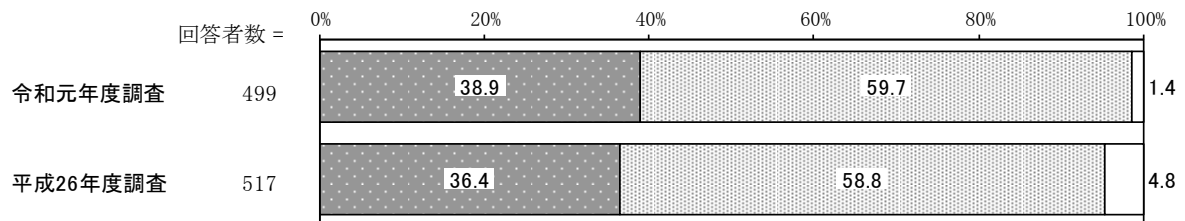
⑦天然のだしを使っている

「はい」の割合が 38.9%、「いいえ」の割合が 59.7%となっています。



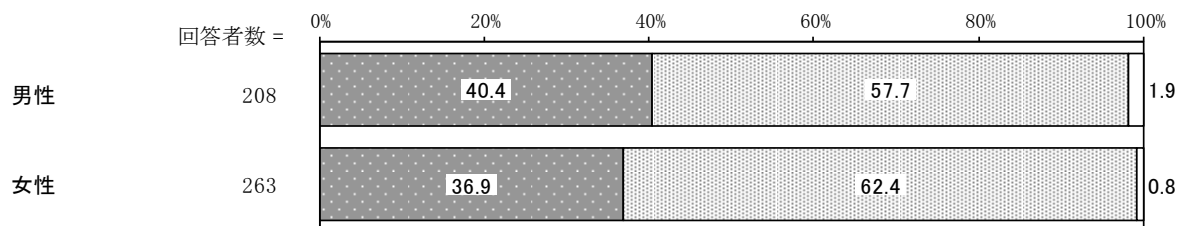
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



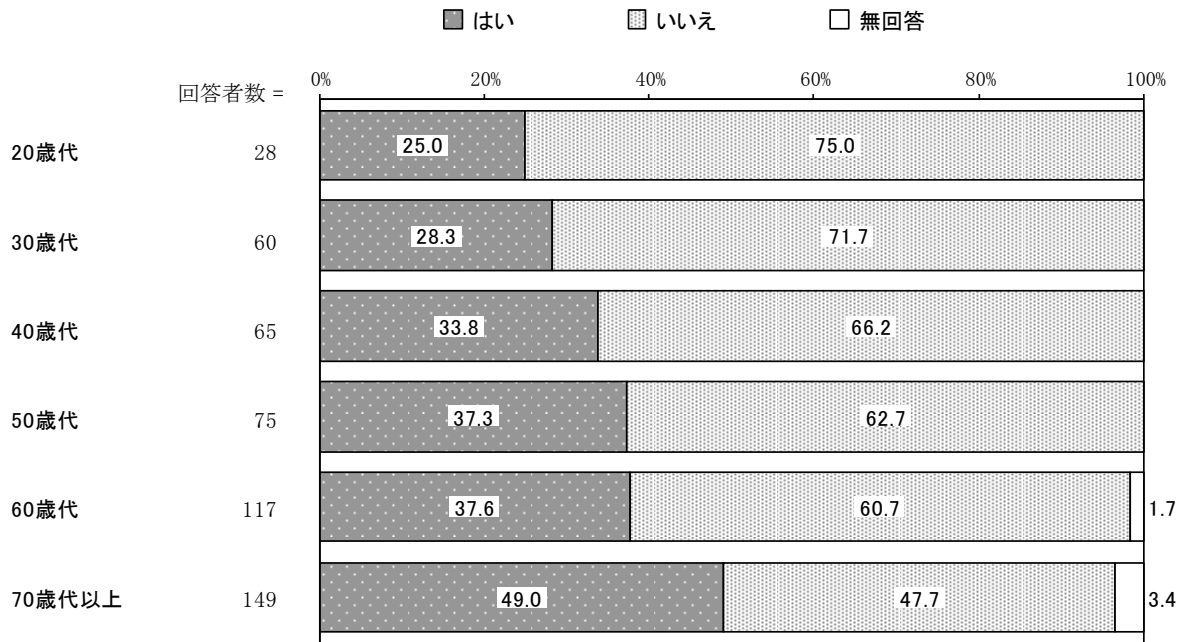
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



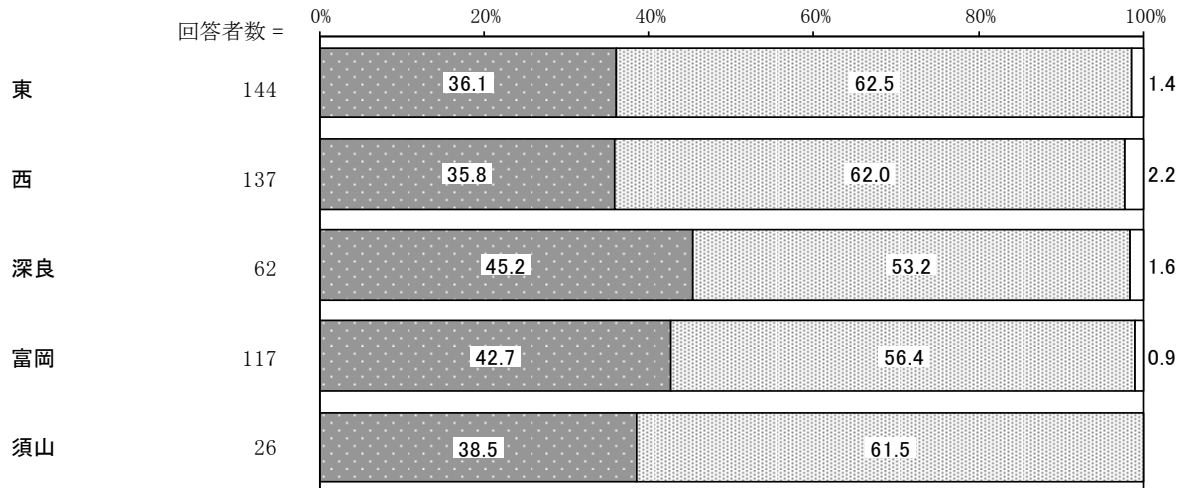
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



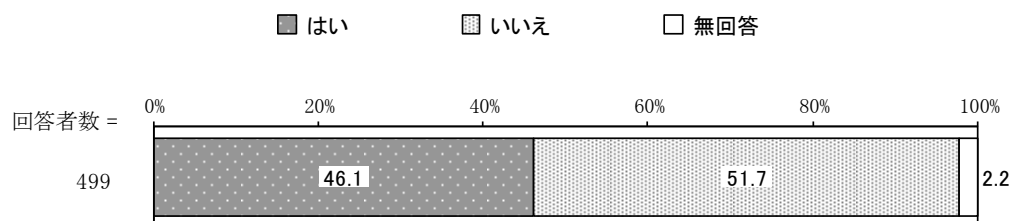
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡で「はい」の割合が高くなっています。



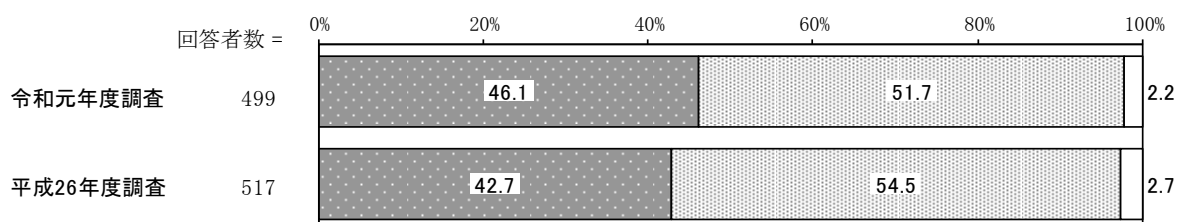
⑧調味料（しょう油や味噌、マヨネーズなど）や食品（ハムや漬物など）を購入する際に、塩分が
少ないものを選んで購入している

「はい」の割合が46.1%、「いいえ」の割合が51.7%となっています。



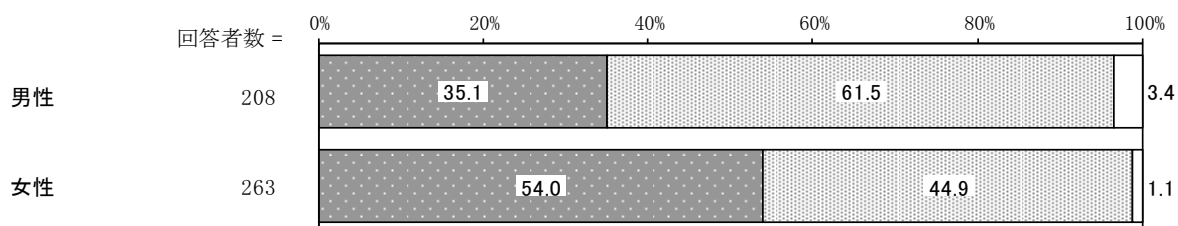
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



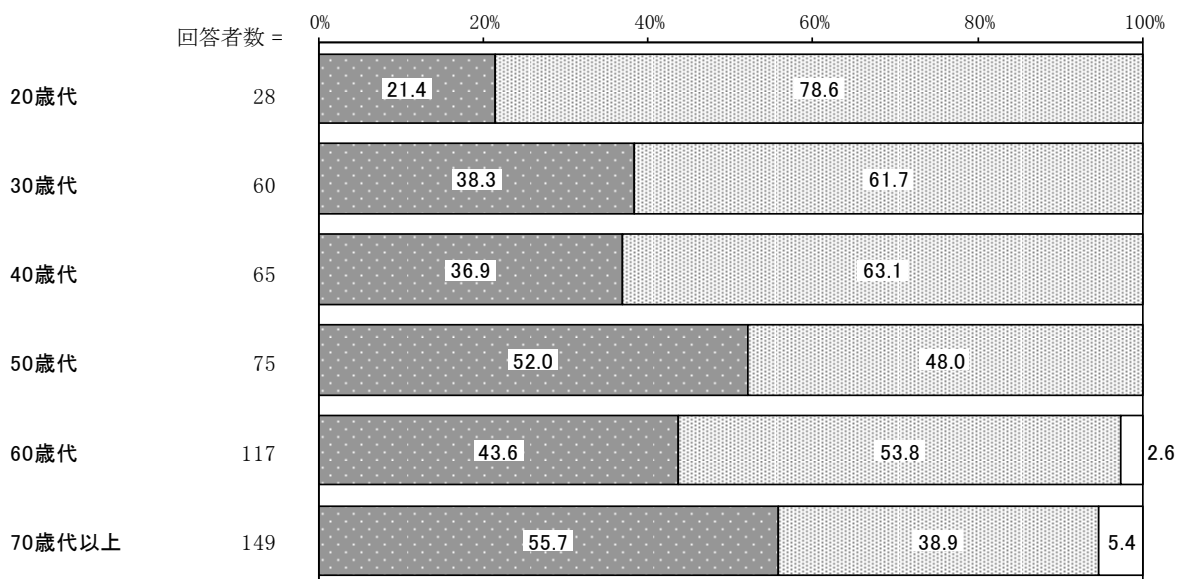
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



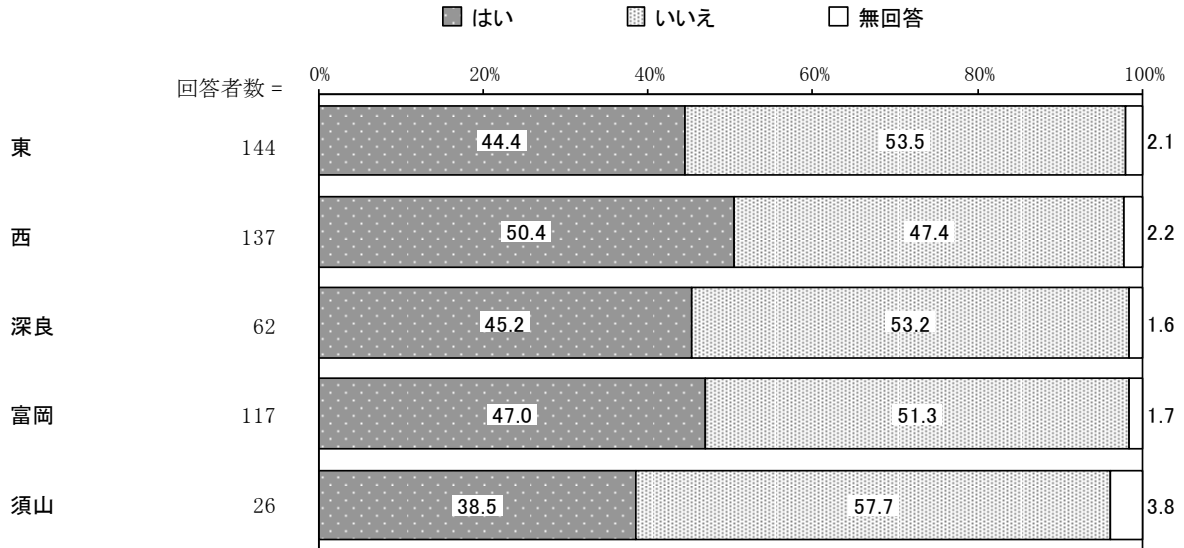
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



【地区別】

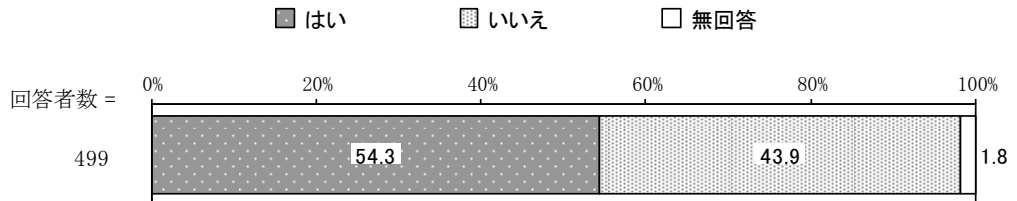
地区別でみると、他の地区に比べ、西で「はい」の割合が高くなっています。また、須山で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 16 普段の食事で脂質をとりすぎないようにどのようなことに気をつけて食べていますか。(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

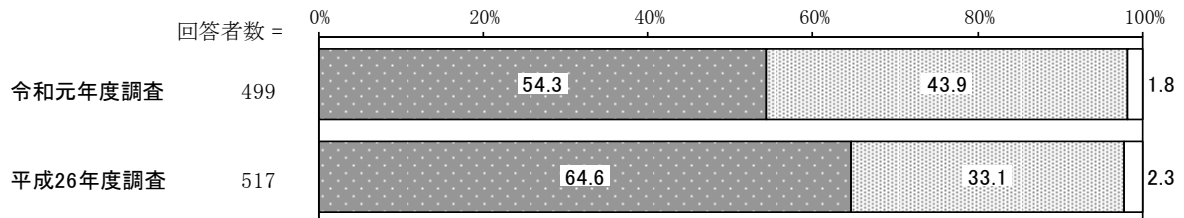
①肉の脂身をあまり食べないようにしている

「はい」の割合が 54.3%、「いいえ」の割合が 43.9%となっています。



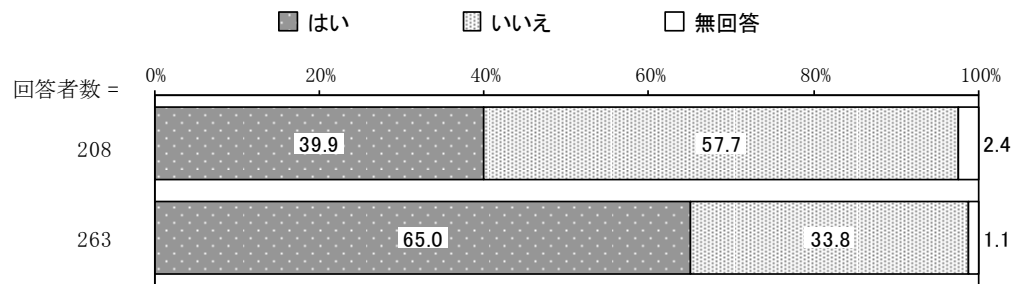
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「はい」が 10.3 ポイント減少し、「いいえ」が 10.8 ポイント増加しています。



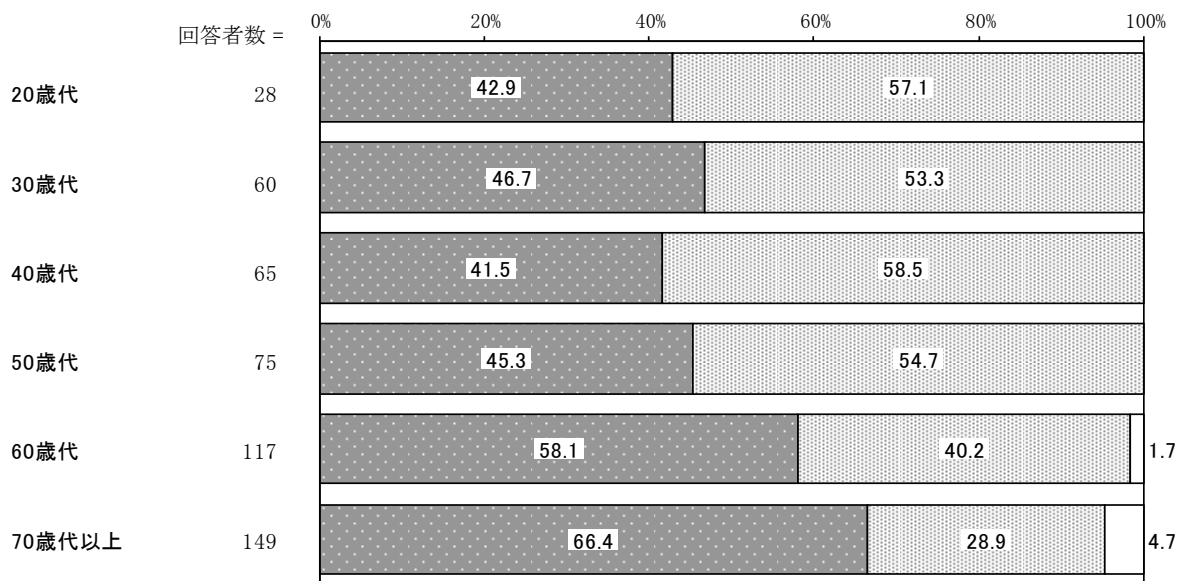
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



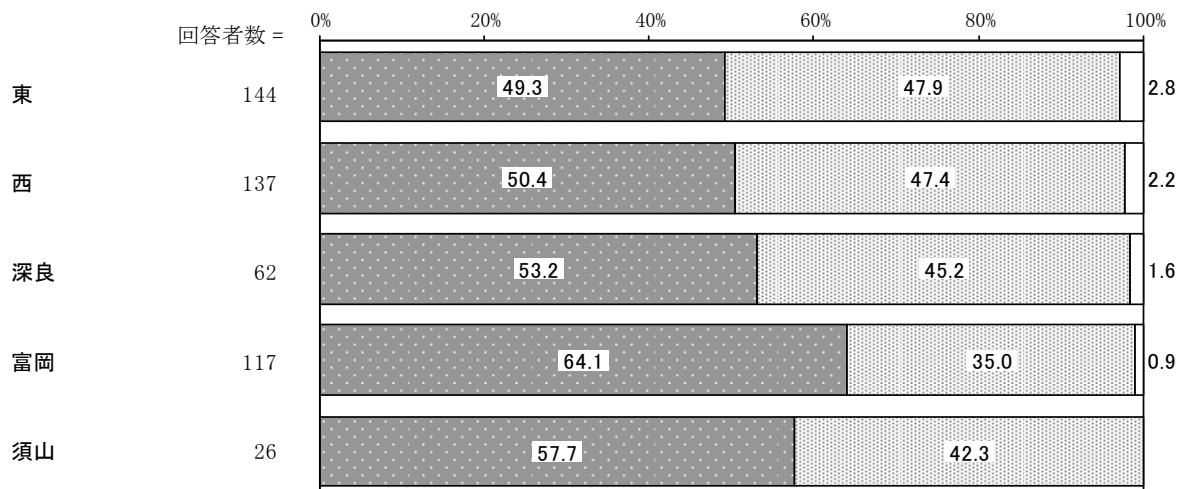
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

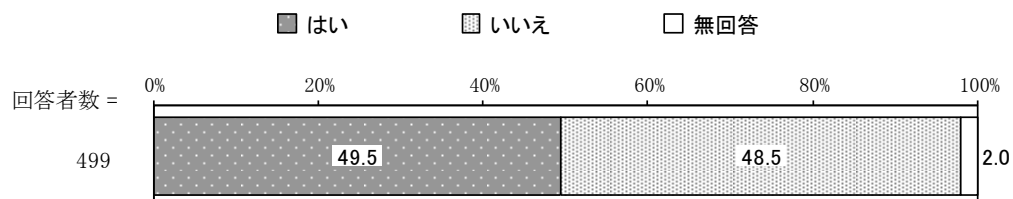


【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「はい」の割合が高くなっています。

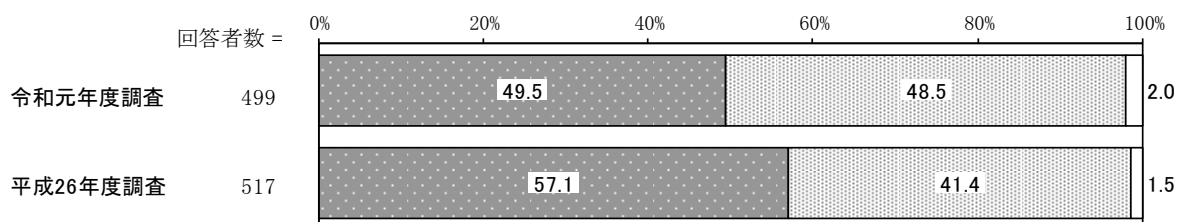


②ケーキ、チョコレート、アイスクリーム、スナック菓子など脂肪が多い菓子類は控えている
「はい」の割合が49.5%、「いいえ」の割合が48.5%となっています。



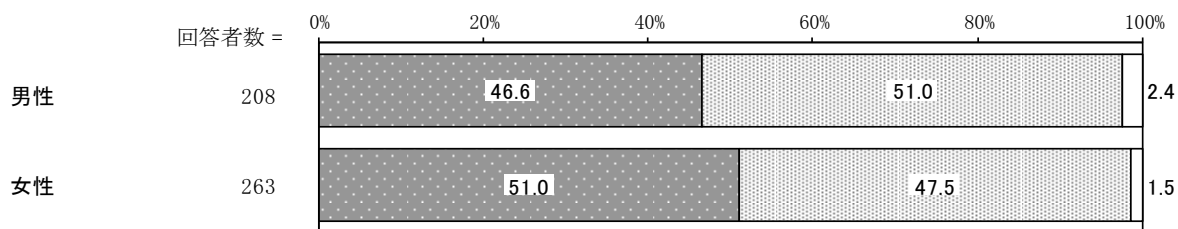
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「はい」が7.6ポイント減少し、「いいえ」が7.1ポイント増加しています。



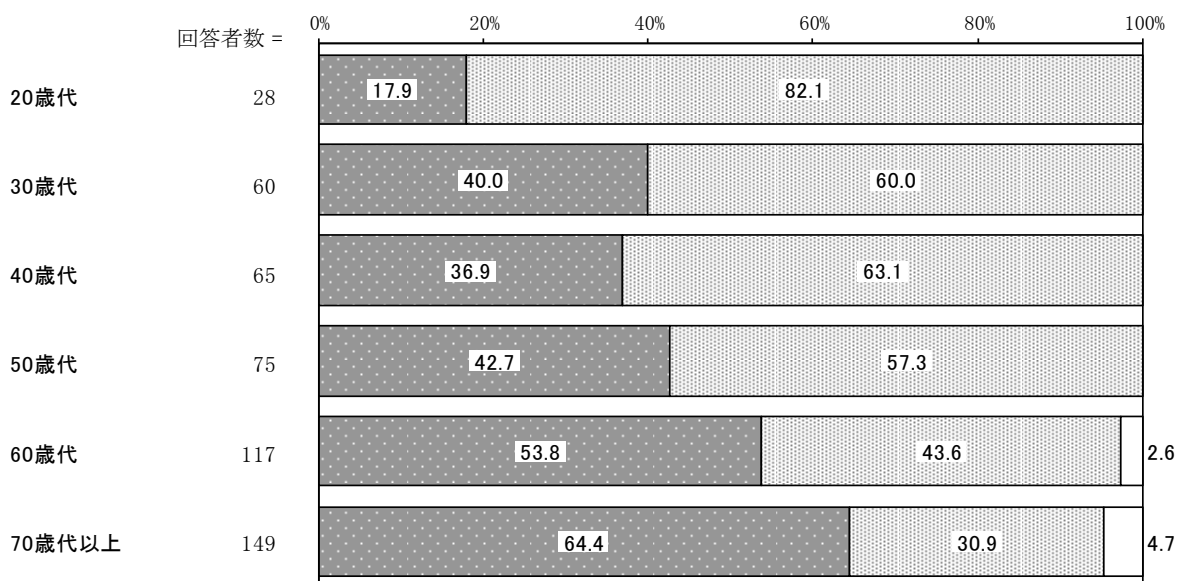
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



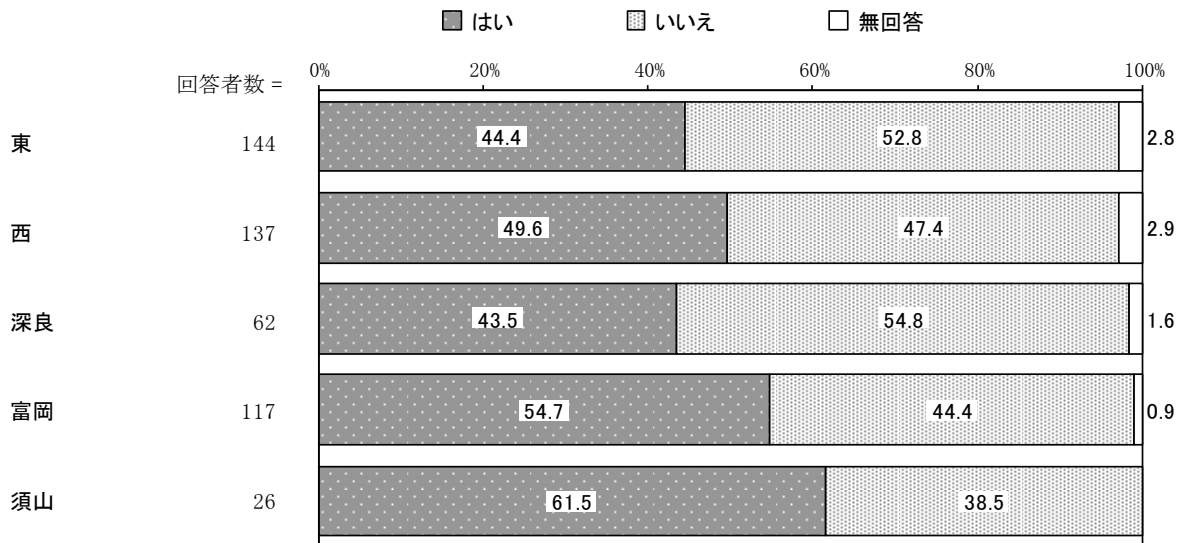
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。



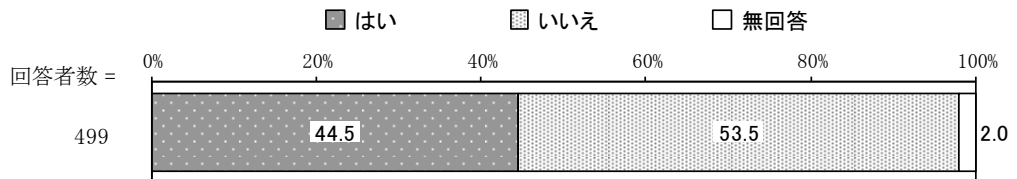
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。また、東、深良で「いいえ」の割合が高くなっています。



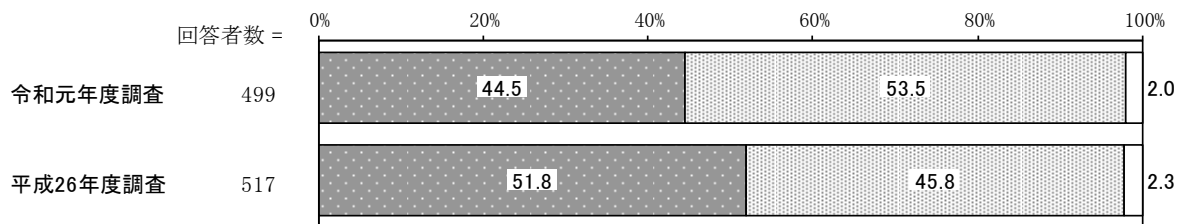
③バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシングをあまり使わないようにしている

「はい」の割合が44.5%、「いいえ」の割合が53.5%となっています。



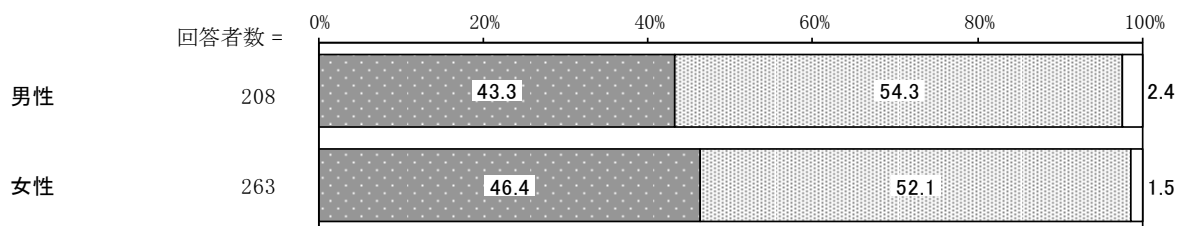
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「はい」が7.3ポイント減少し、「いいえ」が7.7ポイント増加しています。



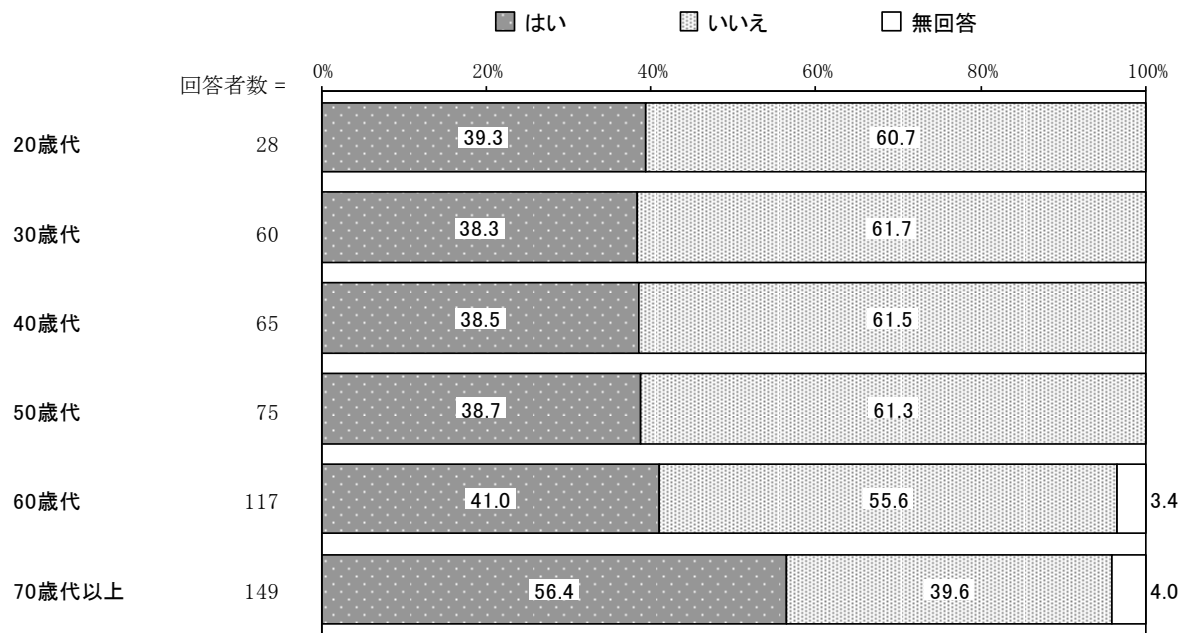
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



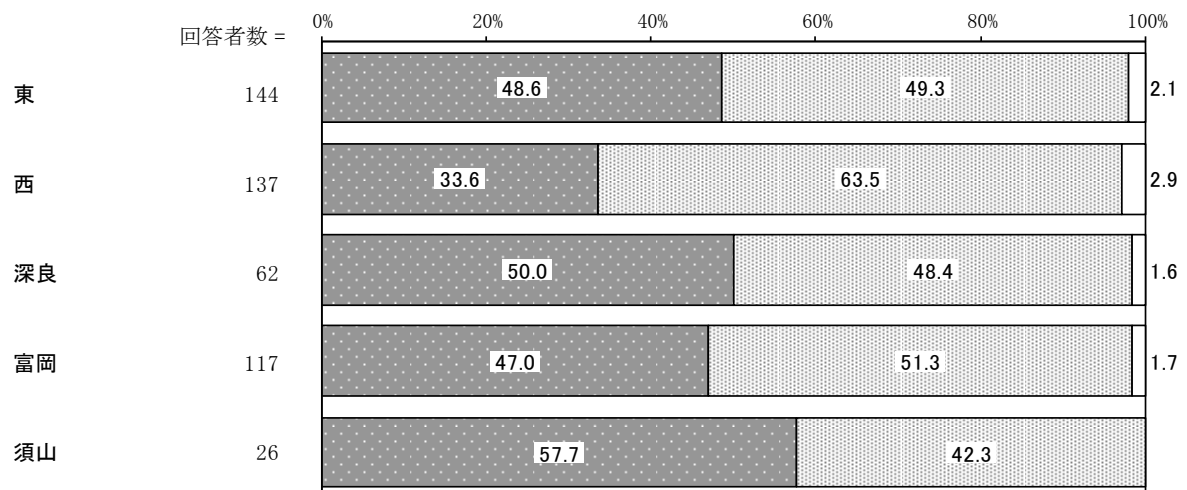
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。



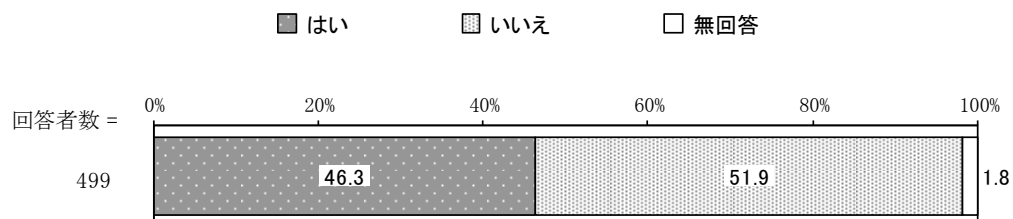
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。また、西で「いいえ」の割合が高くなっています。



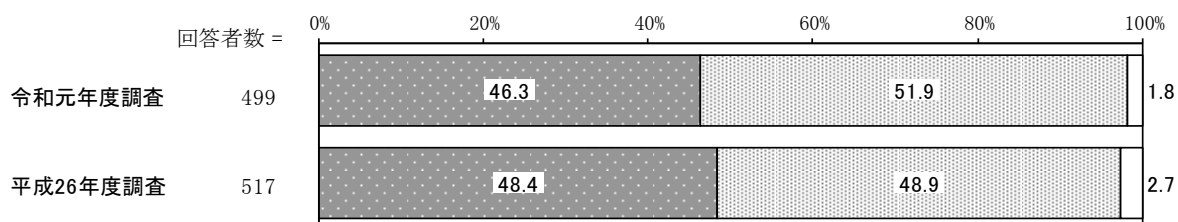
④炒め物や揚げ物など、油を多く使った料理を控えている

「はい」の割合が46.3%、「いいえ」の割合が51.9%となっています。



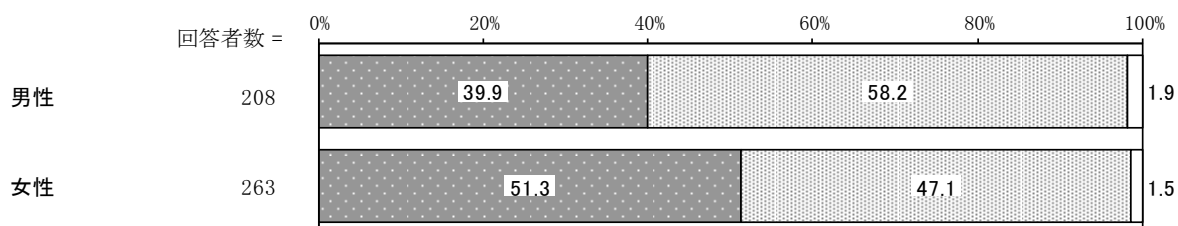
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



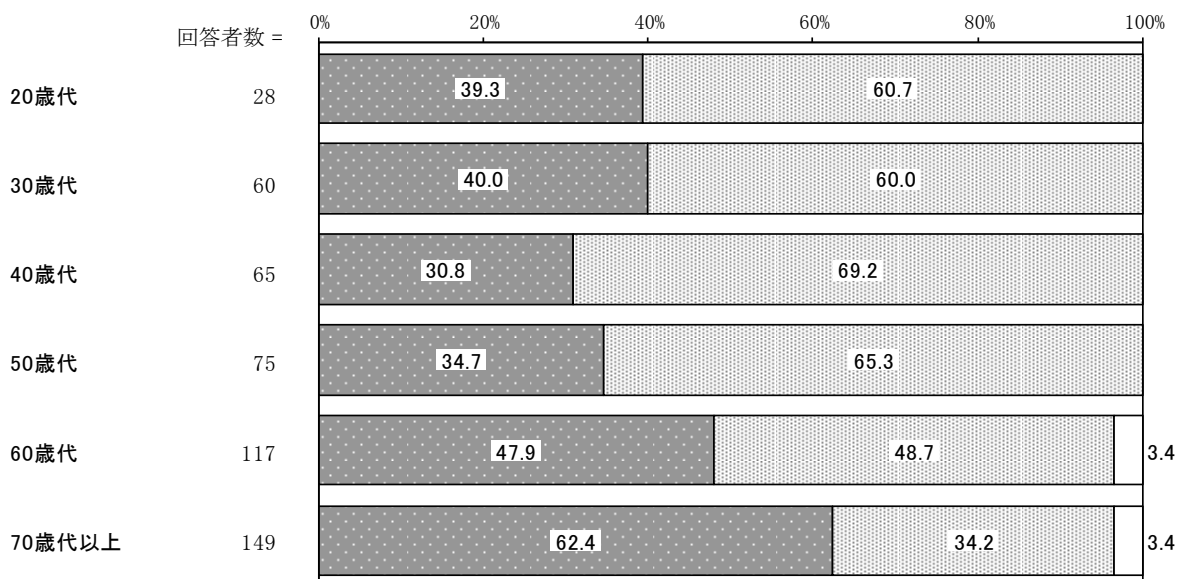
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



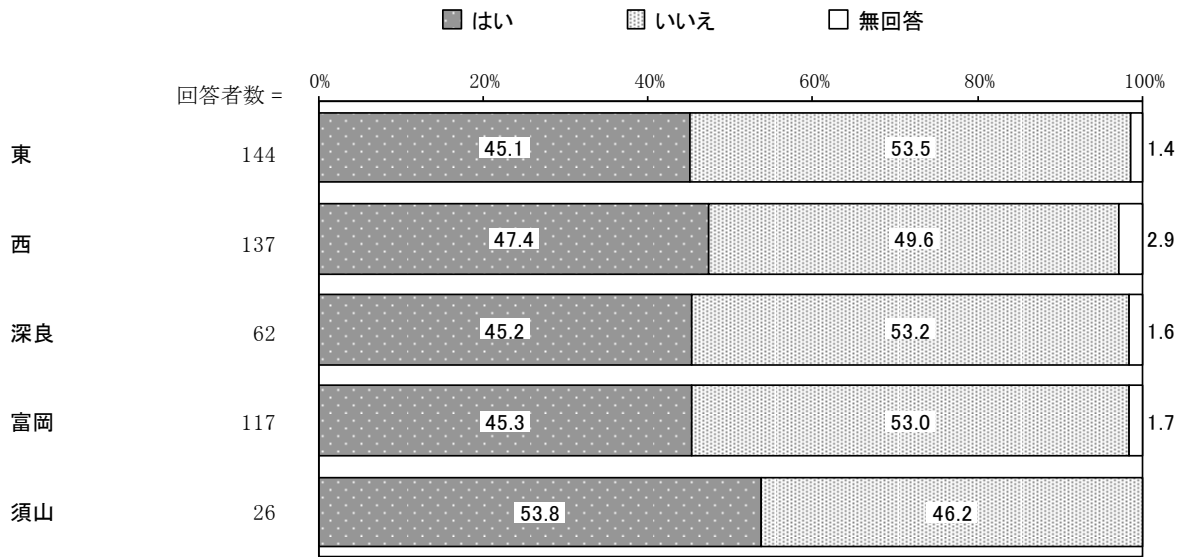
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、40歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



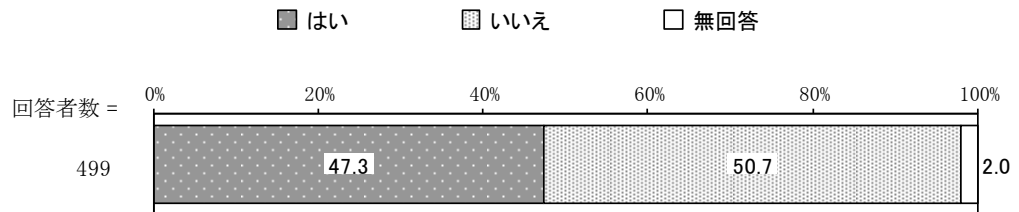
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。



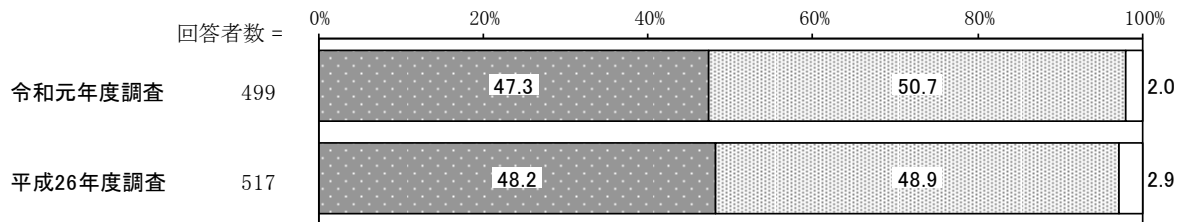
⑤調味料（調理油やマヨネーズ、バターなど）や食品（惣菜など）を購入する際に、脂質やコレステロールが少ないものを選んで購入している

「はい」の割合が47.3%、「いいえ」の割合が50.7%となっています。



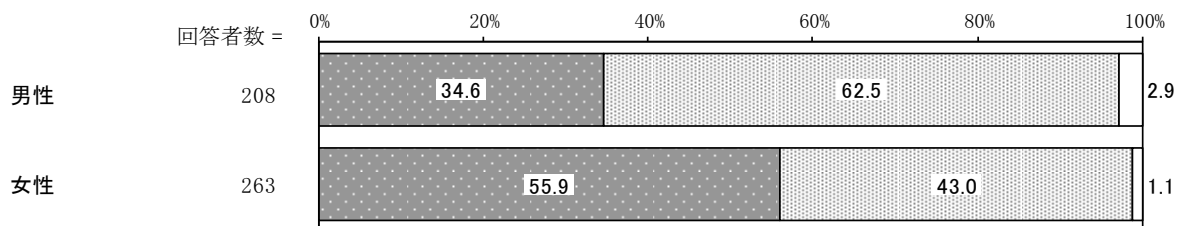
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



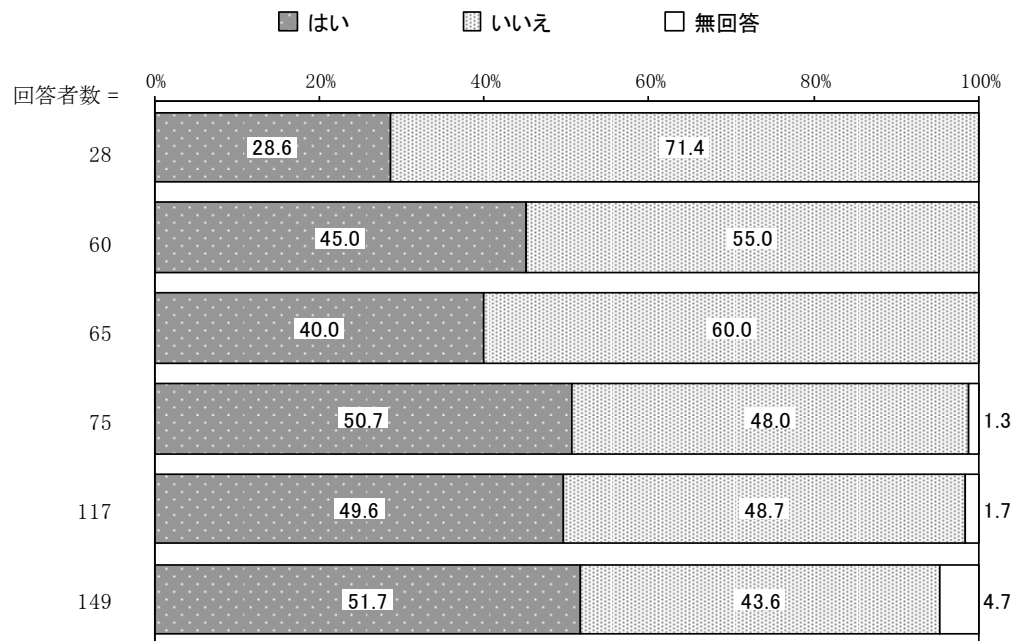
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



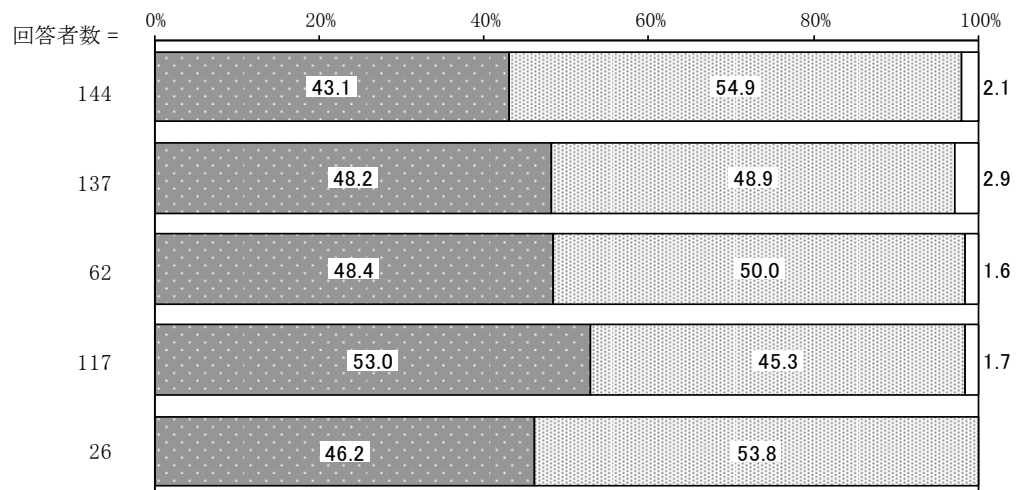
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



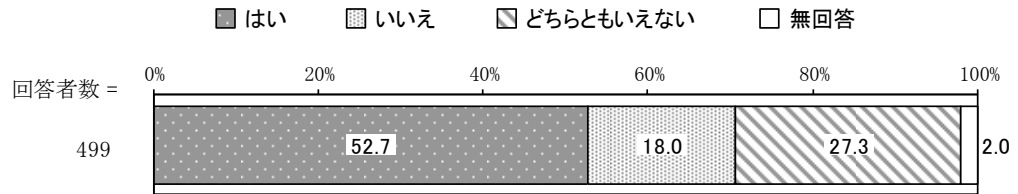
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「はい」の割合が高くなっています。



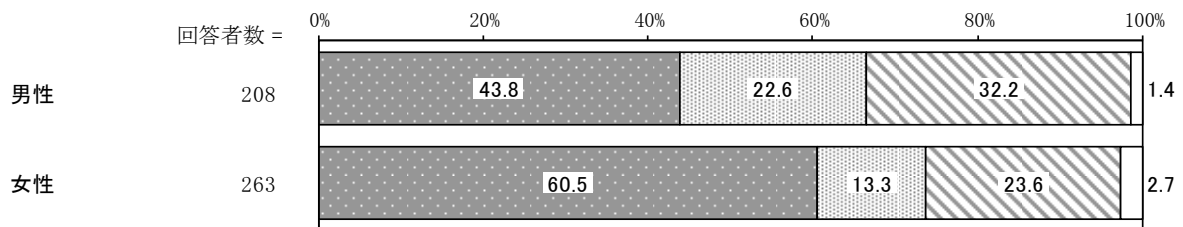
問 17 副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などをつかった料理のこと）を毎食 1 皿以上食べていますか。（○は1つ）

「はい」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 27.3%、「いいえ」の割合が 18.0%となっています。



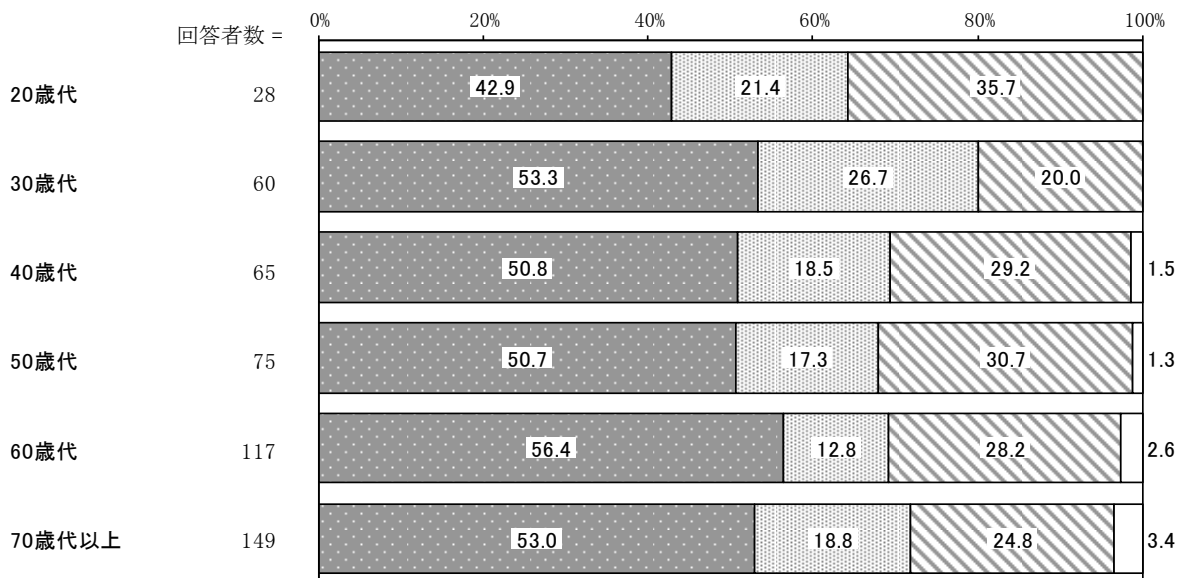
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



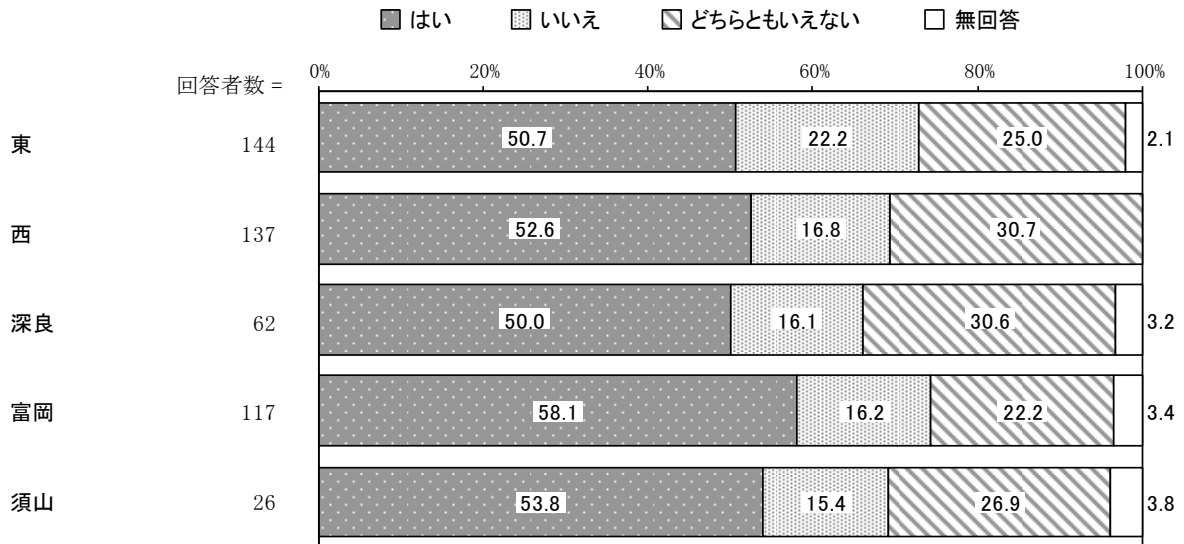
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



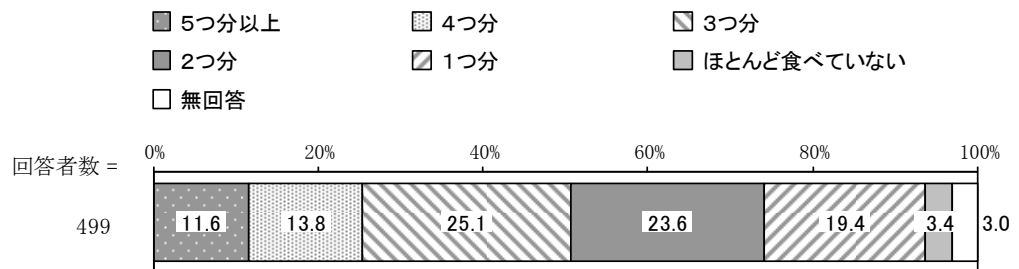
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「はい」の割合が高くなっています。また、東で「いいえ」の割合が高くなっています。



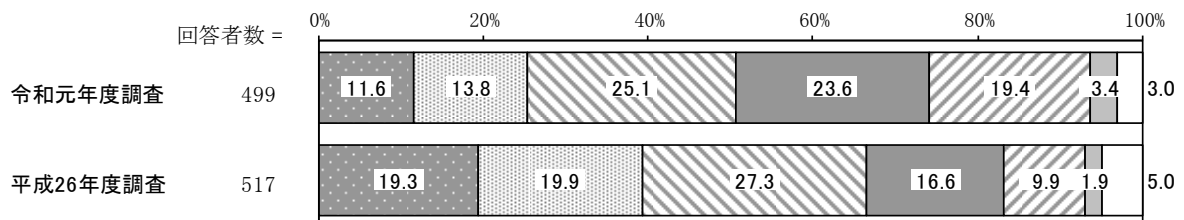
問 18 副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などをつかった料理のこと）を朝・昼・夕の食事の合計で1日にどのくらい食べていますか。下記の料理例を参考にしてください。（〇は1つ）

「3つ分」の割合が25.1%と最も高く、次いで「2つ分」の割合が23.6%、「1つ分」の割合が19.4%となっています。



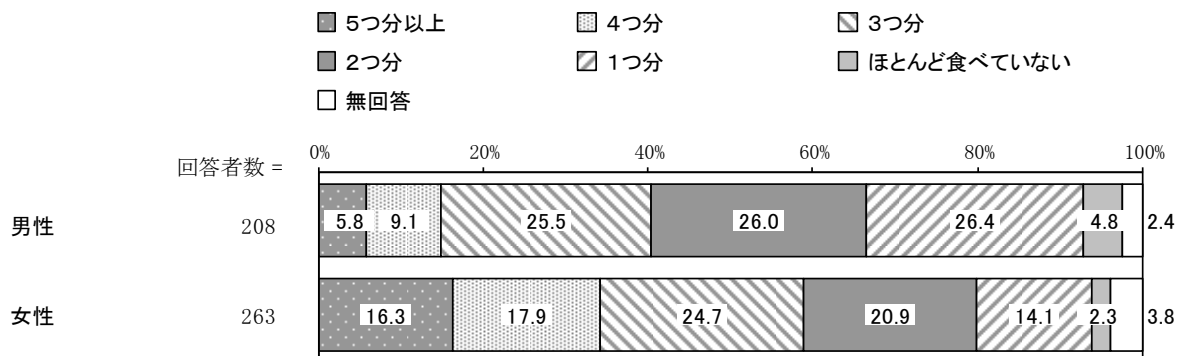
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「5つ分以上」が7.7ポイント、「4つ分」が6.1ポイント減少し、「2つ分」が7.0ポイント、「1つ分」が9.5ポイント増加しています。



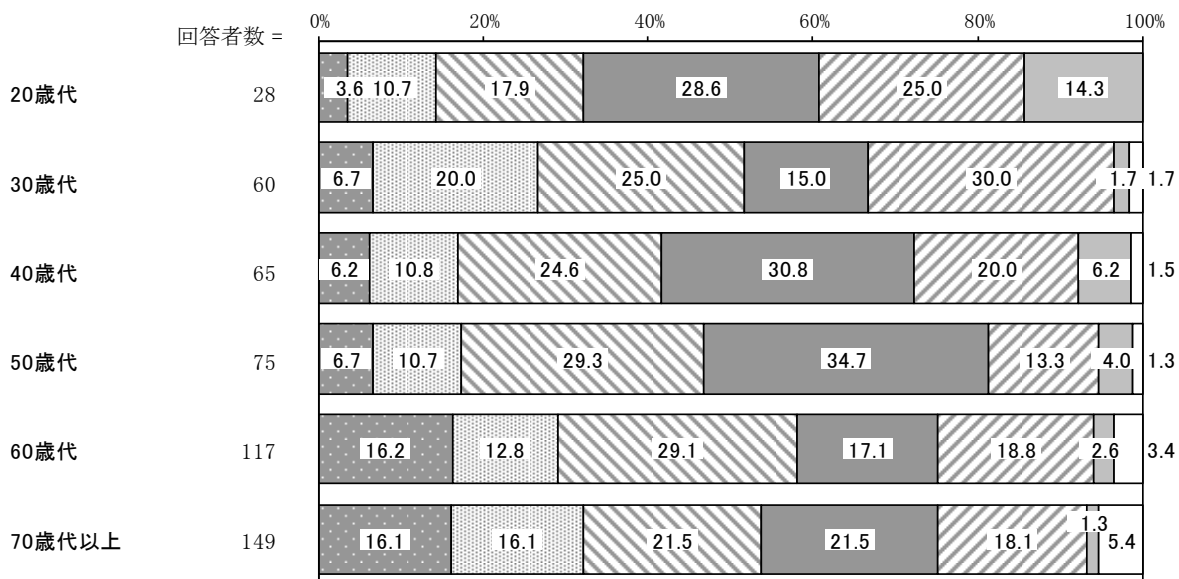
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「2つ分」「1つ分」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「5つ分以上」「4つ分」の割合が高くなっています。



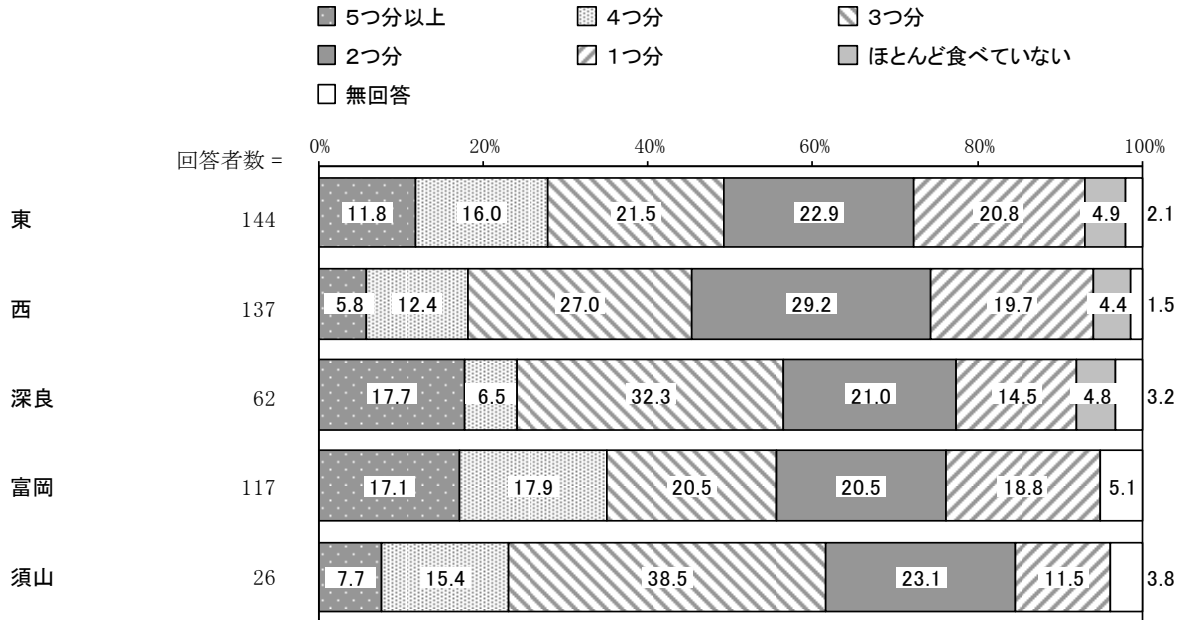
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳代以上で「5つ分以上」の割合が高くなっています。また、50歳代で「2つ分」の割合が、30歳代で「1つ分」の割合が、20歳代で「ほとんど食べていない」の割合が高くなっています。



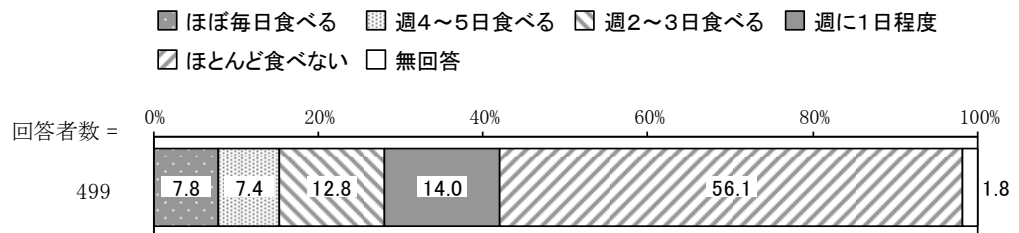
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡で「5つ分以上」の割合が高くなっています。また、須山で「3つ分」の割合が高くなっています。



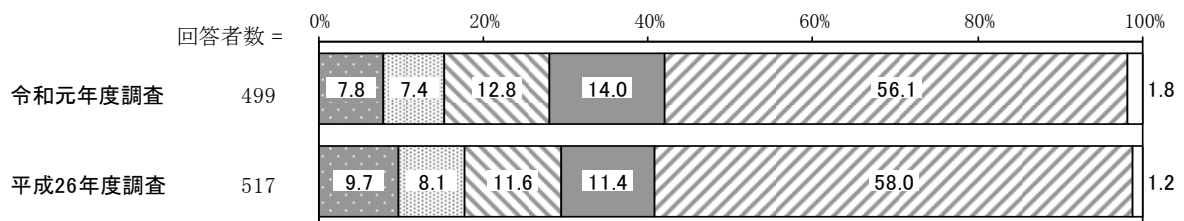
問 19 20時以降に夕食や夜食をとることがありますか。(○は1つ)

「ほとんど食べない」の割合が56.1%と最も高く、次いで「週に1日程度」の割合が14.0%、「週2～3日食べる」の割合が12.8%となっています。



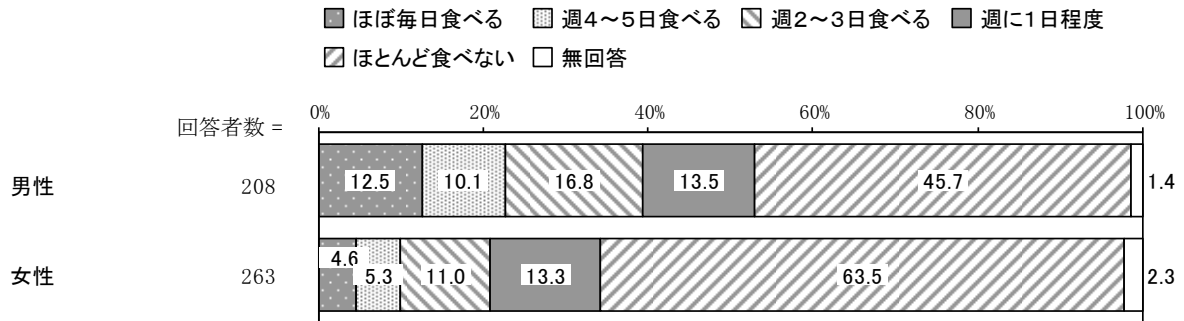
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



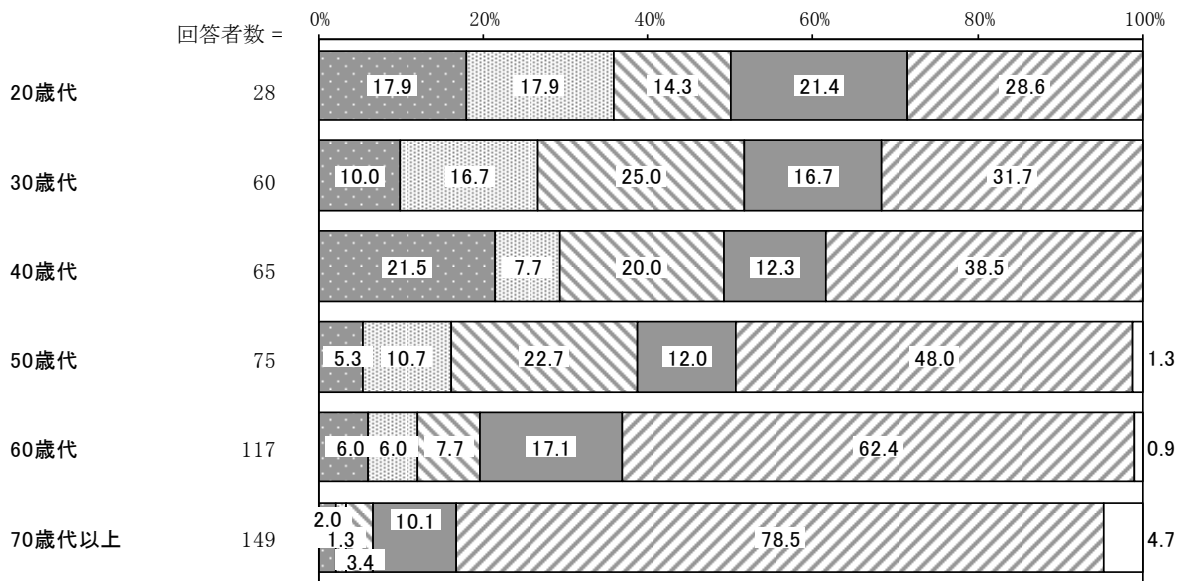
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日食べる」「週2～3日食べる」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。



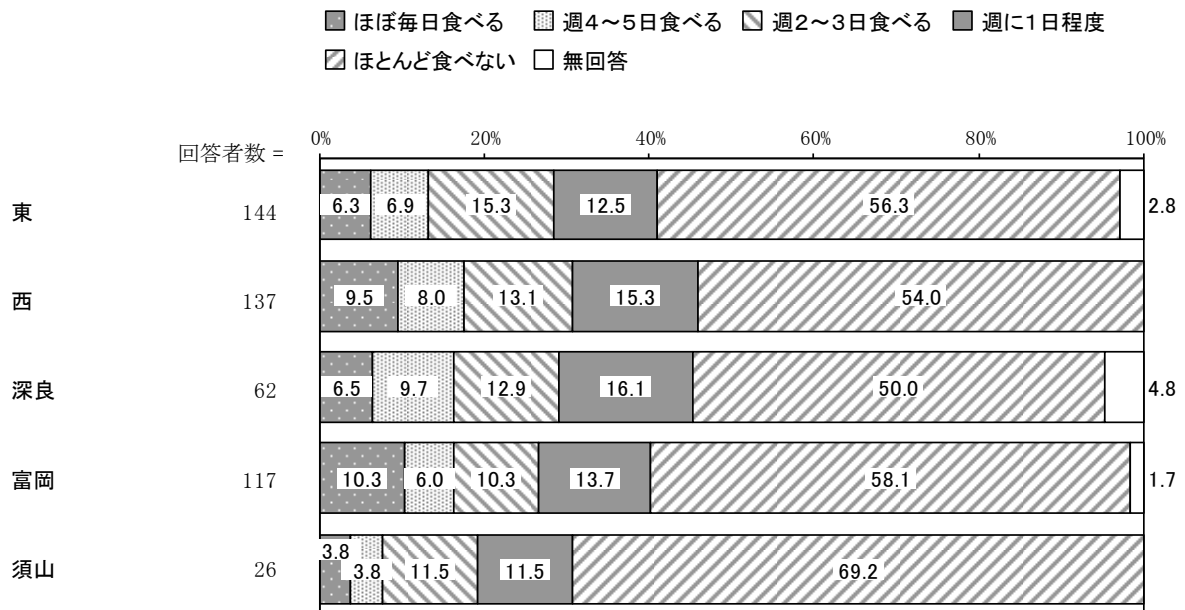
【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、20歳代、40歳代で「ほぼ毎日食べる」の割合が、30歳代で「週2～3日食べる」の割合が高くなっています。



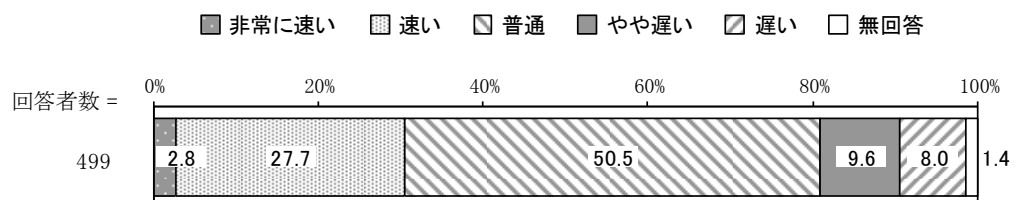
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「ほとんど食べない」の割合が高くなっています。



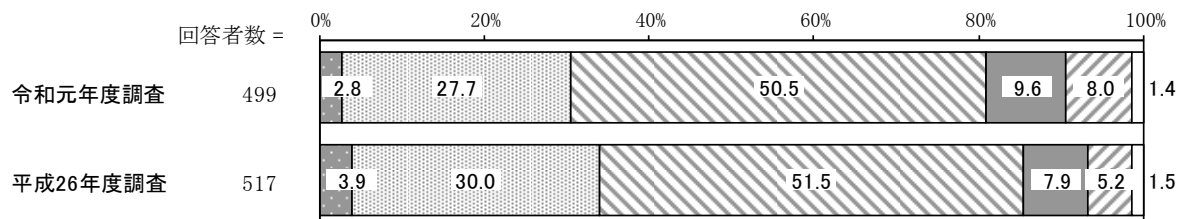
問 20 普段食事をとるときの食べる速さは、他の方と比べていかがですか。 (○は1つ)

「非常に速い」と「速い」を合わせた“速い”の割合が 30.5%、「やや遅い」と「遅い」を合わせた“遅い”の割合が 17.6%となっています。



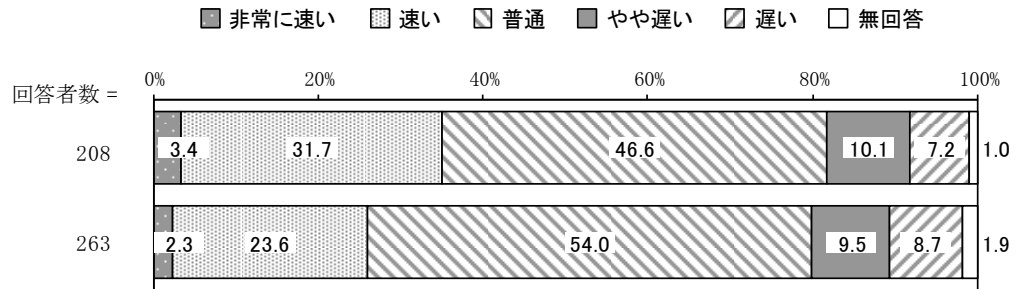
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



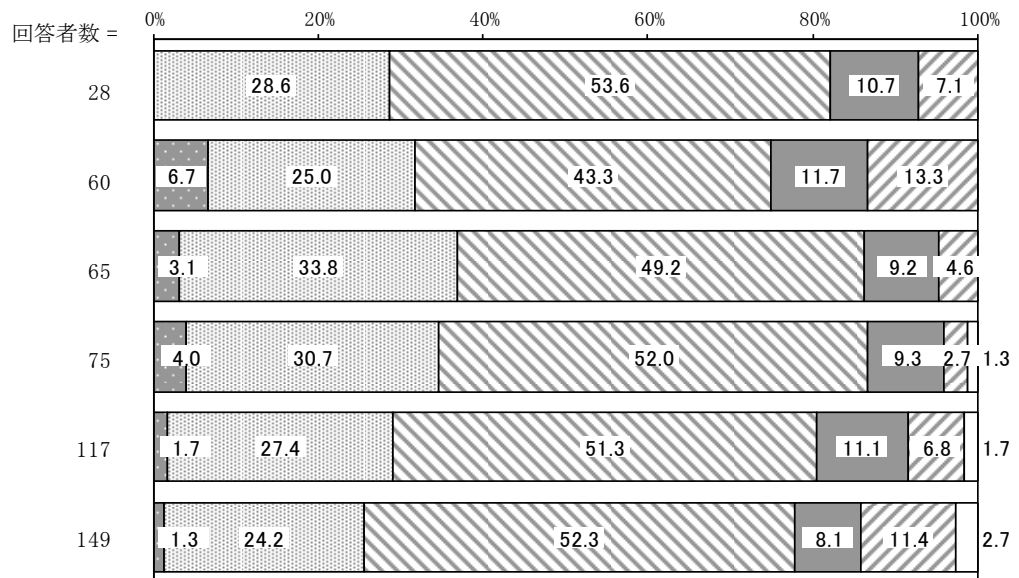
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“速い”の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「普通」の割合が高くなっています。



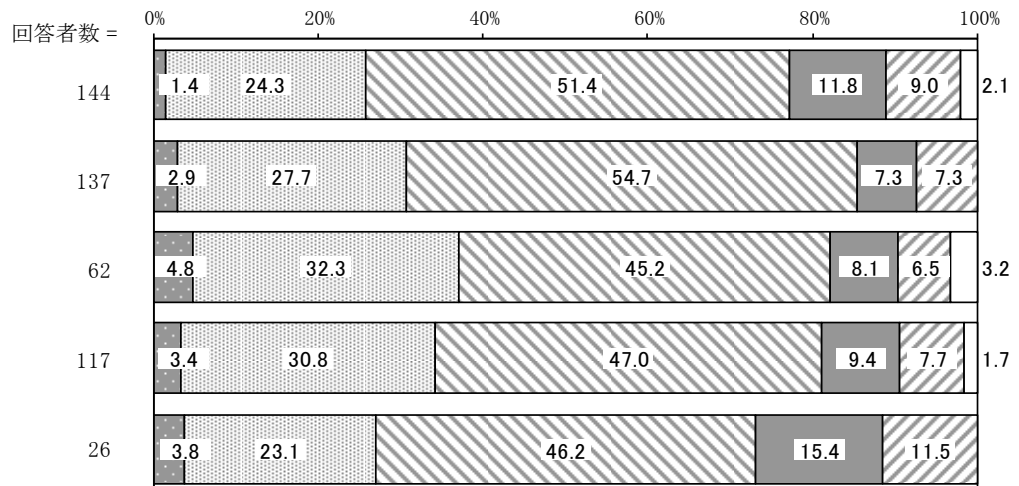
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代、50歳代で“速い”の割合が高くなっています。また、30歳代で“遅い”の割合が高くなっています。



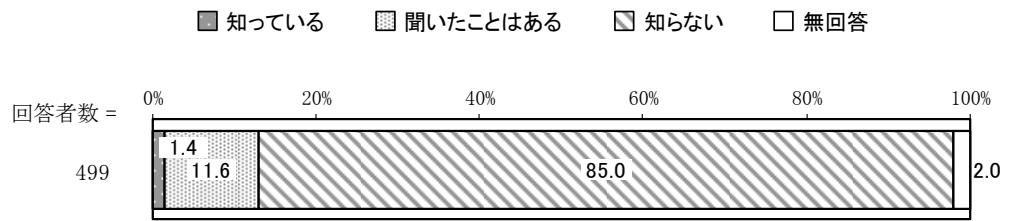
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡で“速い”の割合が高くなっています。また、須山で“遅い”の割合が高くなっています。



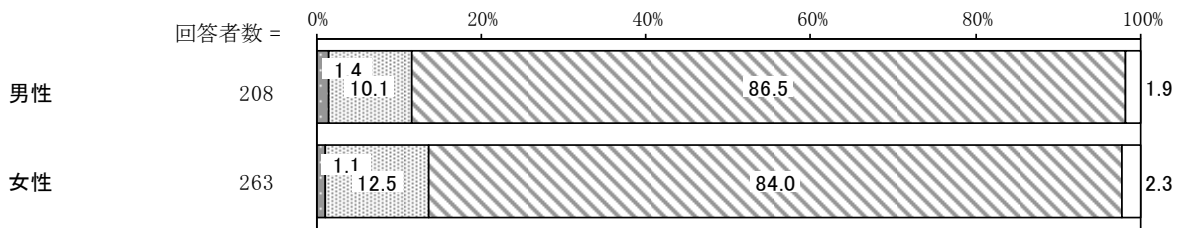
問 21 裾野市の「ON 野菜プロジェクト」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」の割合が 85.0%と最も高く、次いで「聞いたことはある」の割合が 11.6%となっています。



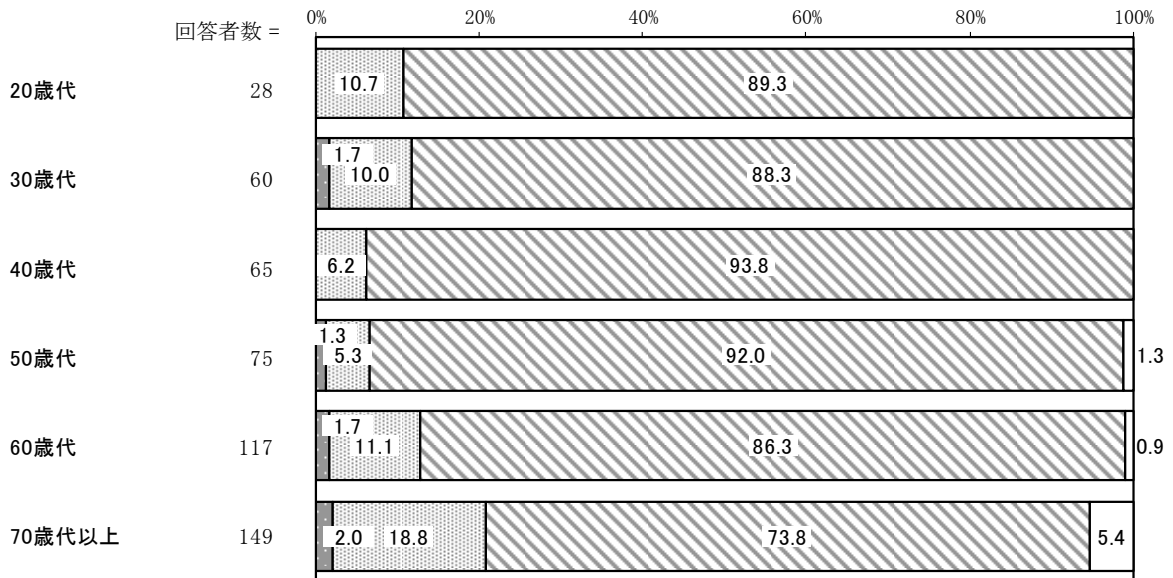
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



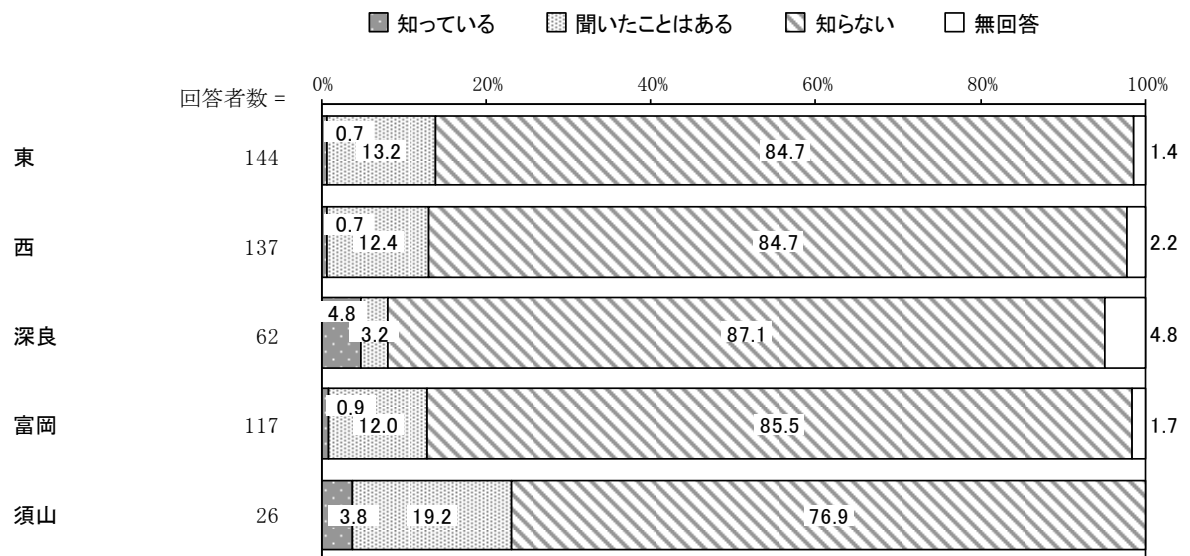
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。また、40歳代、50歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



【地区別】

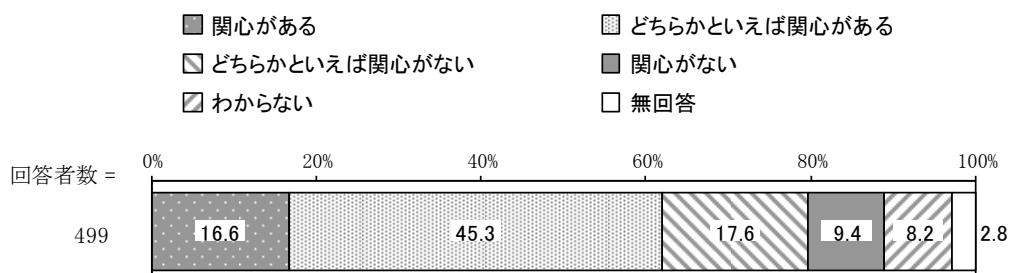
地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。



(4) 食育について

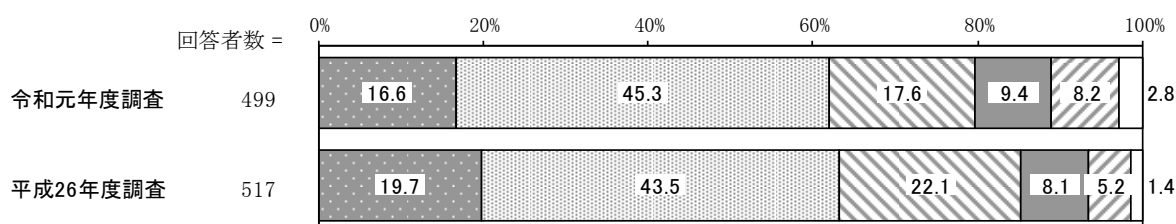
問 22 「食育」に関心がありますか。(〇は1つ)

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が 61.9%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 27.0%となっています。



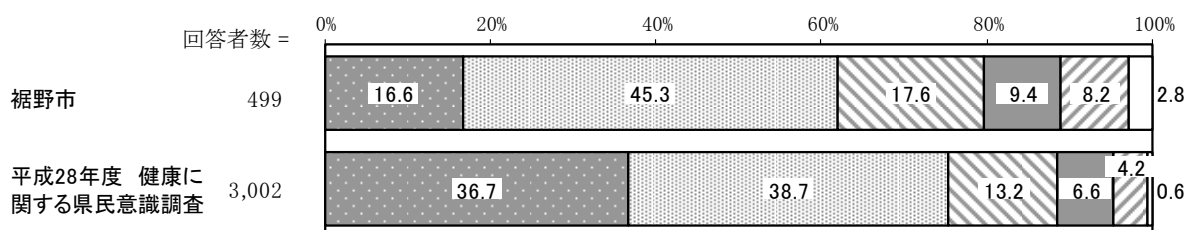
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



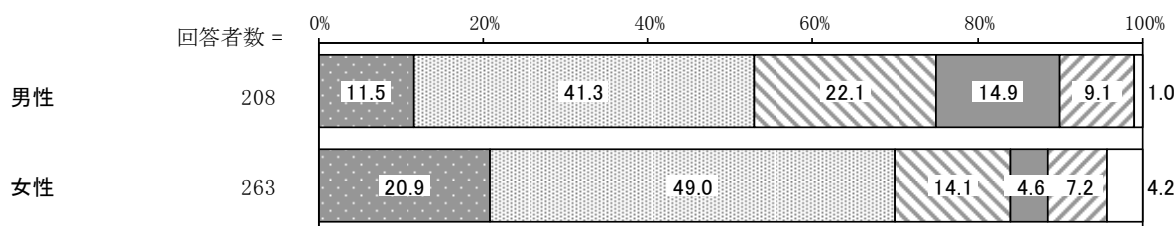
【県調査との比較】

県調査と比較すると、“関心がある”が 13.5 ポイント低くなっています。



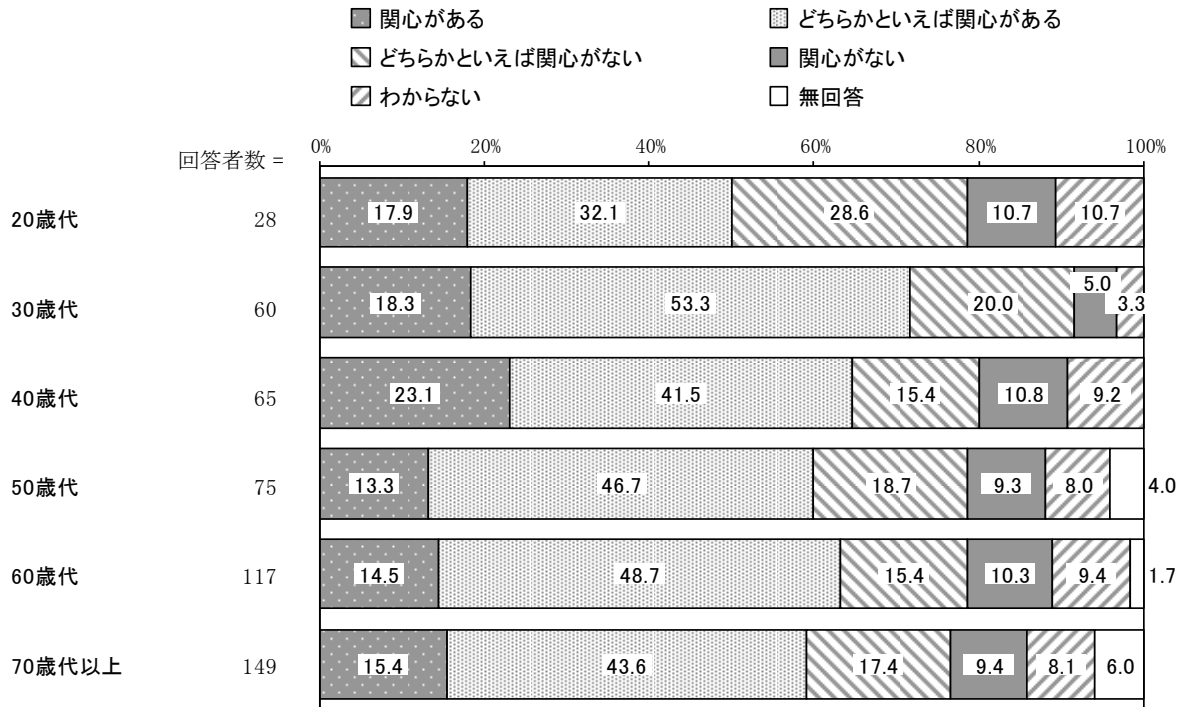
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。



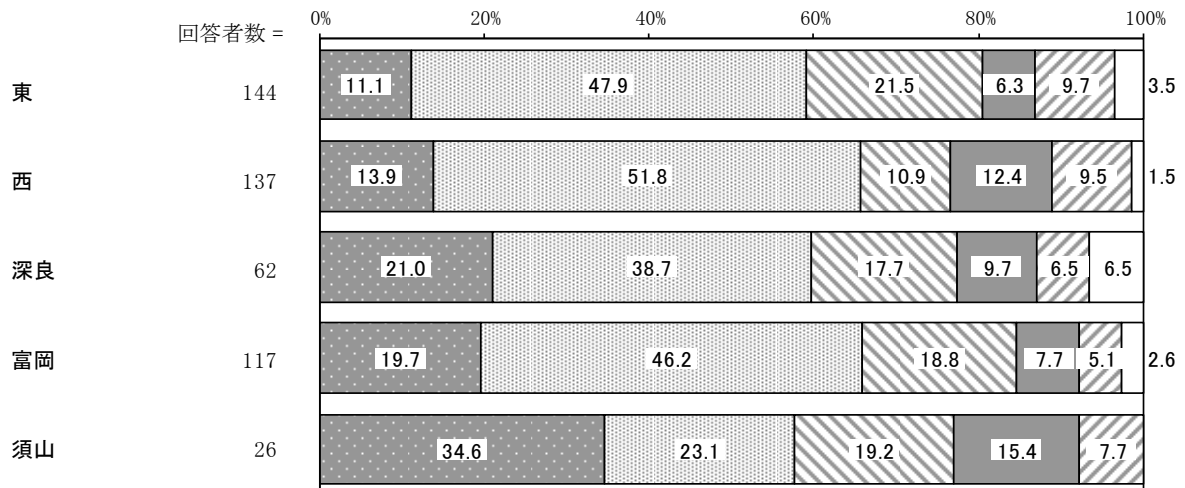
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で“関心がある”の割合が高くなっています。また、20歳代で“関心がない”の割合が高くなっています。



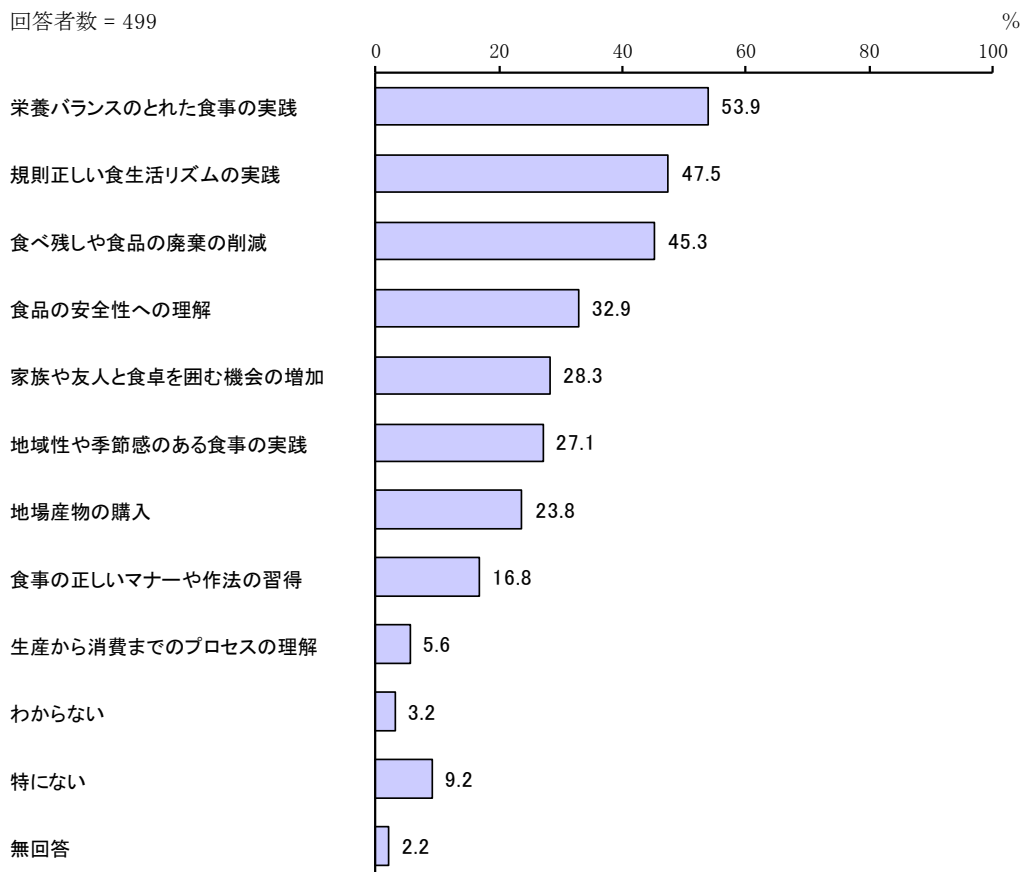
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西、富岡で“関心がある”の割合が高くなっています。また、須山で“関心がない”の割合が高くなっています。



問 23 ご自分の食生活で、特にどのような面に力を入れていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「栄養バランスのとれた食事の実践」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「規則正しい食生活リズムの実践」の割合が 47.5%、「食べ残しや食品の廃棄の削減」の割合が 45.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特にない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族や友人と食卓を囲む機会の増加」「食事の正しいマナーや作法の習得」「栄養バランスのとれた食事の実践」「規則正しい食生活リズムの実践」「地域性や季節感のある食事の実践」「地場産物の購入」「食品の安全性への理解」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会の増加	食事の正しいマナーや作法の習得	栄養バランスのとれた食事の実践	規則正しい食生活リズムの実践	地域性や季節感のある食事の実践	地場産物の購入	食品の安全性への理解	削減 食べ残しや食品の廃棄の削減	生産から消費までのプロセスの理解	わからない	特にない	無回答
男性	208	23.6	10.6	40.9	43.3	17.8	11.5	24.5	44.7	4.8	4.8	14.9	1.4
女性	263	32.7	23.2	65.4	50.6	35.7	33.8	38.8	46.8	6.5	1.9	4.2	3.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「食品の安全性への理解」の割合が、30歳代以上で年齢が低くなるにつれ「食事の正しいマナーや作法の習得」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、30歳代、60歳代で「栄養バランスのとれた食事の実践」「規則正しい食生活リズムの実践」の割合が、20歳代、30歳代で「家族や友人と食卓を囲む機会の増加」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会の増加	食事の正しいマナーや作法の習得	栄養バランスのとれた食事の実践	規則正しい食生活リズムの実践	地域性や季節感のある食事の実践	地場産物の購入	食品の安全性への理解	削減 食べ残しや食品の廃棄の	生産から消費までのプロセスの理解	わからない	特にない	無回答
20歳代	28	42.9	21.4	42.9	28.6	7.1	3.6	17.9	46.4	—	3.6	10.7	—
30歳代	60	46.7	38.3	60.0	55.0	30.0	15.0	25.0	46.7	1.7	1.7	6.7	—
40歳代	65	23.1	30.8	46.2	46.2	21.5	27.7	24.6	53.8	3.1	1.5	12.3	1.5
50歳代	75	37.3	13.3	50.7	45.3	32.0	29.3	32.0	46.7	9.3	2.7	9.3	1.3
60歳代	117	26.5	12.0	57.3	52.1	33.3	29.9	35.9	46.2	6.8	3.4	8.5	0.9
70歳代以上	149	16.8	6.7	55.0	46.3	24.8	22.8	40.9	39.6	6.0	4.0	9.4	5.4

【地区別】

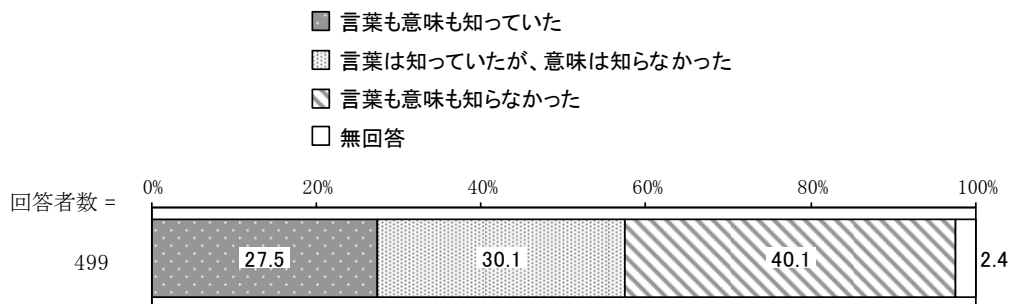
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「栄養バランスのとれた食事の実践」「規則正しい食生活リズムの実践」「食品の安全性への理解」の割合が高くなっています。また、富岡、須山で「家族や友人と食卓を囲む機会の増加」の割合が、深良、富岡で「地域性や季節感のある食事の実践」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会の増加	食事の正しいマナーや作法の習得	栄養バランスのとれた食事の実践	規則正しい食生活リズムの実践	地域性や季節感のある食事の実践	地場産物の購入	食品の安全性への理解	削減 食べ残しや食品の廃棄の	生産から消費までのプロセスの理解	わからない	特にない	無回答
東	144	22.9	12.5	53.5	50.7	22.2	22.2	30.6	43.8	3.5	2.8	9.7	2.8
西	137	28.5	18.2	54.0	40.9	26.3	25.5	31.4	44.5	5.8	3.6	9.5	1.5
深良	62	24.2	14.5	48.4	41.9	33.9	24.2	25.8	45.2	6.5	6.5	9.7	4.8
富岡	117	36.8	18.8	58.1	56.4	34.2	25.6	41.9	47.9	6.8	1.7	5.1	1.7
須山	26	34.6	26.9	53.8	38.5	23.1	23.1	34.6	34.6	7.7	3.8	15.4	—

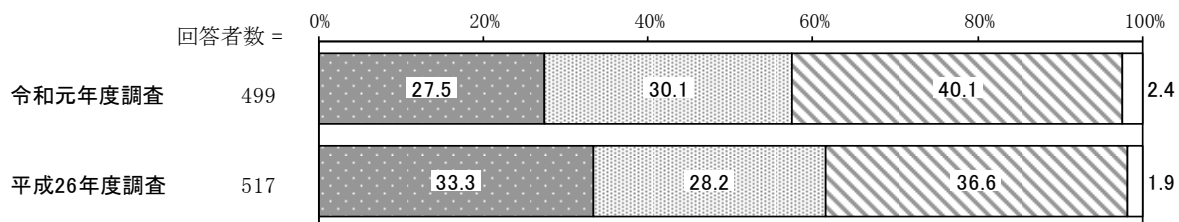
**問 24 「食事バランスガイド」という言葉やその意味を知っていましたか。
(○は1つ)**

「言葉も意味も知らなかった」の割合が40.1%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が30.1%、「言葉も意味も知っていた」の割合が27.5%となっています。



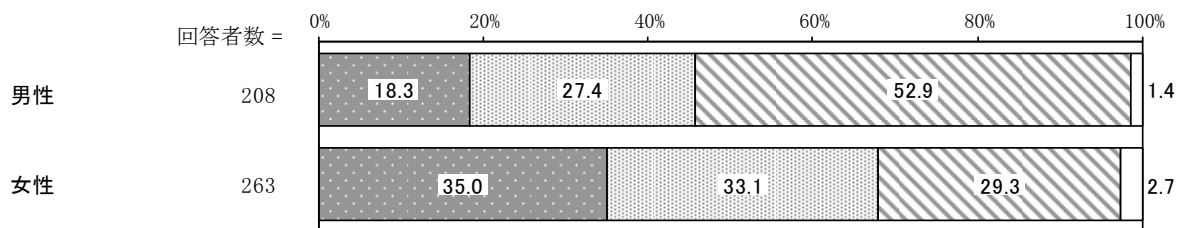
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「言葉も意味も知っていた」が 5.8 ポイント減少しています。



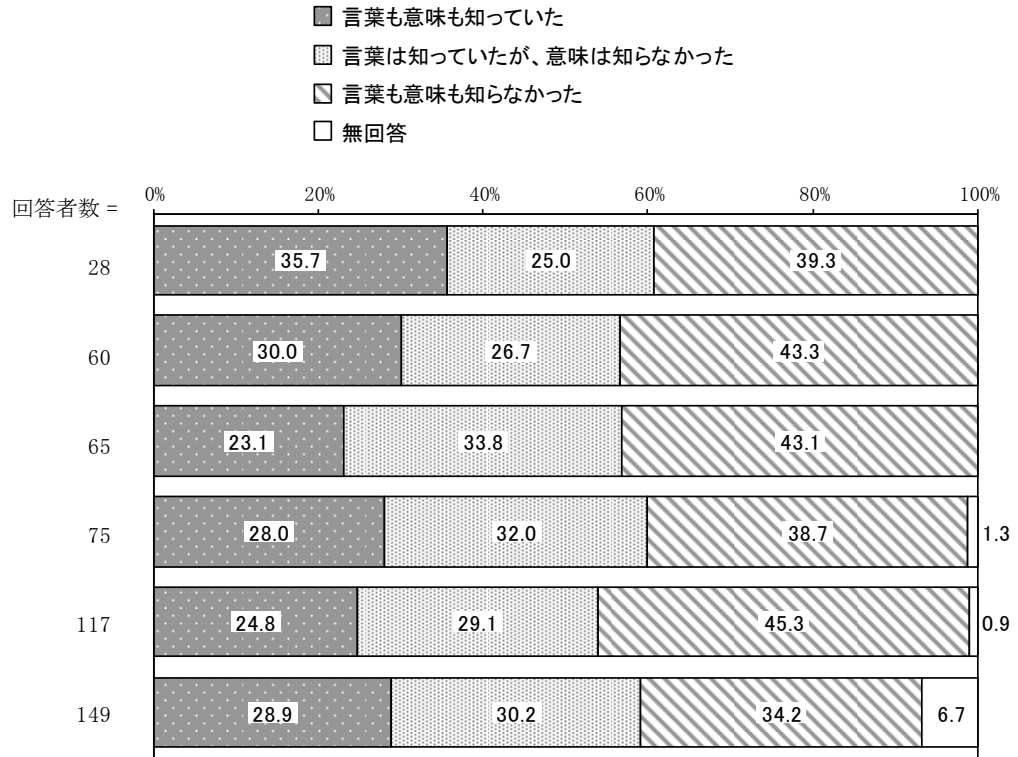
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「言葉も意味も知らなかった」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が高くなっています。



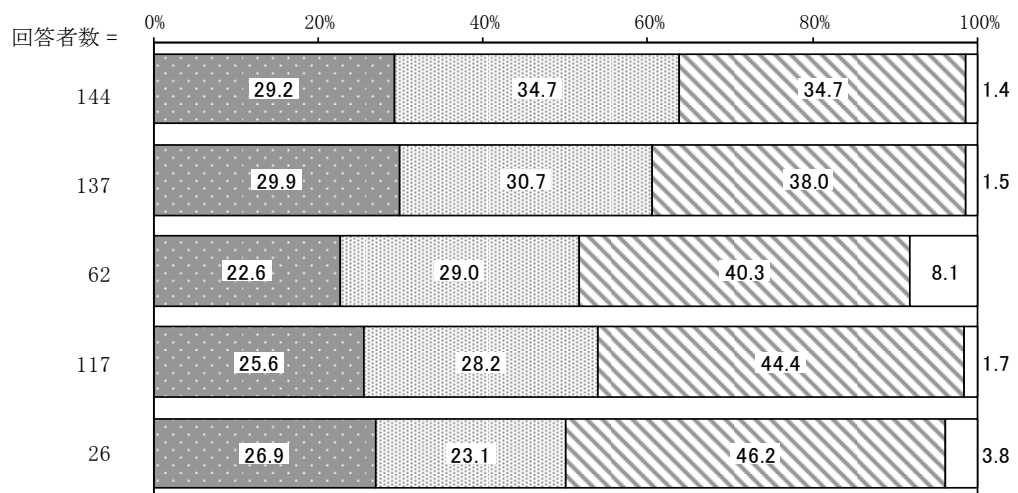
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「言葉も意味も知っていた」の割合が高くなっています。また、60歳代で「言葉も意味も知らなかった」の割合が高くなっています。



【地区別】

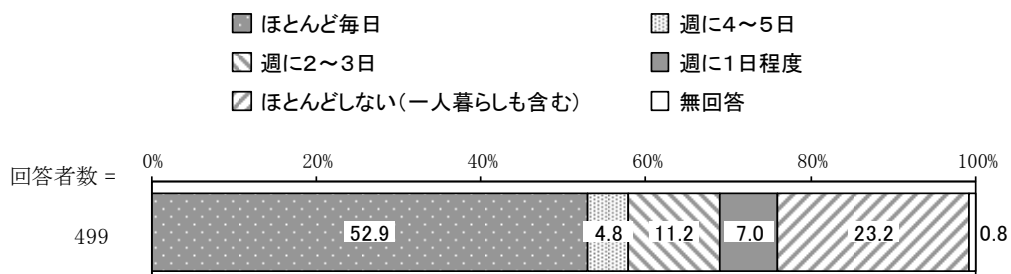
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡、須山で「言葉も意味も知らなかった」の割合が高くなっています。



問 25 朝食や夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。
(○はそれぞれ1つ)

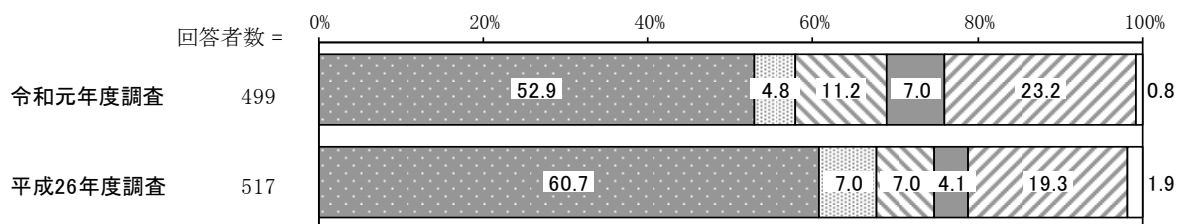
ア 朝食

「ほとんど毎日」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「ほとんどしない(一人暮らしも含む)」の割合が 23.2%、「週に2～3日」の割合が 11.2%となっています。



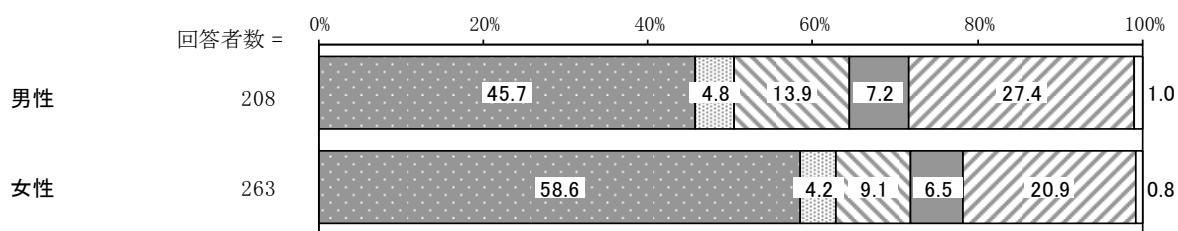
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「ほとんど毎日」が 7.8 ポイント減少しています。



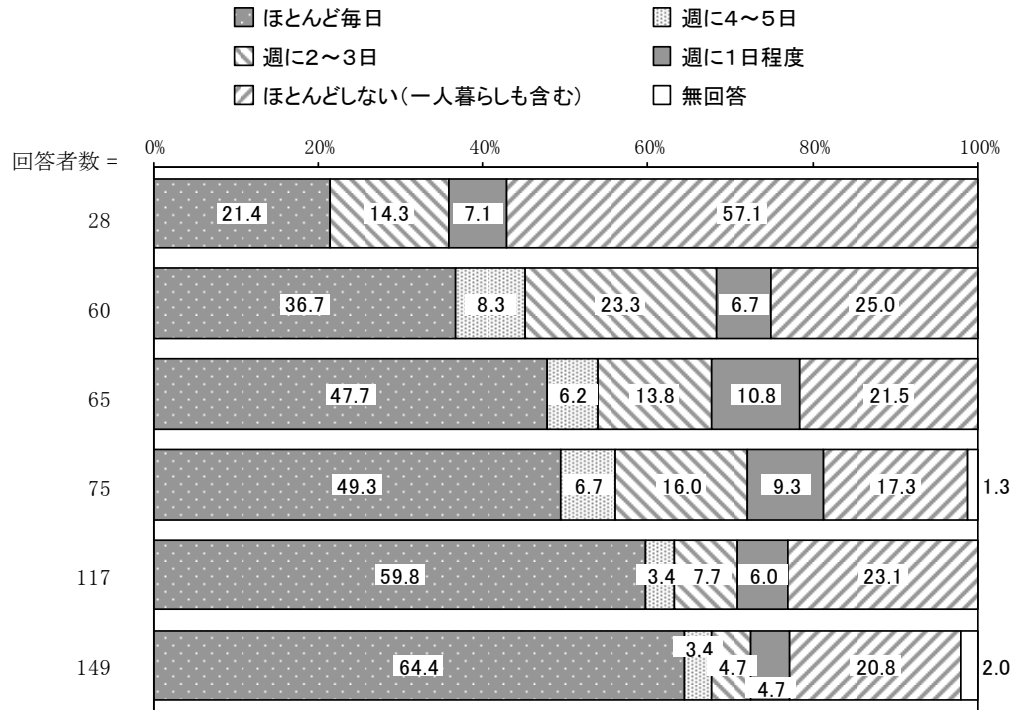
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ほとんどしない(一人暮らしも含む)」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



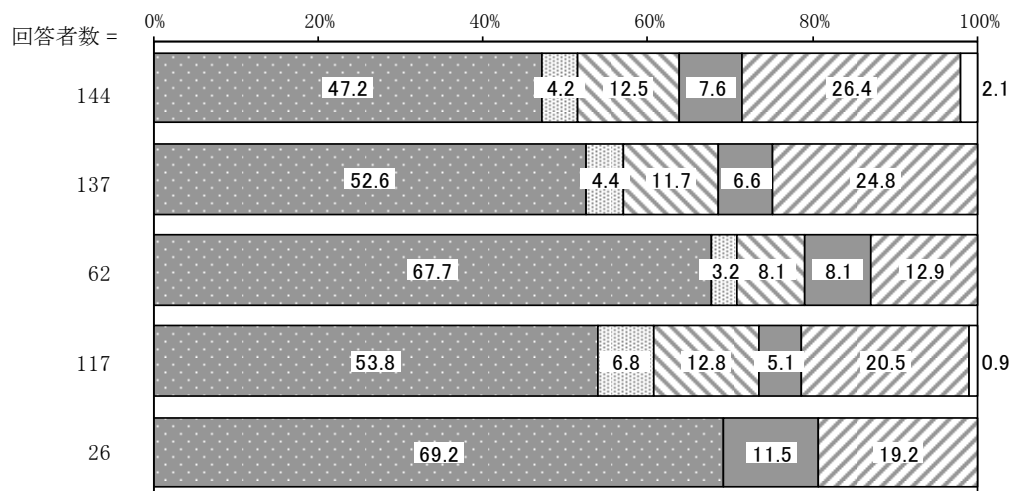
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、20歳代で「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が、30歳代で「週に2～3日」の割合が高くなっています。



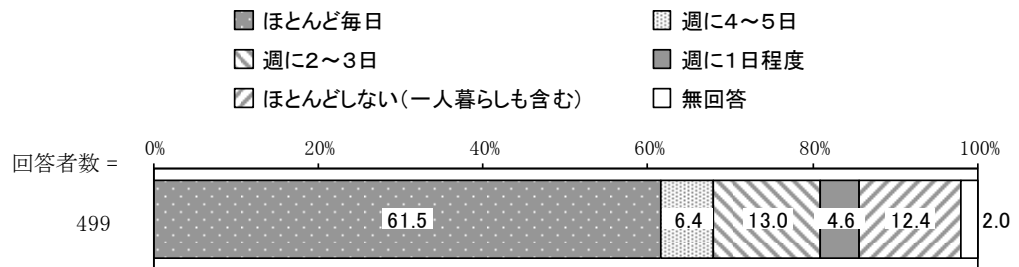
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、須山で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。また、東、西で「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が高くなっています。



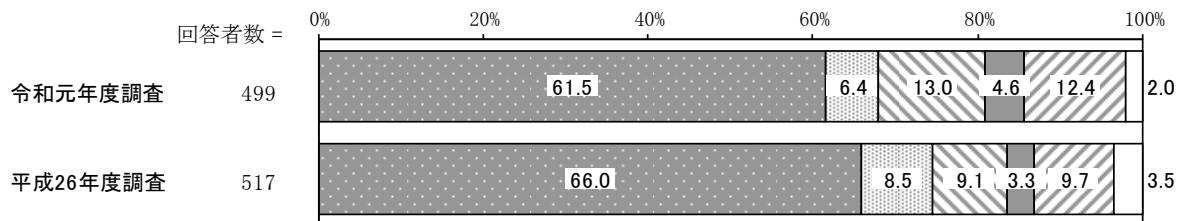
イ 夕食

「ほとんど毎日」の割合が61.5%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が13.0%、「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が12.4%となっています。



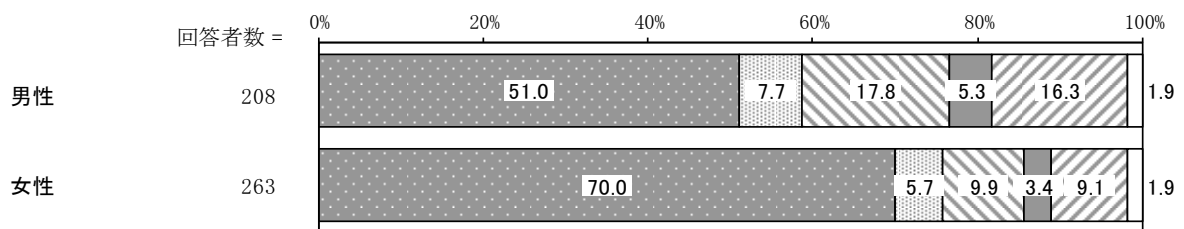
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



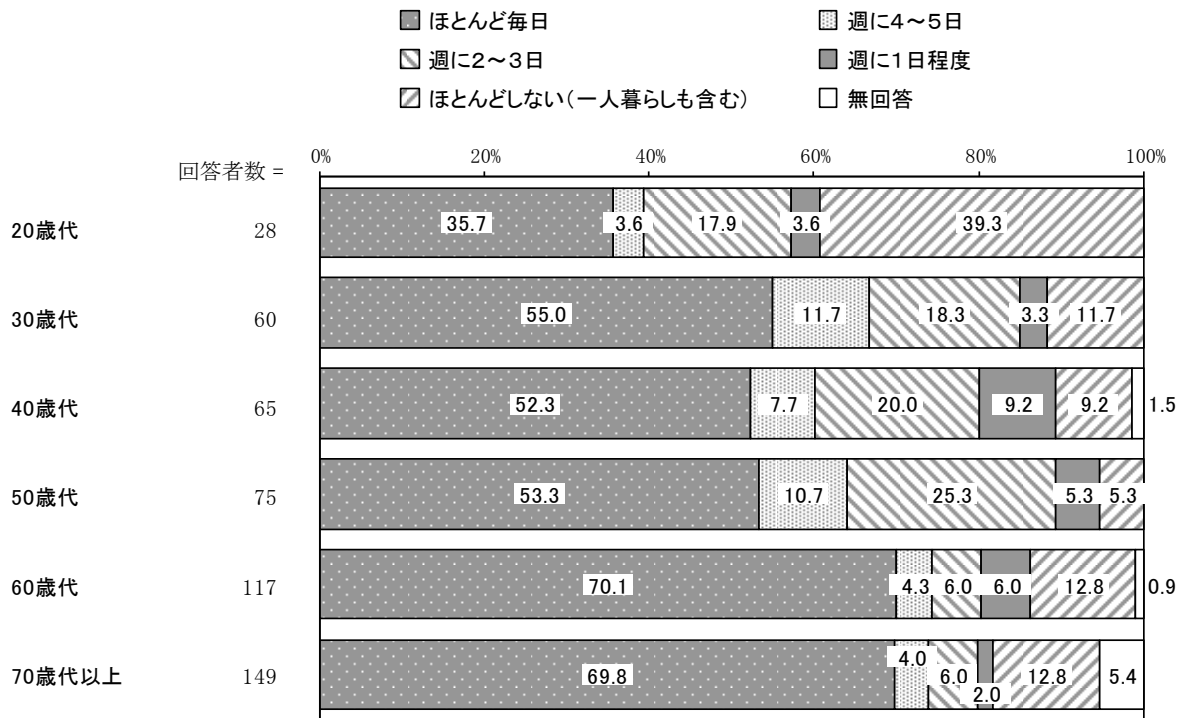
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週に2～3日」「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



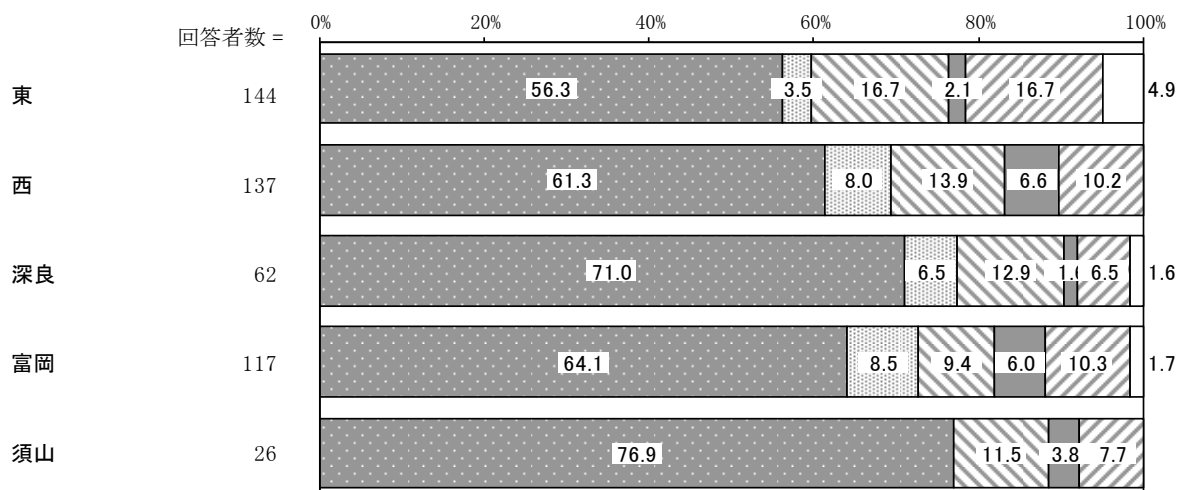
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代、70歳代以上で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。また、20歳代で「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が、50歳代で「週に2～3日」の割合が高くなっています。



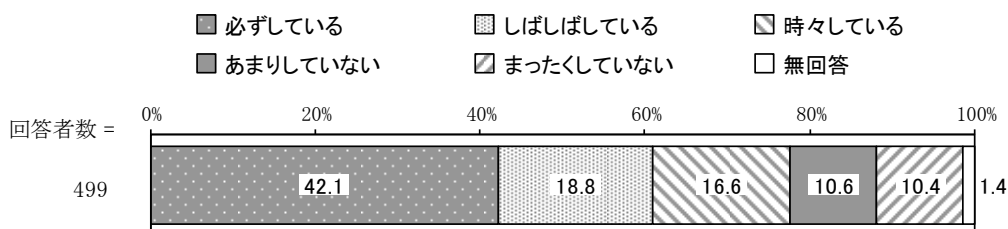
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。また、東で「ほとんどしない（一人暮らしも含む）」の割合が高くなっています。



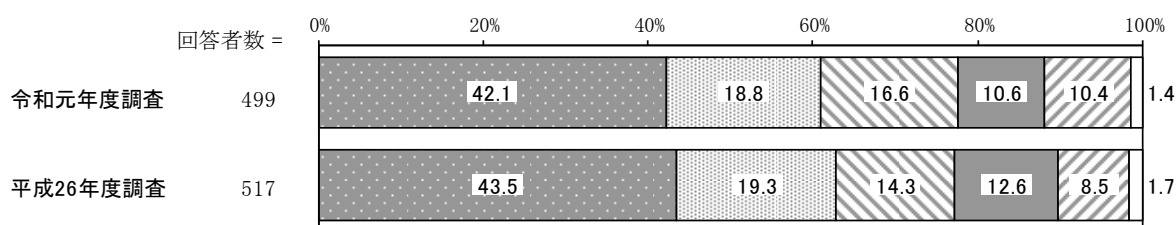
**問 26 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。
(〇は1つ)**

「必ずしている」の割合が42.1%と最も高く、次いで「しばしばしている」の割合が18.8%、「時々している」の割合が16.6%となっています。



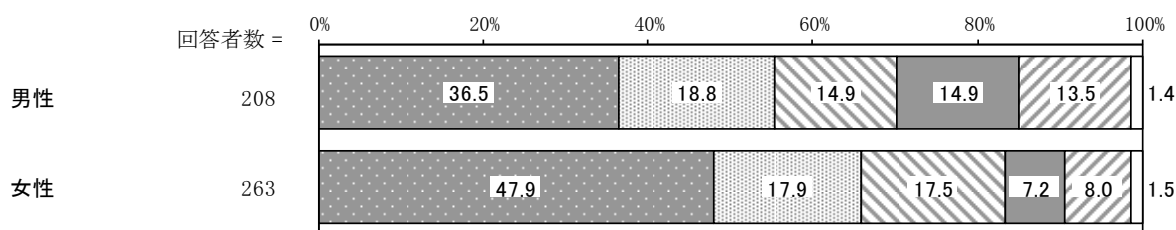
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



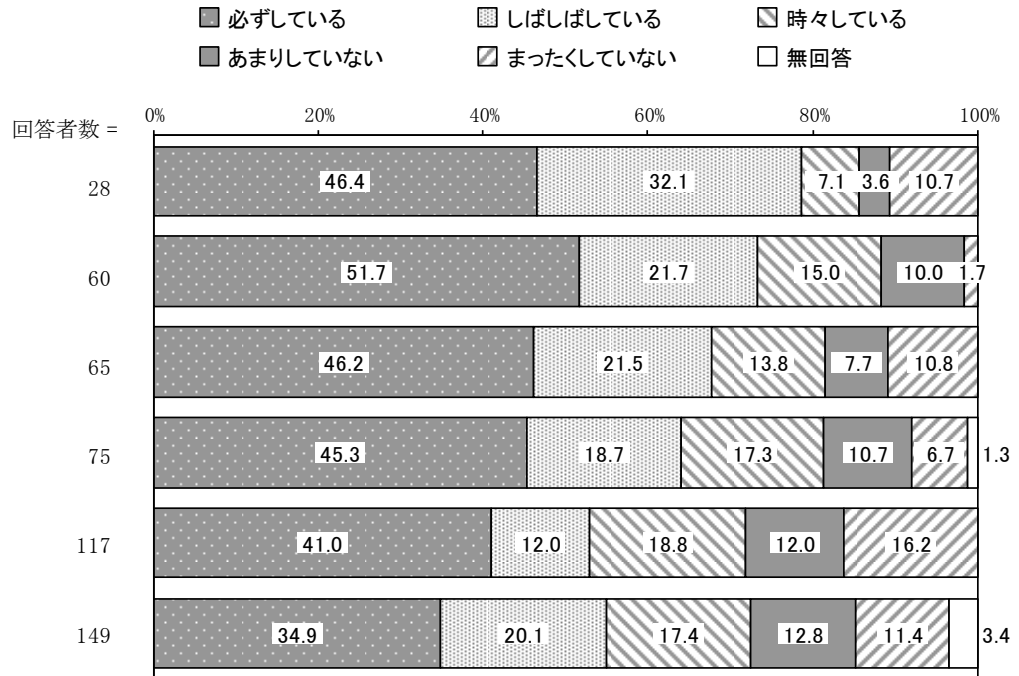
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「あまりしていない」「まったくしていない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「必ずしている」の割合が高くなっています。



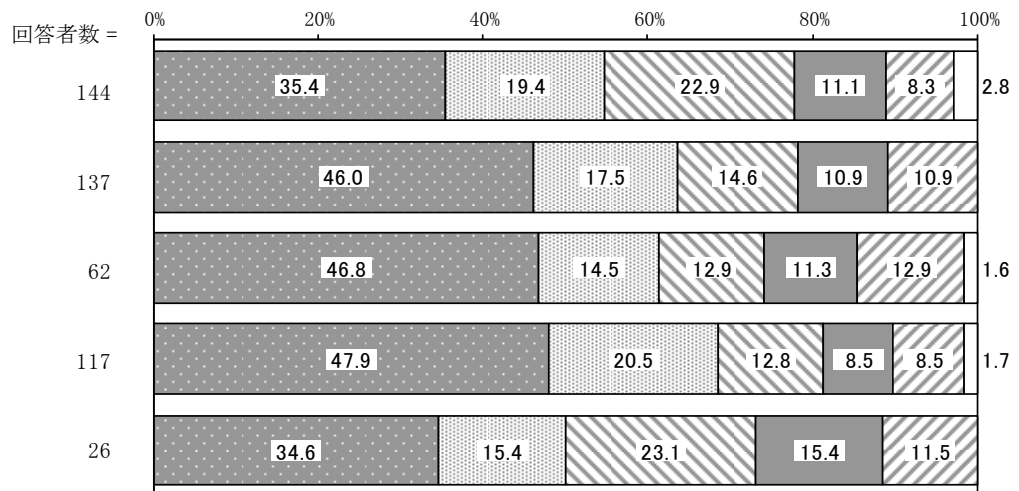
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「必ずしている」の割合が、20歳代で「しばしばしている」の割合が高くなっています。また、60歳代で「まったくしていない」の割合が高くなっています。



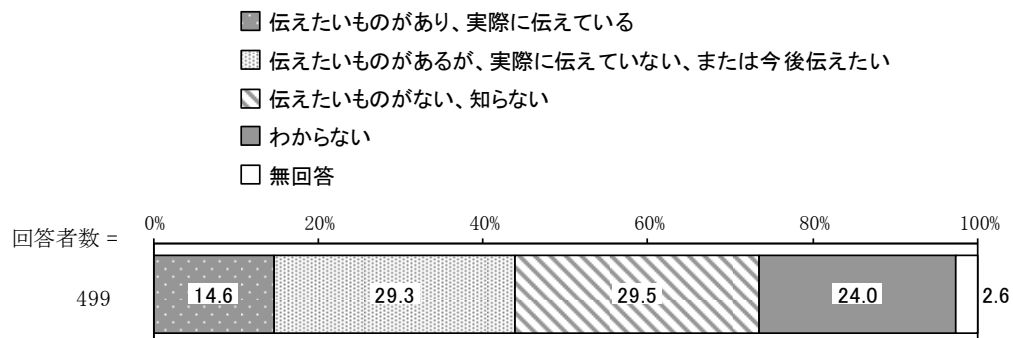
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、須山で「時々している」の割合が高くなっています。



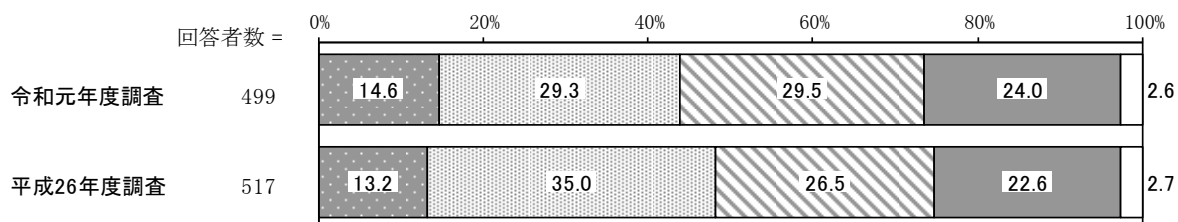
問 27 郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味で、次世代に伝えたいものがありますか。また、実際に伝えていますか。(○は1つ)

「伝えたいものがない、知らない」の割合が29.5%と最も高く、次いで「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい」の割合が29.3%、「わからない」の割合が24.0%となっています。



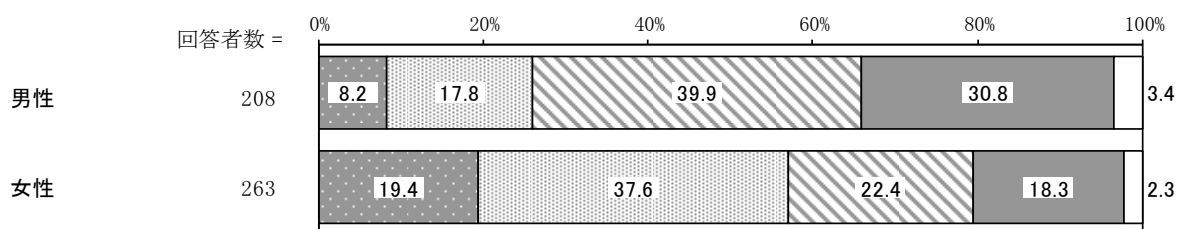
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい」が5.7ポイント減少しています。



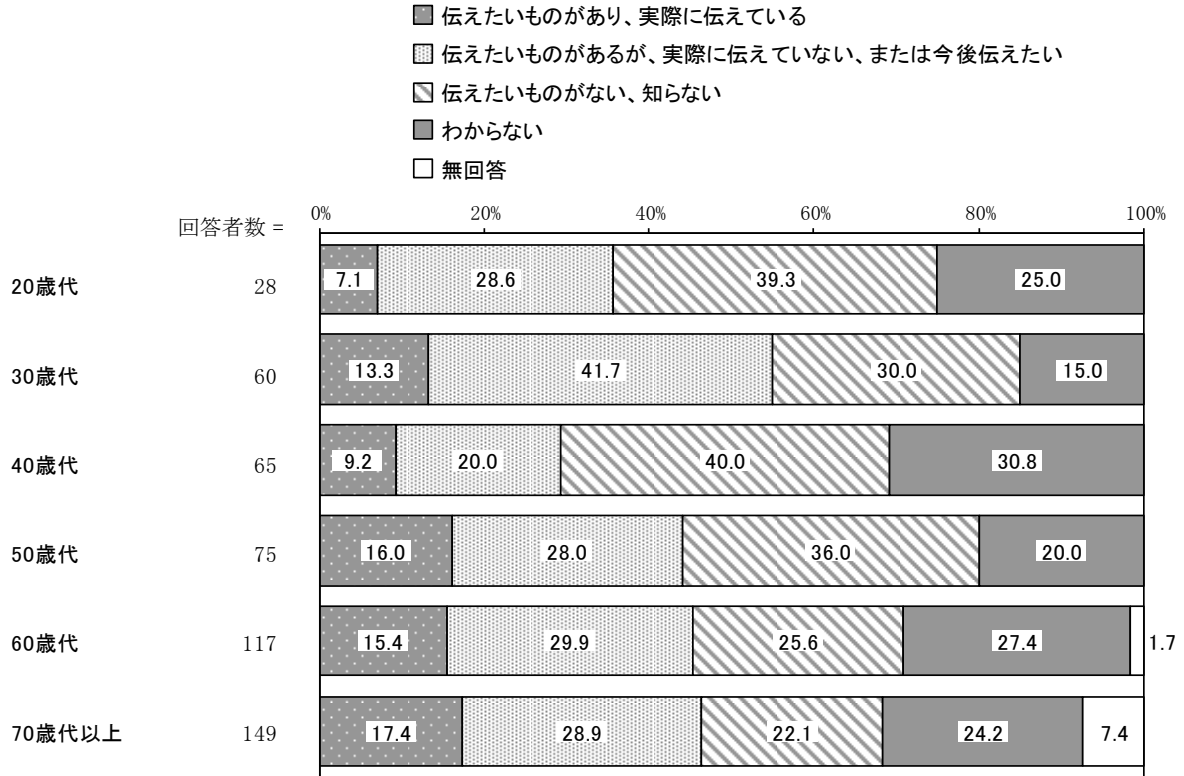
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「伝えたいものがない、知らない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「伝えたいものがあり、実際に伝えている」「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい」の割合が高くなっています。



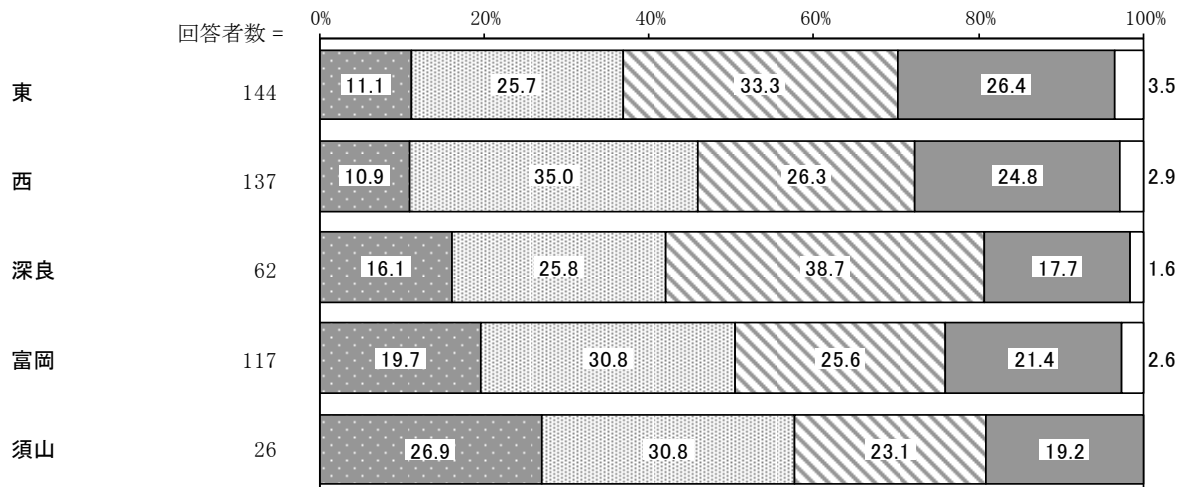
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「伝えたいものがない、知らない」の割合が高くなっています。



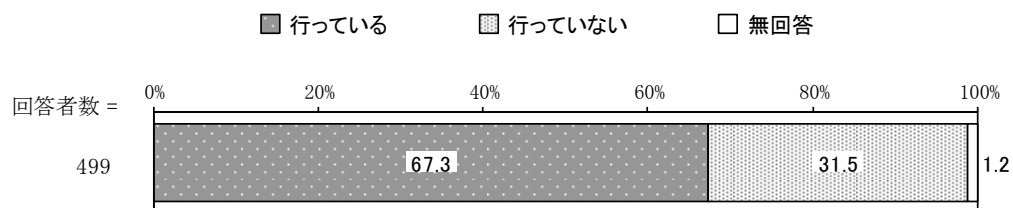
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「伝えたいものがあり、実際に伝えている」の割合が、西で「伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい」の割合が高くなっています。また、深良で「伝えたいものがない、知らない」の割合が高くなっています。



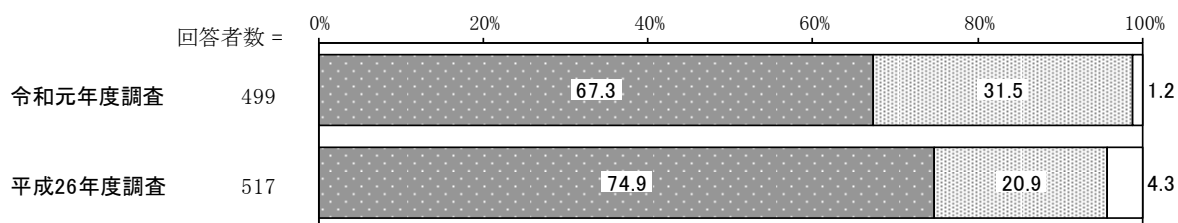
問 28 自宅で行事食を伴う伝統的な行事を行っていますか。(〇は1つ)

「行っている」の割合が 67.3%、「行っていない」の割合が 31.5%となっています。



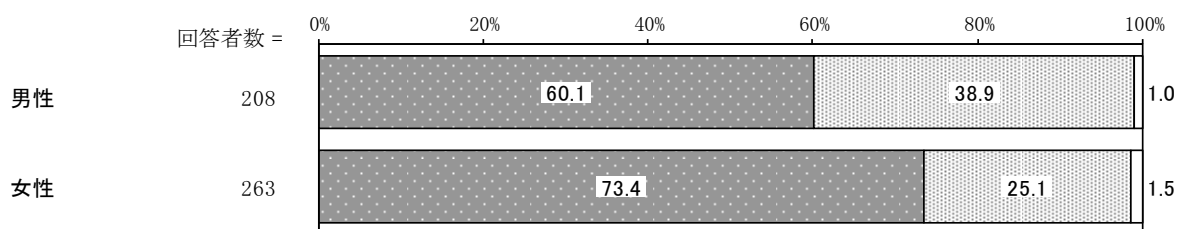
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「行っている」が 7.6 ポイント減少し、「行っていない」が 10.6 ポイント増加しています。



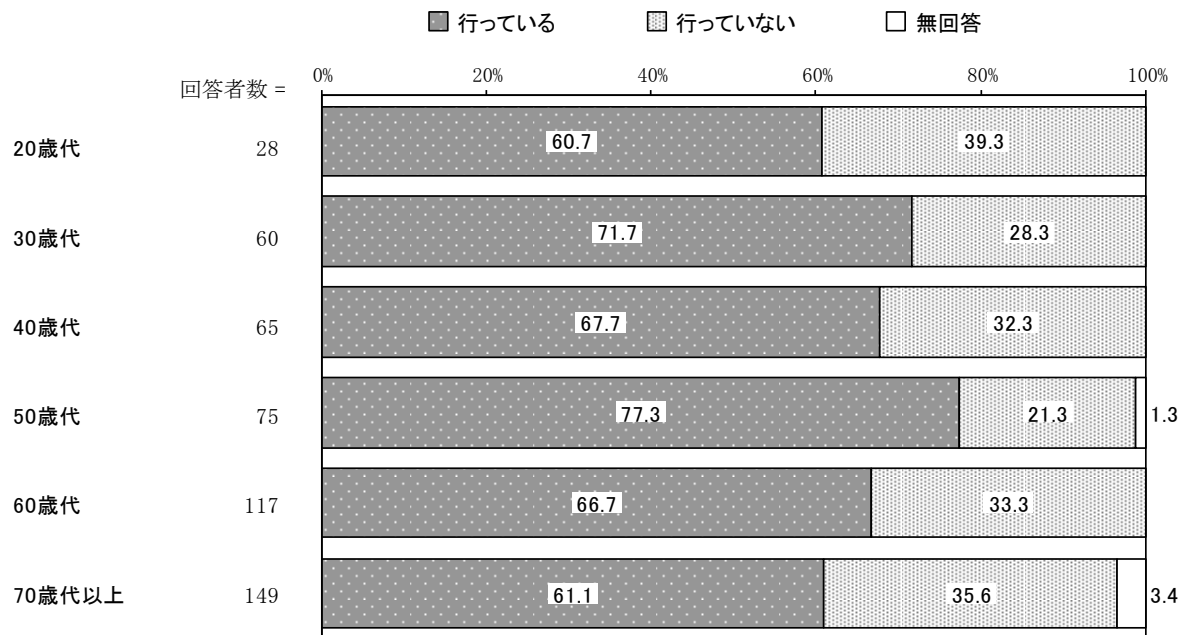
【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「行っている」の割合が高くなっています。



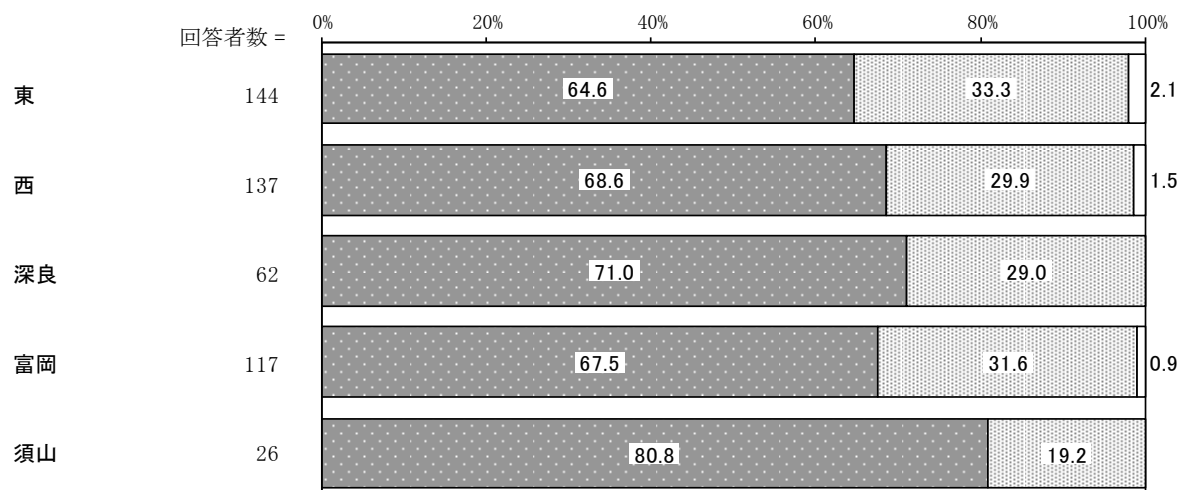
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「行っている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「行っていない」の割合が高くなっています。



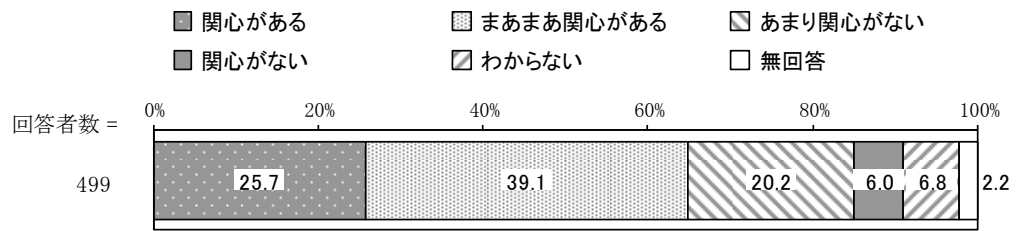
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「行っている」の割合が高くなっています。



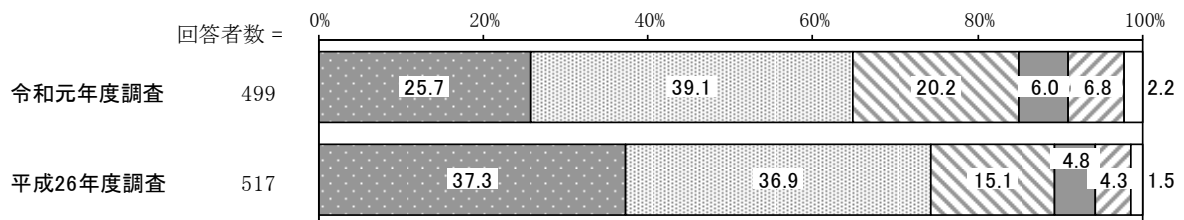
問 29 「地産地消」に関心がありますか。(○は1つ)

「関心がある」と「まあまあ関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が64.8%、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた“関心がない”の割合が26.2%となっています。



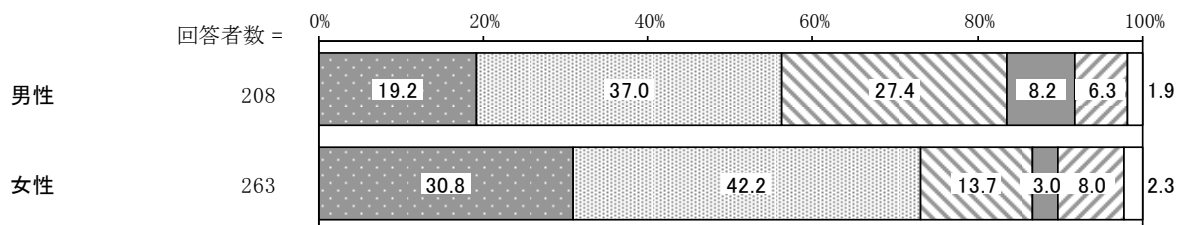
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、“関心がある”が9.4ポイント減少し、“関心がない”が6.3ポイント増加しています。



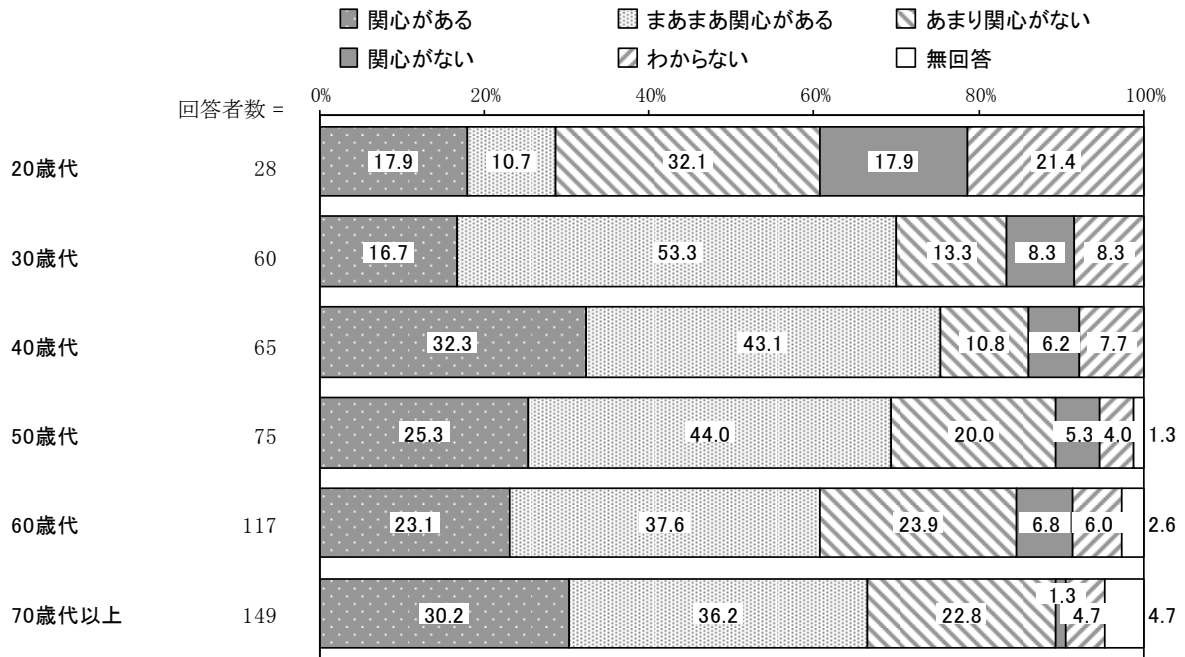
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。



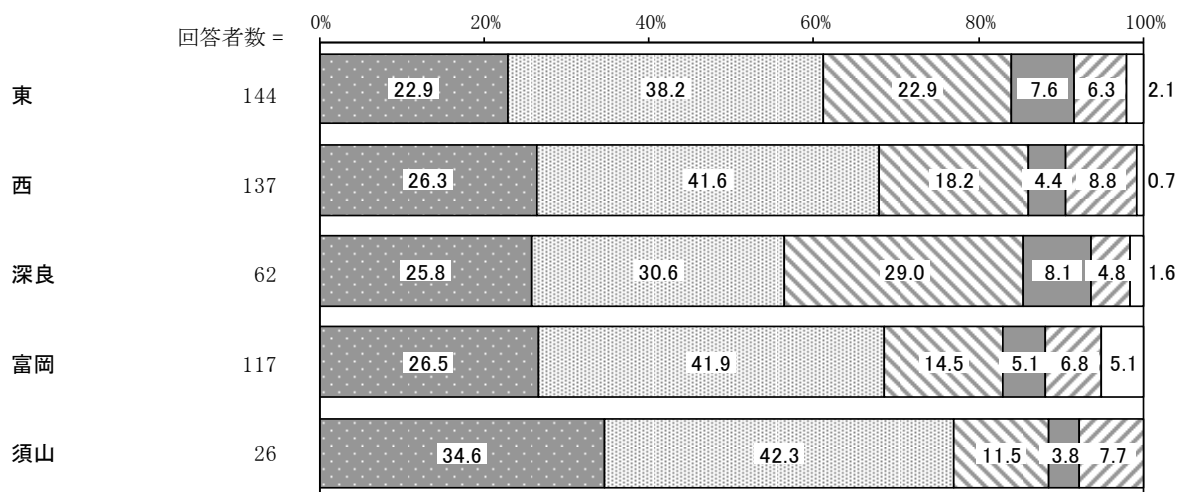
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代で“関心がある”の割合が高くなっています。また、20歳代で“関心がない”の割合が高くなっています。



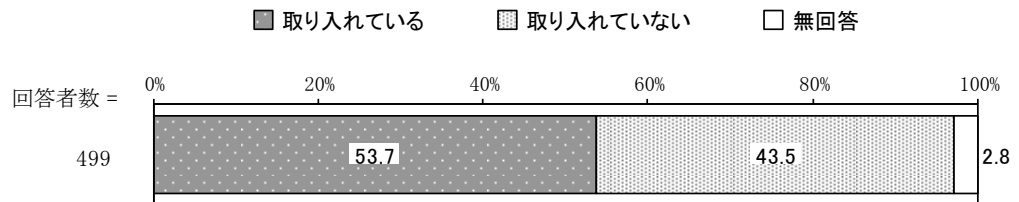
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“関心がある”の割合が高くなっています。また、深良で“関心がない”の割合が高くなっています。



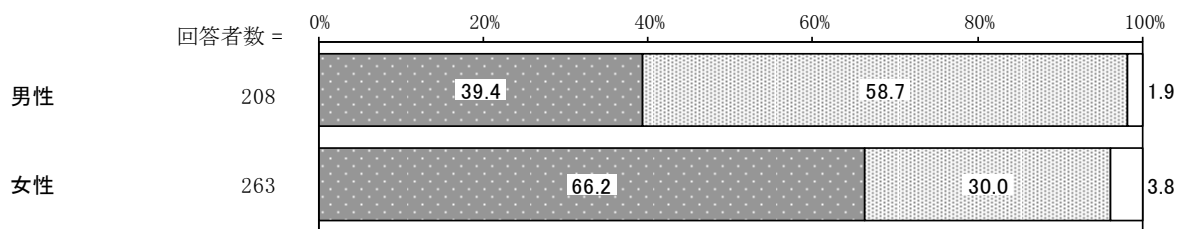
問 30 地場産物を食事に取り入れていますか。(〇は1つ)

「取り入れている」の割合が 53.7%、「取り入っていない」の割合が 43.5%となっています。



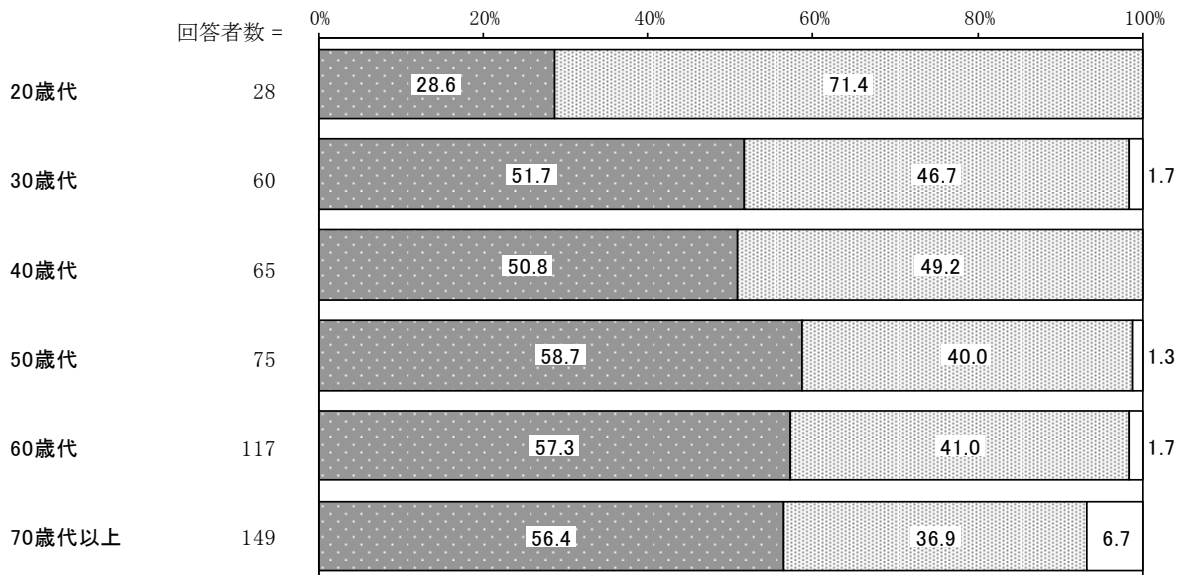
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「取り入れている」の割合が高くなっています。



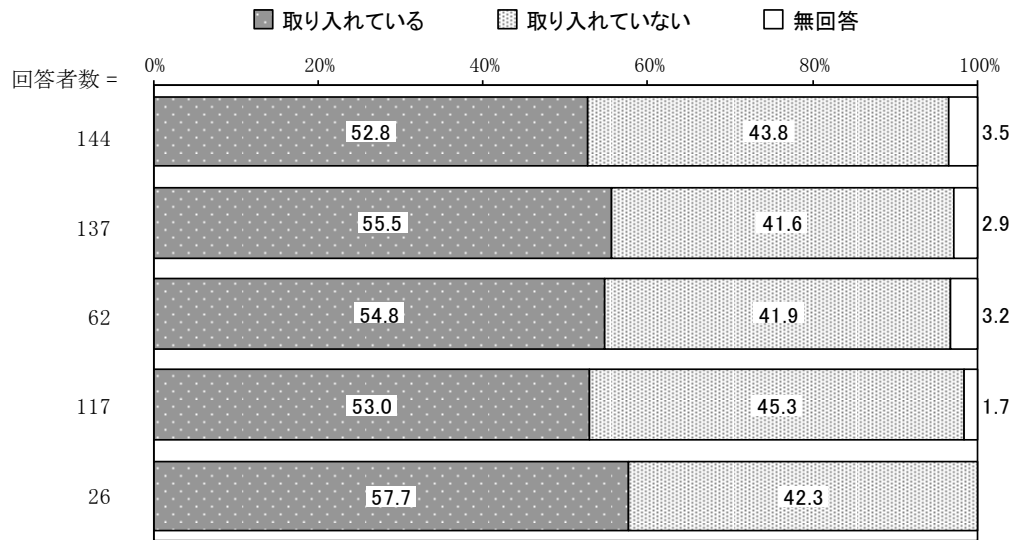
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「取り入っていない」の割合が高くなっています。



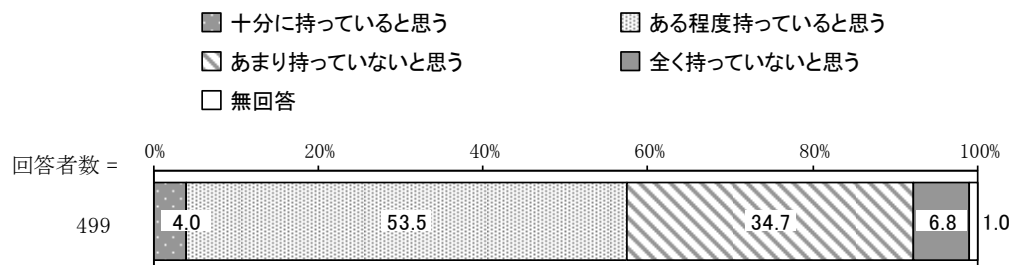
【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。



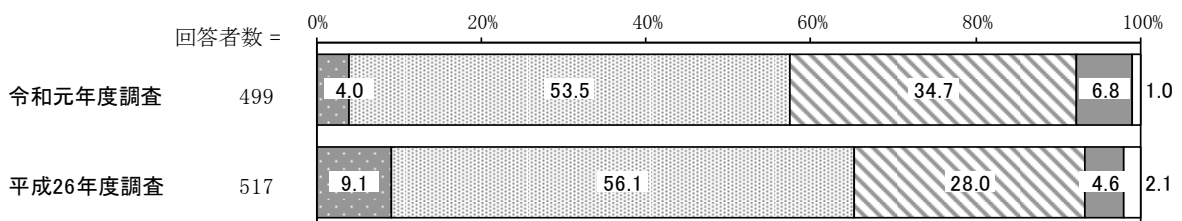
問 31 あなたは、食品の安全に関する知識を持っていますか。(○は1つ)

「十分に持っていると思う」と「ある程度持っていると思う」を合わせた“持っていると思う”の割合が 57.5%、「あまり持っていないと思う」と「全く持っていないと思う」を合わせた“持っていないと思う”の割合が 41.5%となっています。



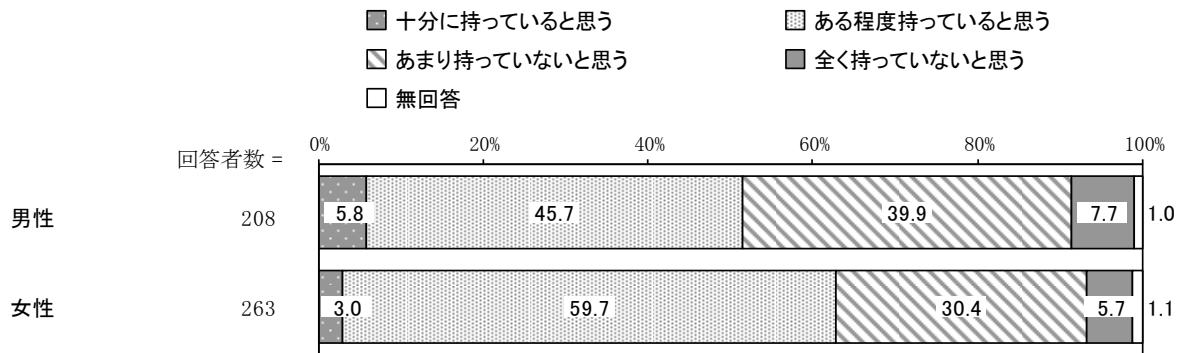
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、“持っていると思う”が 7.7 ポイント減少し、“持っていないと思う”が 8.9 ポイント増加しています。



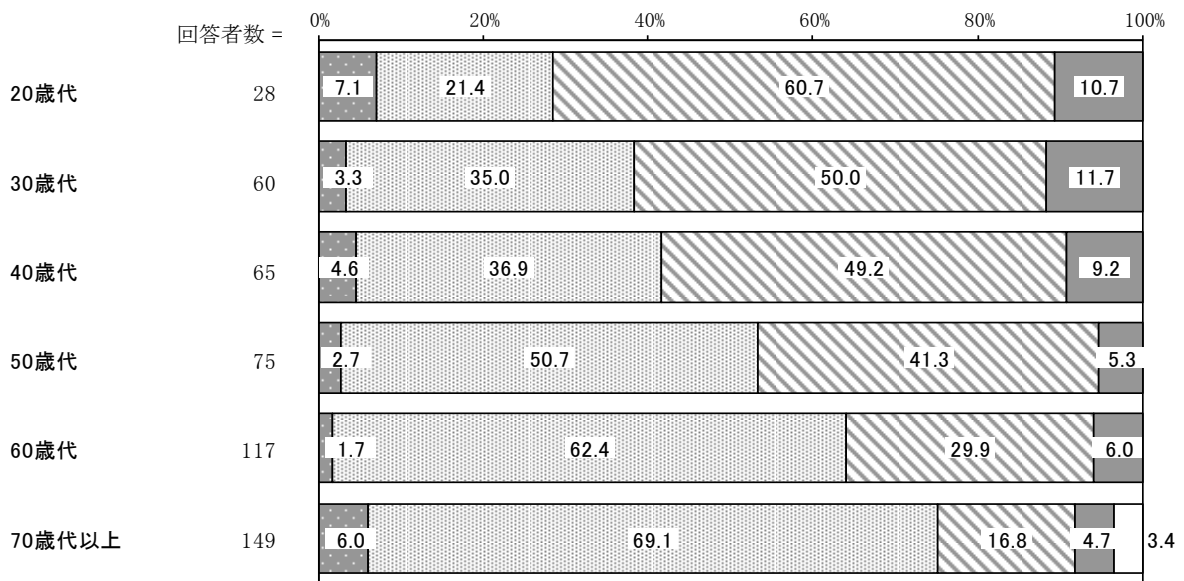
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“持っていると思う”の割合が高くなっています。



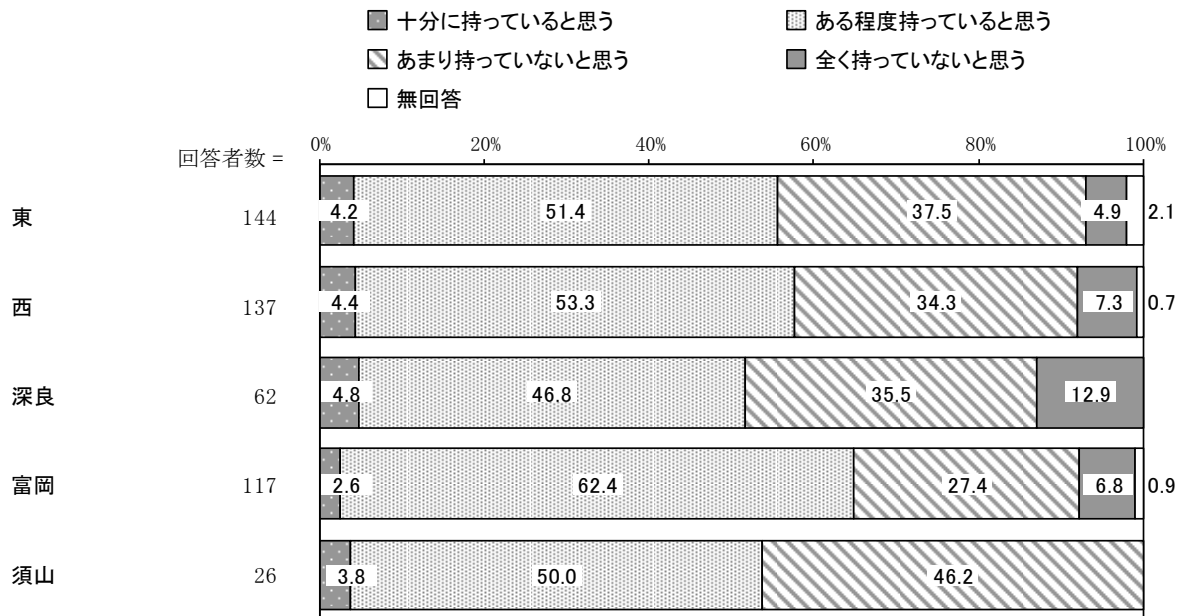
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“持っていると思う”の割合が高くなっています。



【地区別】

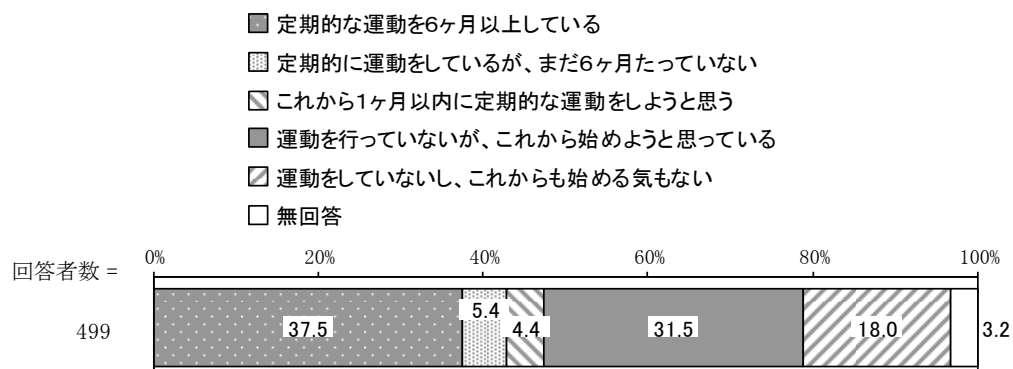
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で“持っていると思う”の割合が高くなっています。また、深良、須山で“持っていないと思う”の割合が高くなっています。



(5) 運動および日常生活について

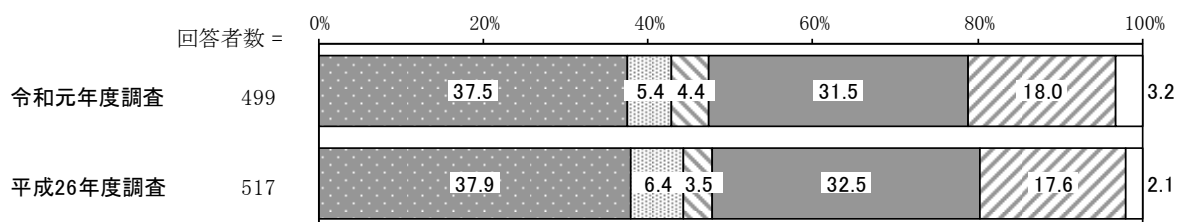
問 32 運動習慣についてお聞きします。次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

「定期的な運動を6ヶ月以上している」の割合が37.5%と最も高く、次いで「運動を行っていないが、これから始めようと思っている」の割合が31.5%、「運動をしていないし、これからも始める気もない」の割合が18.0%となっています。



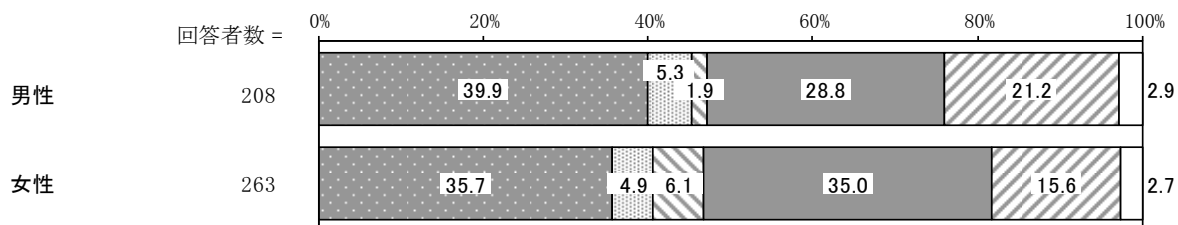
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



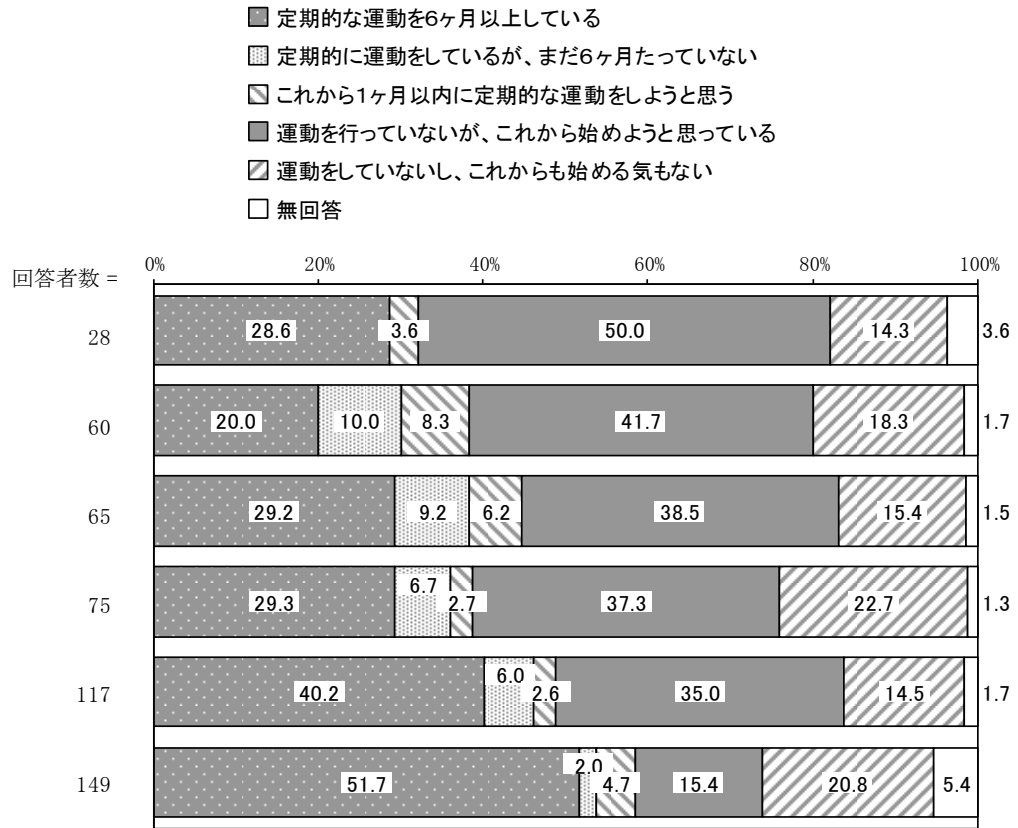
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「運動をしていないし、これからも始める気もない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「運動を行っていないが、これから始めようと思っている」の割合が高くなっています。



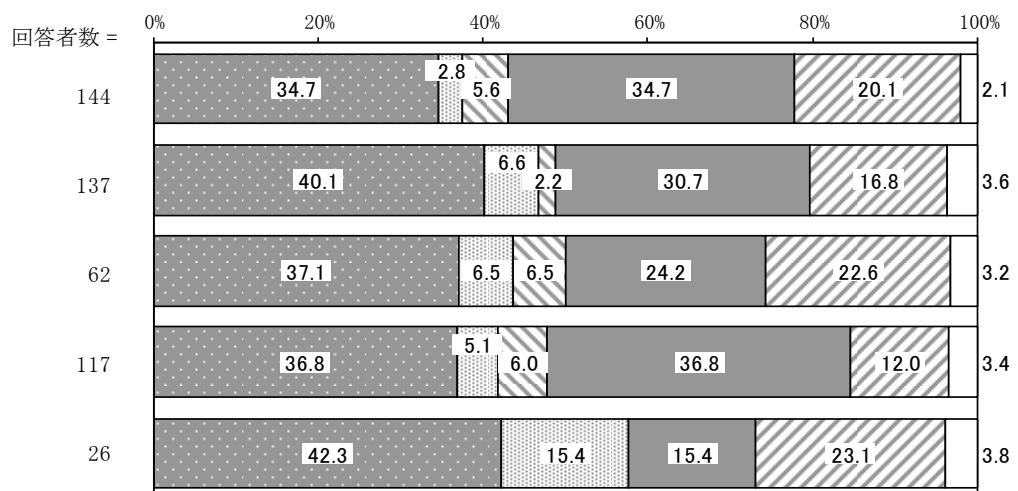
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「定期的な運動を6ヶ月以上している」の割合が高くなっています。また、20歳代で「運動を行っていないが、これから始めようと思っている」の割合が高くなっています。



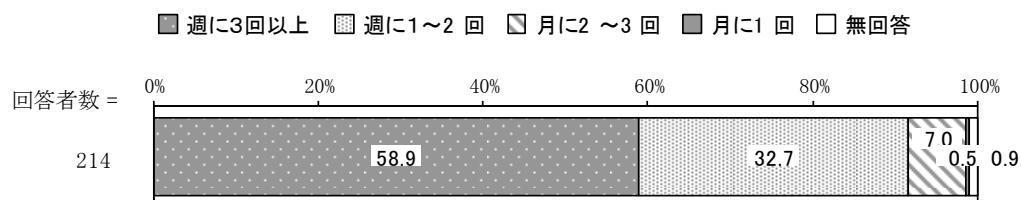
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、富岡で「運動を行っていないが、これから始めようと思っている」の割合が高くなっています。また、須山で「定期的に運動をしているが、まだ6ヶ月たっていない」の割合が高くなっています。



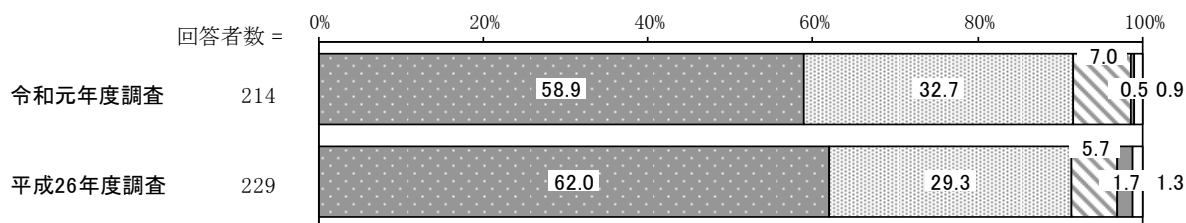
問 32-1 問 32 で「定期的な運動を6ヶ月以上している」「定期的に運動をしているが、まだ6ヶ月たっていない」と回答した方にうかがいます。
 平均すると、運動をどのくらい行っていますか。(〇は1つ)

「週に3回以上」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「週に1~2回」の割合が 32.7%となっています。



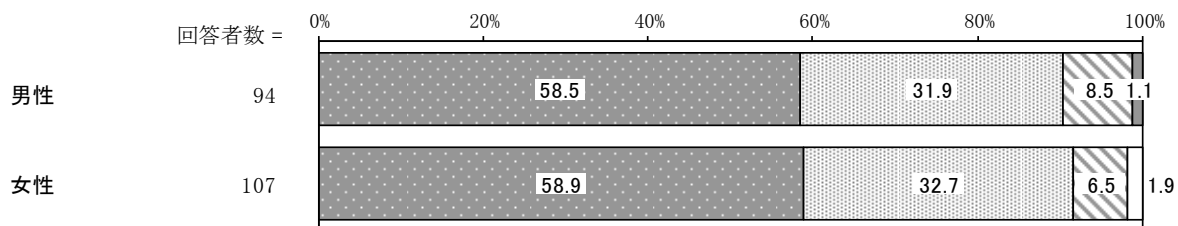
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



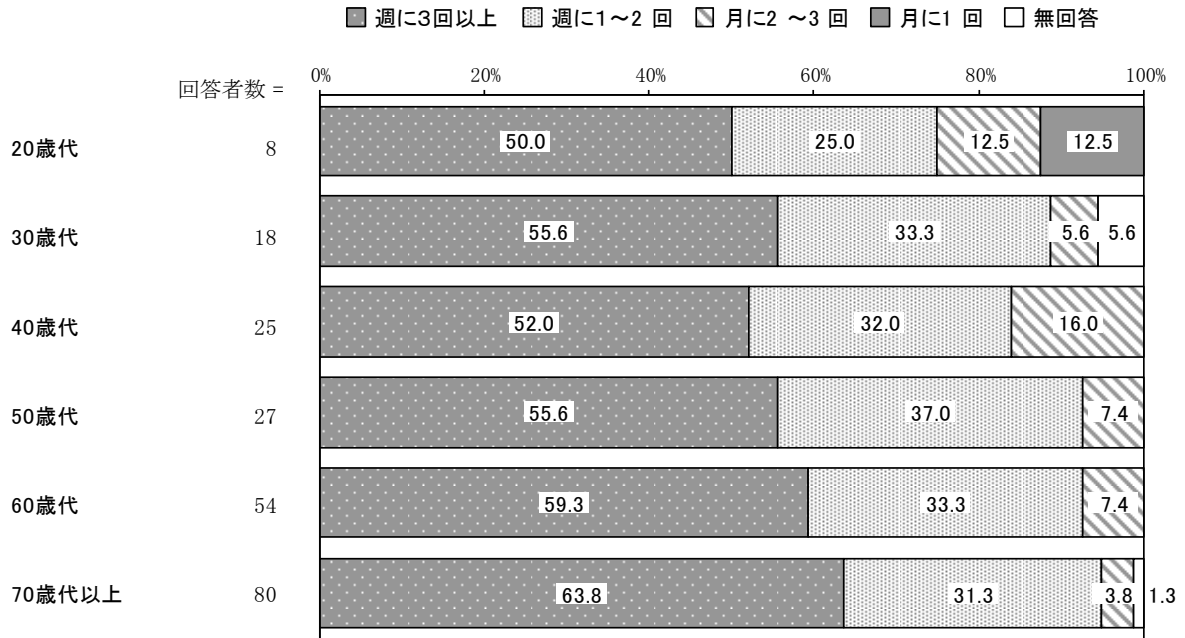
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



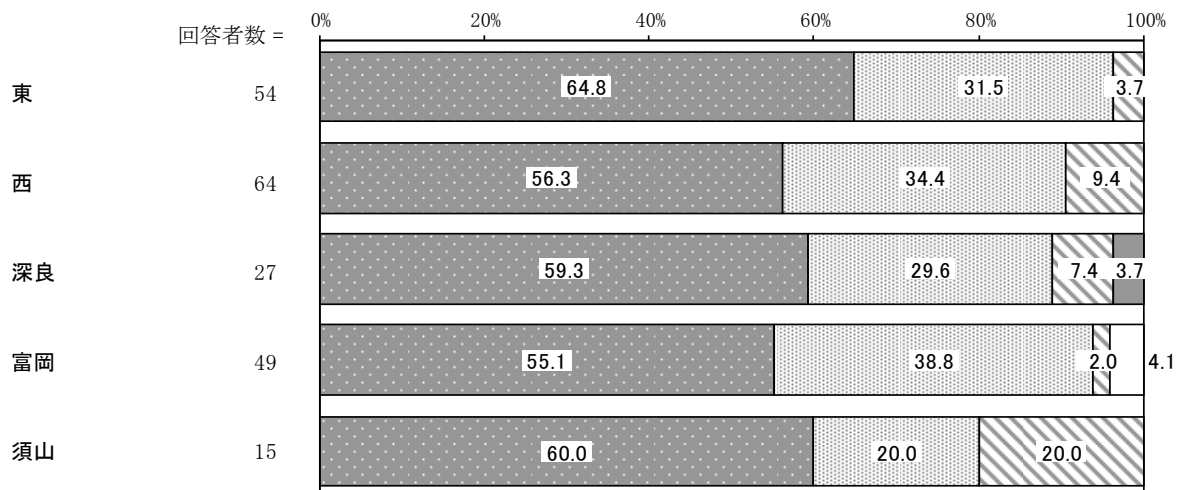
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「週に3回以上」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、40歳代で「月に2～3回」の割合が高くなっています。



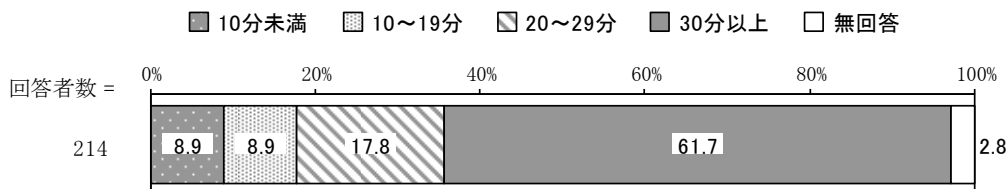
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「週に3回以上」の割合が高くなっています。また、富岡で「週に1～2回」の割合が、須山で「月に2～3回」の割合が高くなっています。



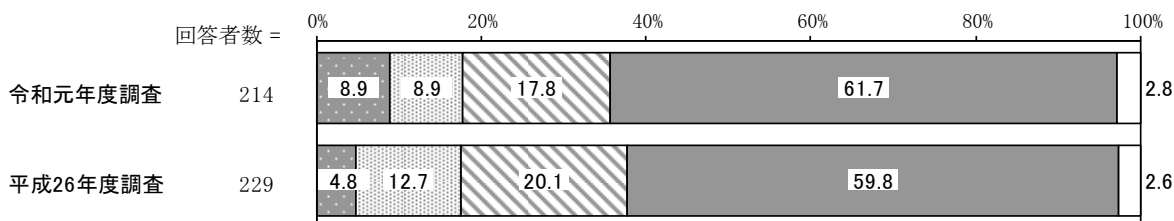
問 32-2 問 32 で「定期的な運動を6ヶ月以上している」「定期的に運動をしているが、まだ6ヶ月たっていない」と回答した方にうかがいます。
 運動する日の1日の平均的な時間を教えてください。(〇は1つ)

「30分以上」の割合が61.7%と最も高く、次いで「20～29分」の割合が17.8%となっています。



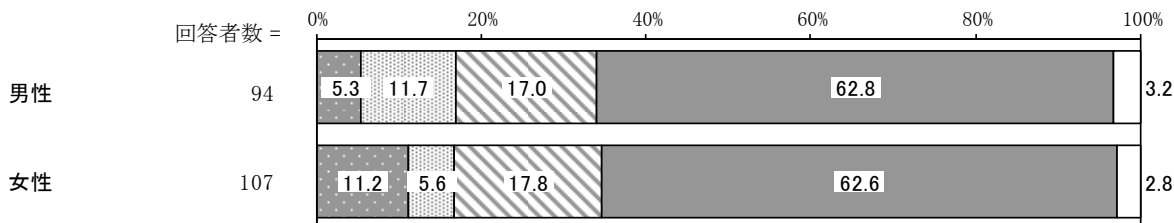
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



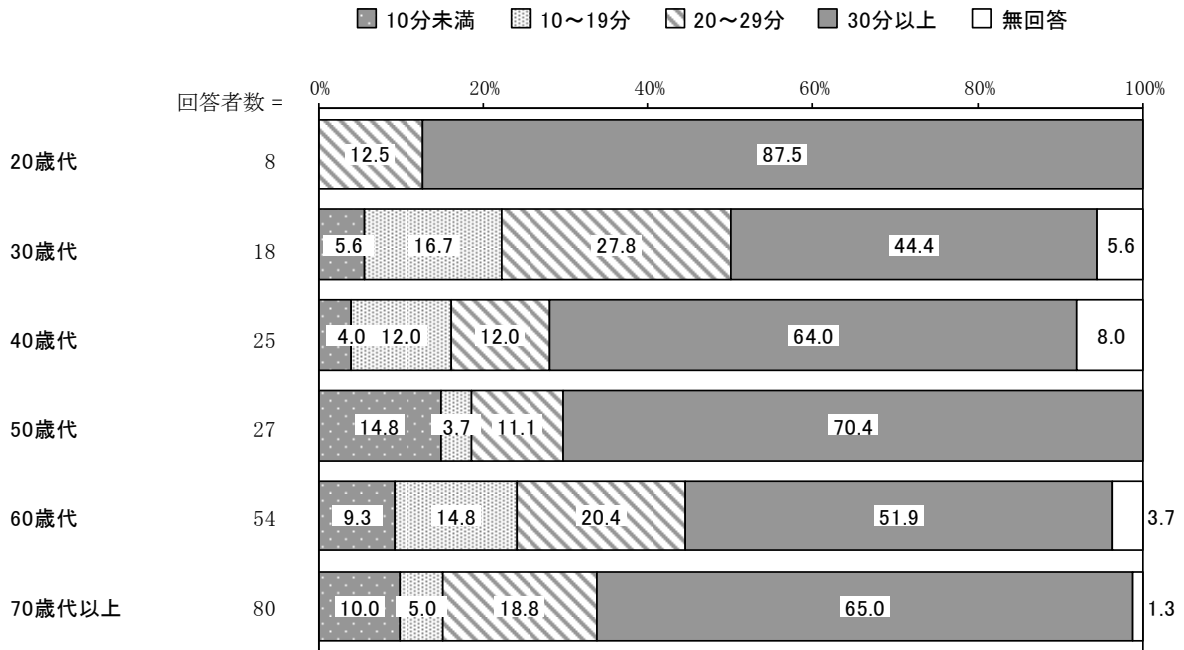
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「10～19分」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「10分未満」の割合が高くなっています。



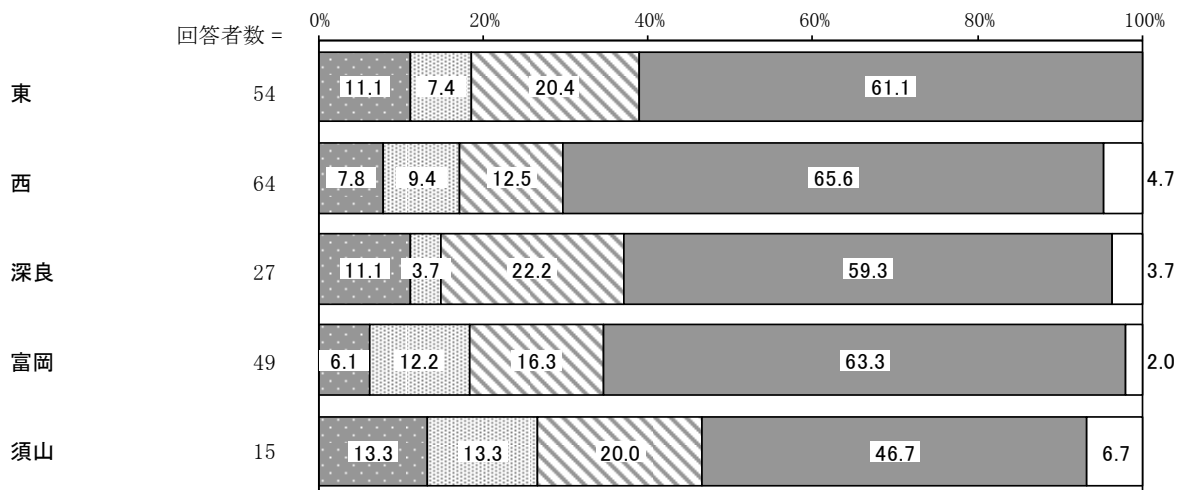
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「30分以上」の割合が高くなっています。また、30歳代で「10～19分」の割合が高くなっています。



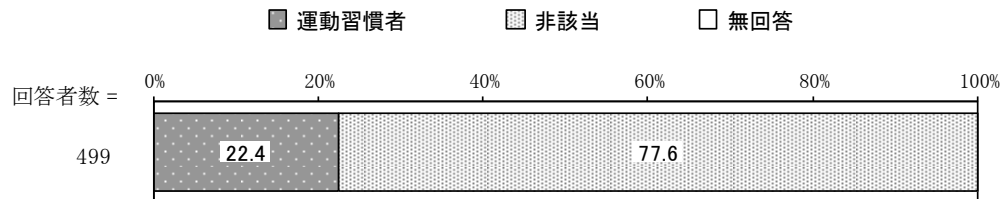
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「30分以上」の割合が高くなっています。



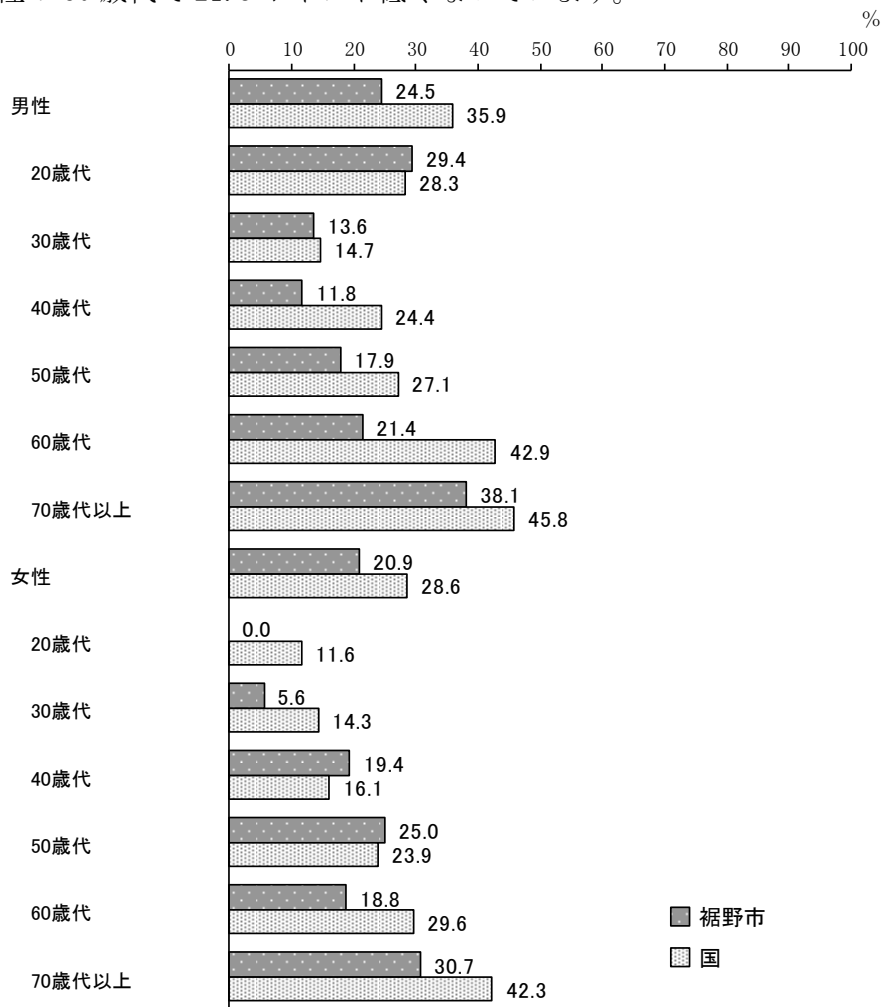
<運動習慣者（1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している人）>

「運動習慣者」の割合が22.4%、「非該当」の割合が77.6%となっています。



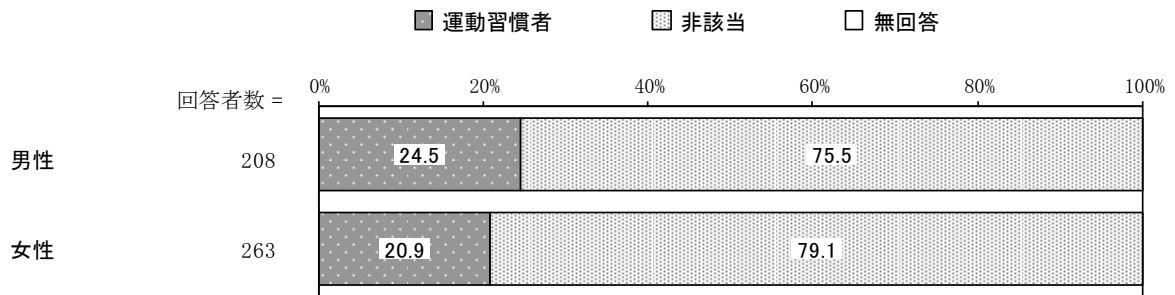
【国調査との比較（運動習慣者の割合）】

国調査（平成29年国民健康・栄養調査）と比較すると、男女とも国に比べ運動習慣者の割合が低く、特に男性の60歳代で21.5ポイント低くなっています。



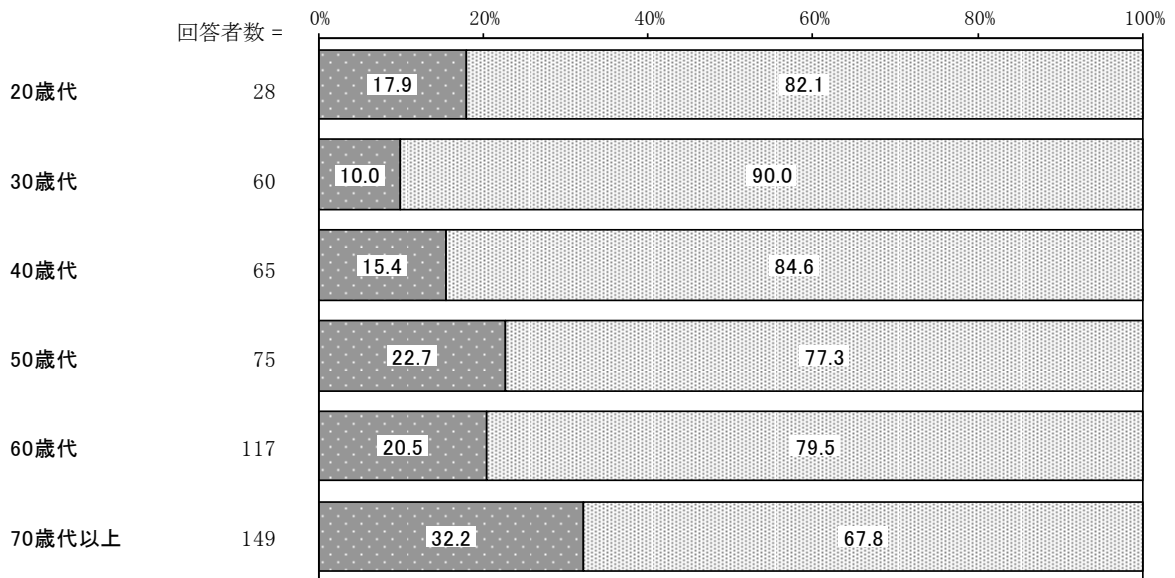
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



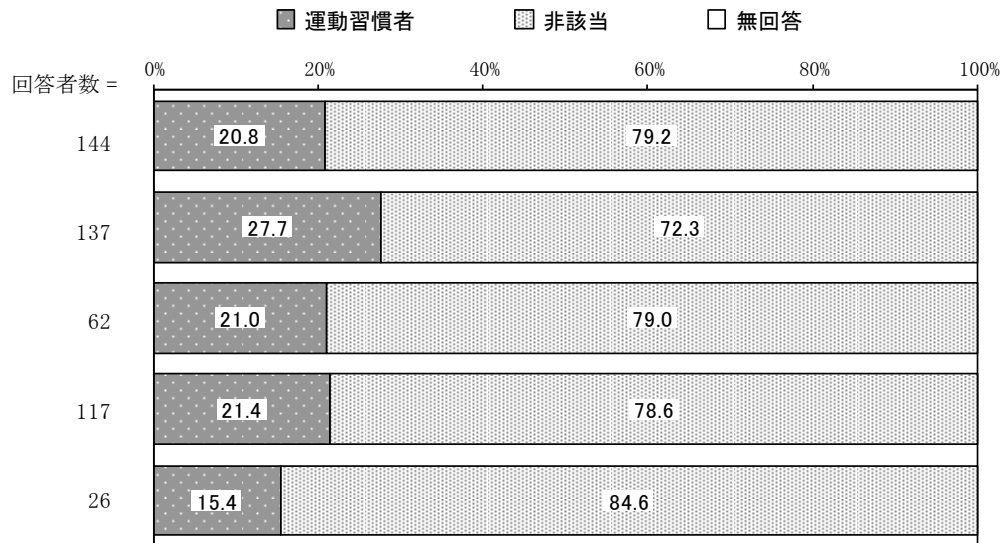
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「運動習慣者」の割合が高くなっています。また、30歳代で「非該当」の割合が高くなっています。



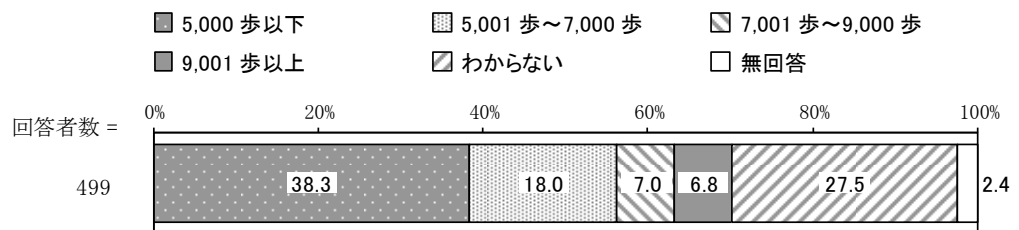
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「運動習慣者」の割合が高くなっています。また、須山で「非該当」の割合が高くなっています。



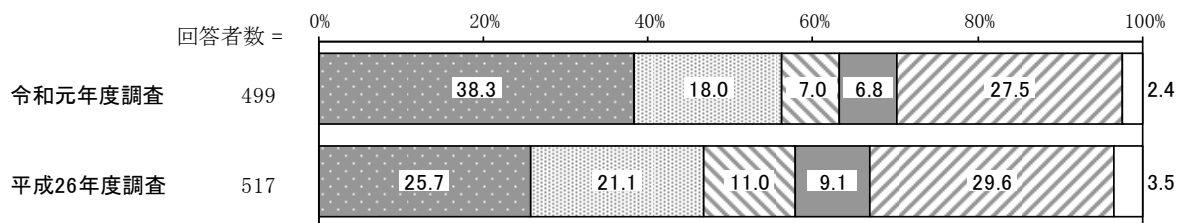
問 33 日常生活での平均の1日の歩数を教えてください。(○は1つ)

「5,000 歩以下」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 27.5%、「5,001 歩～7,000 歩」の割合が 18.0%となっています。



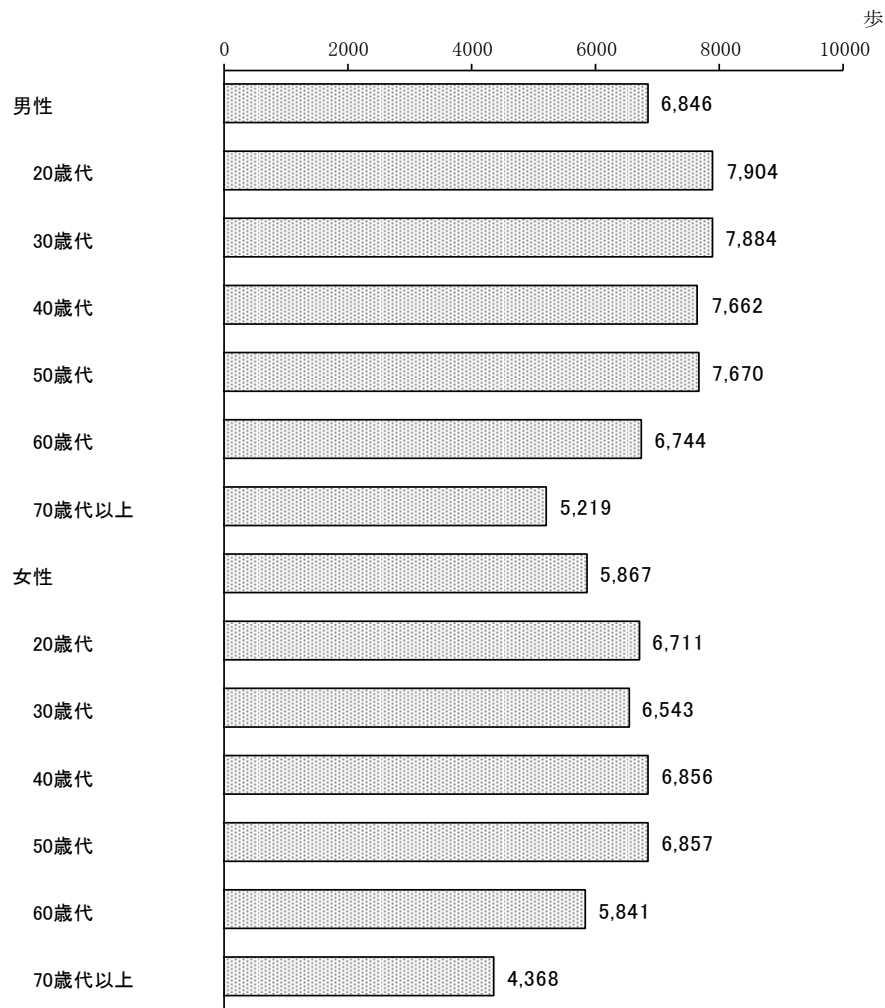
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「5,000 歩以下」が 12.6 ポイント増加しています。



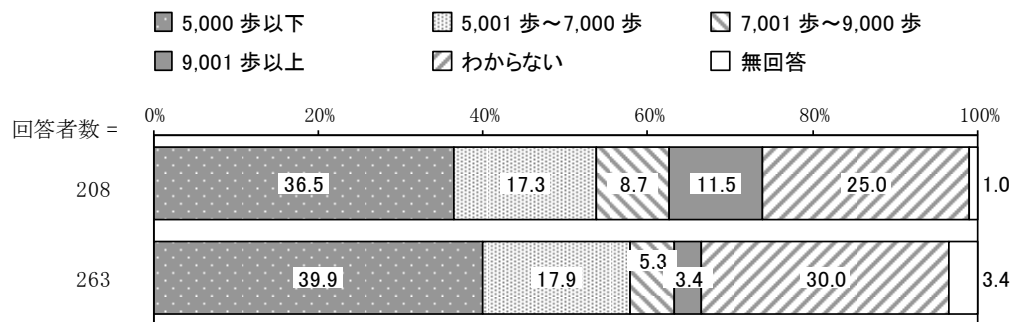
【国調査（参考）】

国調査（平成 29 年国民健康・栄養調査）では、歩数の平均値は男性で 6,846 歩、女性で 5,867 歩となっています。



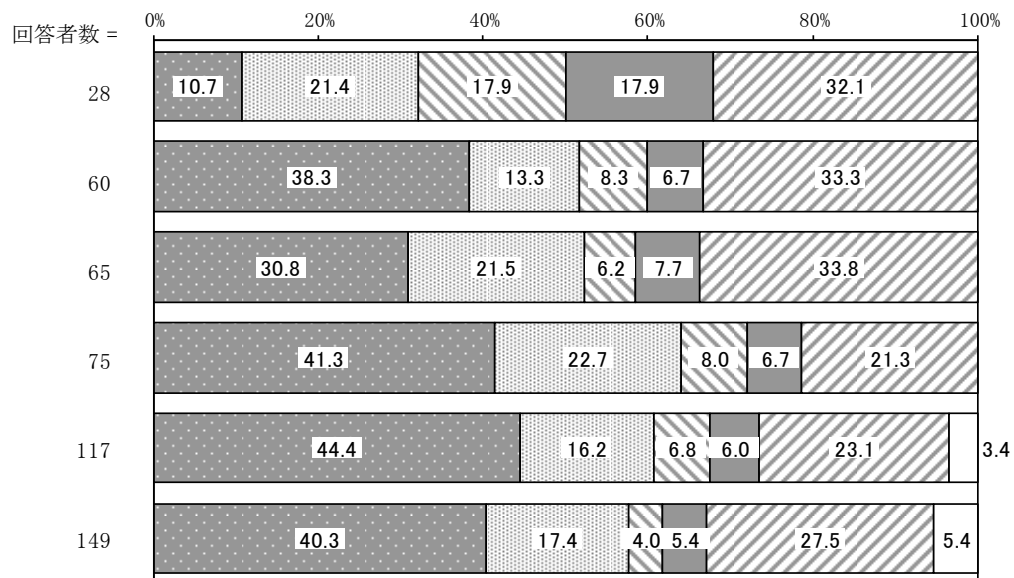
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「9,001歩以上」の割合が高くなっています。



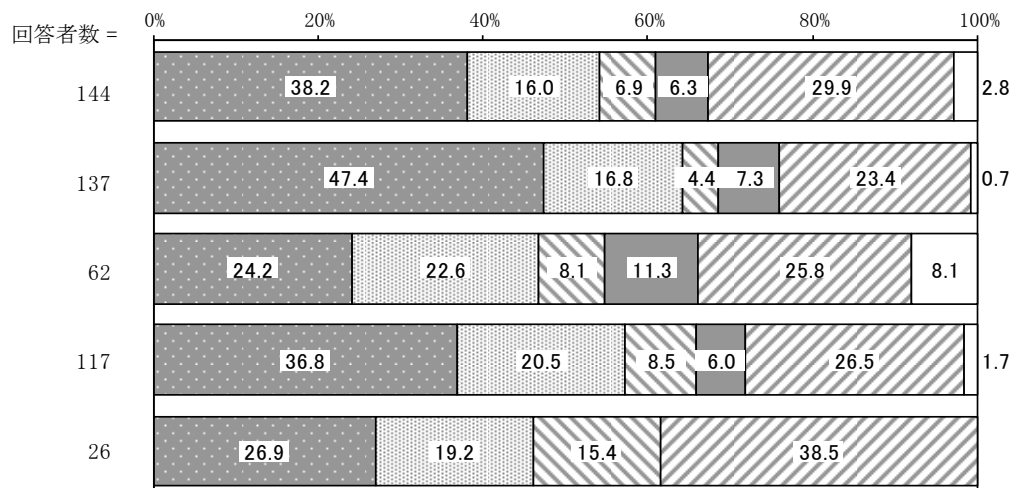
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代で「5,000歩以下」の割合が高くなっています。また、20歳代で「7,001歩～9,000歩」「9,001歩以上」の割合が高くなっています。



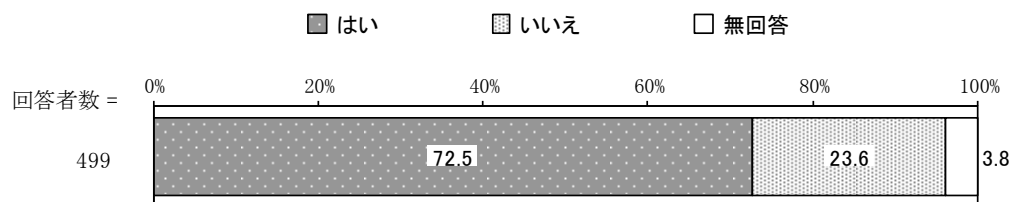
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「5,000歩以下」の割合が高くなっています。また、深良で「9,000歩以上」の割合が高くなっています。



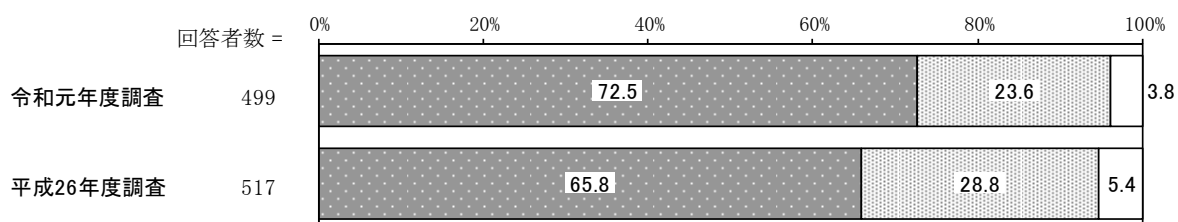
問 34 意識的に身体を動かすように心がけていますか。(〇は1つ)

「はい」の割合が72.5%、「いいえ」の割合が23.6%となっています。



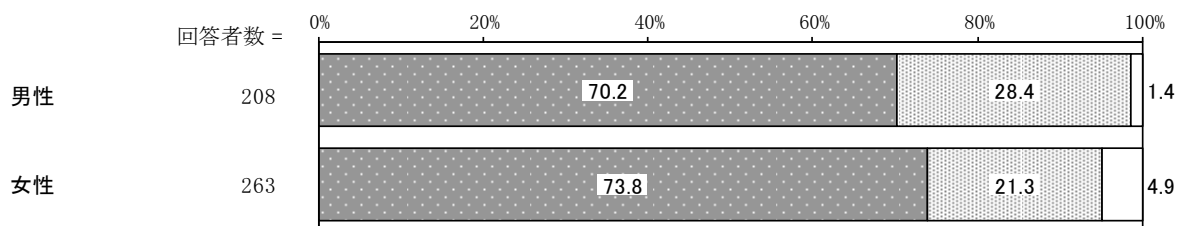
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「はい」が6.7ポイント増加し、「いいえ」が5.2ポイント減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。



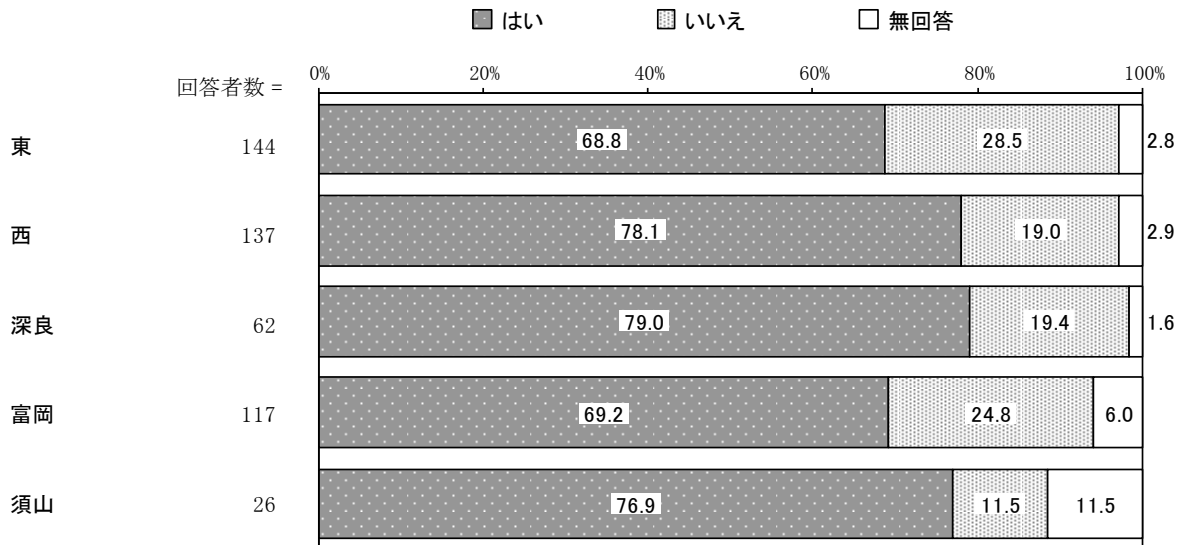
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、60歳代、70歳代以上で「はい」の割合が高くなっています。また、30歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



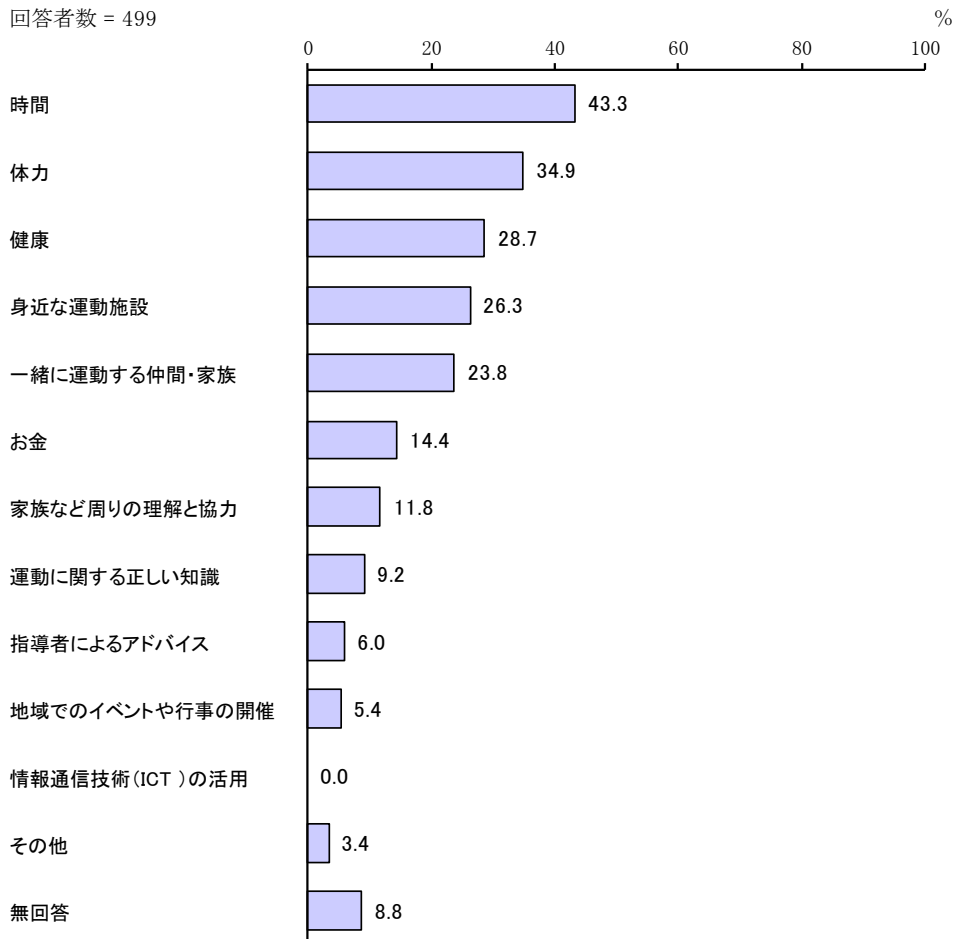
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西、深良で「はい」の割合が高くなっています。東で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 35 あなたが今後、運動を続ける（始める）ために、何が必要ですか。（3つまで）

「時間」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「体力」の割合が 34.9%、「健康」の割合が 28.7%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「健康」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一緒に運動する仲間・家族	家族など周りの理解と協力	地域でのイベントや行事の開催	身近な運動施設	指導者によるアドバイス	時間	お金	健康	体力	運動に関する正しい知識	情報通信技術(ICT)の活用	その他	無回答
男性	208	22.1	10.6	6.3	27.9	4.8	43.8	15.4	24.5	34.6	10.6	—	5.3	7.7
女性	263	25.1	13.3	5.3	24.3	7.2	42.6	15.2	30.0	35.7	8.7	—	1.9	9.1

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「健康」「体力」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「時間」の割合が、20歳代で「一緒に運動する仲間・家族」「地域でのイベントや行事の開催」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一緒に運動する仲間・家族	家族など周りの理解と協力	地域でのイベントや行事の開催	身近な運動施設	指導者によるアドバイス	時間	お金	健康	体力	運動に関する正しい知識	情報通信技術(ICT)の活用	その他	無回答
20歳代	28	32.1	3.6	14.3	17.9	—	50.0	25.0	—	25.0	7.1	—	7.1	14.3
30歳代	60	21.7	18.3	6.7	25.0	5.0	70.0	16.7	8.3	28.3	16.7	—	1.7	10.0
40歳代	65	18.5	12.3	—	27.7	1.5	70.8	18.5	15.4	30.8	4.6	—	3.1	7.7
50歳代	75	21.3	13.3	5.3	26.7	6.7	53.3	20.0	24.0	34.7	8.0	—	2.7	6.7
60歳代	117	23.1	7.7	3.4	31.6	8.5	43.6	17.1	41.9	36.8	12.0	—	2.6	5.1
70歳代以上	149	27.5	13.4	7.4	24.2	7.4	13.4	5.4	40.3	40.9	6.7	—	4.0	11.4

【地区別】

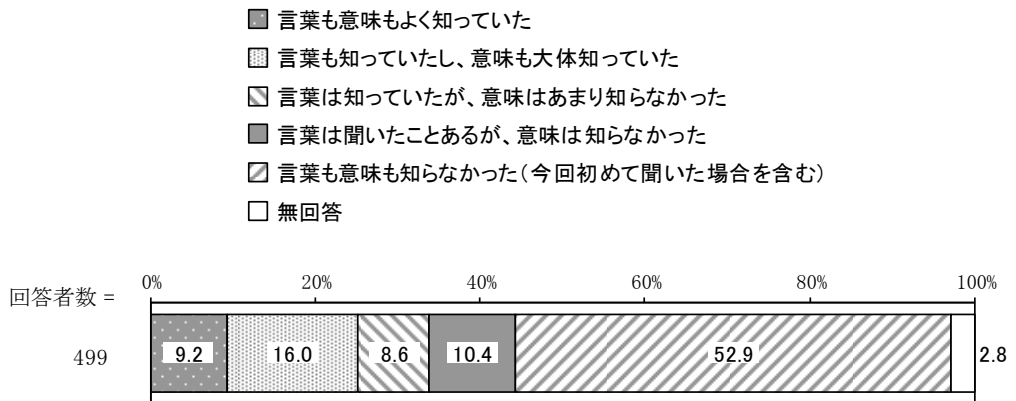
地区別でみると、他の地区に比べ、東で「体力」の割合が、深良、富岡で「一緒に運動する仲間・家族」の割合が高くなっています。また、富岡で「身近な運動施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一緒に運動する仲間・家族	家族など周りの理解と協力	地域でのイベントや行事の開催	身近な運動施設	指導者によるアドバイス	時間	お金	健康	体力	運動に関する正しい知識	情報通信技術(ICT)の活用	その他	無回答
東	144	21.5	7.6	6.9	27.8	8.3	41.0	16.0	29.2	39.6	11.1	—	4.9	6.3
西	137	20.4	17.5	5.1	23.4	5.1	43.1	16.1	32.1	30.7	9.5	—	2.2	8.8
深良	62	27.4	9.7	4.8	22.6	6.5	41.9	21.0	24.2	33.9	8.1	—	6.5	9.7
富岡	117	29.1	14.5	5.1	32.5	5.1	44.4	9.4	28.2	35.9	7.7	—	0.9	9.4
須山	26	23.1	—	3.8	19.2	3.8	57.7	3.8	26.9	34.6	3.8	—	7.7	11.5

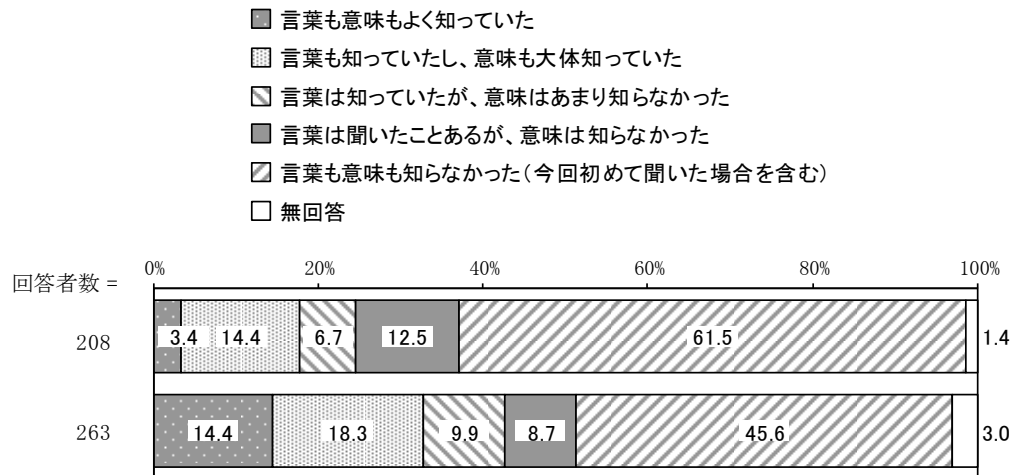
問 36 あなたはロコモティブシンドロームについて知っていますか。(○は1つ)

「言葉も意味も知らなかった(今回初めて聞いた場合を含む)」の割合が52.9%と最も高く、次いで「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」の割合が16.0%、「言葉は聞いたことあるが、意味は知らなかった」の割合が10.4%となっています。



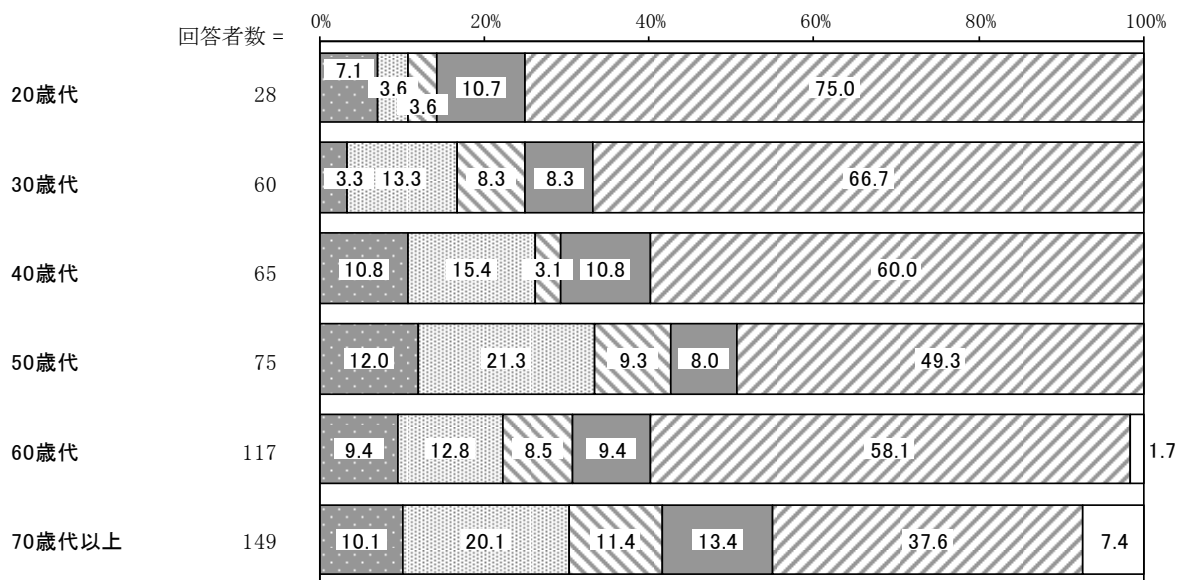
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「言葉も意味も知らなかった（今回初めて聞いた場合を含む）」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「言葉も意味もよく知っていた」の割合が高くなっています。



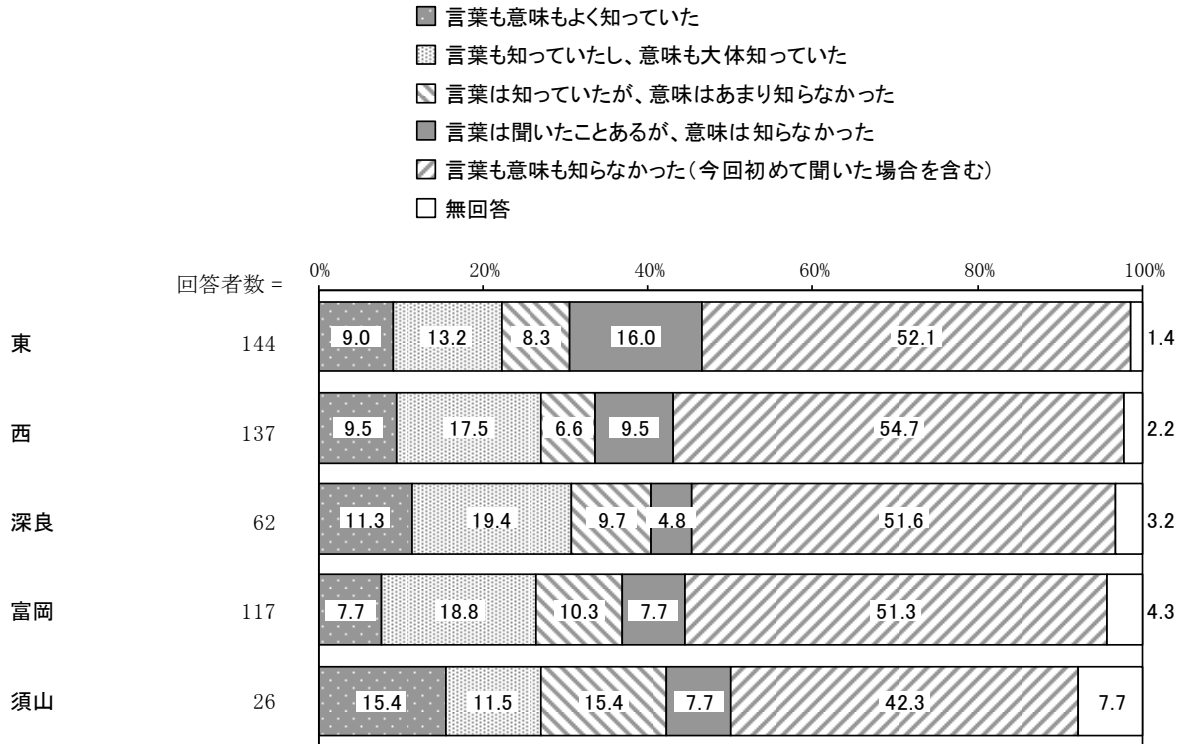
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「言葉も意味も知らなかった（今回初めて聞いた場合を含む）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、50歳代、70歳代以上で「言葉も知っていたし、意味も大体知っていた」の割合が高くなる傾向がみられます。



【地区別】

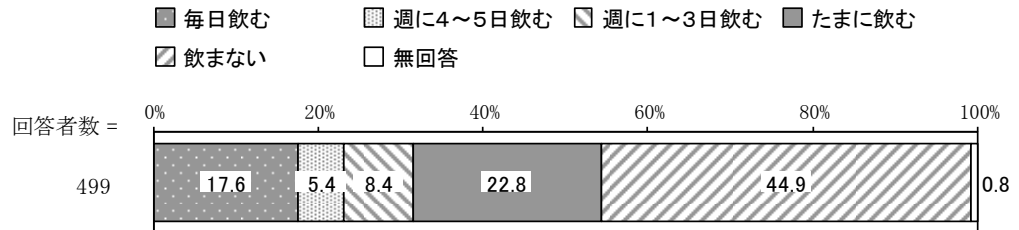
地区別でみると、他の地区に比べ、東で「言葉は聞いたことあるが、意味は知らなかった」の割合が高くなる傾向がみられます。



(6) アルコールについて

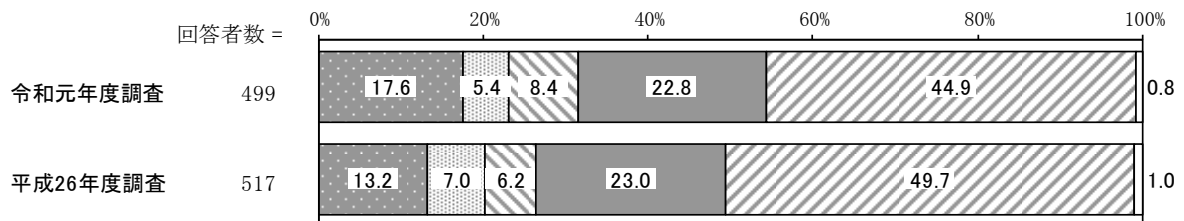
問 37 お酒を飲みますか。(○は1つ)

「飲まない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「たまに飲む」の割合が22.8%、「毎日飲む」の割合が17.6%となっています。



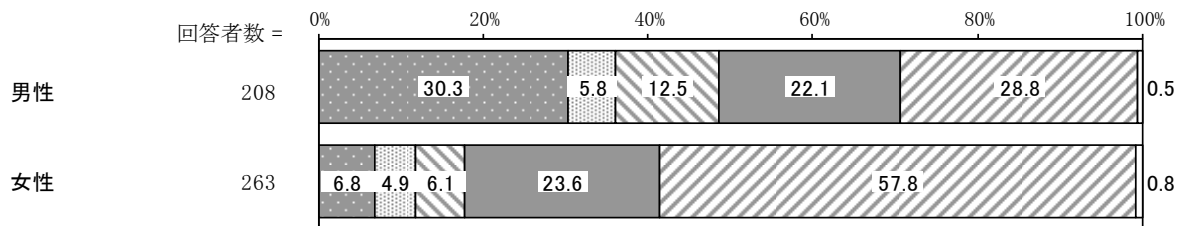
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



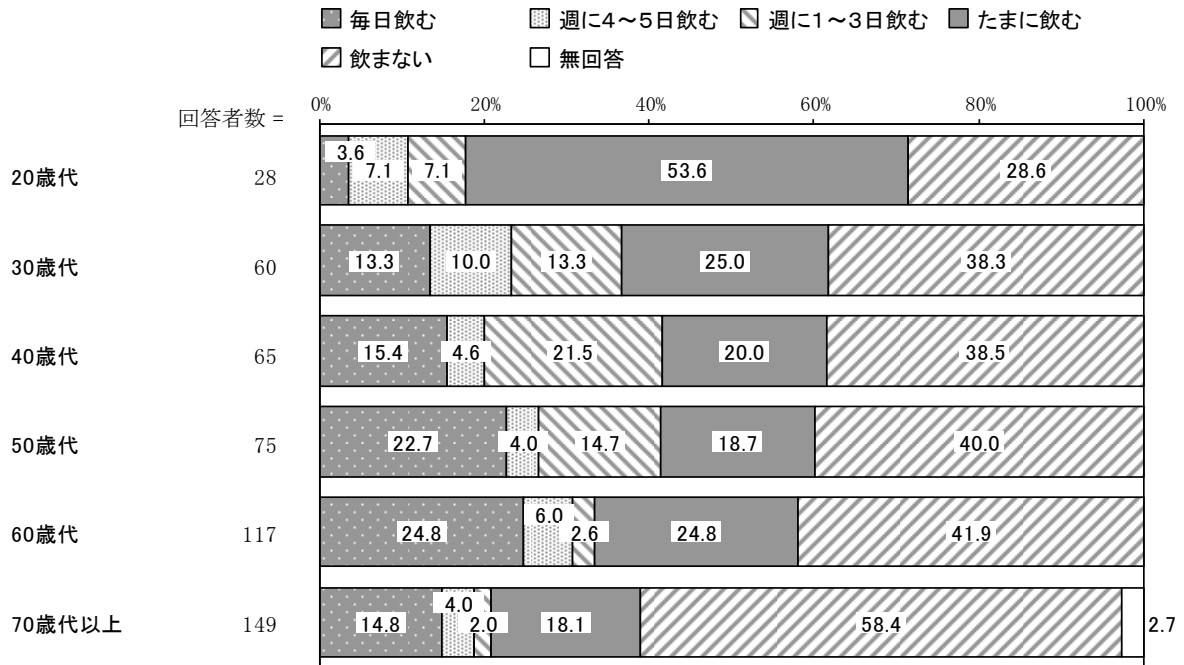
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「毎日飲む」「週に1~3日飲む」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「飲まない」の割合が高くなっています。



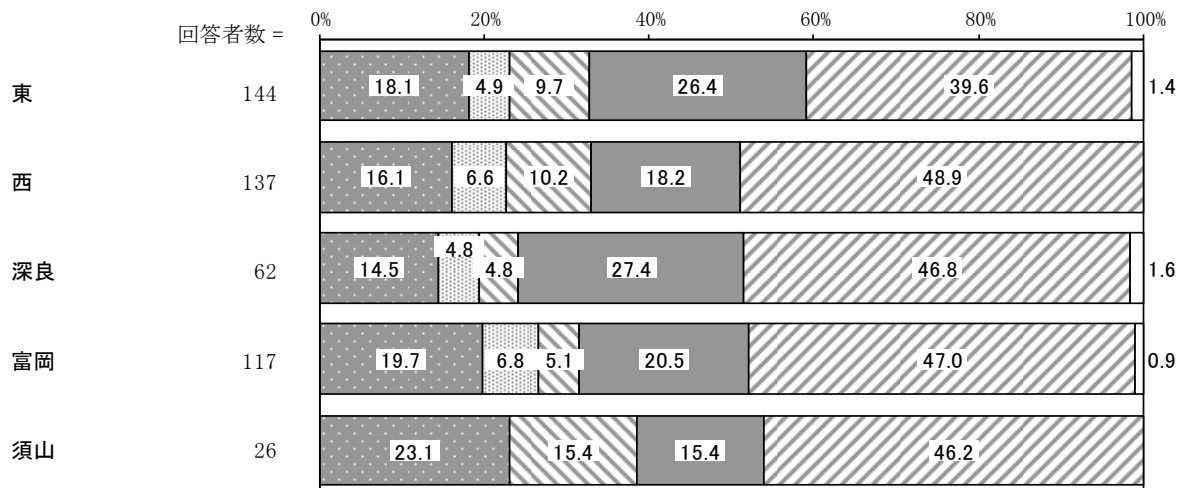
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「飲まない」の割合が、60歳代以下で年齢が高くなるにつれ「毎日飲む」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、20歳代で「たまに飲む」の割合が、40歳代で「週に1～3日飲む」の割合が高くなっています。



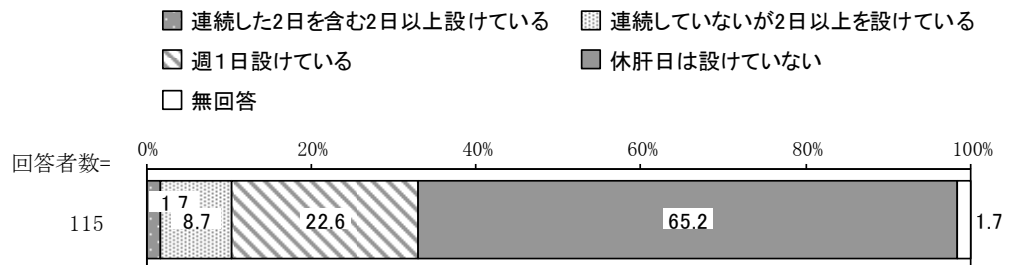
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、深良で「たまに飲む」の割合が、須山で「毎日飲む」の割合が高くなっています。



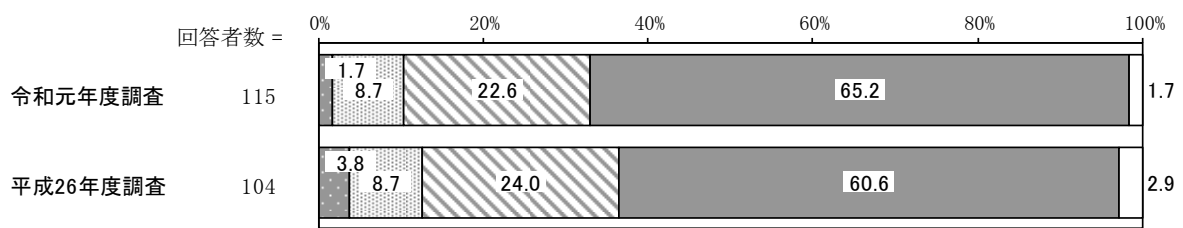
問 37-1 問 37 で「毎日飲む」「週に 4～5 日飲む」のいずれかを回答した方にうかがいます。
週に何日、休肝日（お酒を飲まない日）を設けていますか。（○は 1 つ）

「休肝日は設けていない」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「週 1 日設けている」の割合が 22.6%となっています。



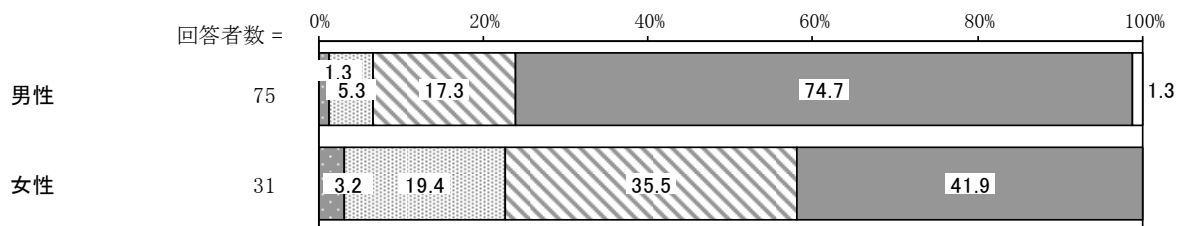
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



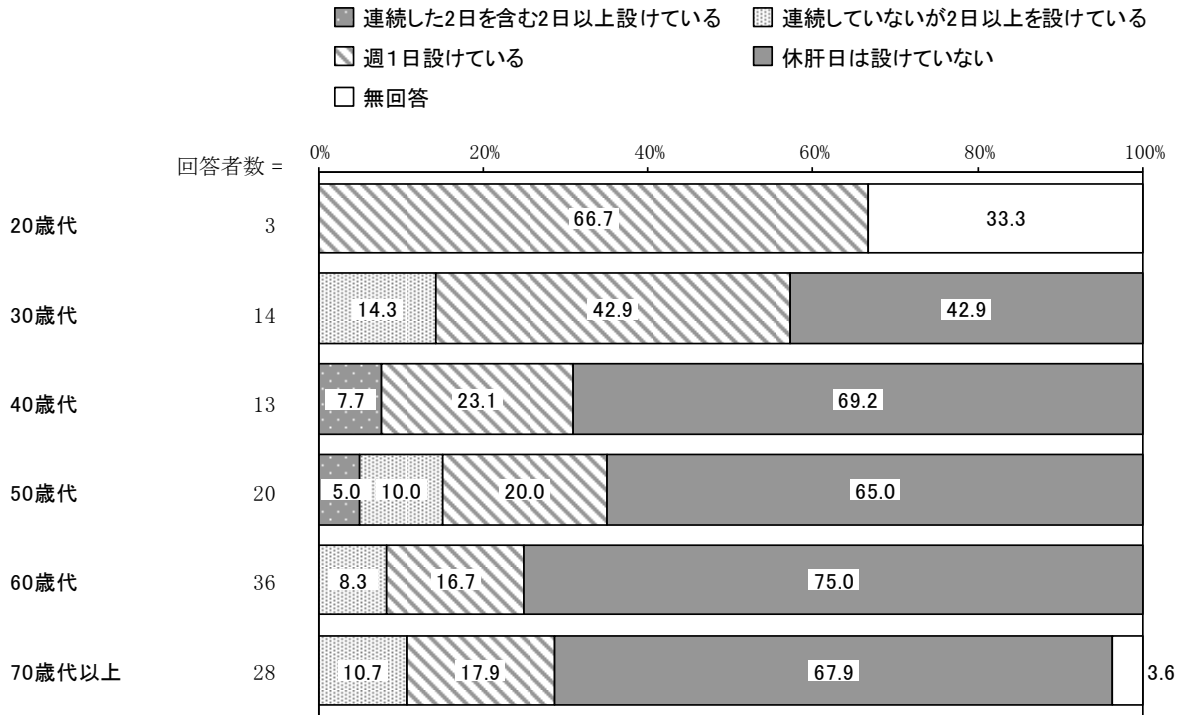
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「休肝日は設けていない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「連続していないが 2 日以上を設けている」「週 1 日設けている」の割合が高くなっています。



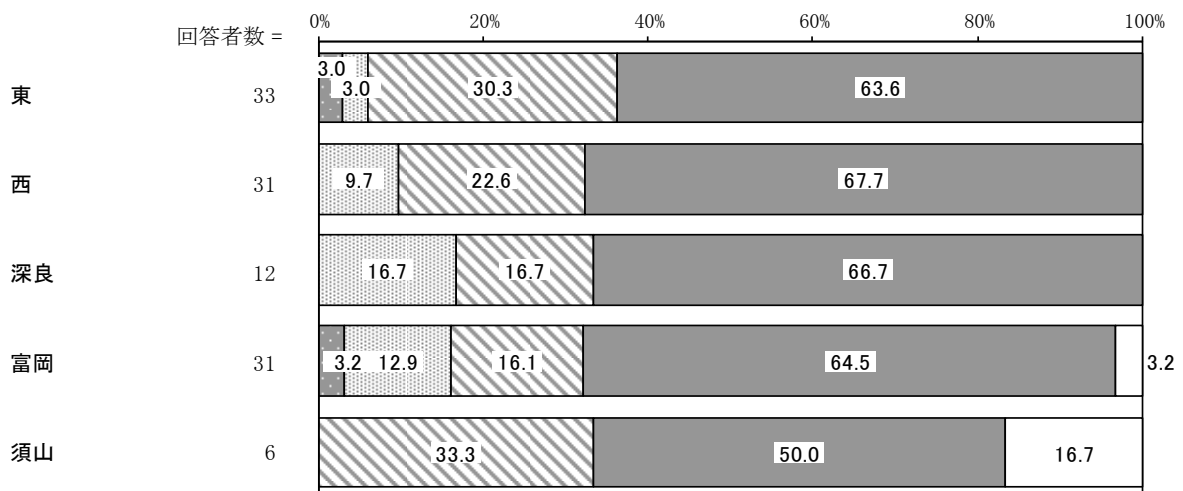
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、60歳代で「休肝日は設けていない」の割合が高くなっています。また、30歳代で「連続していないが2日以上を設けている」「週1日設けている」の割合が高くなっています。



【地区別】

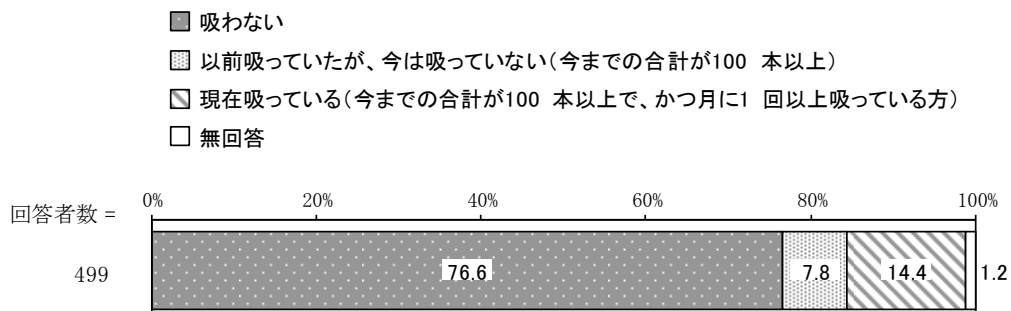
地区別でみると、他の地区に比べ、東で「週1日設けている」の割合が高くなっています。また、深良、富岡で「連続していないが2日以上を設けている」の割合が高くなっています。



(7) 喫煙について

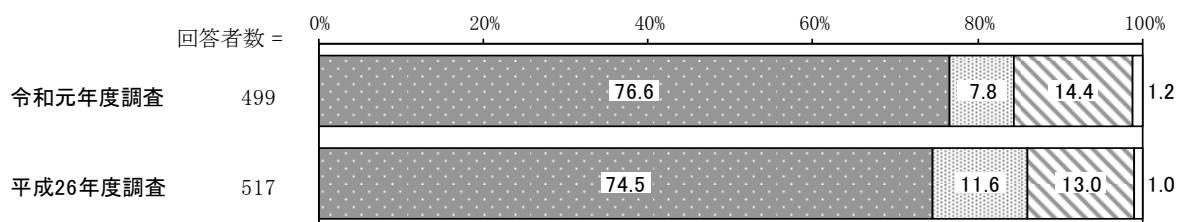
問 38 たばこを吸いますか。(○は1つ)

「吸わない」の割合が76.6%と最も高く、次いで「現在吸っている（今までの合計が100本以上で、かつ月に1回以上吸っている方）」の割合が14.4%となっています。



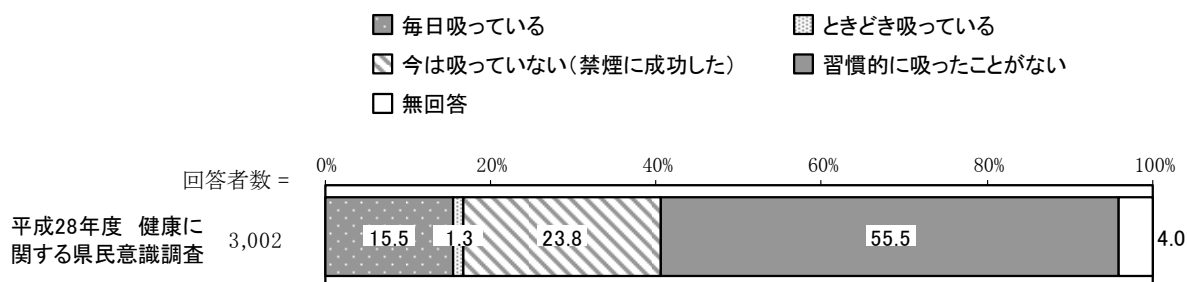
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



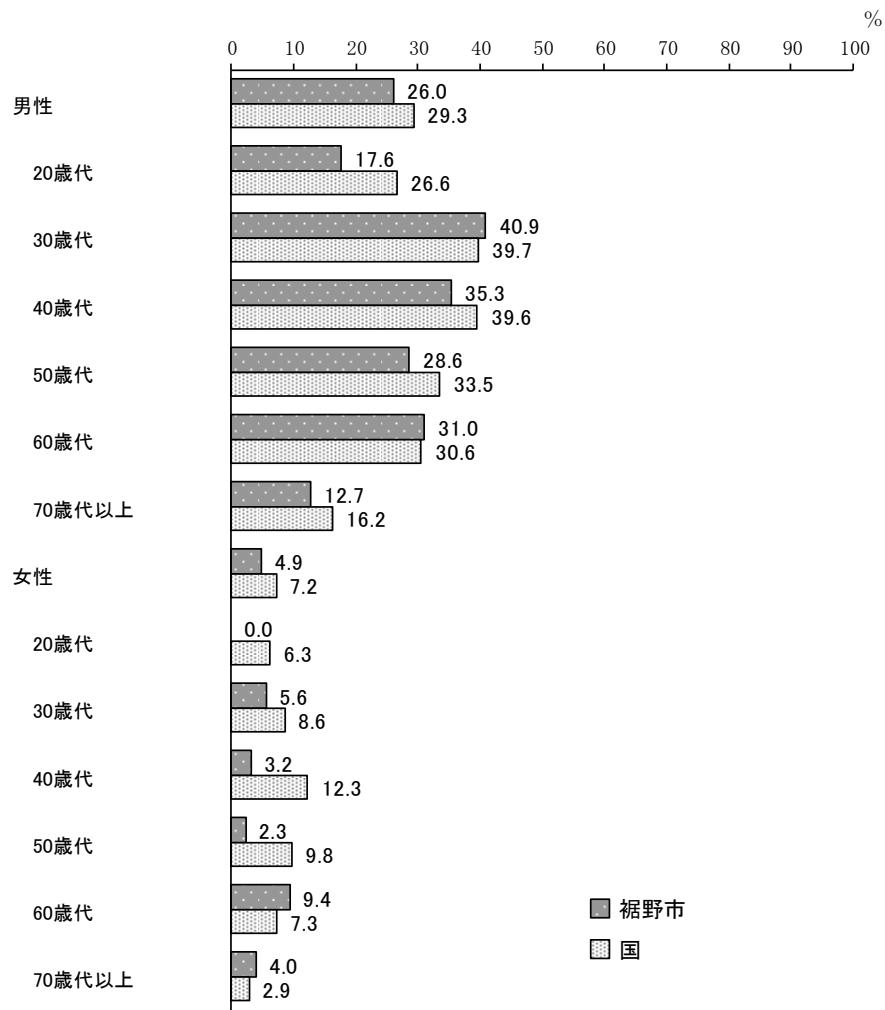
【県調査（参考）】

県調査では、「習慣的に吸ったことがない」の割合が55.5%、次いで「今は吸っていない（禁煙に成功した）」の割合が23.8%、「毎日吸っている」の割合が15.5%となっています。



【国調査との比較（現在喫煙している人）】

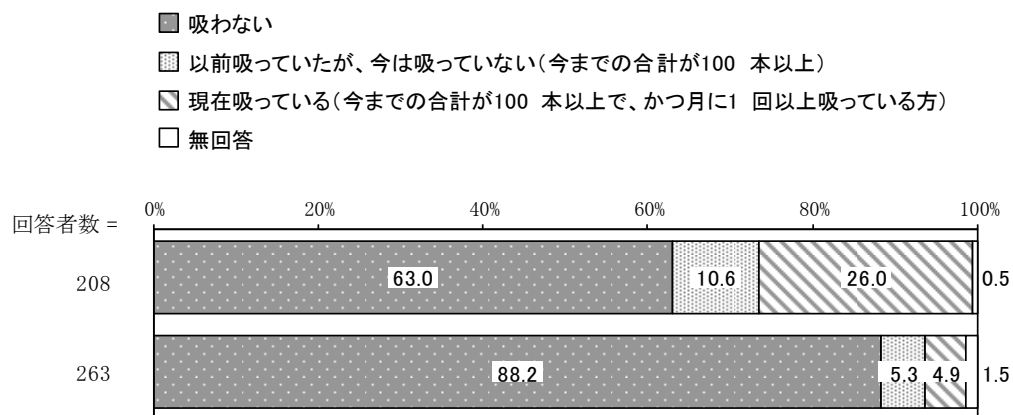
国調査（平成 29 年国民健康・栄養調査）と比較すると、裾野市の喫煙者は国に比べ若干低くなっています。



※国調査の「現在喫煙している人」は、「毎日吸っている」と「時々吸う日がある」の合計です。

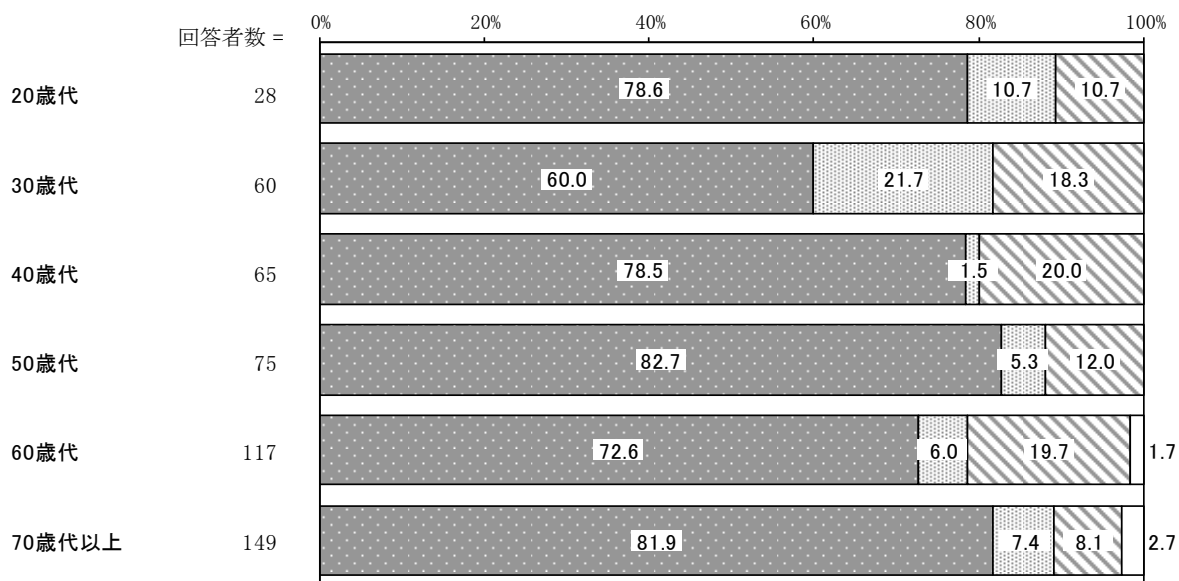
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「以前吸っていたが、今は吸っていない」「現在吸っている」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「吸わない」の割合が高くなっています。



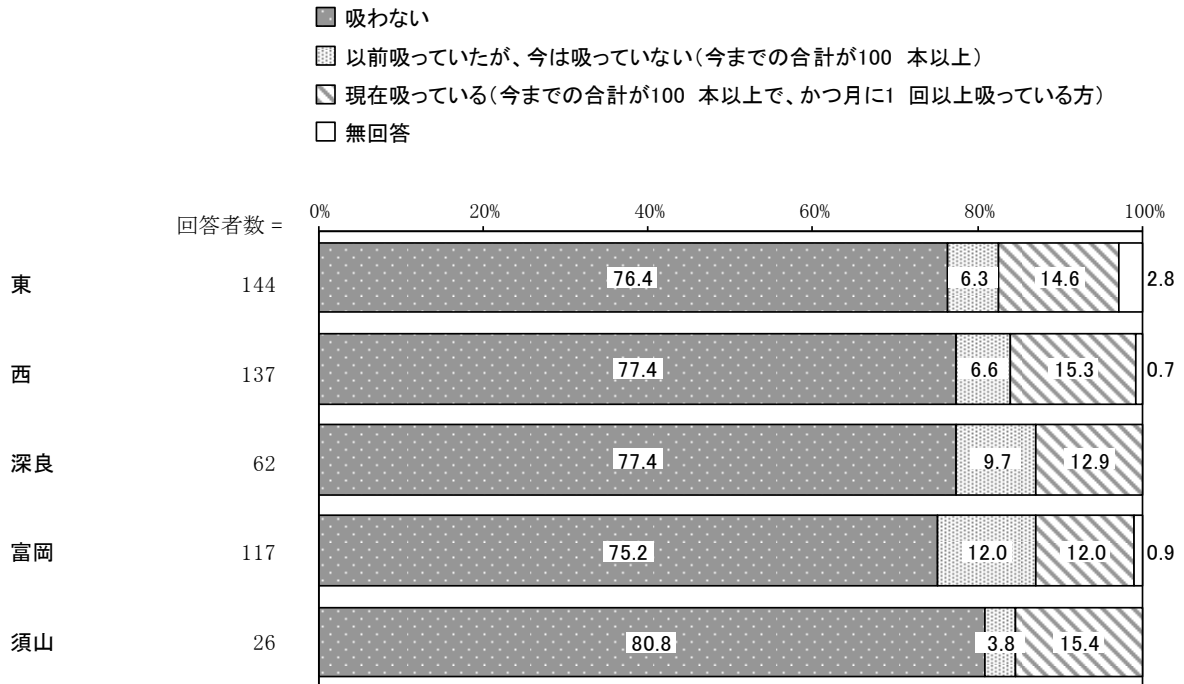
【年齢別】

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、50歳代、70歳代以上で「吸わない」の割合が高くなっています。また、30歳代で「以前吸っていたが、今は吸っていない」の割合が、30歳代、40歳代、60歳代で「現在吸っている」の割合が高くなっています。



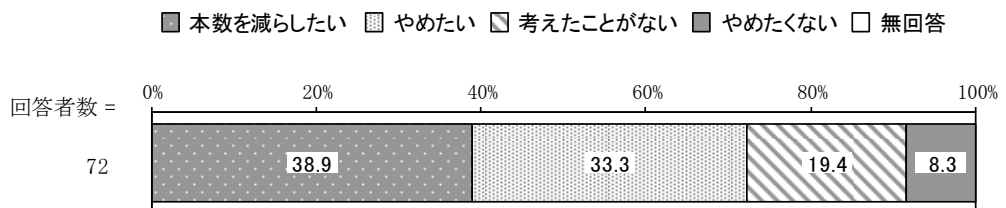
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「吸わない」の割合が高くなっています。



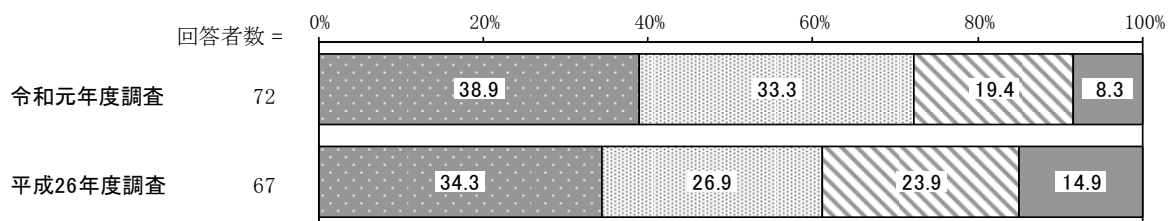
問 38-1 問 38 で「現在吸っている」と答えた方にうかがいます。 たばこをやめたいと思いますか。(○は1つ)

「本数を減らしたい」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「やめたい」の割合が 33.3%、「考えたことがない」の割合が 19.4%となっています。



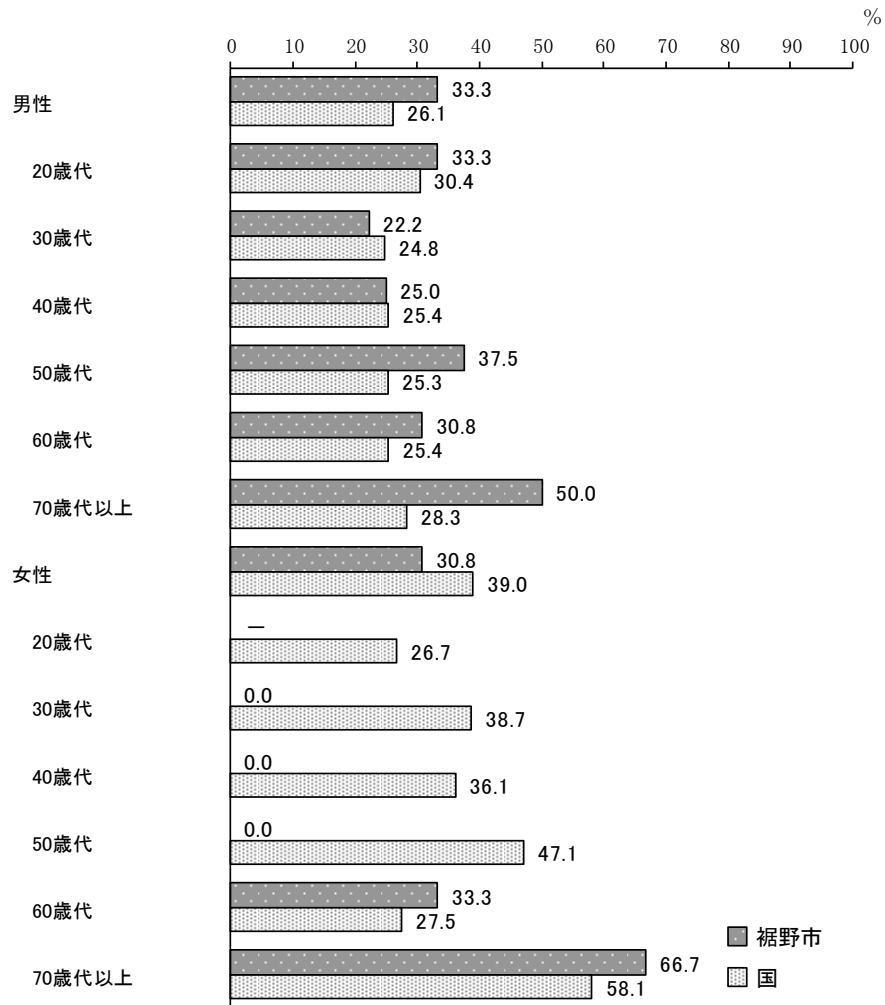
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「やめたい」が 6.4 ポイント増加し、「やめたくない」が 6.6 ポイント減少しています。



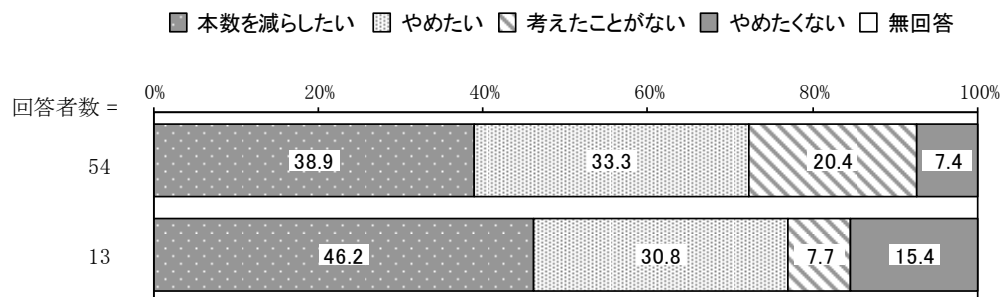
【国調査との比較（たばこをやめたいと思う人）】

国調査（平成 29 年国民健康・栄養調査）と比較すると、たばこをやめたいと思う人の割合は、国に比べ、男性では高く、女性では低くなっています。



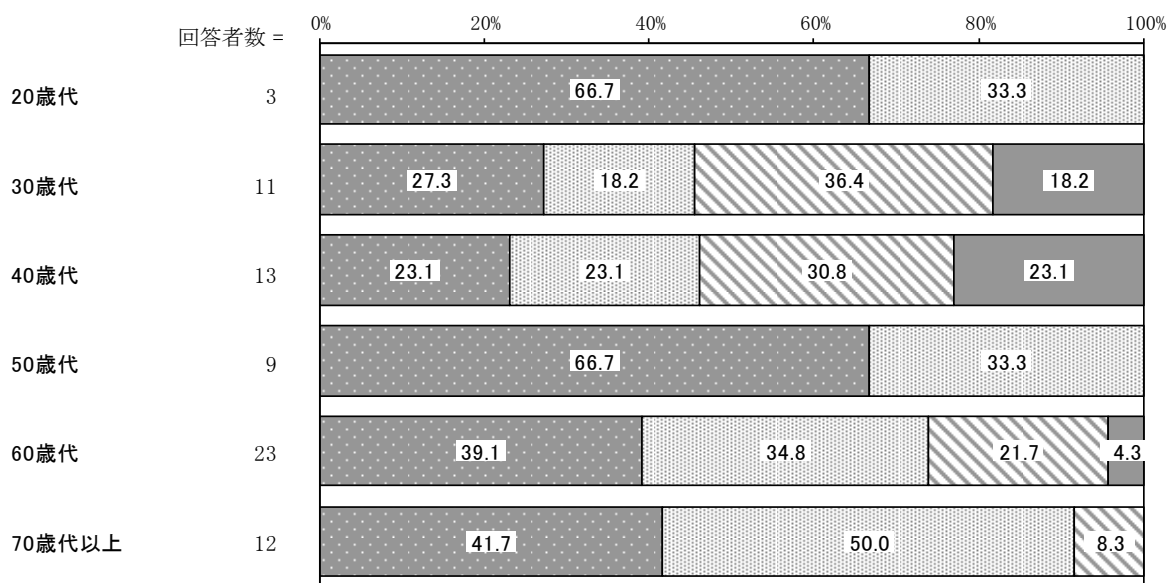
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「考えたことがない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「本数を減らしたい」「やめたくない」の割合が高くなっています。



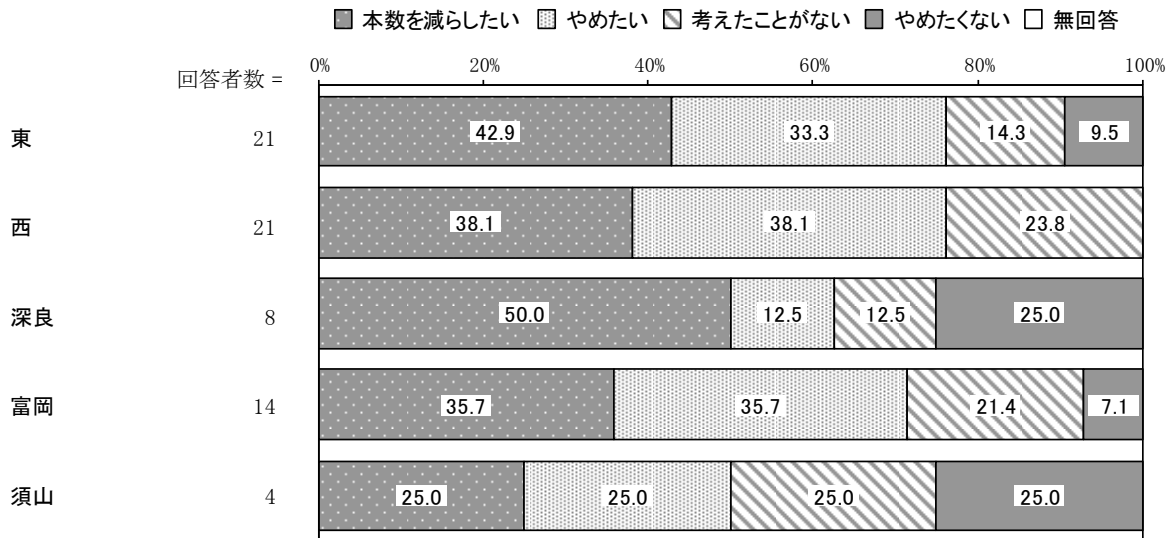
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「やめたい」の割合が、60歳代、70歳代以上で「本数を減らしたい」の割合が高くなっています。また、30歳代で「考えたことがない」の割合が、40歳代で「やめたくない」の割合が高くなっています。



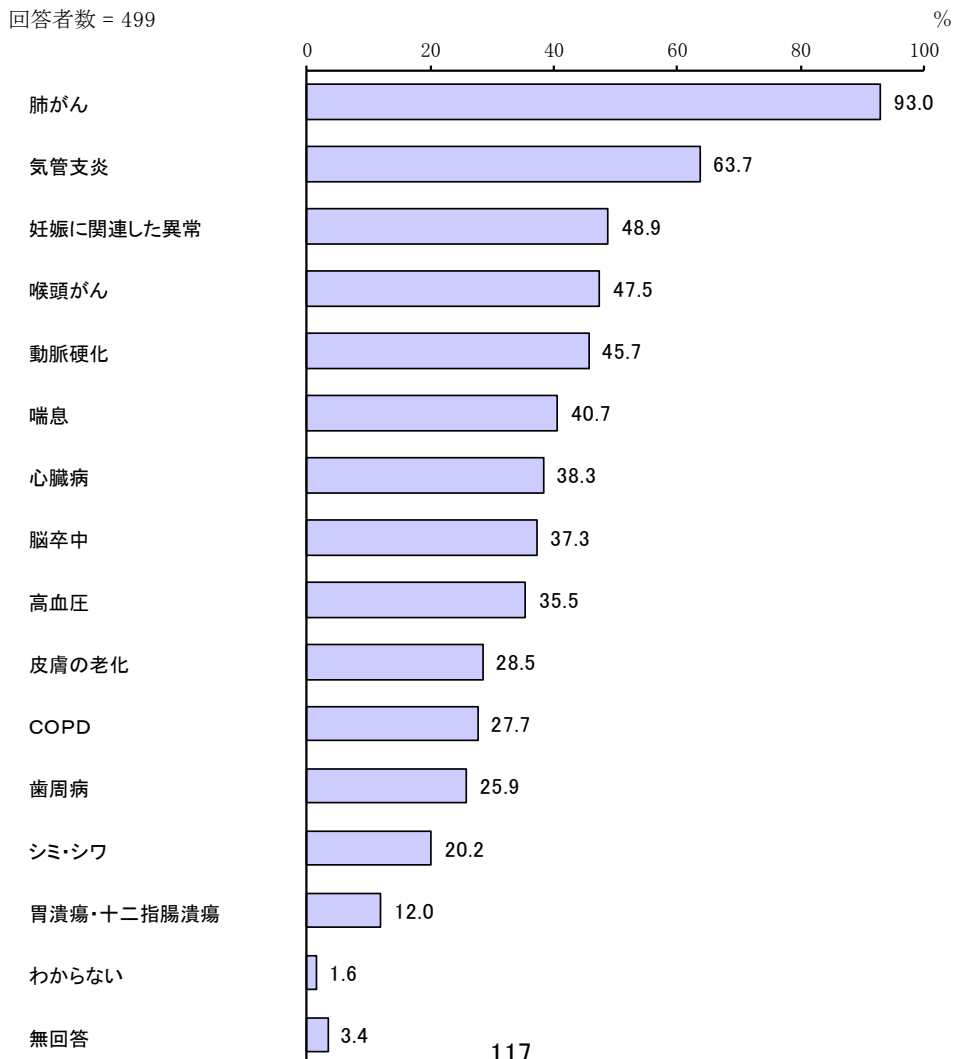
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「本数を減らしたい」の割合が高くなっています。



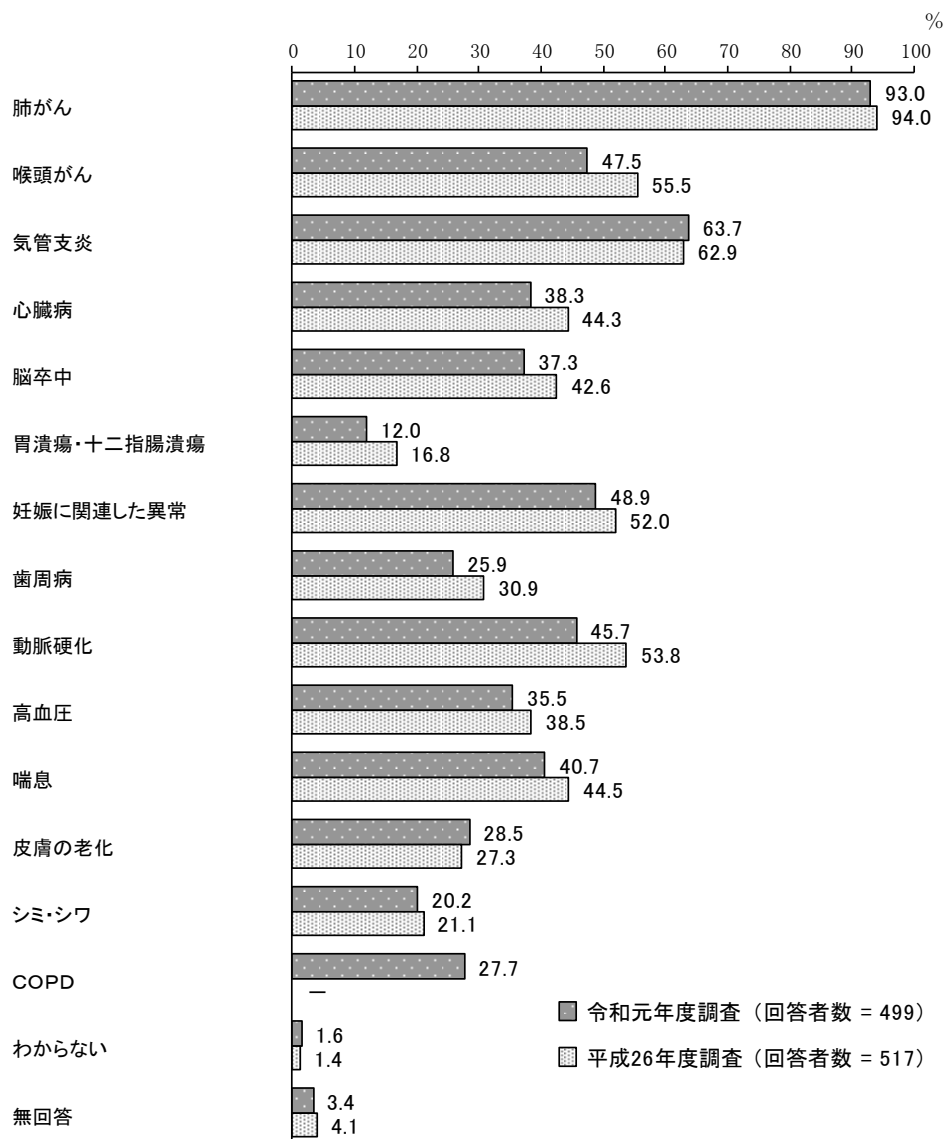
問 39 喫煙の健康への影響について知っているものに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

「肺がん」の割合が93.0%と最も高く、次いで「気管支炎」の割合が63.7%、「妊娠に関連した異常」の割合が48.9%となっています。



【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「喉頭がん」が 8.0 ポイント、「心臓病」が 6.0 ポイント、「脳卒中」が 5.3 ポイント、「歯周病」が 5.0 ポイント、「動脈硬化」が 8.1 ポイント減少しています。



※「COPD」の選択肢は、令和元年度調査に新設されました。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「脳卒中」「胃潰瘍・十二指腸潰瘍」「高血圧」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「喉頭がん」「気管支炎」「妊娠に関連した異常」「喘息」「皮膚の老化」「シミ・シワ」「COPD」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	肺がん	喉頭がん	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍・ 十二指腸潰瘍	妊娠に関連した異常	歯周病	動脈硬化	高血圧	喘息	皮膚の老化	シミ・シワ	COPD	わからない	無回答
男性	208	93.3	43.8	60.1	39.9	42.3	15.4	32.7	24.5	47.1	40.9	35.1	21.6	15.4	22.1	2.4	2.4
女性	263	93.9	50.6	67.3	37.3	33.5	9.1	63.5	28.1	44.9	30.8	45.2	34.6	25.1	33.5	0.4	3.8

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「皮膚の老化」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、30歳代で「喉頭がん」「妊娠に関連した異常」「COPD」の割合が、40歳代で「脳卒中」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	肺がん	喉頭がん	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍・ 十二指腸潰瘍	妊娠に関連した異常	歯周病	動脈硬化	高血圧	喘息	皮膚の老化	シミ・シワ	COPD	わからない	無回答
20歳代	28	92.9	28.6	46.4	35.7	39.3	14.3	42.9	39.3	42.9	25.0	64.3	42.9	28.6	17.9	—	—
30歳代	60	95.0	61.7	63.3	31.7	43.3	13.3	68.3	38.3	46.7	30.0	53.3	45.0	26.7	40.0	1.7	1.7
40歳代	65	93.8	49.2	69.2	35.4	49.2	12.3	52.3	32.3	47.7	33.8	36.9	32.3	27.7	36.9	1.5	3.1
50歳代	75	96.0	48.0	62.7	42.7	42.7	17.3	58.7	34.7	52.0	42.7	44.0	34.7	30.7	32.0	—	4.0
60歳代	117	95.7	42.7	65.0	38.5	35.0	9.4	53.0	21.4	47.0	41.9	34.2	23.9	13.7	25.6	2.6	0.9
70歳代以上	149	88.6	49.0	63.8	40.3	28.2	10.7	33.6	15.4	40.9	32.9	37.6	18.1	13.4	20.8	1.3	6.7

【地区別】

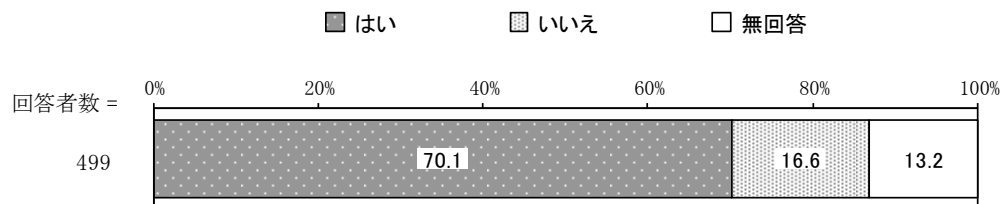
地区別でみると、他の地区に比べ、東で「妊娠に関連した異常」の割合が、須山で「動脈硬化」の割合が高くなっています。また、東、西で「COPD」の割合が、西、深良で「歯周病」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	肺がん	喉頭がん	気管支炎	心臓病	脳卒中	胃潰瘍・十二指腸潰瘍	妊娠に関連した異常	歯周病	動脈硬化	高血圧	喘息	皮膚の老化	シミ・シワ	COPD	わからない	無回答
東	144	91.7	48.6	66.7	38.9	35.4	11.1	54.2	27.1	46.5	35.4	42.4	28.5	19.4	30.6	—	5.6
西	137	94.2	48.9	62.0	39.4	35.0	10.9	48.2	30.7	42.3	33.6	38.7	29.9	26.3	32.1	2.2	2.9
深良	62	95.2	45.2	64.5	40.3	41.9	11.3	46.8	29.0	43.5	43.5	40.3	27.4	14.5	25.8	3.2	—
富岡	117	93.2	47.9	61.5	37.6	41.9	15.4	49.6	22.2	47.9	33.3	42.7	29.1	17.9	22.2	1.7	3.4
須山	26	84.6	50.0	73.1	34.6	34.6	11.5	42.3	15.4	50.0	38.5	38.5	30.8	23.1	23.1	3.8	3.8

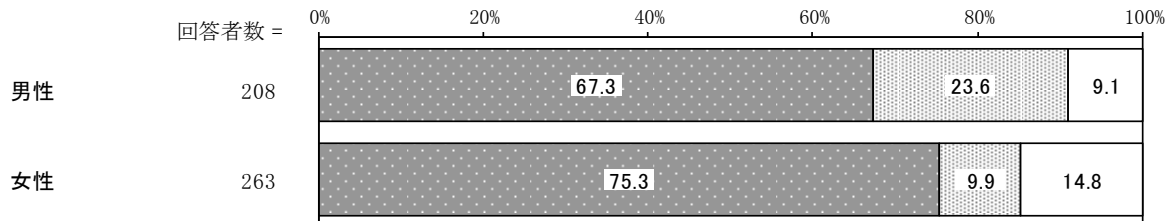
問 40 同居家族や職場などでたばこを吸う人は、あなたがたばこの煙を吸わないように配慮してくれますか。(○は1つ)

「はい」の割合が70.1%、「いいえ」の割合が16.6%となっています。



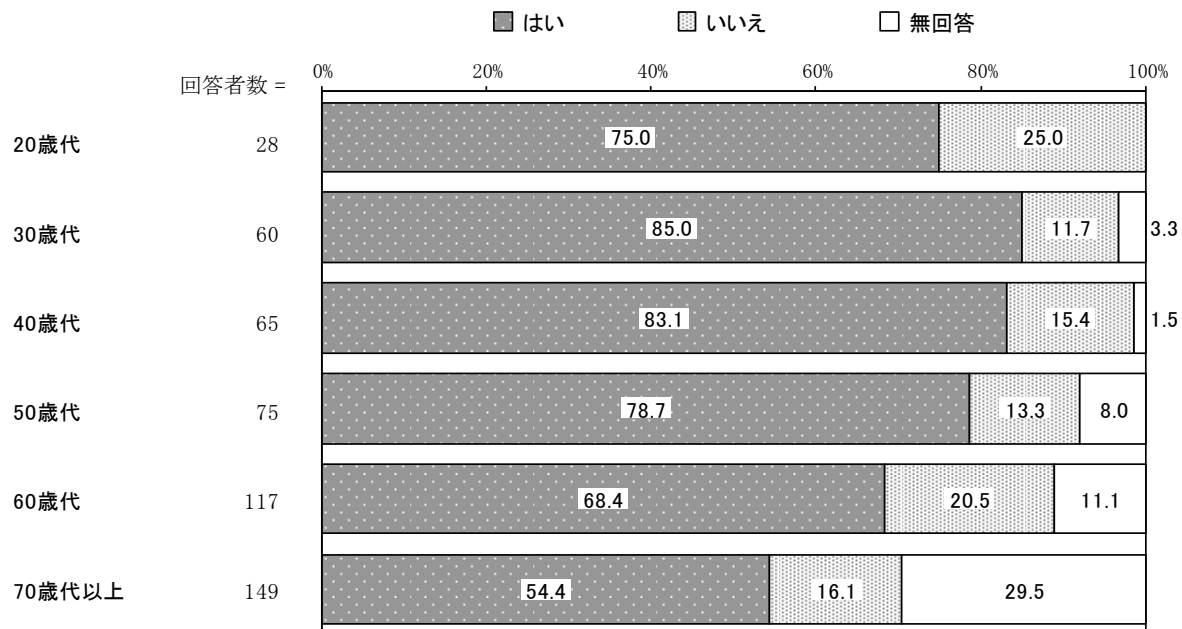
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



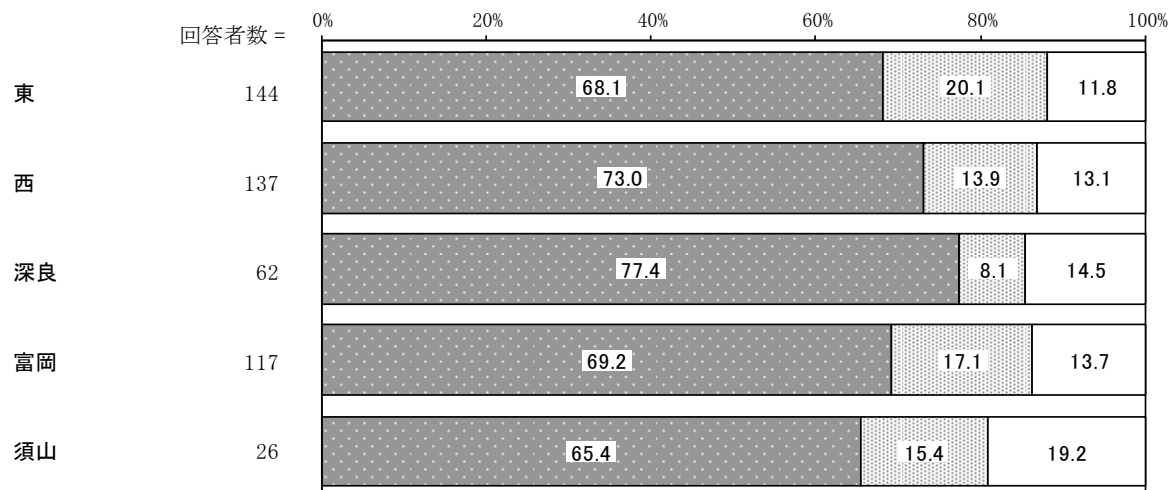
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



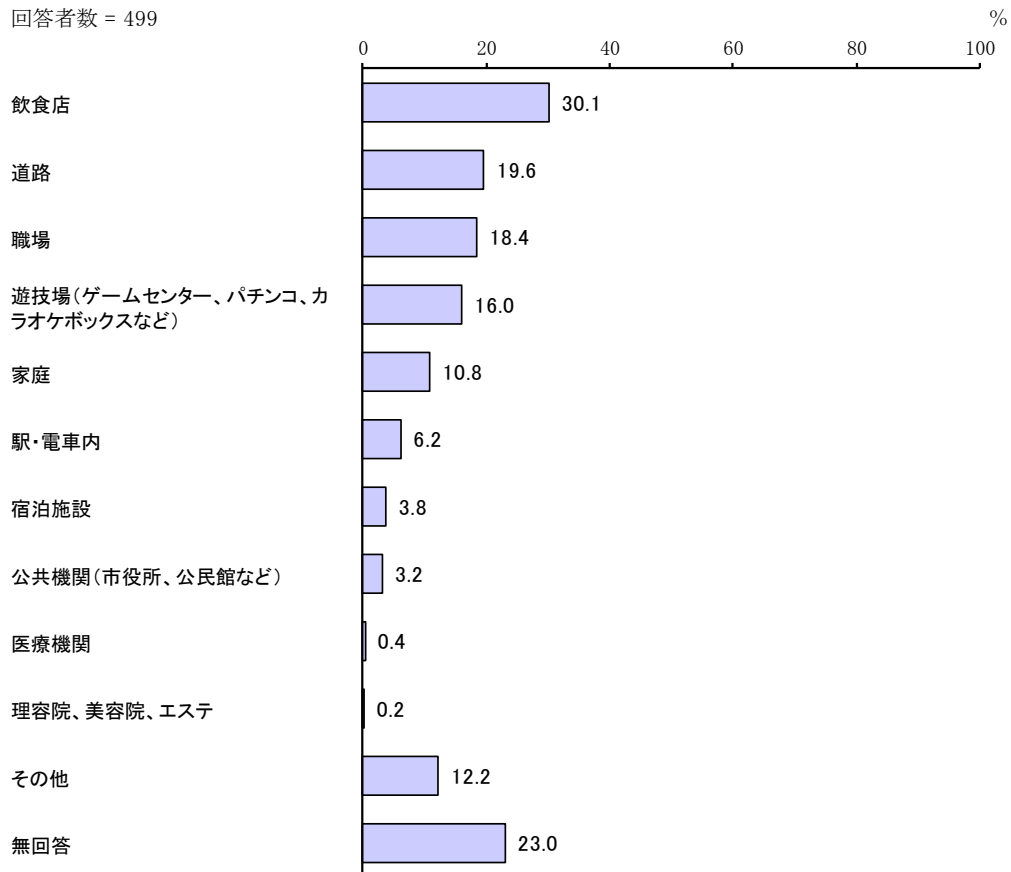
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「はい」の割合が高くなっています。また、東で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 41 この1か月間に、自分以外が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）はどこでありましたか。（多かった場所3つに○）

「飲食店」の割合が30.1%と最も高く、次いで「道路」の割合が19.6%、「職場」の割合が18.4%となっています。

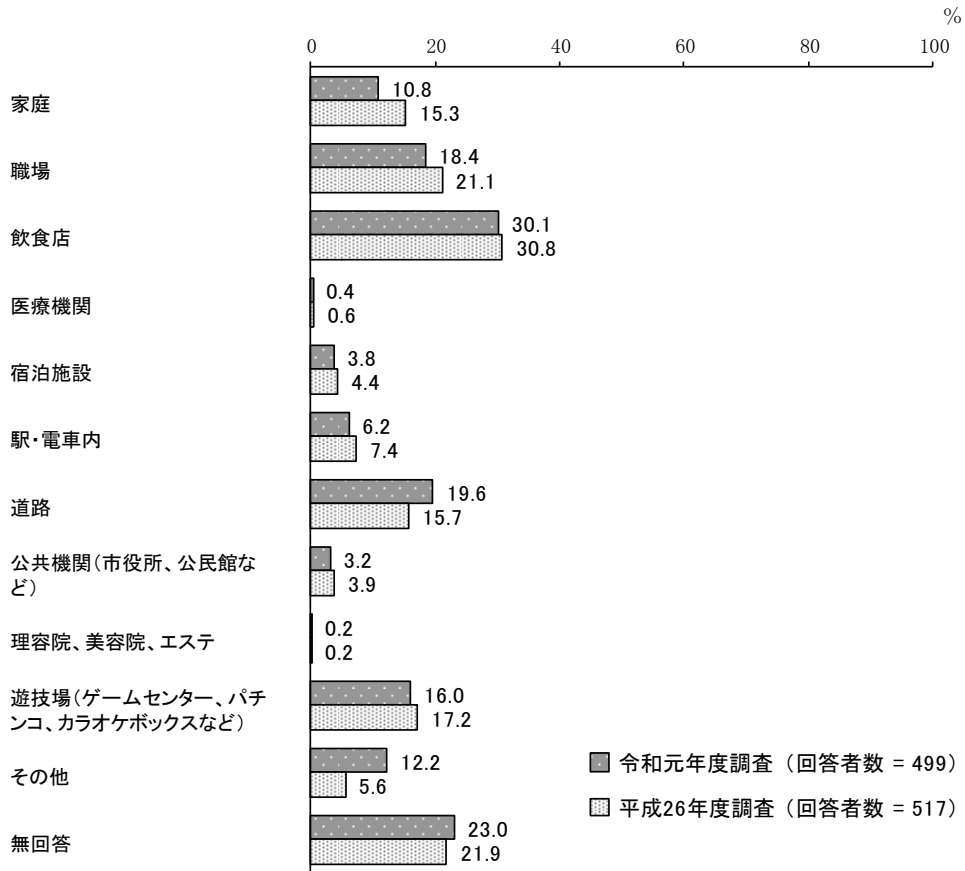


【その他の主な意見】

- ・コンビニ
- ・スーパー
- ・車の中 など

【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「職場」「遊技場（ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど）」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家庭」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家庭	職場	飲食店	医療機関	宿泊施設	駅・電車内	道路	公共機関(市役所、公民館など)	美容院、美容院、エステ	遊技場(ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど)	その他	無回答
男性	208	7.2	30.8	29.8	—	5.8	7.2	19.2	3.8	0.5	22.1	8.7	17.8
女性	263	13.7	7.6	29.7	0.8	2.7	5.3	19.0	2.7	—	11.4	15.2	27.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「飲食店」の割合が高くなっています。また、他の年齢に比べ、40歳代で「職場」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家庭	職場	飲食店	医療機関	宿泊施設	駅・電車内	道路	公共機関(市役所、公民館など)	美容院、美容院、エステ	遊技場(ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど)	その他	無回答
20歳代	28	7.1	21.4	50.0	—	3.6	14.3	21.4	3.6	—	17.9	10.7	7.1
30歳代	60	13.3	28.3	40.0	—	3.3	8.3	20.0	—	—	15.0	15.0	16.7
40歳代	65	9.2	33.8	35.4	—	1.5	10.8	24.6	1.5	—	20.0	7.7	9.2
50歳代	75	6.7	28.0	34.7	1.3	2.7	5.3	18.7	2.7	—	10.7	17.3	16.0
60歳代	117	15.4	17.1	26.5	—	1.7	3.4	19.7	5.1	0.9	17.1	14.5	24.8
70歳代以上	149	9.4	3.4	20.8	0.7	7.4	4.7	18.1	4.0	—	16.1	8.7	37.6

【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「道路」の割合が、深良で「宿泊施設」「遊技場(ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど)」の割合が、富岡、須山で「職場」の割合が高くなっています。

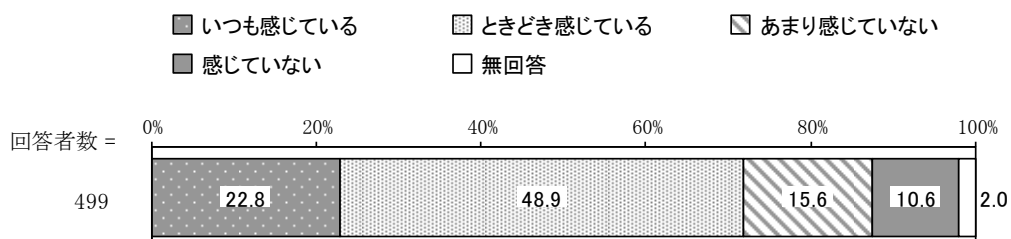
単位：％

区分	回答者数(件)	家庭	職場	飲食店	医療機関	宿泊施設	駅・電車内	道路	公共機関(市役所、公民館など)	美容院、美容院、エステ	遊技場(ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど)	その他	無回答
東	144	13.2	16.7	30.6	—	3.5	8.3	20.1	3.5	—	13.9	10.4	25.7
西	137	8.8	18.2	31.4	0.7	1.5	5.8	24.1	4.4	—	15.3	9.5	21.9
深良	62	8.1	11.3	29.0	—	11.3	1.6	17.7	—	—	25.8	11.3	21.0
富岡	117	12.8	23.1	29.9	0.9	4.3	6.8	19.7	2.6	—	14.5	15.4	22.2
須山	26	3.8	23.1	30.8	—	—	3.8	7.7	7.7	—	11.5	23.1	19.2

(8) こころの健康づくりについて

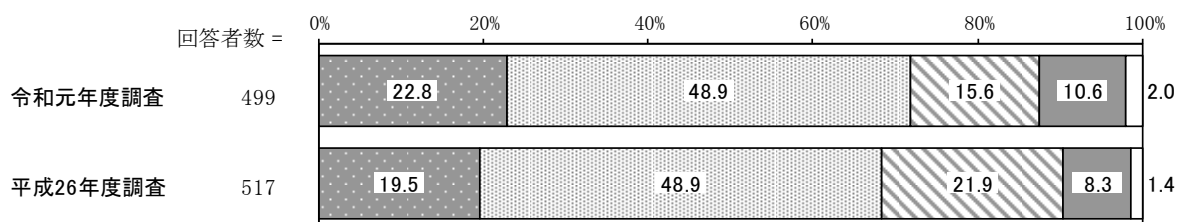
問 42 最近1ヶ月間に精神的な疲労やストレスを感じましたか。(〇は1つ)

「いつも感じている」と「ときどき感じている」を合わせた“感じている”の割合が71.7%、「あまり感じていない」と「感じていない」を合わせた“感じていない”の割合が26.2%となっています。



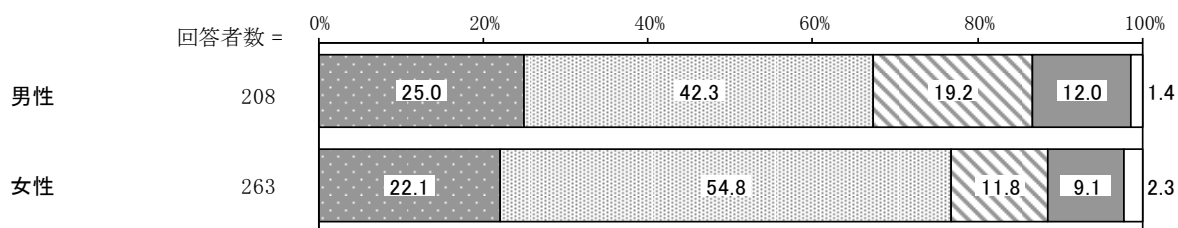
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「あまり感じていない」が6.3ポイント減少しています。



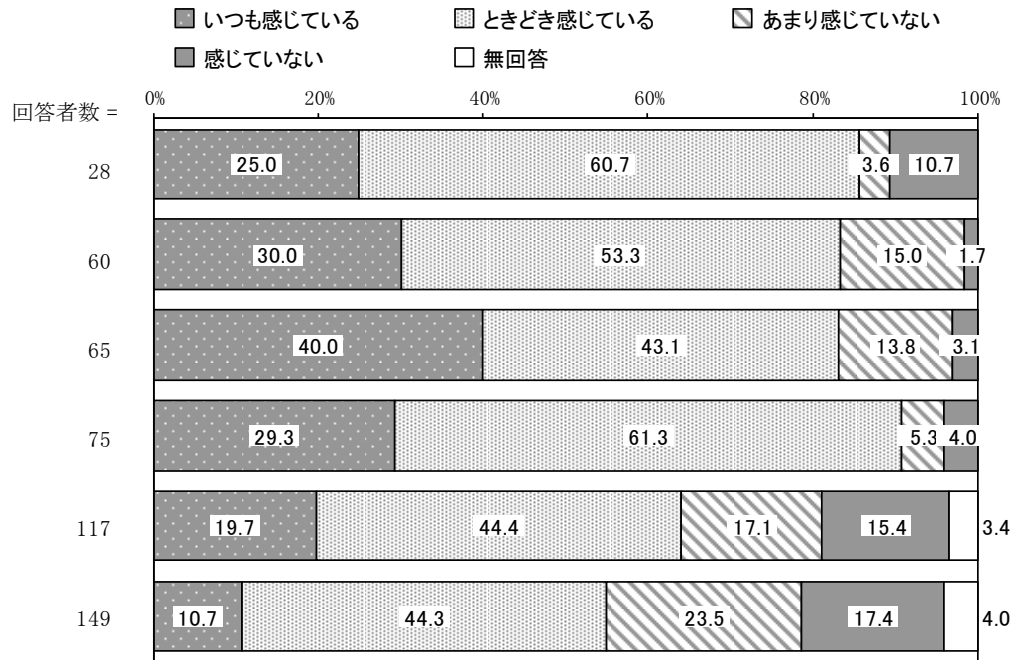
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“感じている”の割合が高くなっています。



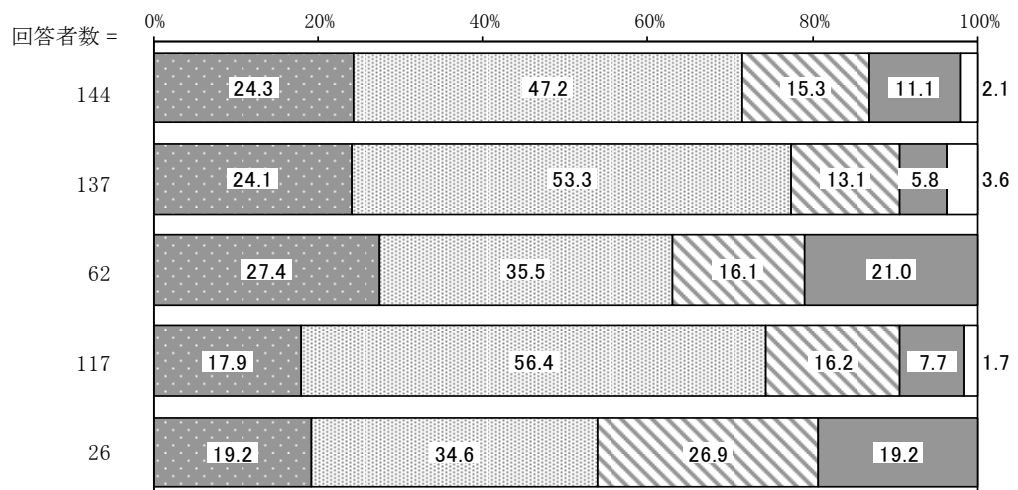
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で“感じている”の割合が高くなっています。また、60歳代、70歳代以上で“感じていない”の割合が高くなっています。



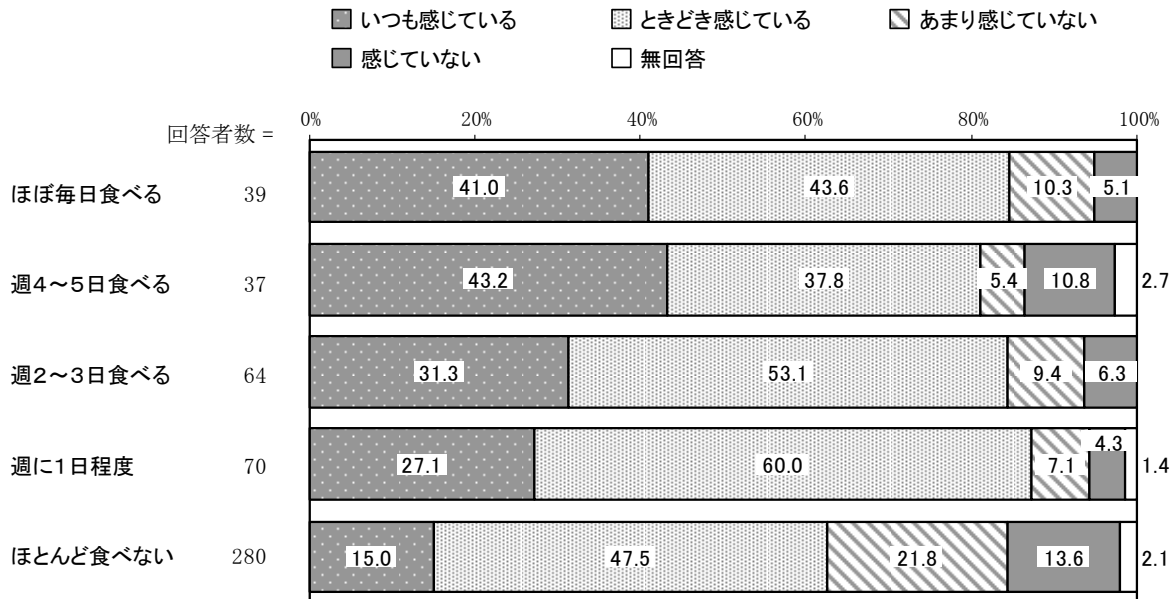
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で“感じている”の割合が高くなっています。また、須山で“感じていない”の割合が高くなっています。



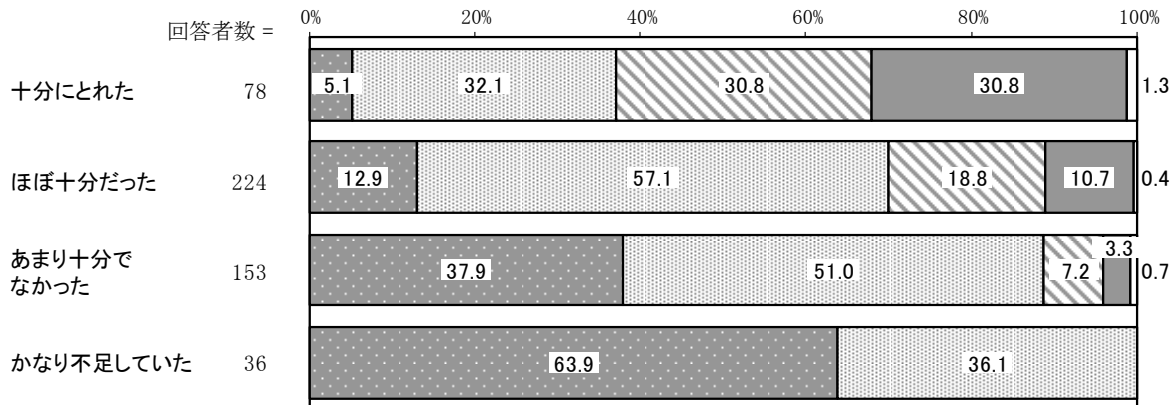
【20時以降の食事の回数別】(問 42 最近1ヶ月のストレス状況×問 19 20時以降の食事の回数)

20時以降の食事の回数別で見ると、20時以降食事をとる頻度が高くなるにつれ「いつも感じている」の割合が高くなる傾向がみられます。



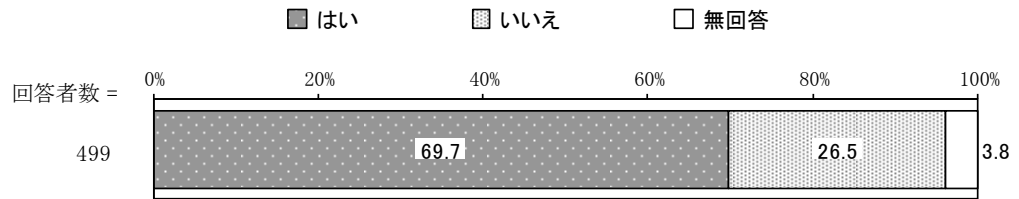
【睡眠による休養別】(問 42 最近1ヶ月のストレス状況×問 44 睡眠による休養別)

睡眠による休養別で見ると、睡眠がとれていない人ほど「いつも感じている」の割合が高くなっています。



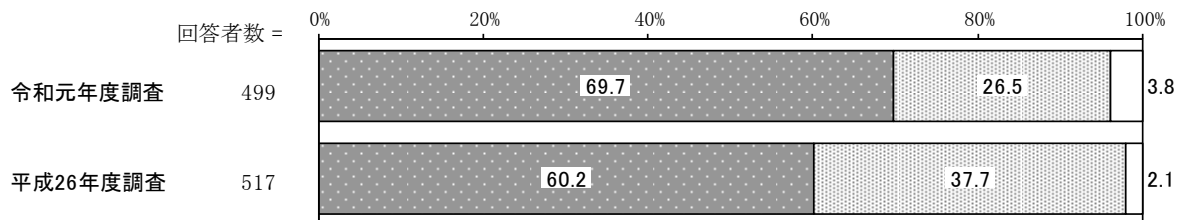
問 43 自分なりのストレス解消法がありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が69.7%、「いいえ」の割合が26.5%となっています。



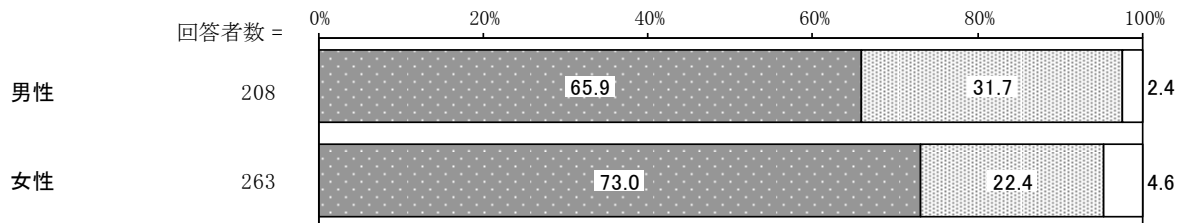
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「はい」が9.5ポイント増加し、「いいえ」が11.2ポイント減少しています。



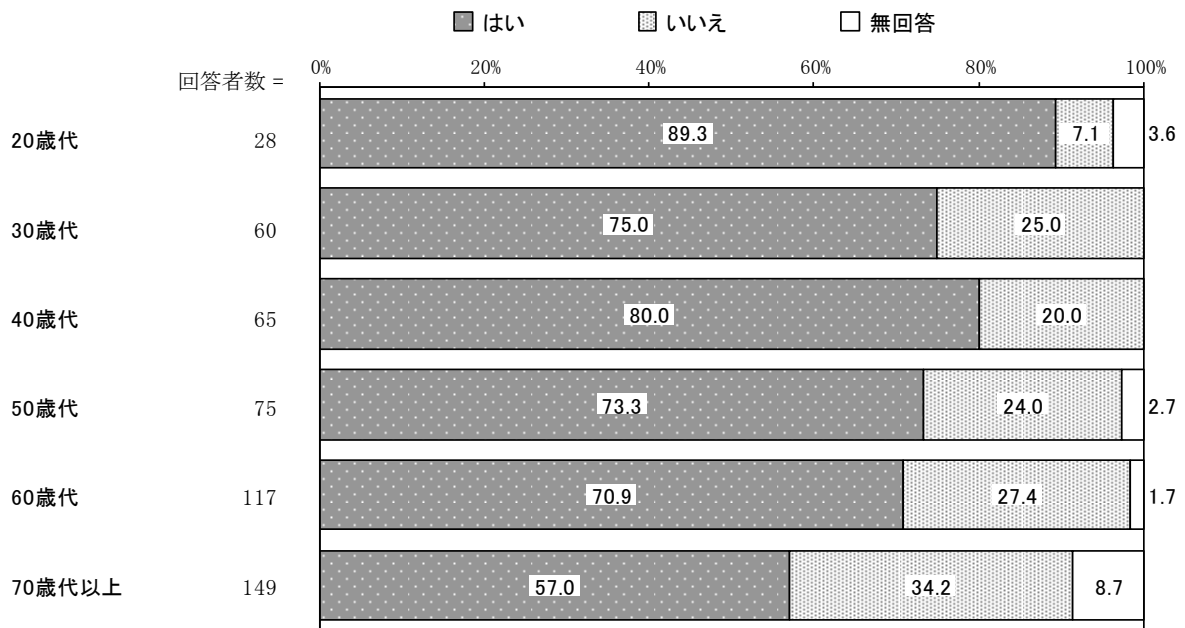
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



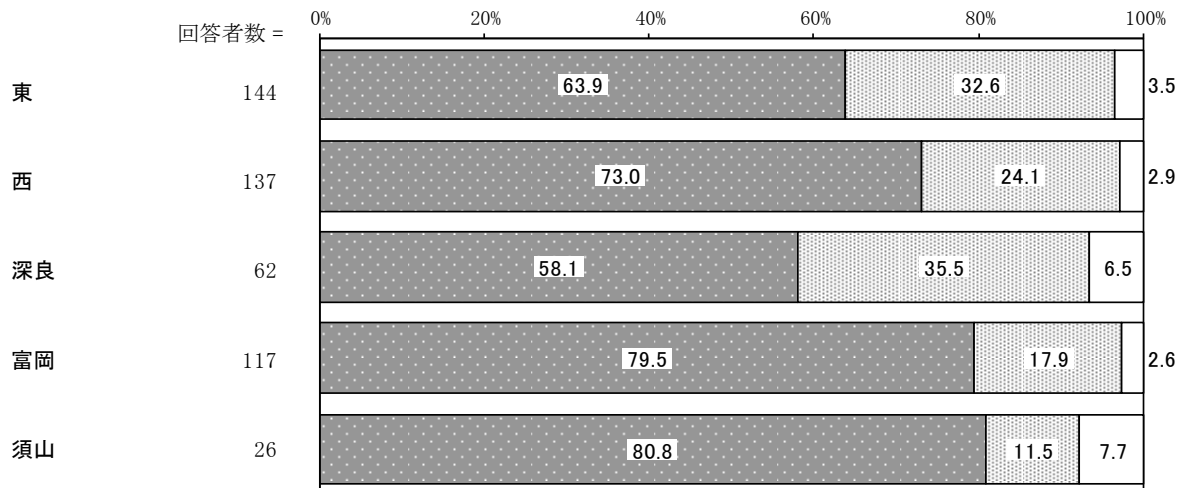
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、70歳代以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



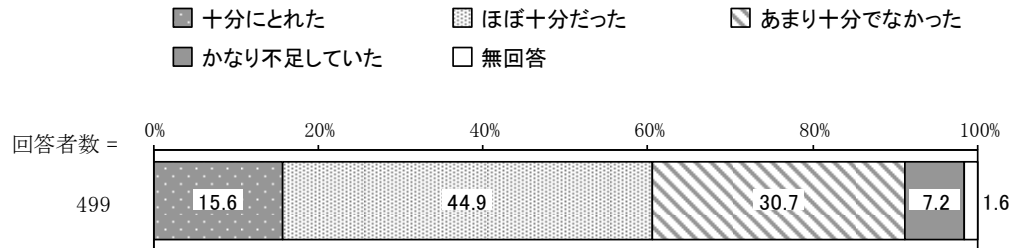
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡、須山で「はい」の割合が高くなっています。また、東、深良で「いいえ」の割合が高くなっています。



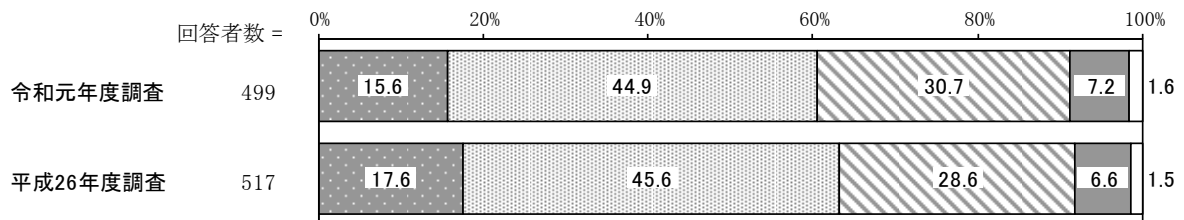
問 44 この1ヶ月間、睡眠によって休養が十分とれましたか。(〇は1つ)

「十分にとれた」と「ほぼ十分だった」を合わせた“十分”の割合が60.5%、「あまり十分でなかった」と「かなり不足していた」を合わせた“十分ではない”の割合が37.9%となっています。



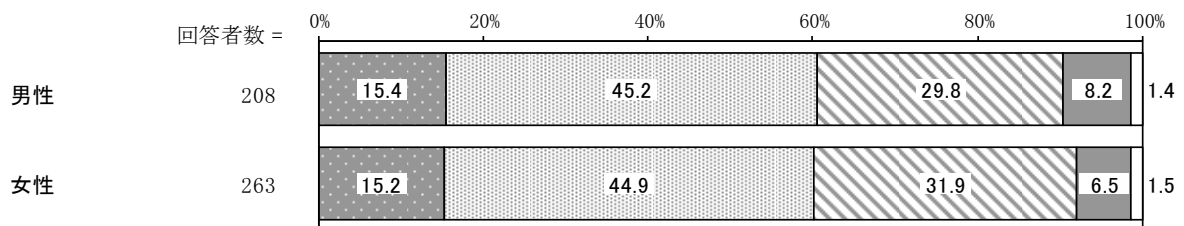
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



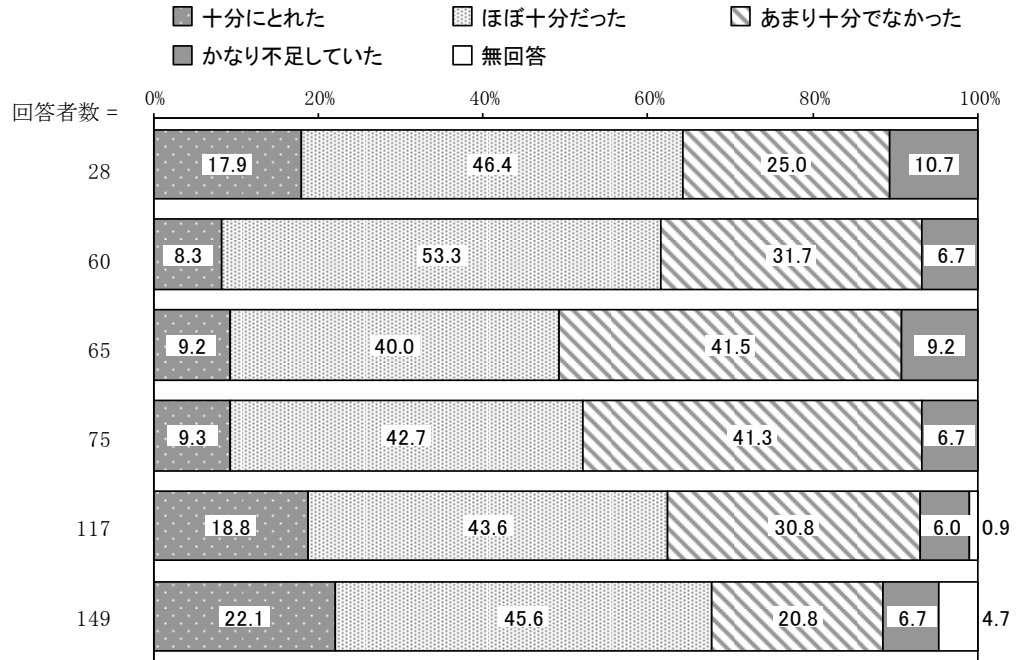
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



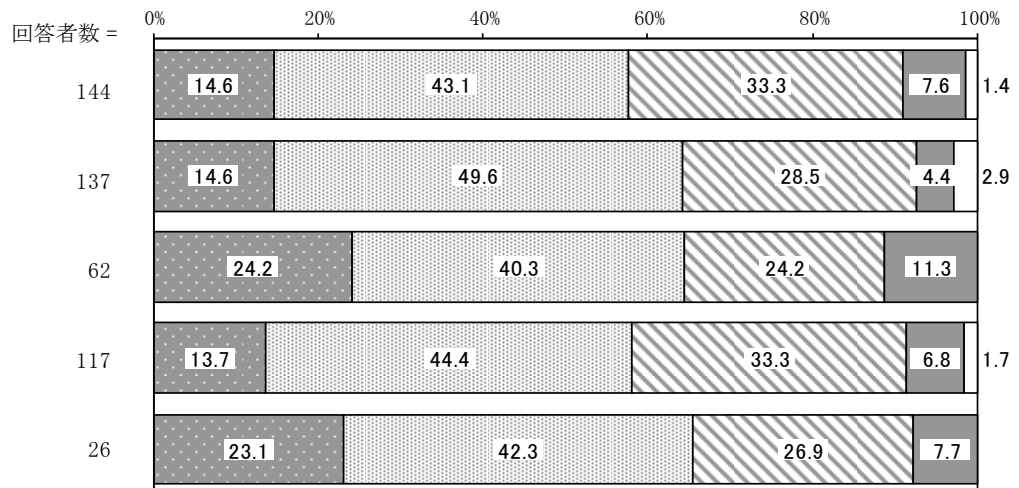
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で“十分”の割合が高くなっています。また、40歳代、50歳代で“十分ではない”の割合が高くなっています。



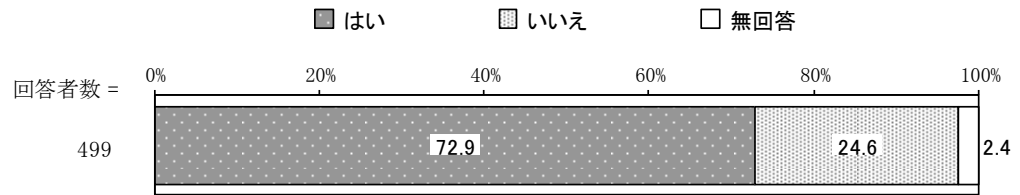
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、富岡で“十分ではない”の割合が高くなっています。



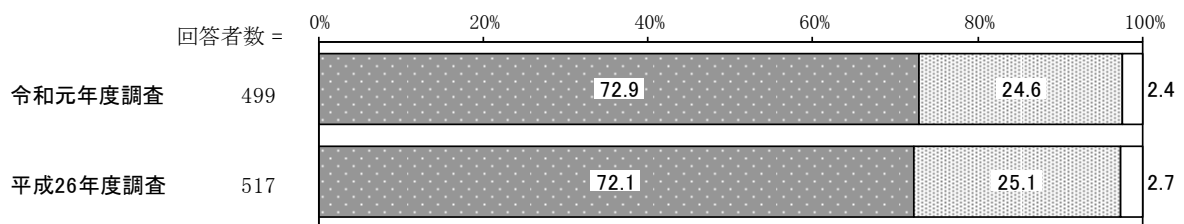
問 45 ご自分の心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(○は1つ)

「はい」の割合が72.9%、「いいえ」の割合が24.6%となっています。



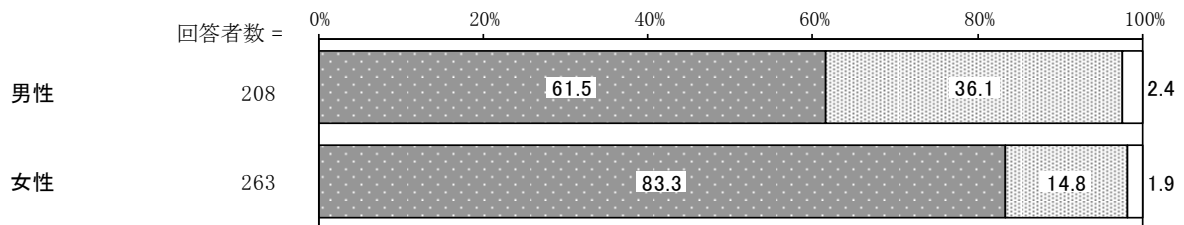
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



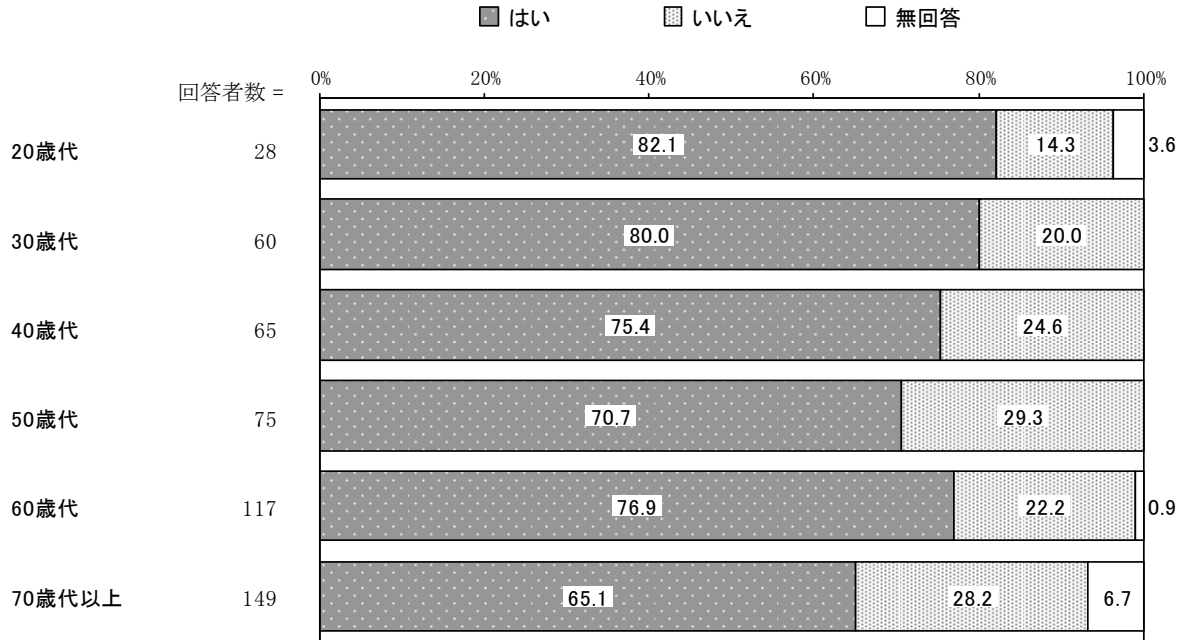
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



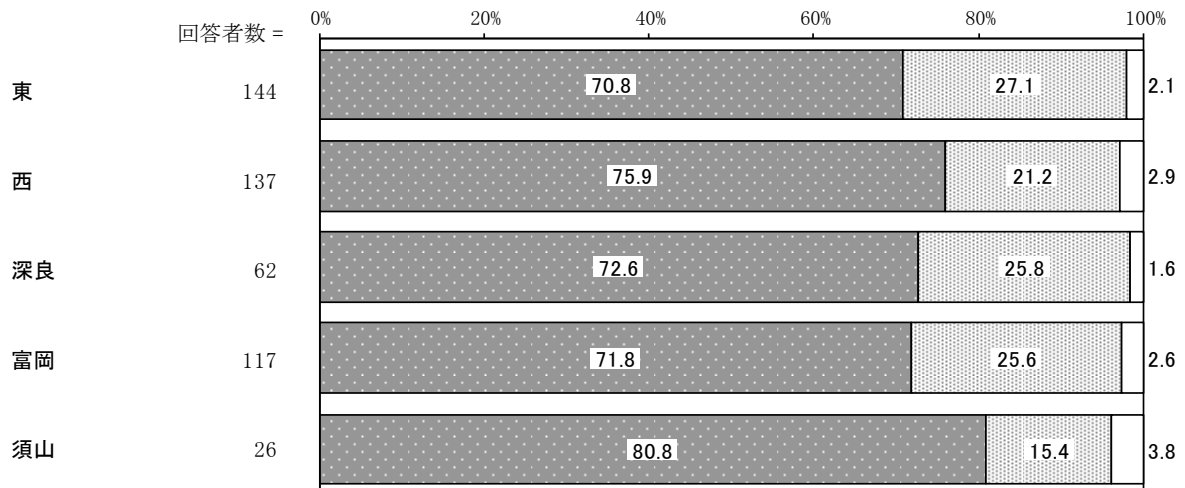
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代、30歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、50歳代、70歳代以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



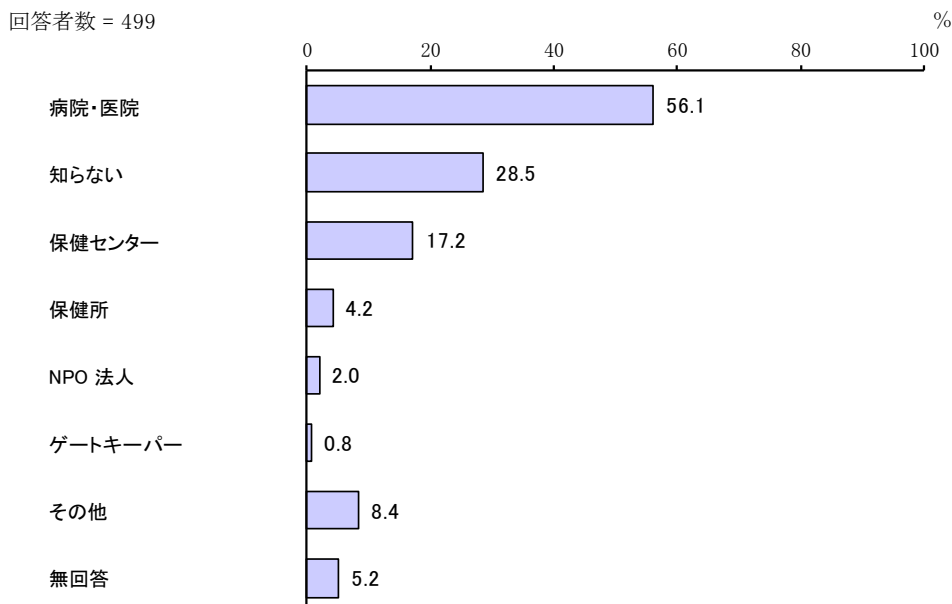
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「はい」の割合が高くなっています。



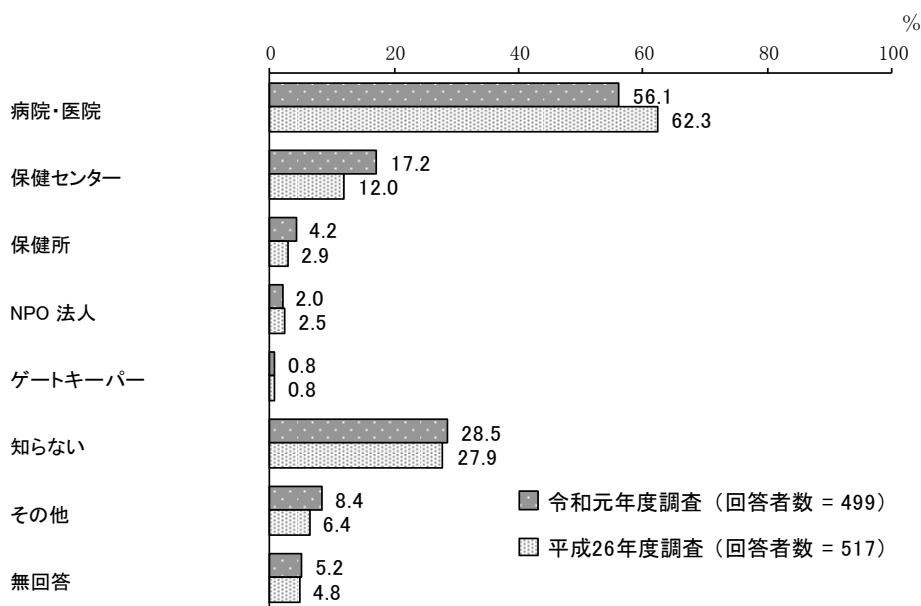
問 46 ストレスや体の変調を感じた時に相談できる相手や場所で知っているところはありますか（〇はいくつでも）

「病院・医院」の割合が56.1%と最も高く、次いで「知らない」の割合が28.5%、「保健センター」の割合が17.2%となっています。



【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「病院・医院」が6.2ポイント減少し、「保健センター」が5.2ポイント増加しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「病院・医院」「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病院・医院	保健センター	保健所	NPO法人	ゲートキーパー	知らない	その他	無回答
男性	208	48.1	9.6	2.9	2.4	0.5	37.5	6.7	3.8
女性	263	60.8	24.0	5.3	1.5	1.1	22.8	9.5	6.1

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。また、30歳代、50歳代、70歳代以上で「病院・医院」の割合が、50歳代で「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病院・医院	保健センター	保健所	NPO法人	ゲートキーパー	知らない	その他	無回答
20歳代	28	39.3	17.9	3.6	7.1	—	53.6	—	—
30歳代	60	61.7	18.3	3.3	5.0	1.7	28.3	5.0	1.7
40歳代	65	43.1	13.8	4.6	—	—	43.1	10.8	1.5
50歳代	75	60.0	25.3	5.3	2.7	2.7	25.3	9.3	4.0
60歳代	117	56.4	17.1	3.4	1.7	0.9	24.8	9.4	6.8
70歳代以上	149	61.7	14.8	4.0	0.7	—	21.5	8.7	8.7

【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「知らない」の割合が高くなっています。また、須山で「保健センター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病院・医院	保健センター	保健所	NPO法人	ゲートキーパー	知らない	その他	無回答
東	144	59.0	20.1	4.9	1.4	0.7	26.4	6.9	4.2
西	137	56.9	14.6	3.6	1.5	0.7	26.3	10.2	7.3
深良	62	38.7	16.1	6.5	—	—	43.5	11.3	1.6
富岡	117	60.7	17.1	1.7	3.4	1.7	26.5	5.1	5.1
須山	26	65.4	26.9	11.5	7.7	—	15.4	19.2	3.8

問 47 次の質問では、過去 30 日間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対してそういう気持ちをどれくらいの頻度で感じたか、一番当てはまるものに○をつけてください。(各項目 1 つに○)

「こころの状態に関する 6 項目の質問 (K 6)」合計点数

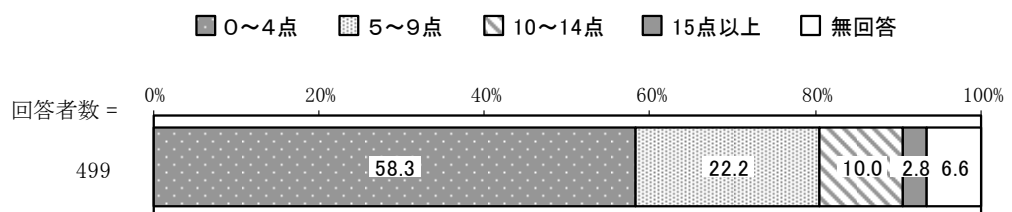
※K 6 とは、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されています。

6 つの質問について、5 段階で点数化し、合計点数が高いほど (10 点以上) 精神的な問題がより重い可能性があるとされています。

単位：件

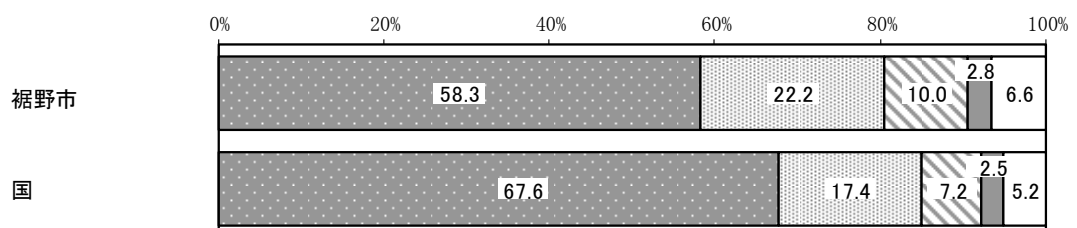
区分	回答者数	全くない (0点)	少しだけ (1点)	ときどき (2点)	たいてい (3点)	いつも (4点)	無回答
(1) 神経過敏に感じましたか	499	218	115	109	25	15	17
(2) 絶望的だと感じましたか	499	332	84	43	8	8	24
(3) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	499	269	124	61	13	7	25
(4) 気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか	499	245	141	63	18	9	23
(5) 何をするのも骨折りだと感じましたか	499	219	153	82	13	13	19
(6) 自分は価値のない人間だと感じましたか	499	312	93	51	8	15	20

「0～4点」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「5～9点」の割合が 22.2%、「10～14点」の割合が 10.0%となっています。



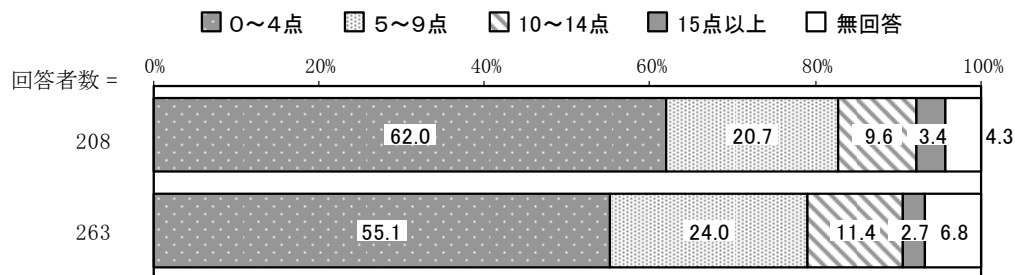
【国調査との比較】

国調査 (平成 28 年国民生活基礎調査) と比較すると、「0～4点」の割合が 9.3 ポイント低くなっています。



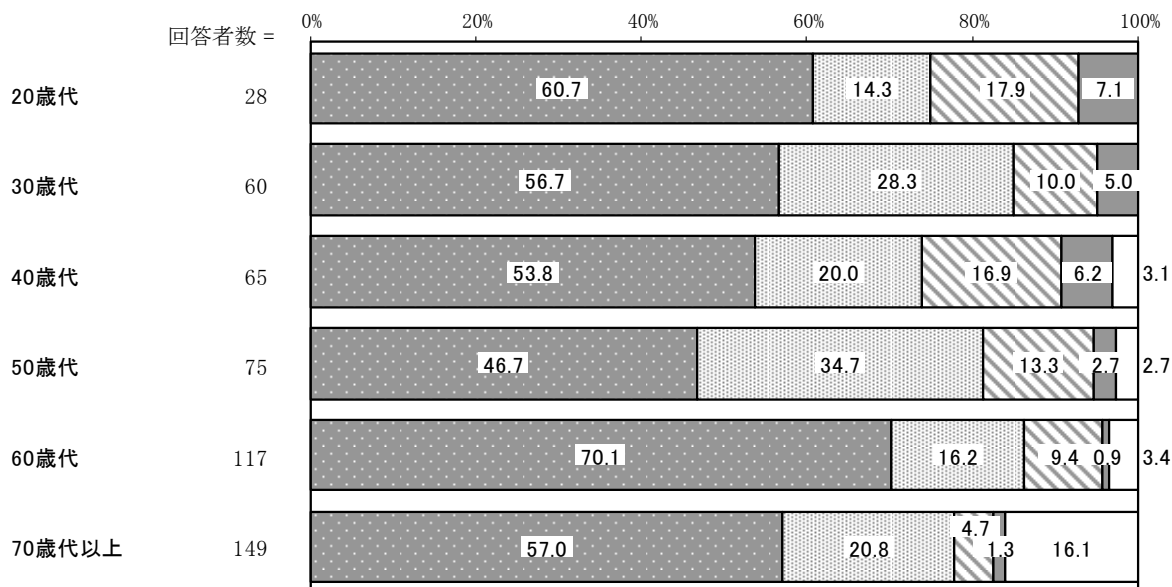
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「0～4点」の割合が低くなっています



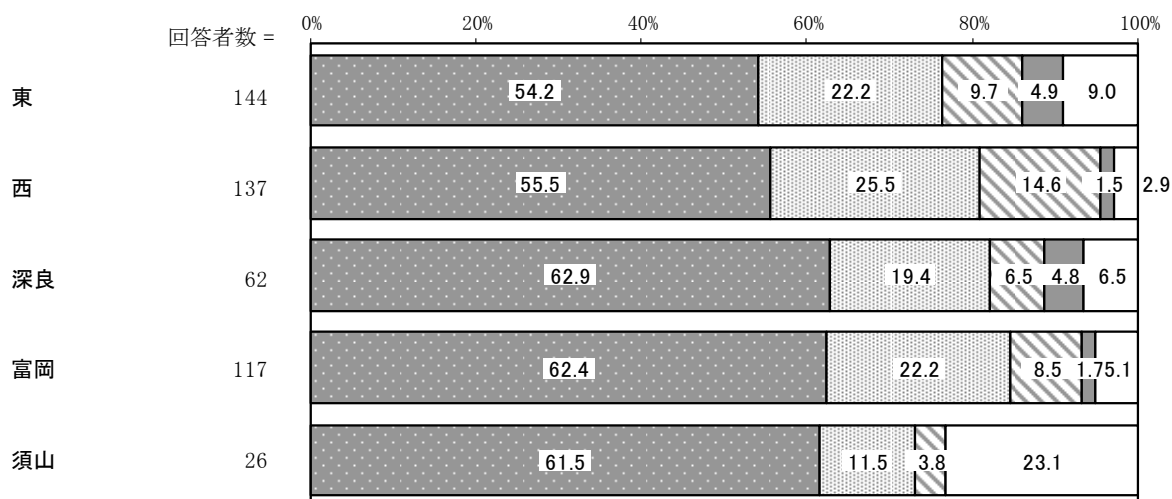
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「0～4点」の割合が低くなっています。また、20歳代、40歳代で“10点以上”の割合が高くなっています。



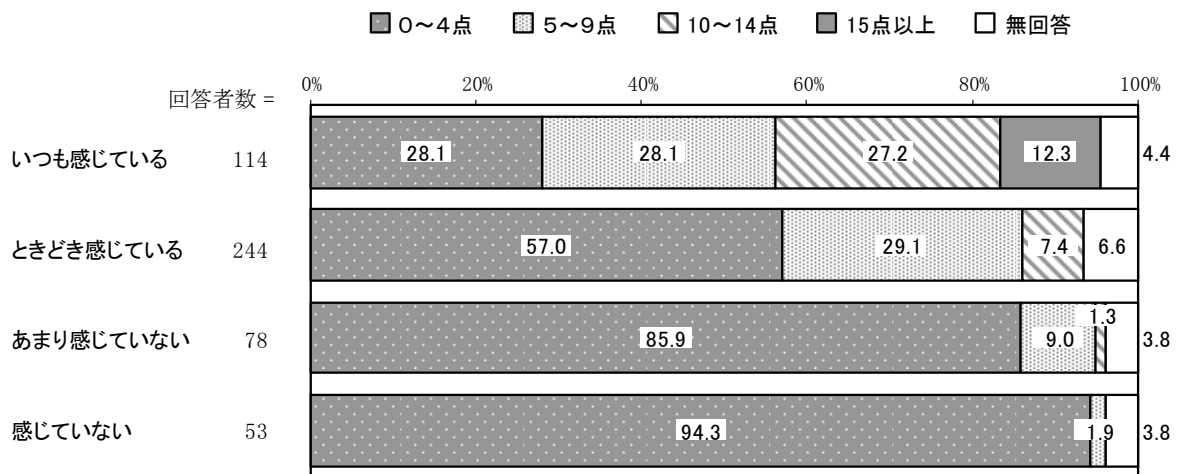
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、西で「0～4点」の割合が低くなっています。また、東、西で“10点以上”の割合が高くなっています。



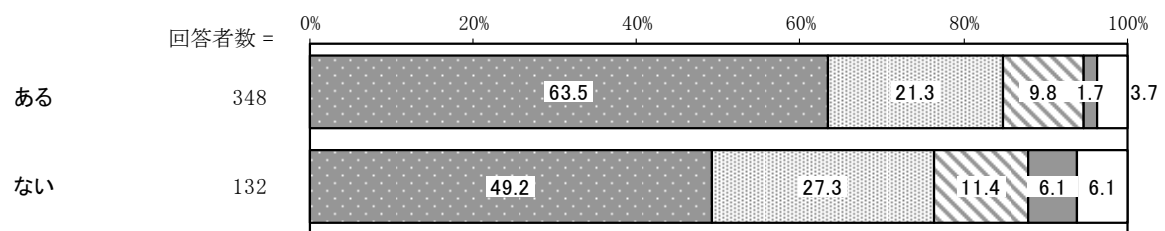
【最近1ヶ月のストレス状況別】（問47 K6×問42 最近1ヶ月のストレス状況）

最近1ヶ月のストレス状況別でみると、ストレスを感じている人ほど「0～4点」の割合が低くなっています。



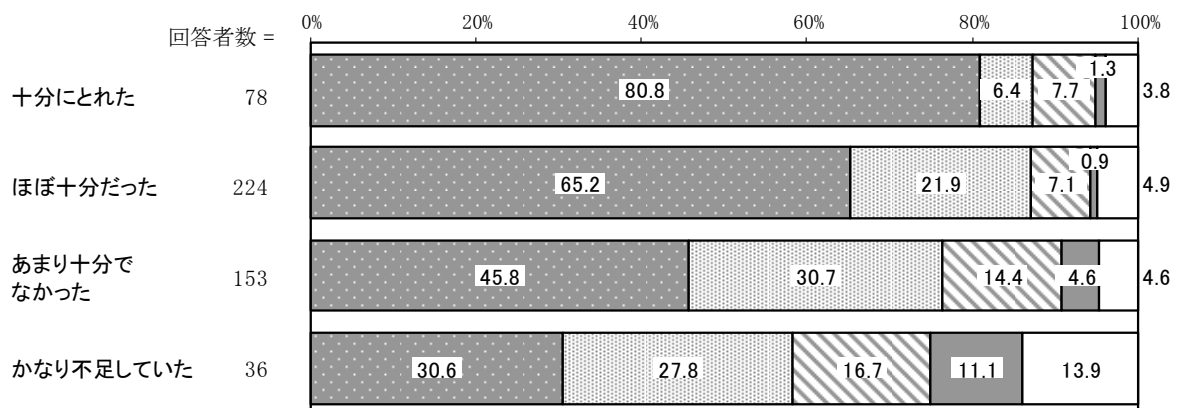
【ストレス解消法の有無別】（問47 K6×問43 ストレス解消法の有無）

ストレス解消法の有無別でみると、ストレス解消法がある人に比べ、ない人で「0～4点」の割合が低くなっています。



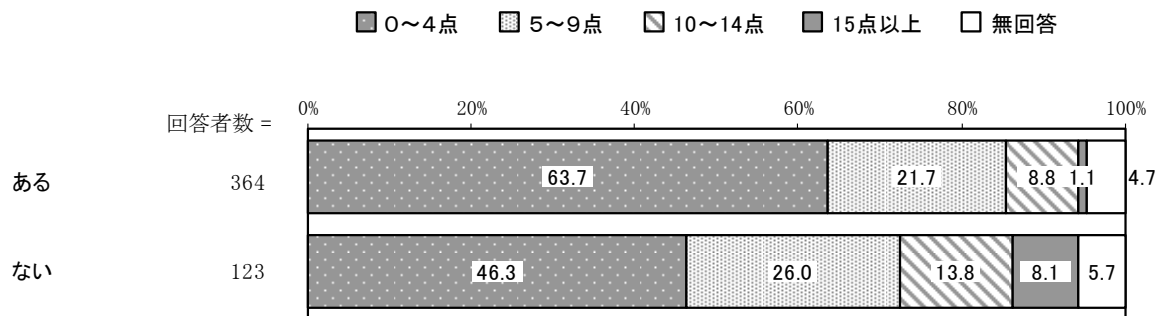
【睡眠による休養別】（問47 K6×問44 睡眠による休養）

睡眠による休養別でみると、睡眠がとれていない人ほど「0～4点」の割合が低くなっています。



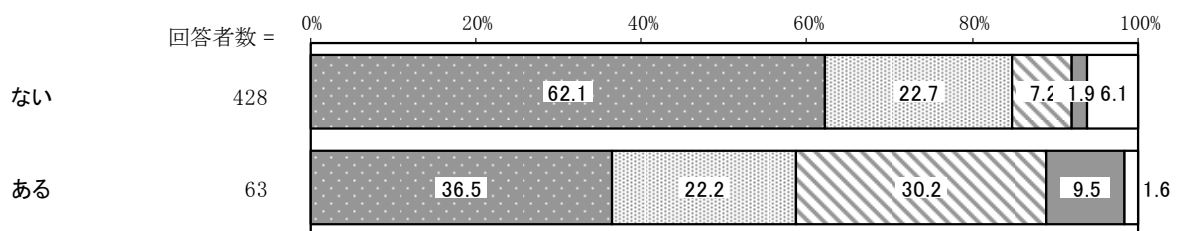
【相談できる相手や場所の有無別】（問 47 K 6 × 問 45 相談できる相手や場所の有無）

相談できる相手や場所の有無別でみると、相談できる相手や場所がある人に比べ、ない人で「0～4点」の割合が低くなっています。



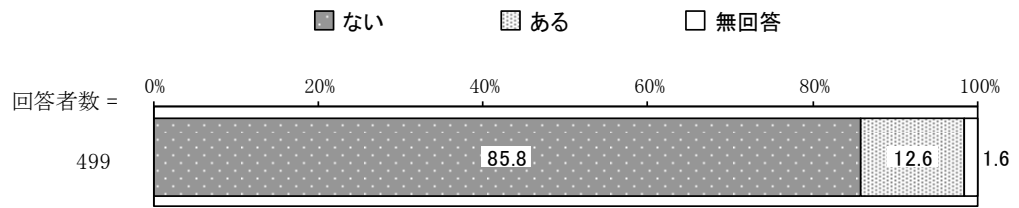
【自殺したいと考えた経験別】（問 47 K 6 × 問 48 自殺したいと考えた経験）

自殺したいと考えた経験でみると、自殺したいと考えたことがない人に比べ、ある人で「0～4点」の割合が低くなっています。



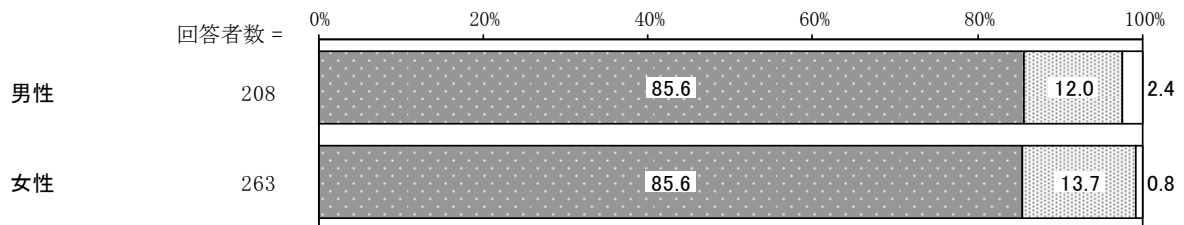
問 48 あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。(○は1つ)

「ない」の割合が85.8%、「ある」の割合が12.6%となっています。



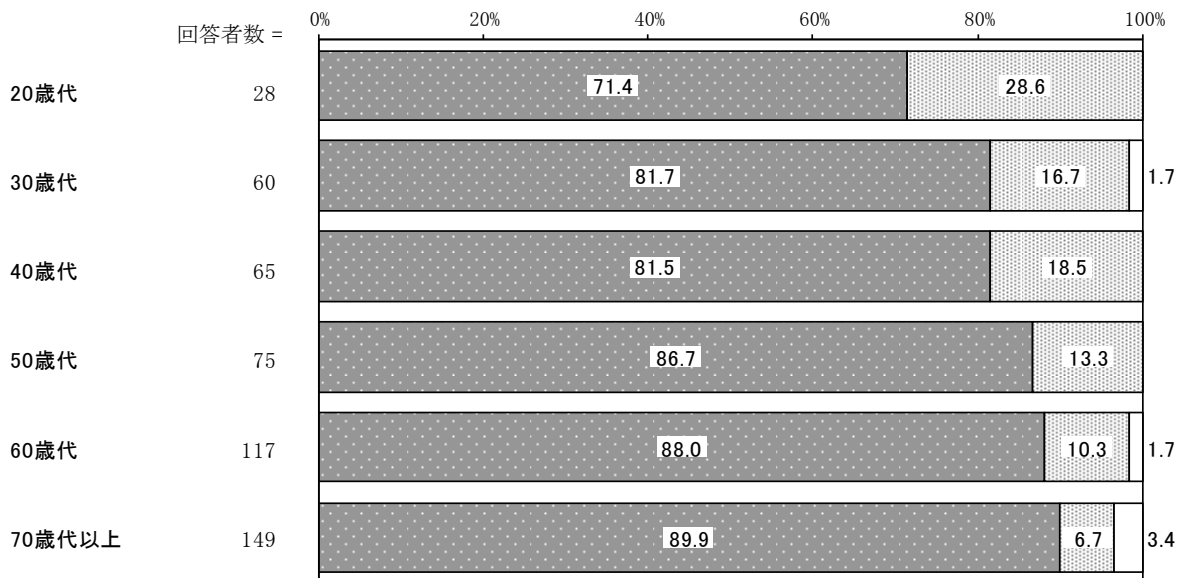
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



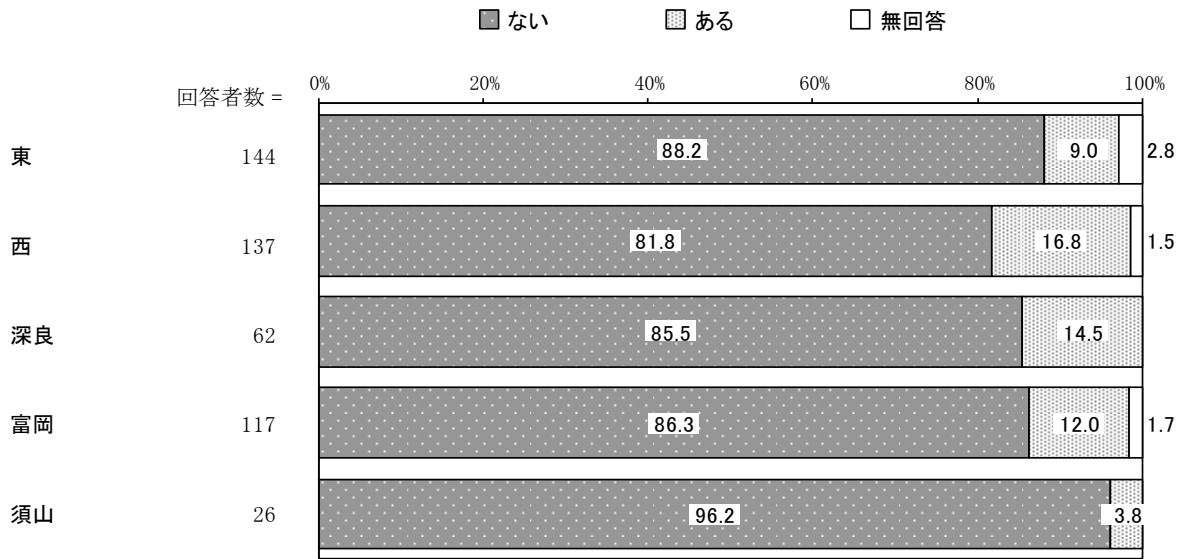
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ある」の割合が高くなる傾向がみられます。



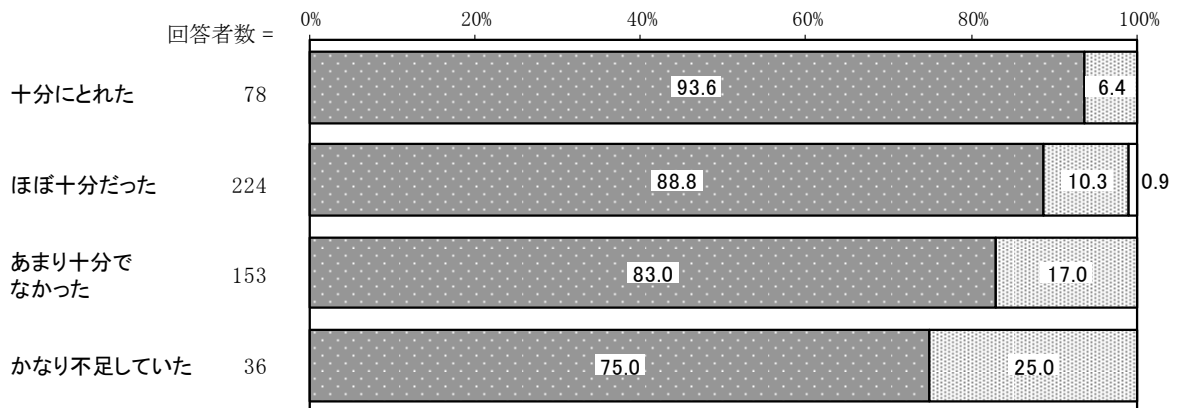
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「ない」の割合が高くなっています。



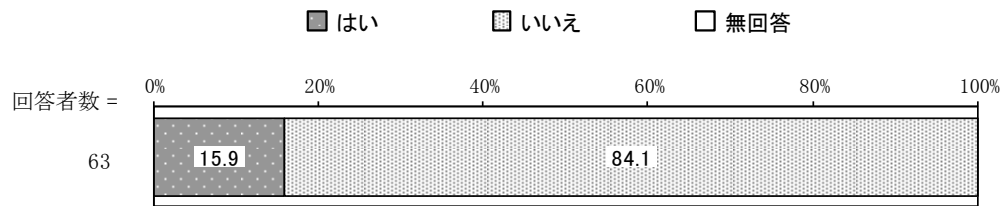
【睡眠による休養別】（問 48 自殺したいと考えた経験×問 44 睡眠による休養）

睡眠による休養別でみると、睡眠がとれていない人ほど「ある」の割合が高くなっています。



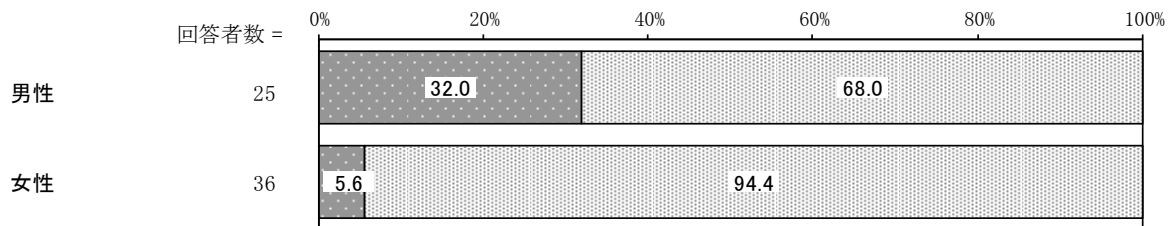
問 48-1 問 48 で「ある」と答えた方にうかがいます。
最近 1 年以内に自殺したいと思ったことがありますか。(○は 1 つだけ)

「はい」の割合が 15.9%、「いいえ」の割合が 84.1%となっています。



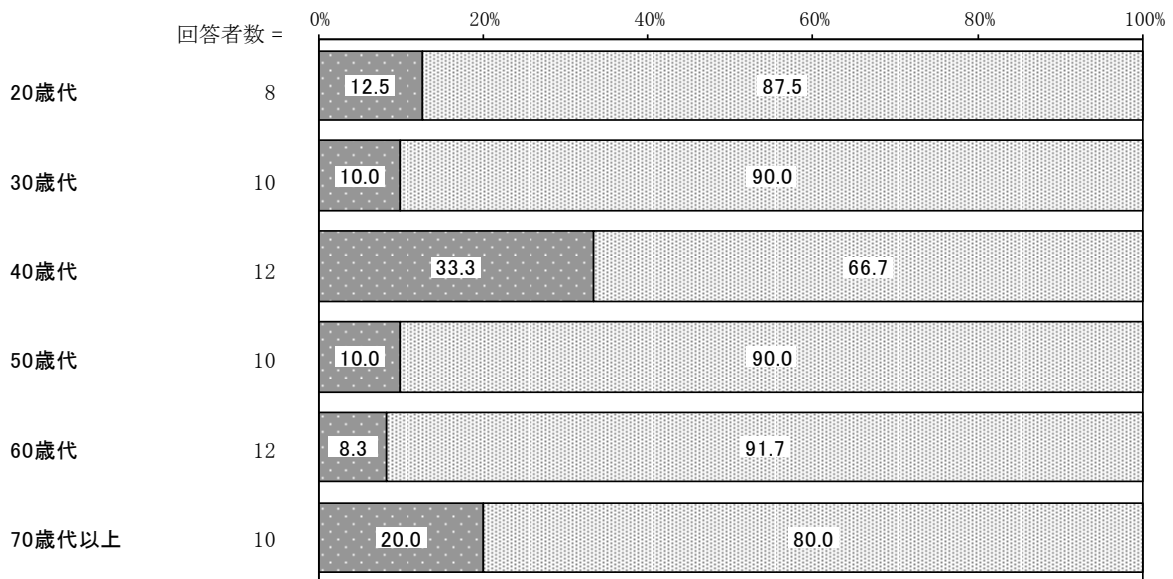
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高くなっています。



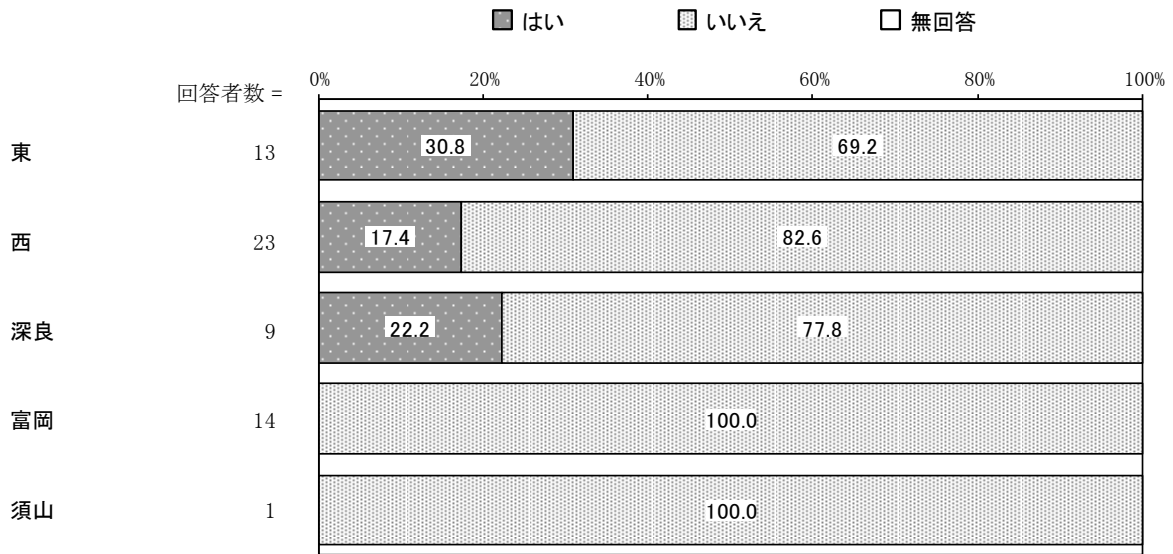
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40 歳代で「はい」の割合が高くなっています。



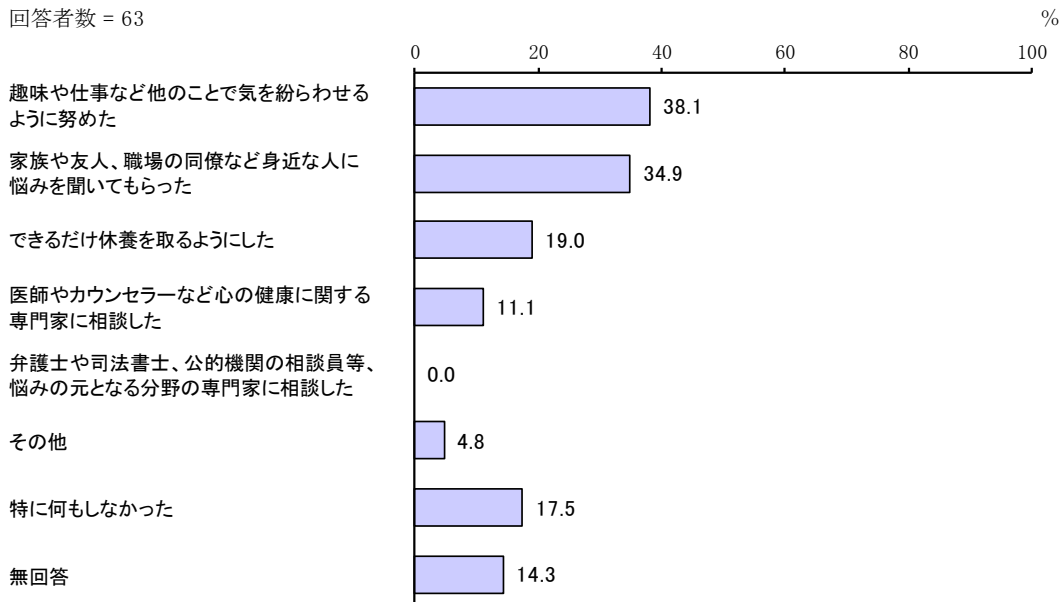
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「はい」の割合が高くなっています。



問 48-2 問 48 で「ある」と答えた方にうかがいます。
 そのように考えたとき、どのようにして乗り越えましたか。
 (あてはまるものすべてに○)

「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」の割合が 34.9%、「できるだけ休養を取るようにした」の割合が 19.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「特に何もしなかった」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」「できるだけ休養を取るようにした」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	その他	特に何もしなかった	無回答
男性	25	28.0	4.0	—	16.0	40.0	—	20.0	20.0
女性	36	41.7	16.7	—	22.2	38.9	8.3	13.9	8.3

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」「できるだけ休養を取るようにした」の割合が、50歳代で「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	その他	特に何もしなかった	無回答
20歳代	8	37.5	12.5	—	37.5	25.0	—	25.0	12.5
30歳代	10	60.0	30.0	—	50.0	40.0	—	—	10.0
40歳代	12	25.0	—	—	16.7	41.7	8.3	16.7	16.7
50歳代	10	30.0	10.0	—	—	50.0	—	20.0	10.0
60歳代	12	33.3	—	—	8.3	41.7	16.7	16.7	16.7
70歳代以上	10	20.0	10.0	—	10.0	30.0	—	30.0	20.0

【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、西で「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」の割合が高くなっています。また、富岡で「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」の割合が、東で「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」の割合が高くなっています。

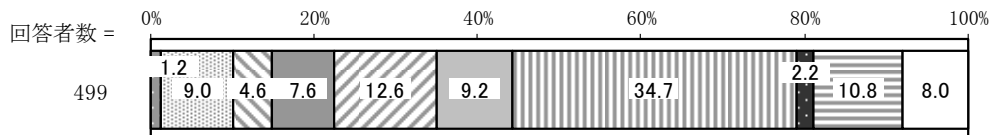
単位：%

区分	回答者数(件)	家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった	医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した	弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した	できるだけ休養を取るようにした	趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた	その他	特に何もしなかった	無回答
東	13	23.1	23.1	—	23.1	23.1	7.7	15.4	15.4
西	23	30.4	4.3	—	13.0	60.9	4.3	13.0	13.0
深良	9	44.4	22.2	—	11.1	33.3	11.1	22.2	11.1
富岡	14	42.9	7.1	—	28.6	28.6	—	21.4	14.3
須山	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—

問 49 あなたはもし、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。(○は1つだけ)

「ひたすら耳を傾けて聞く」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す」の割合が 12.6%、「わからない」の割合が 10.8%となっています。

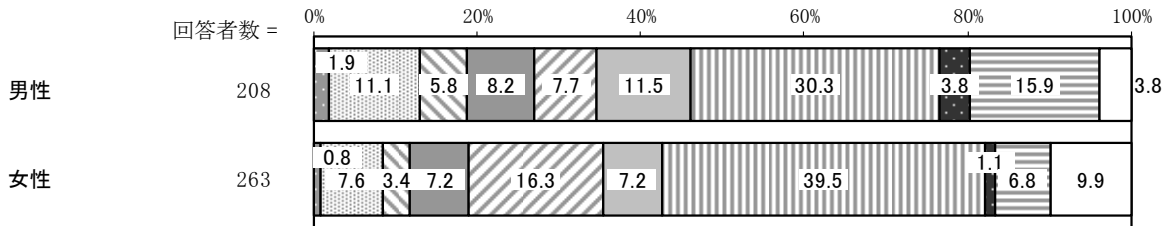
- 相談にのらない、もしくは、話題を変える
- ▣ 「つまらないことを考えるな」と叱る
- ▤ 「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す
- ▥ ひたすら耳を傾けて聞く
- ▦ わからない
- ▧ 「死んではいけない」と説得する
- 「がんばって生きよう」と励ます
- ▨ 「医師など専門家に相談したほうが良い」と提案する
- その他
- 無回答



【性別】

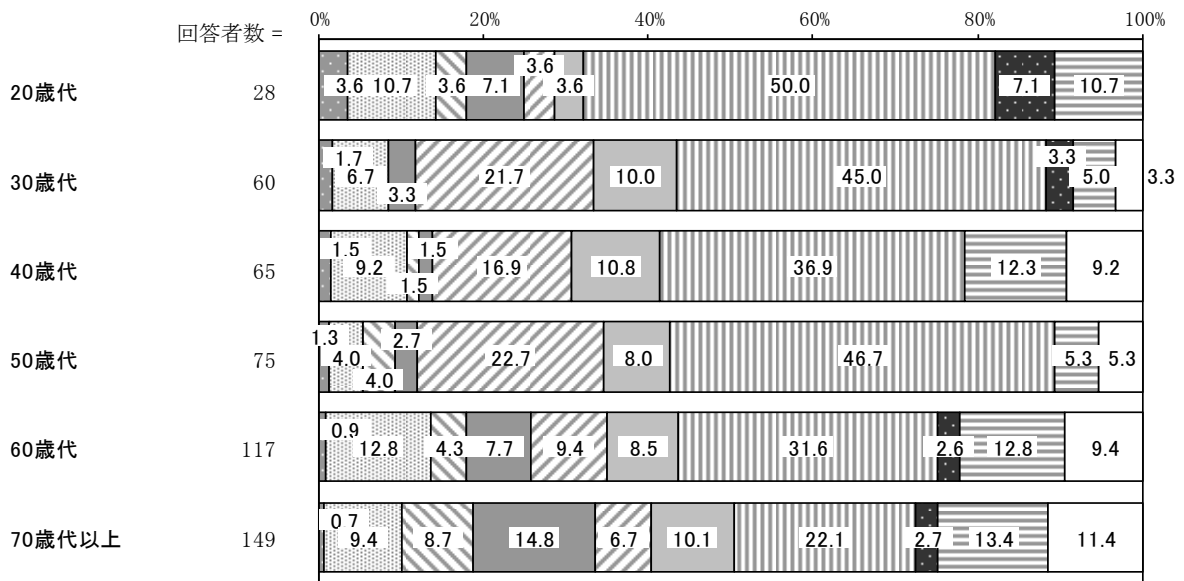
性別でみると、男性に比べ、女性で「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す「ひたすら耳を傾けて聞く」の割合が高くなっています。

- 相談にのらない、もしくは、話題を変える
- 「死んではいけない」と説得する
- 「つまらないことを考えるな」と叱る
- 「がんばって生きよう」と励ます
- 「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す
- 「医師など専門家に相談したほうが良い」と提案する
- ひたすら耳を傾けて聞く
- その他
- わからない
- 無回答



【年齢別】

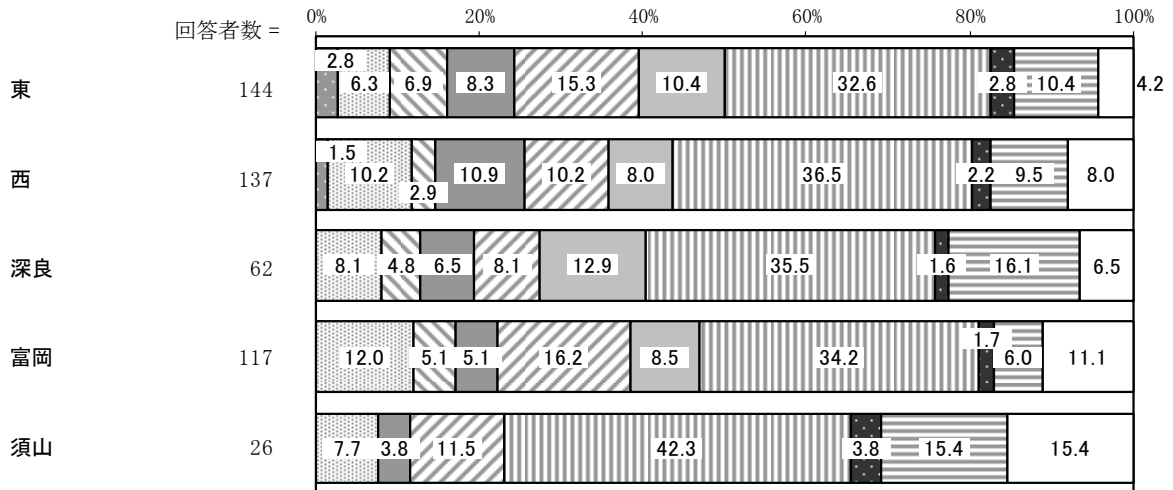
年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「ひたすら耳を傾けて聞く」の割合が高くなっています。また、30歳代、50歳代で「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示すの割合が、70歳代以上で「がんばって生きよう」と励ますの割合が高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「ひたすら耳を傾けて聞く」の割合が高くなっています。

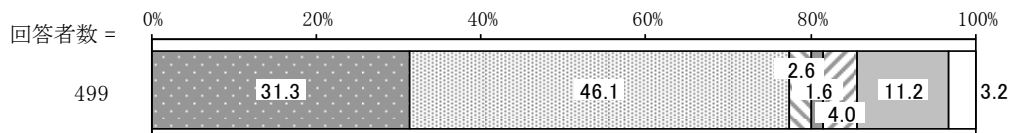
- 相談にのらない、もしくは、話題を変える
- 「死んではいけない」と説得する
- 「つまらないことを考えるな」と叱る
- 「がんばって生きよう」と励ます
- 「死にたいぐらいつらいんだね」と共感を示す
- 「医師など専門家に相談したほうが良い」と提案する
- ひたすら耳を傾けて聞く
- その他
- わからない
- 無回答



問 50 もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。(○は1つ)

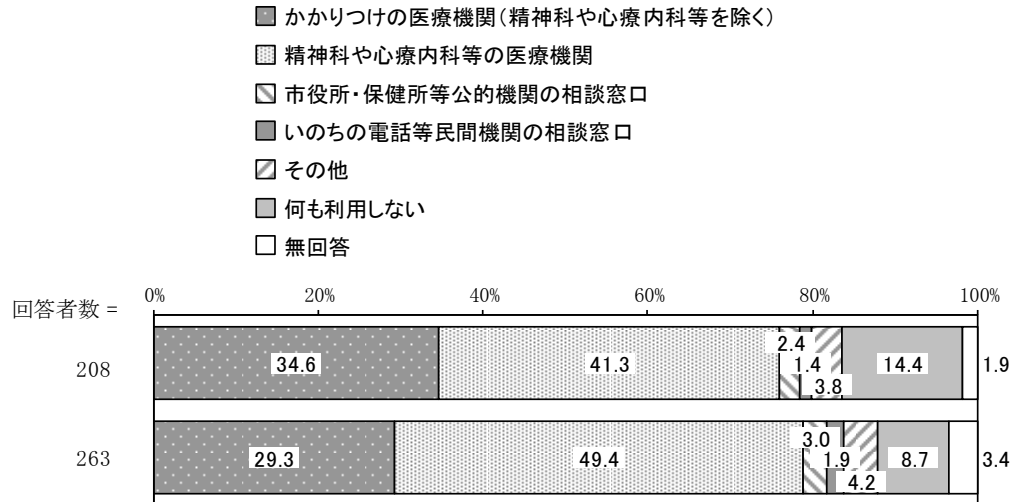
「精神科や心療内科等の医療機関」の割合が46.1%と最も高く、次いで「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）」の割合が31.3%、「何も利用しない」の割合が11.2%となっています。

- かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）
- 精神科や心療内科等の医療機関
- 市役所・保健所等公的機関の相談窓口
- いのちの電話等民間機関の相談窓口
- その他
- 何も利用しない
- 無回答



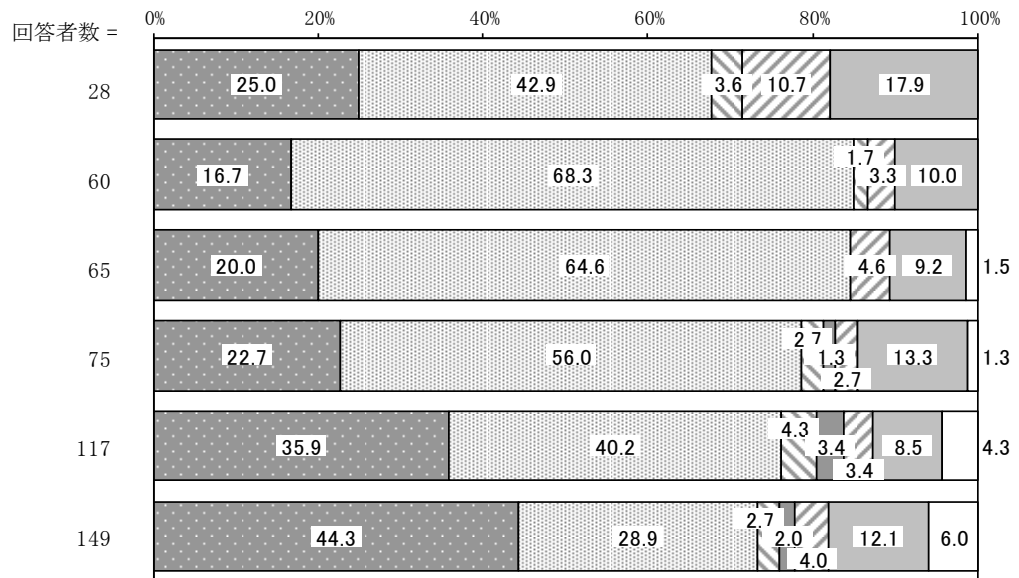
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）」
「何も利用しない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「精神科や心療内科
等の医療機関」の割合が高くなっています。



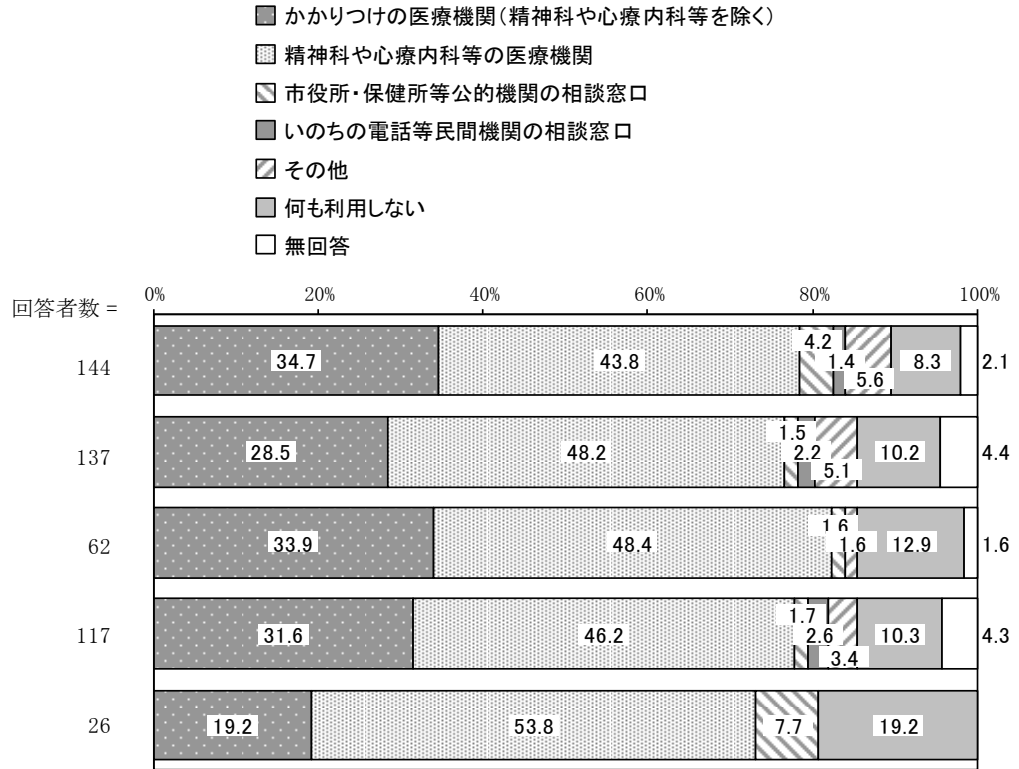
【年齢別】

年齢別でみると、30歳代以上で年齢が高くなるにつれ「かかりつけの医療機関（精神科や心療
内科等を除く）」の割合が高く、「精神科や心療内科等の医療機関」の割合が低くなっています。
また、他の年齢に比べ、20歳代で「何も利用しない」の割合が高くなっています。



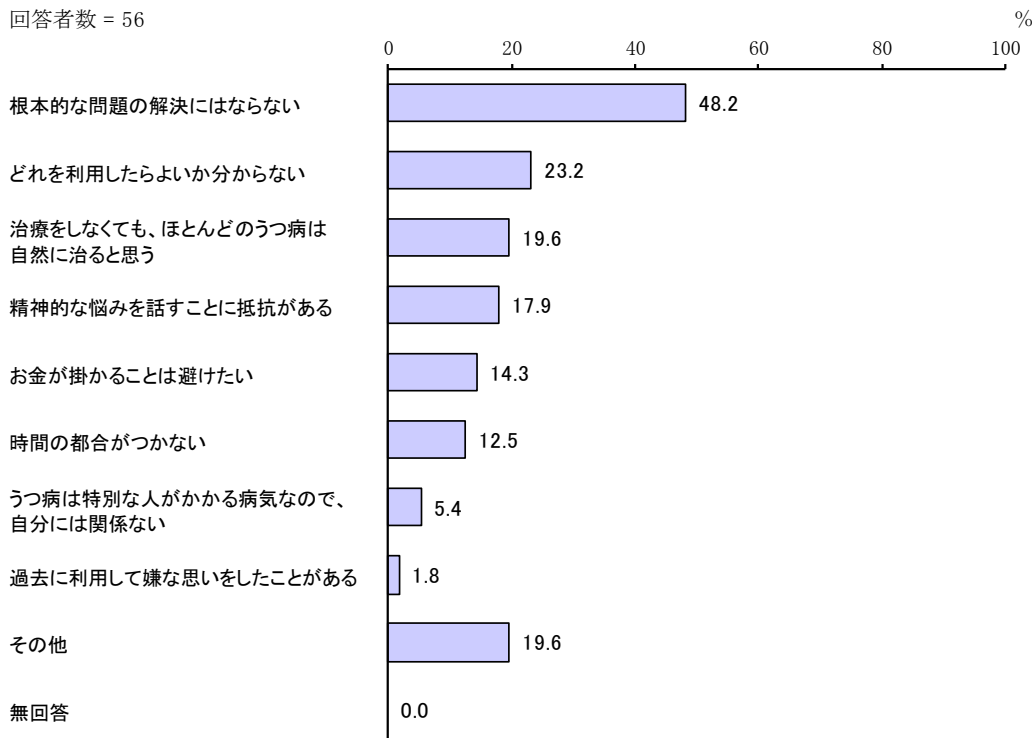
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「精神科や心療内科等の医療機関」の割合が高くなっています。また、東、深良で「かかりつけの医療機関（精神科や心療内科等を除く）」の割合が高くなっています。



問 50-1 問 50 で「何も利用しない」を回答された方にお聞きします。
何も利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

「根本的な問題の解決にはならない」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「どれを利用したらよいか分からない」の割合が 23.2%、「治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う」の割合が 19.6%となっています。



【その他の主な意見】

- ・ 自分自身で乗り越える
- ・ 悩みを相談できる人にまず話を聞いてもらうから など

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どれを利用したらよいか分からない」「根本的な問題の解決にはならない」「うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」「治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	お金が掛かることは避けたい	精神的な悩みを話すことに抵抗がある	時間の都合がつかない	どれを利用したらよいか分からない	過去に利用して嫌な思いをしたことがある	根本的な問題の解決にはならない	うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない	治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う	その他	無回答
男性	30	13.3	16.7	13.3	26.7	—	53.3	10.0	16.7	13.3	—
女性	23	17.4	21.7	13.0	21.7	4.3	39.1	—	26.1	26.1	—

【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」「根本的な問題の解決にはならない」の割合が高くなっています。また、70歳代以上で「治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お金が掛かることは避けたい	精神的な悩みを話すことに抵抗がある	時間の都合がつかない	どれを利用したらよいか分からない	過去に利用して嫌な思いをしたことがある	根本的な問題の解決にはならない	うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない	うつ病は自然に治ると思う	治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う	その他	無回答
20歳代	5	40.0	20.0	40.0	80.0	—	40.0	—	20.0	20.0	—	—
30歳代	6	33.3	16.7	16.7	50.0	—	33.3	—	16.7	—	—	—
40歳代	6	33.3	—	50.0	16.7	—	83.3	16.7	—	16.7	—	—
50歳代	10	—	30.0	—	10.0	—	70.0	—	—	10.0	—	—
60歳代	10	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	50.0	10.0	—	40.0	—	—
70歳代以上	18	5.6	22.2	—	16.7	—	33.3	5.6	50.0	16.7	—	—

【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「お金が掛かることは避けたい」「精神的な悩みを話すことに抵抗がある」「どれを利用したらよいか分からない」「根本的な問題の解決にはならない」の割合が高くなっています。

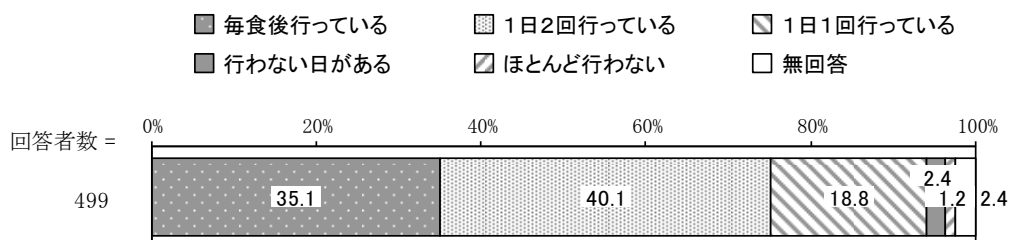
単位：％

区分	回答者数(件)	お金が掛かることは避けたい	精神的な悩みを話すことに抵抗がある	時間の都合がつかない	どれを利用したらよいか分からない	過去に利用して嫌な思いをしたことがある	根本的な問題の解決にはならない	うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない	うつ病は自然に治ると思う	治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う	その他	無回答
東	12	8.3	8.3	—	25.0	—	41.7	—	25.0	16.7	—	—
西	14	7.1	14.3	14.3	21.4	7.1	28.6	7.1	14.3	21.4	—	—
深良	8	37.5	12.5	25.0	25.0	—	75.0	12.5	25.0	37.5	—	—
富岡	12	16.7	41.7	16.7	33.3	—	50.0	—	25.0	8.3	—	—
須山	5	—	20.0	—	—	—	40.0	20.0	—	40.0	—	—

(9) 歯科保健について

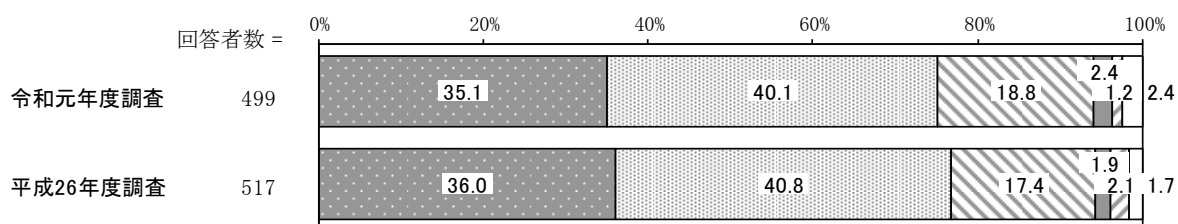
問 51 毎食後に歯磨きや義歯の清掃など、歯や口の手入れをしていますか。
(○は1つ)

「1日2回行っている」の割合が40.1%と最も高く、次いで「毎食後行っている」の割合が35.1%、「1日1回行っている」の割合が18.8%となっています。



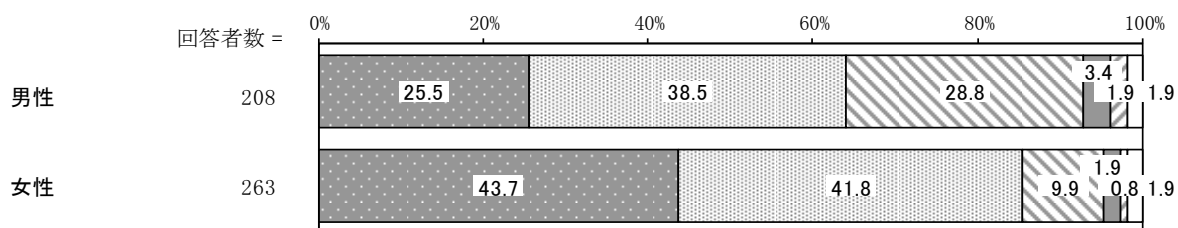
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



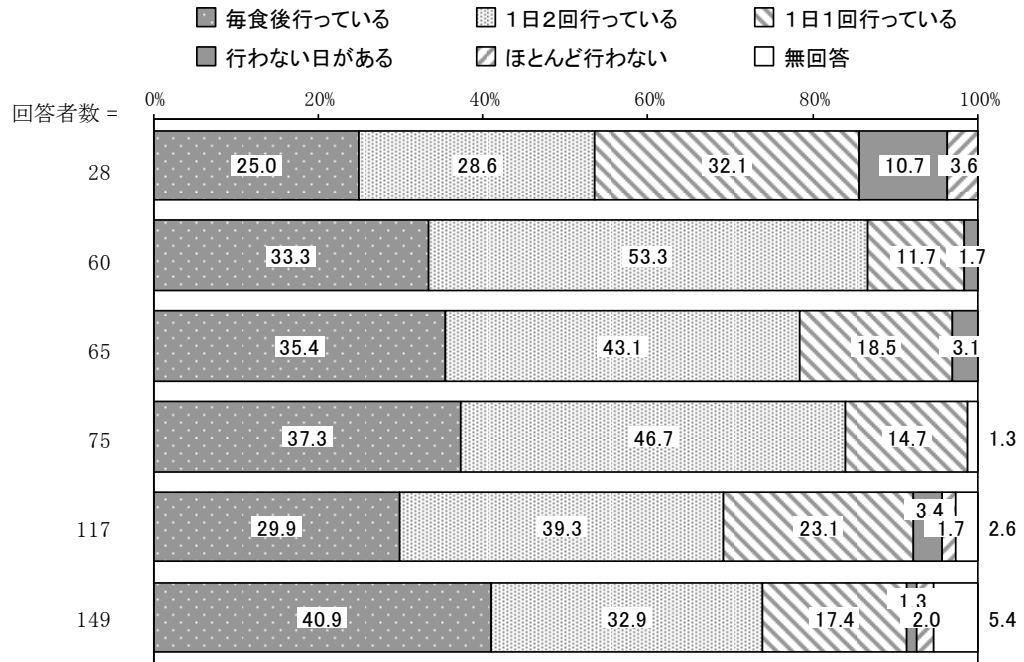
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「1日1回行っている」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「毎食後行っている」の割合が高くなっています。



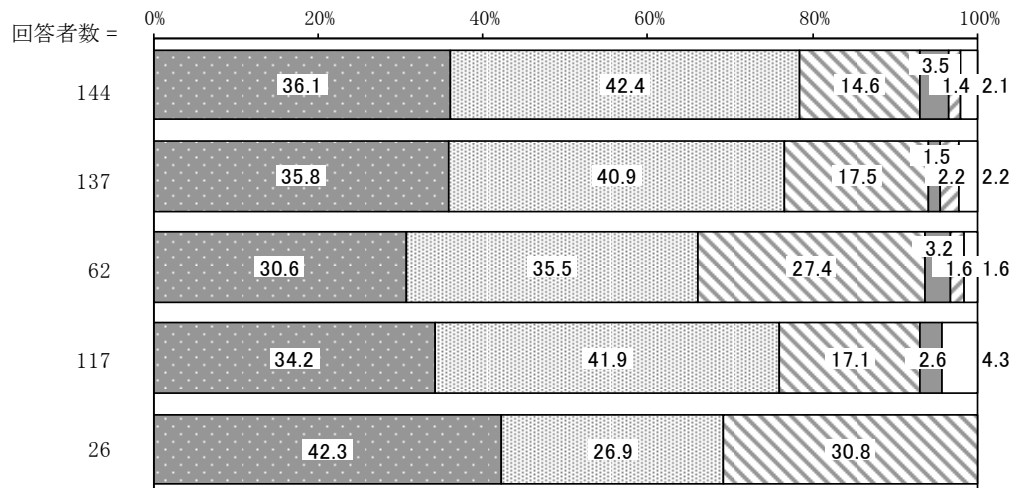
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「1日2回行っている」の割合が高くなっています。また、70歳代以上で「毎食後行っている」の割合が、20歳代で「1日1回行っている」「行わない日がある」の割合が高くなっています。



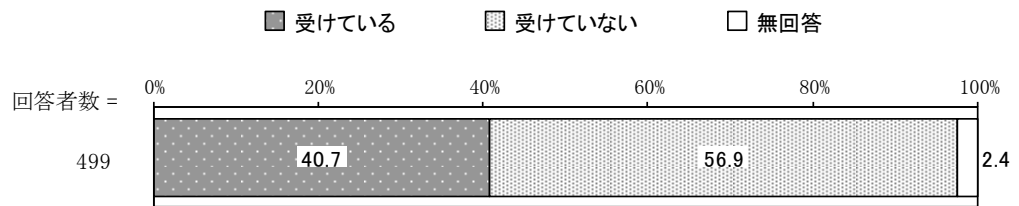
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で「毎食後行っている」の割合が高くなっています。また、深良、須山で「1日1回行っている」の割合が高くなっています。



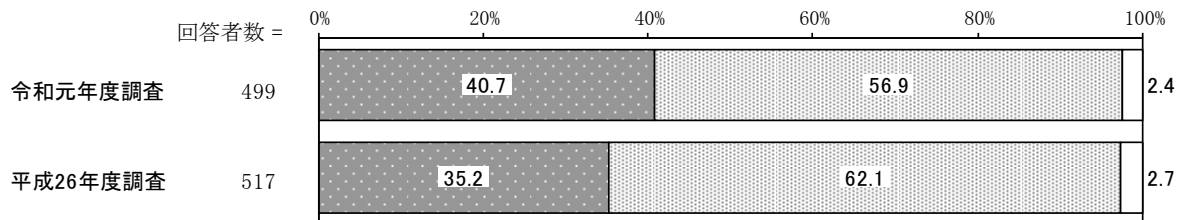
問 52 治療以外で1年に1回以上定期的な歯の健診を受けていますか。(○は1つ)

「受けている」の割合が40.7%、「受けていない」の割合が56.9%となっています。



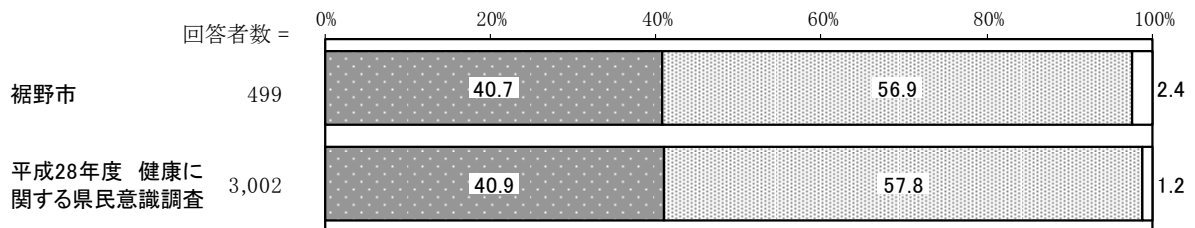
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「受けている」が5.5ポイント増加し、「受けていない」が5.2ポイント減少しています。



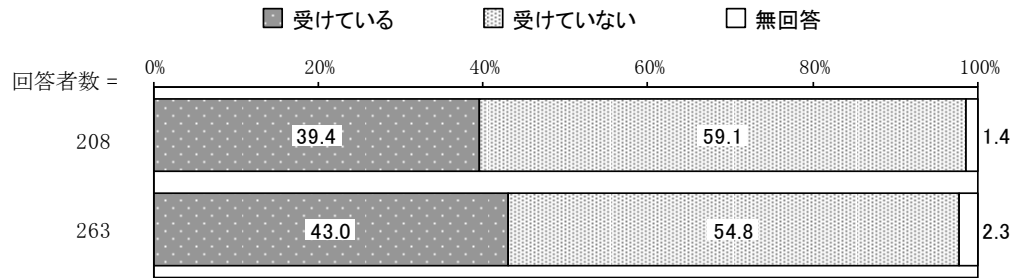
【県調査との比較】

県調査と比較すると、大きな差異はみられません。



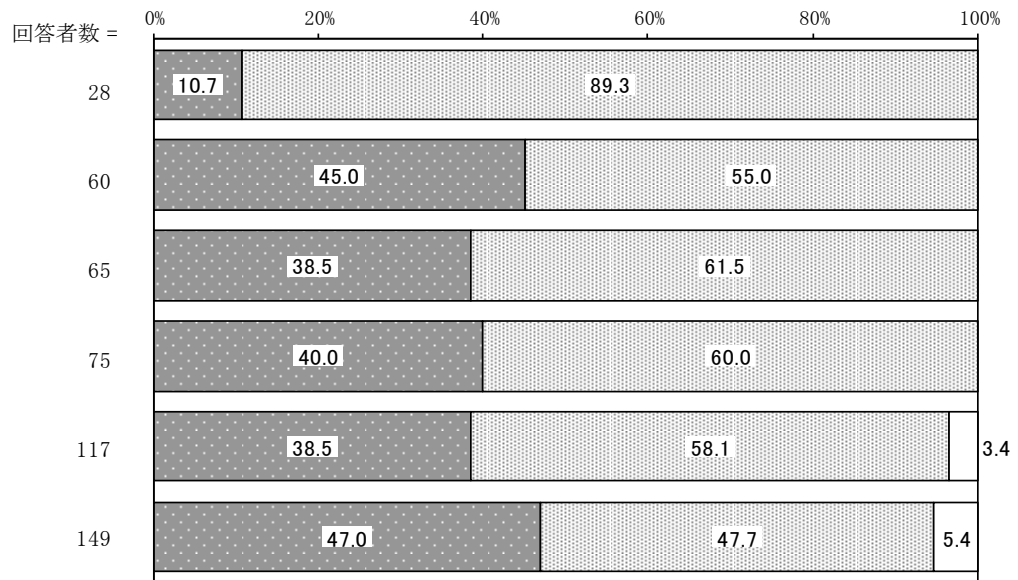
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



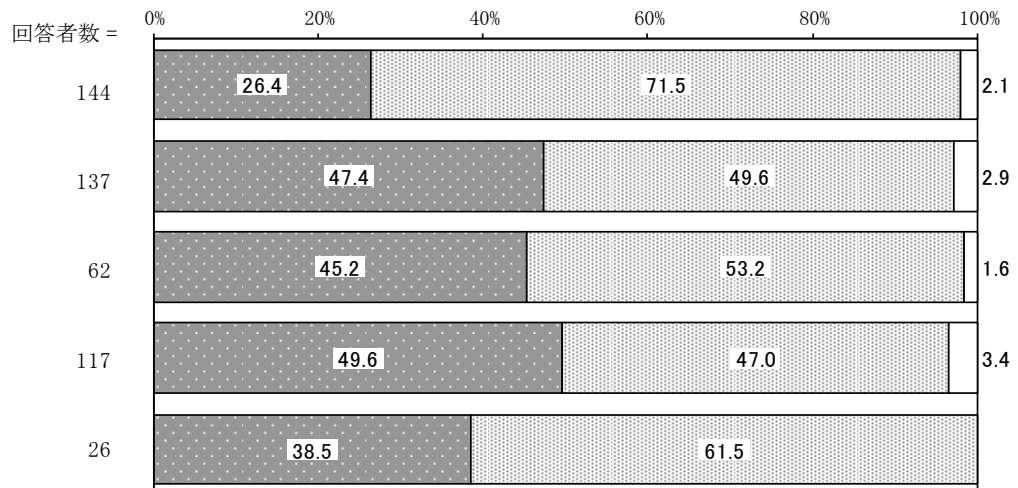
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代、70歳代以上で「受けている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「受けていない」の割合が高くなっています。



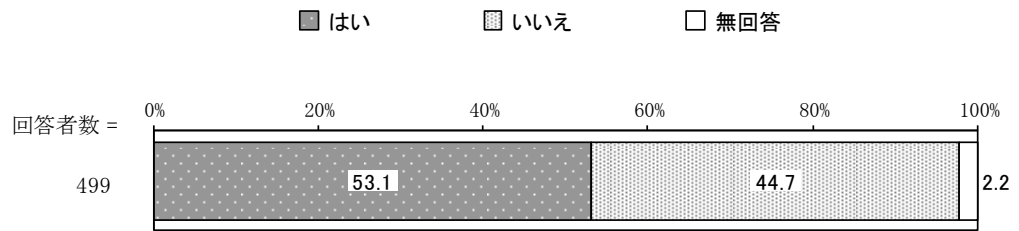
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東で「受けていない」の割合が高くなっています。



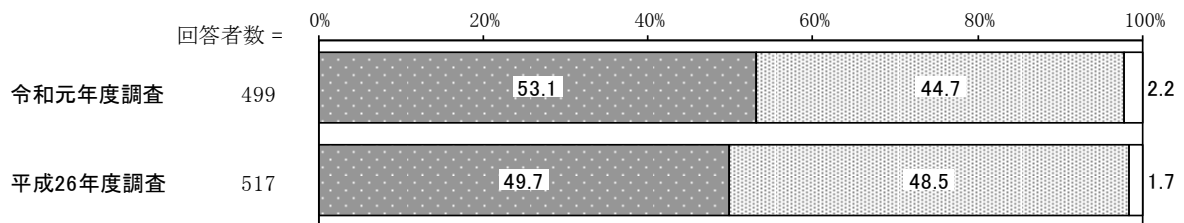
問 53 デンタルフロスや糸ようじ、歯間ブラシなどの歯間部清掃用具を使用していますか。(○は1つ)

「はい」の割合が53.1%、「いいえ」の割合が44.7%となっています。



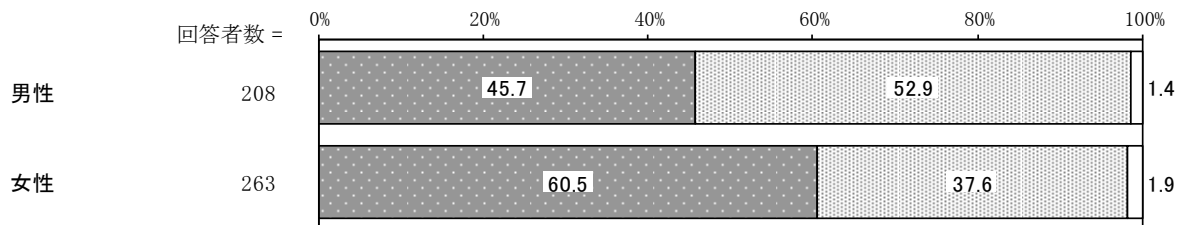
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



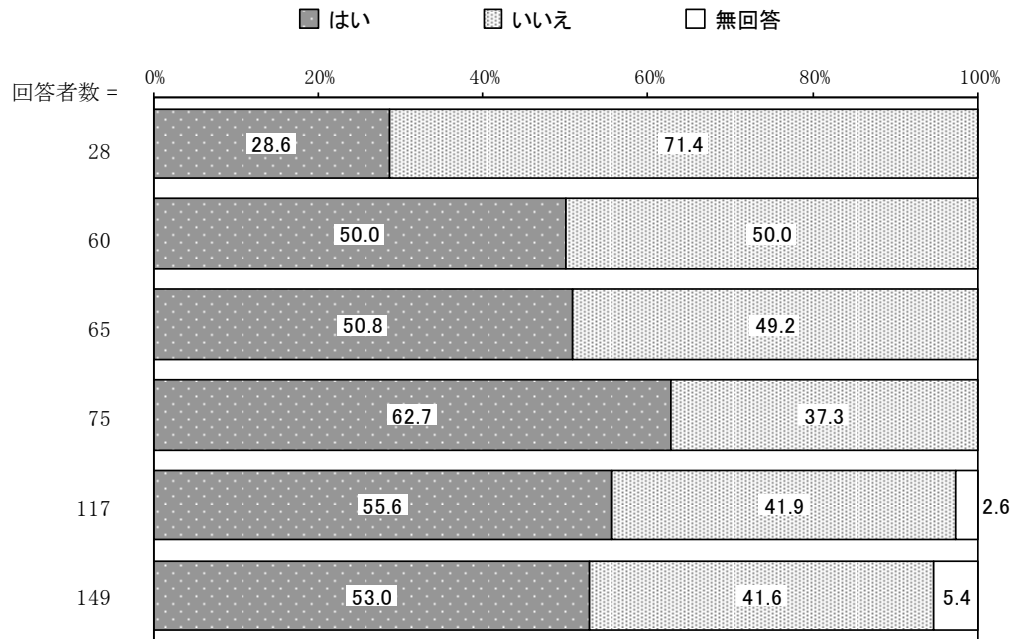
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



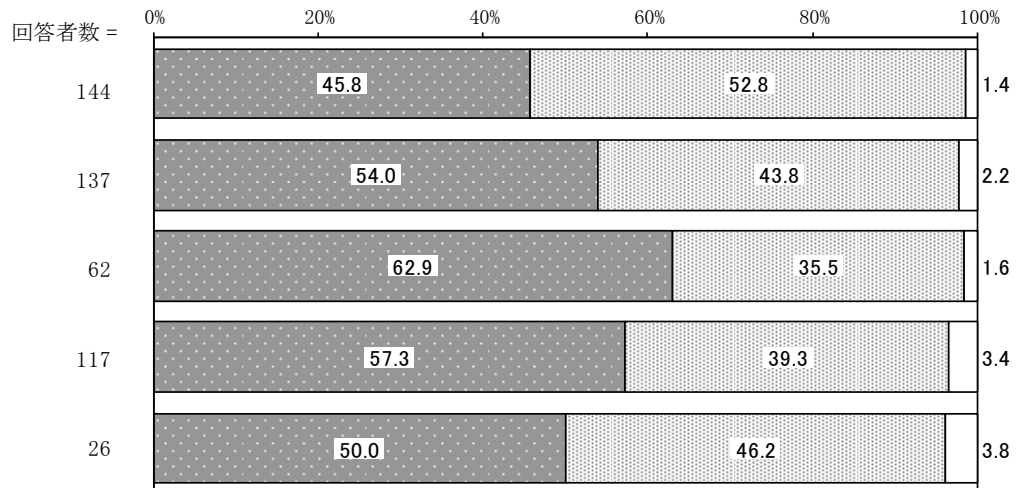
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「はい」の割合が高くなっています。また、20歳代で「いいえ」の割合が高くなっています。



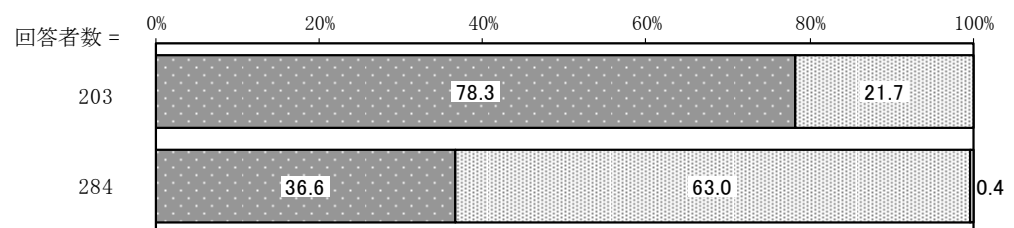
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良で「はい」の割合が高くなっています。また、東で「いいえ」の割合が高くなっています。



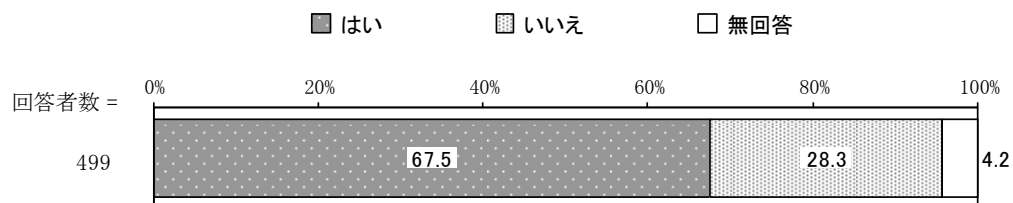
【定期的な歯の健診の受診別】 (問 53 歯間部清掃用具の使用 × 問 52 定期的な歯の健診の受診)

定期的な歯の健診の受診別でみると、受けていない人に比べ、受けている人で「はい」の割合が高くなっています。



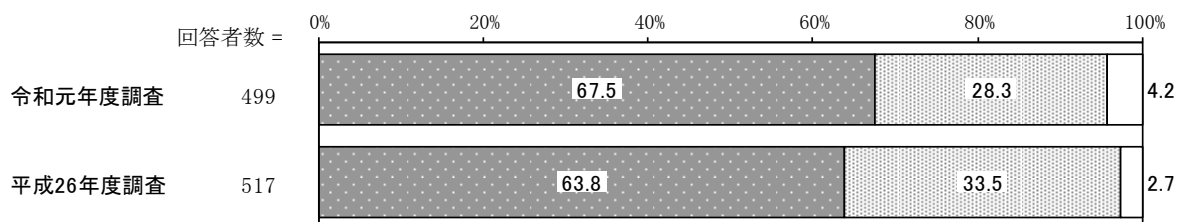
問 54 歯周病と生活習慣病（糖尿病、心臓病等）が互いに影響することを知っていますか。（○は1つ）

「はい」の割合が67.5%、「いいえ」の割合が28.3%となっています。



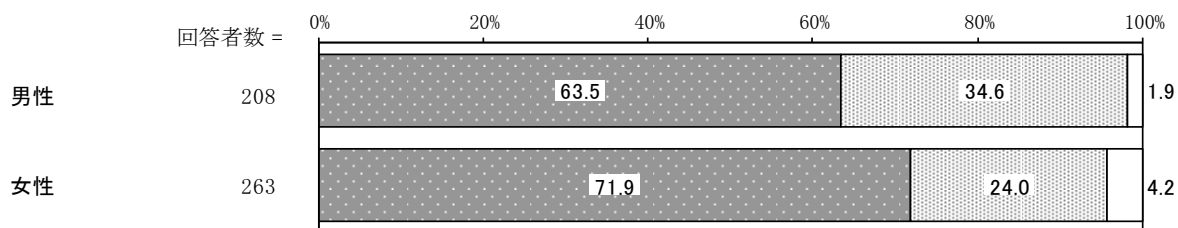
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「いいえ」が5.2ポイント減少しています。



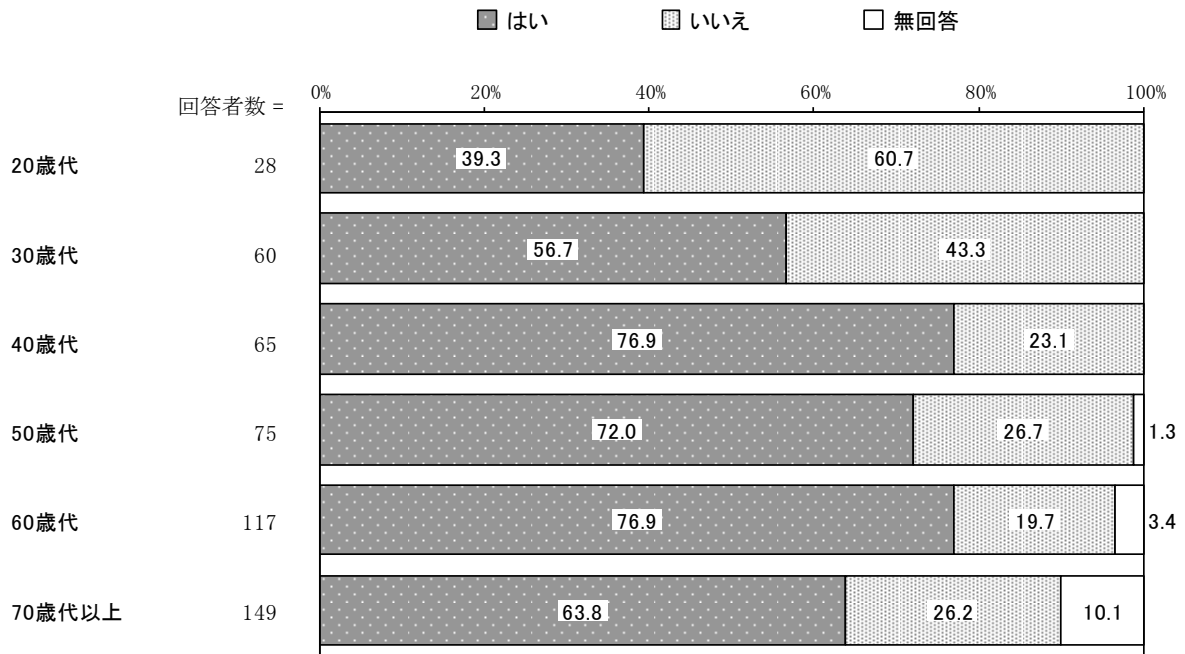
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「はい」の割合が高くなっています。



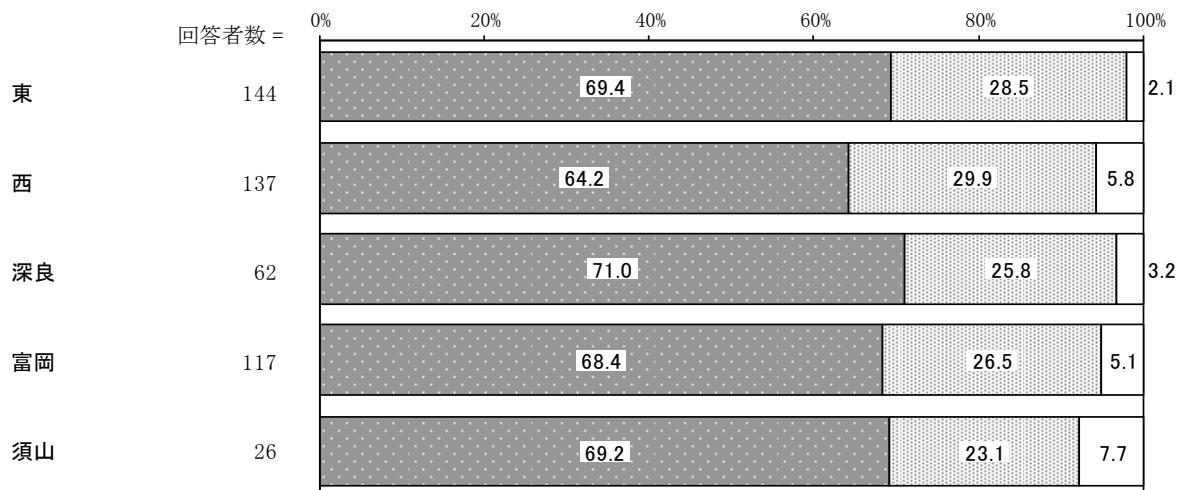
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、40歳代、50歳代、60歳代で「はい」の割合が高くなっています。



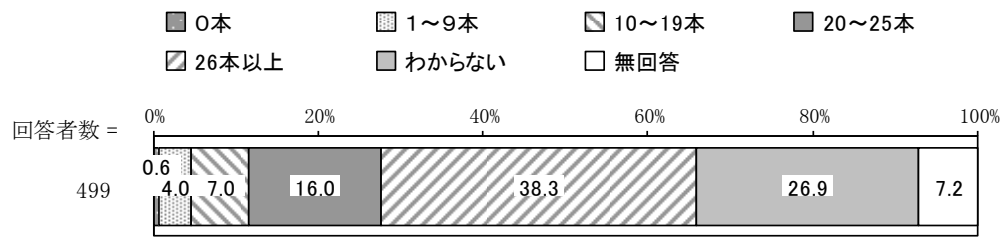
【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。



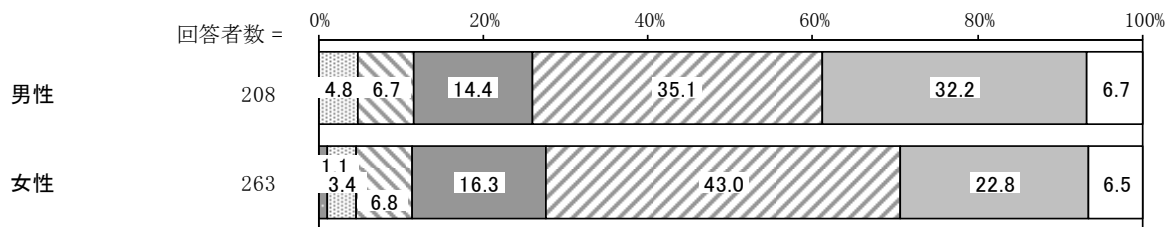
問 55 あなたの歯は、現在何本ありますか。(〇は1つ)

「26本以上」の割合が38.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が26.9%、「20～25本」の割合が16.0%となっています。



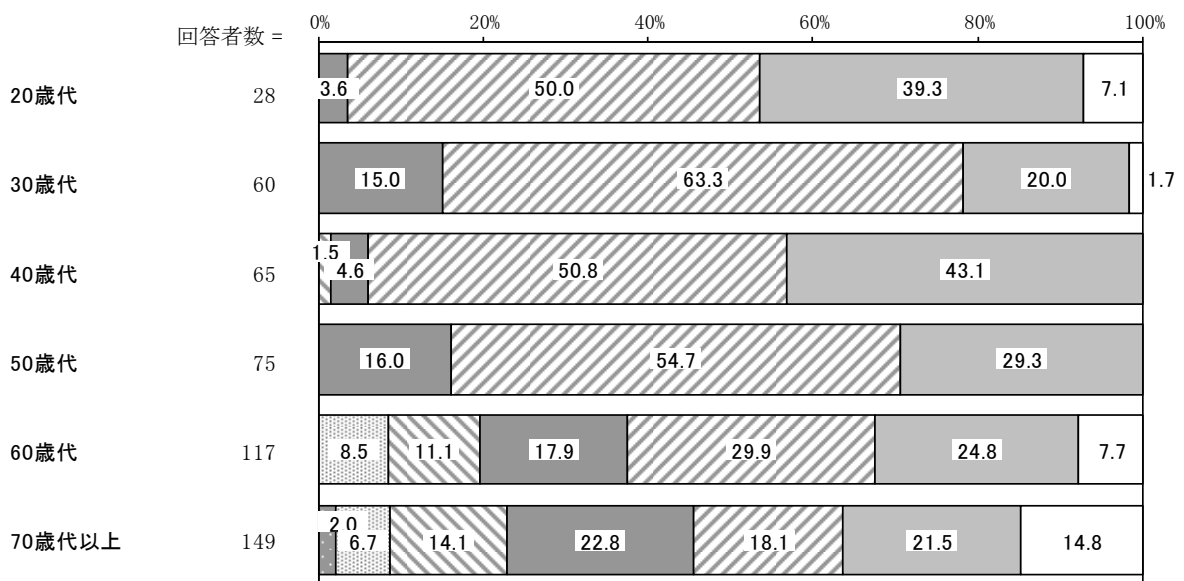
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「26本以上」の割合が高くなっています。



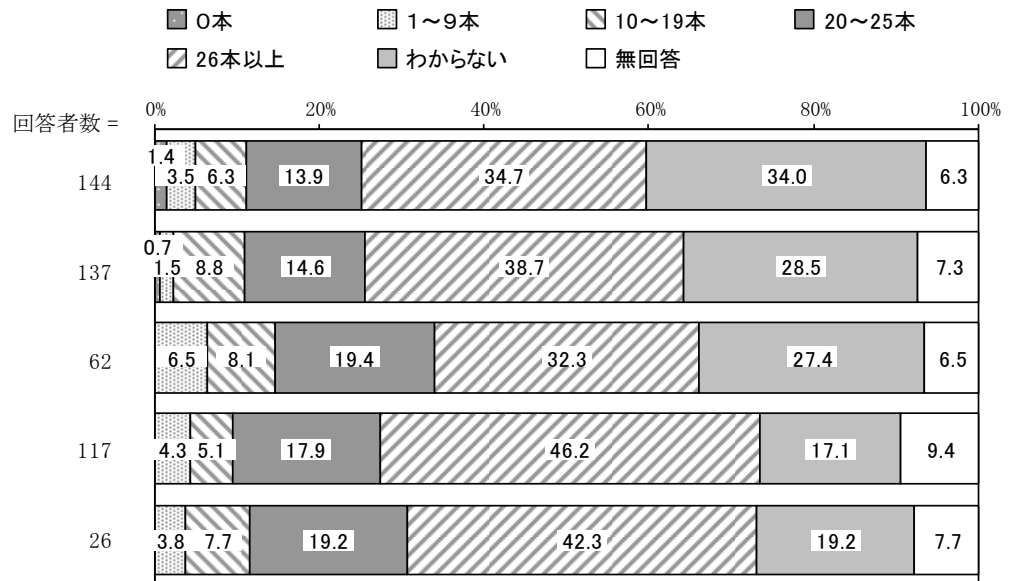
【年齢別】

年齢別でみると、30歳代以上で年齢が高くなるにつれ「26本以上」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳代以上で「20～25本」の割合が高くなっています。



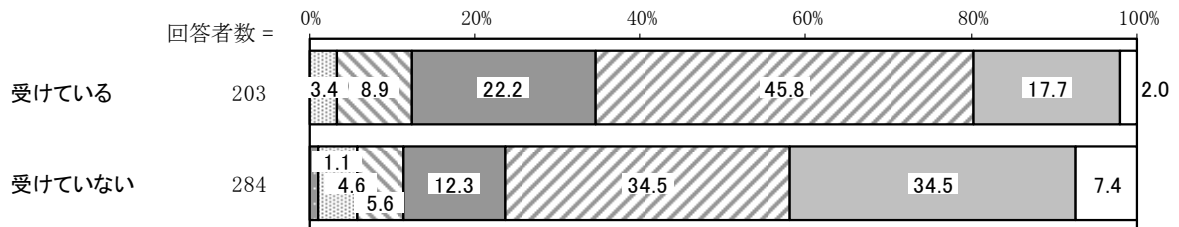
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「26本以上」の割合が高くなっています。



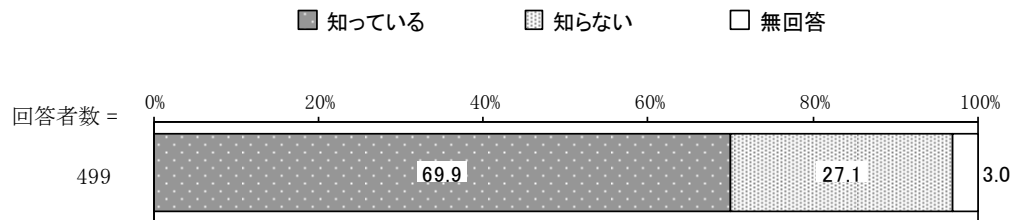
【定期的な歯の健診の受診別（問 52×問 55）】

定期的な歯の健診の受診別でみると、受けていない人に比べ、受けている人で「26本以上」の割合が高くなっています。



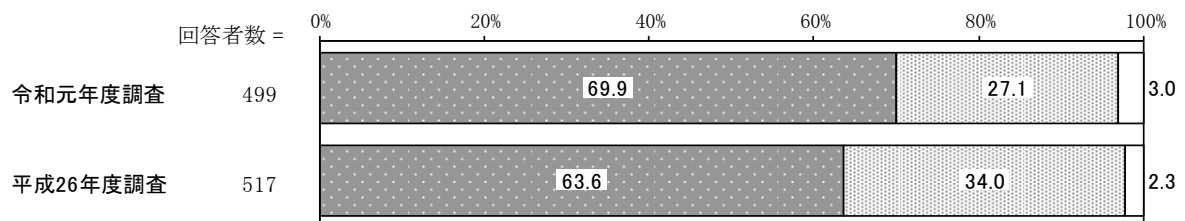
問 56 豊かな人生を過ごすために 80 歳になっても 20 本以上の自分の歯を保とうという「8020（ハチマルニイマル）運動」という言葉を知っていますか。
 (○は1つ)

「知っている」の割合が 69.9%、「知らない」の割合が 27.1%となっています。



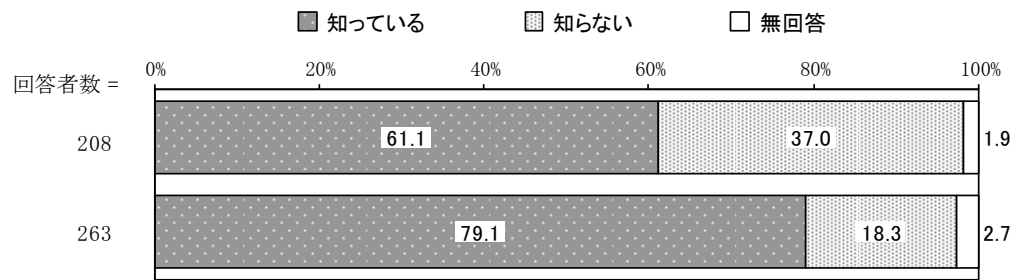
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「知っている」が 6.3 ポイント増加し、「知らない」が 6.9 ポイント減少しています。



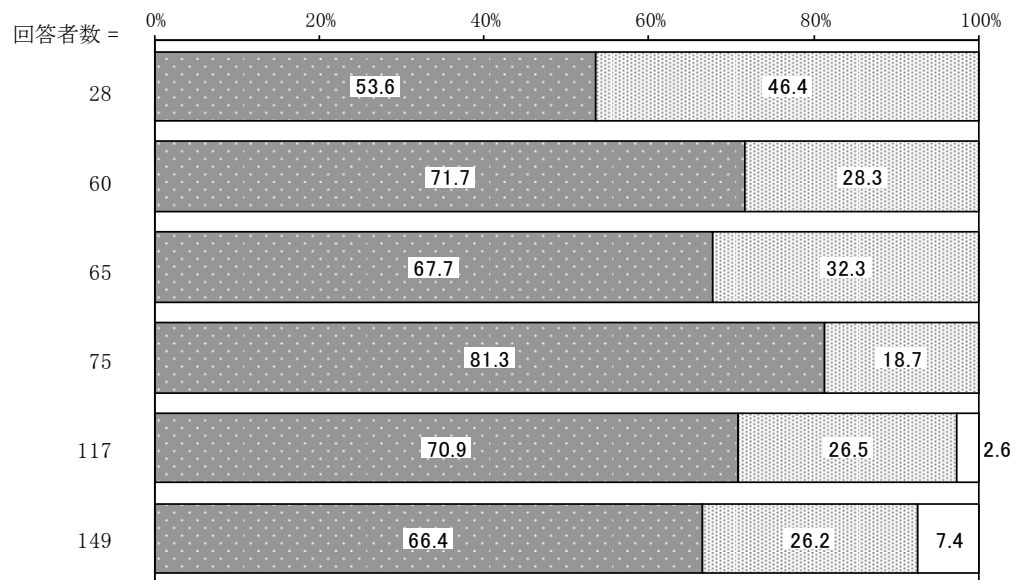
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



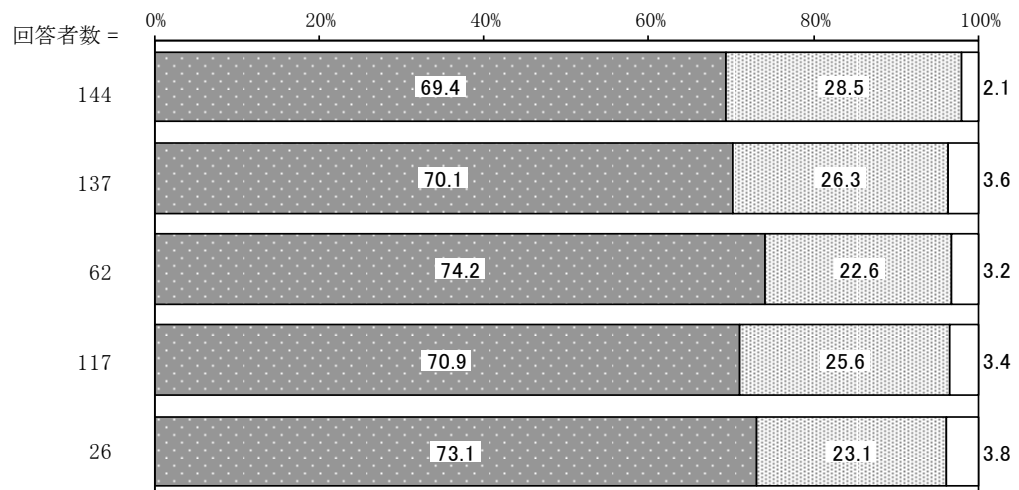
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「知っている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



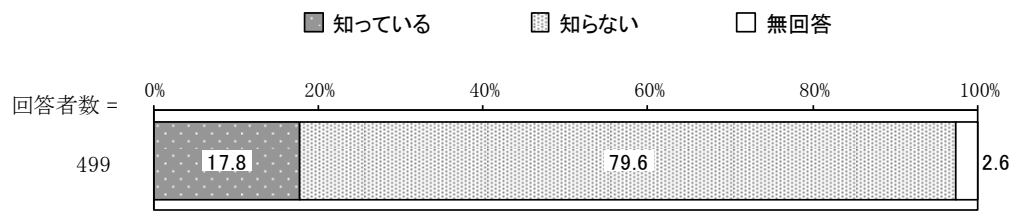
【地区別】

地区別でみると、大きな差異はみられません。



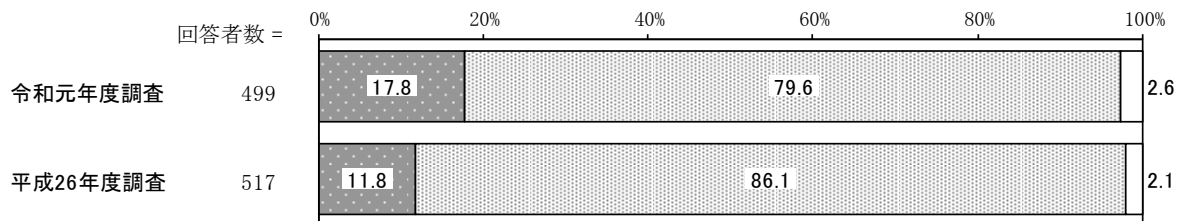
問 57 8020運動を推進するために地域で啓発活動を行う「8020推進員」という人たちを知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が17.8%、「知らない」の割合が79.6%となっています。



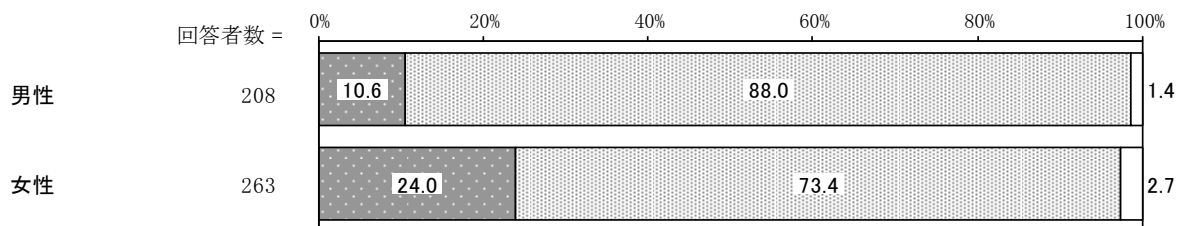
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、「知っている」が6.0ポイント増加し、「知らない」が6.5ポイント減少しています。



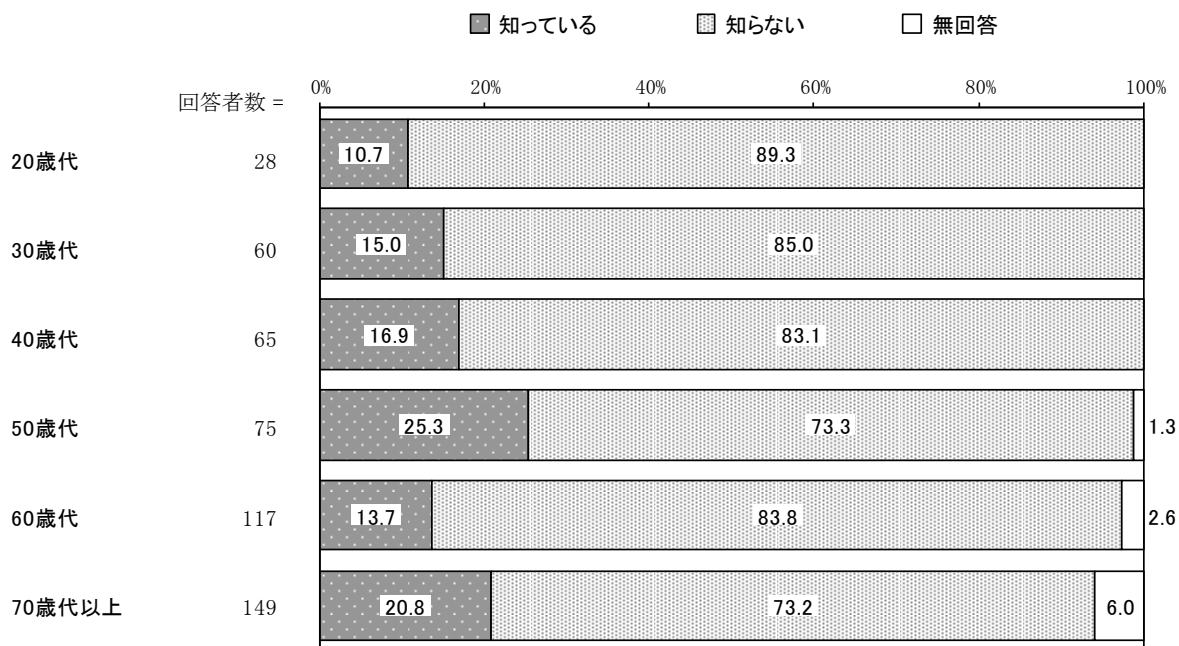
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。



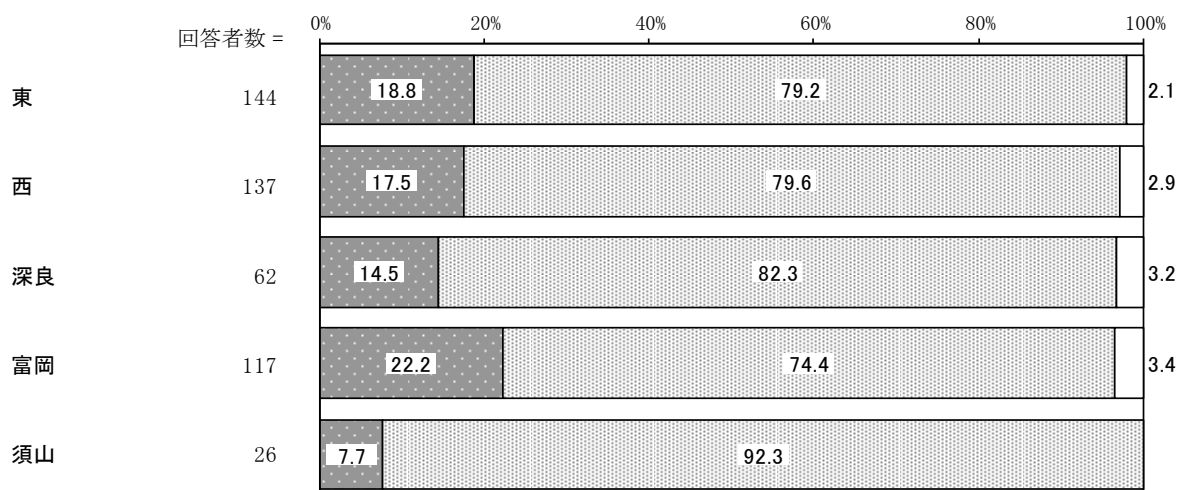
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で「知っている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「知らない」の割合が高くなっています。



【地区別】

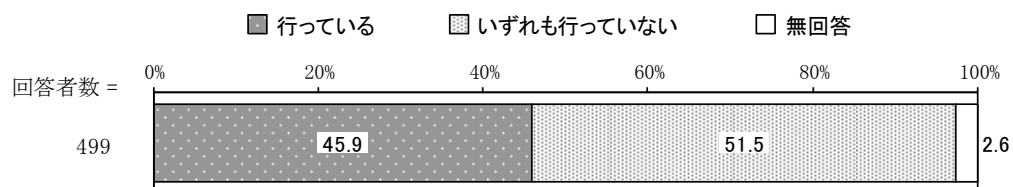
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「知っている」の割合が高くなっています。また、須山で「知らない」の割合が高くなっています。



(10) その他

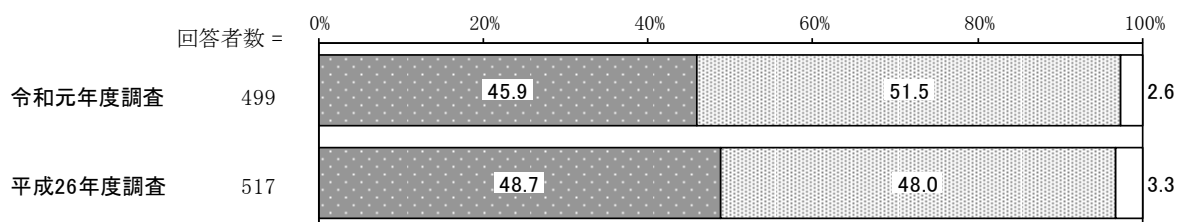
問 58 地域社会活動（町内会、地域行事など）、ボランティア活動、趣味やお稽古事などを行っていますか。（○は1つ）

「行っている」の割合が 45.9%、「いずれも行っていない」の割合が 51.5%となっています。



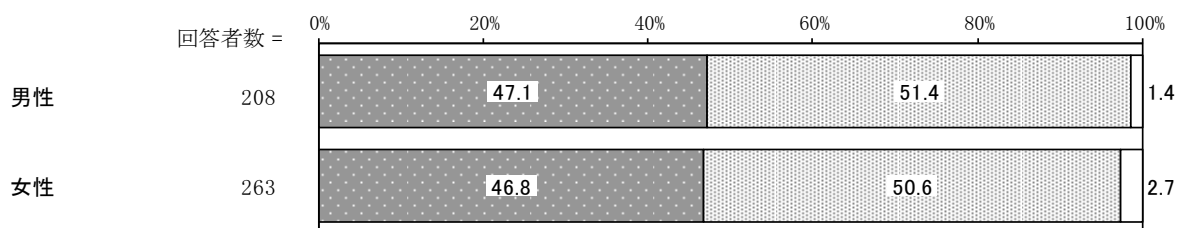
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



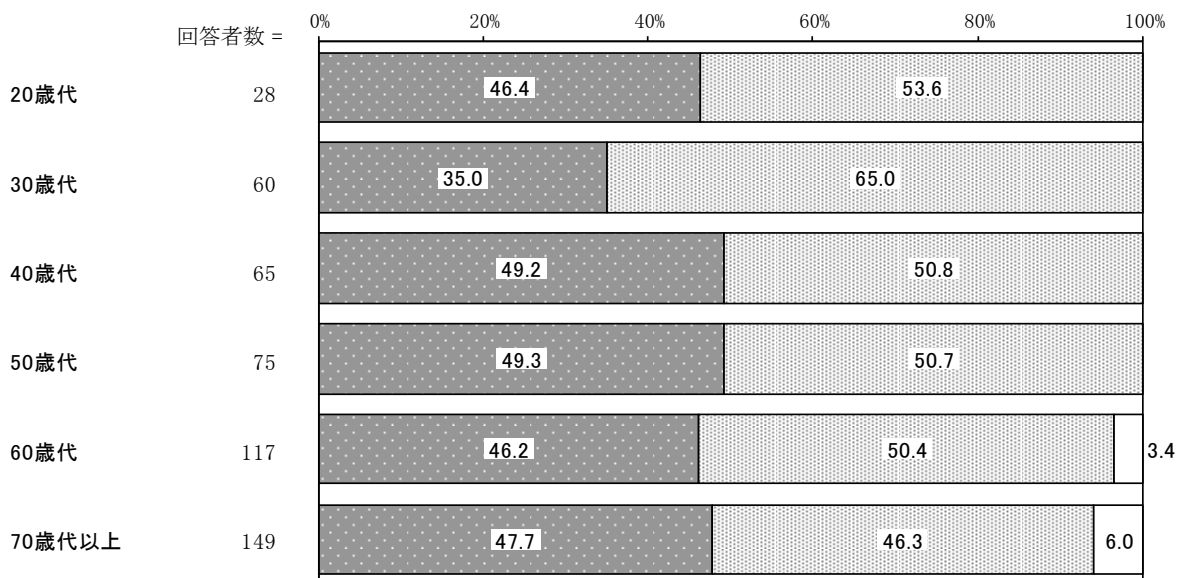
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



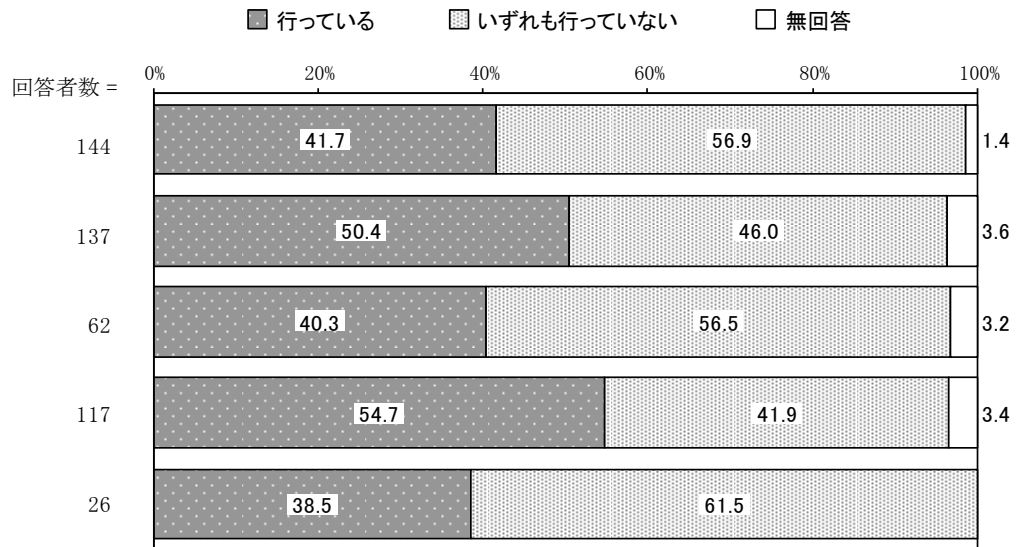
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「いずれも行っていない」の割合が高くなっています。



【地区別】

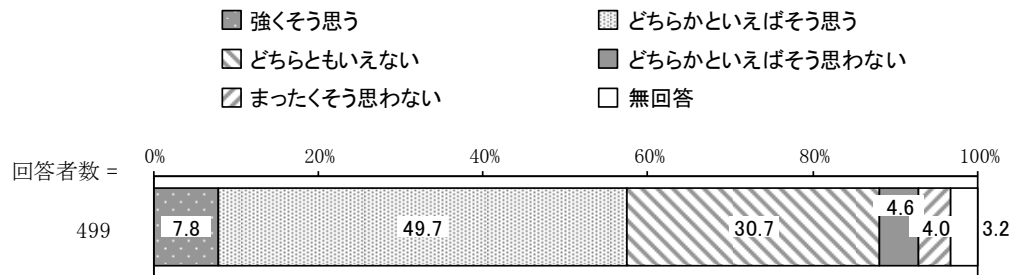
地区別でみると、他の地区に比べ、富岡で「行っている」の割合が高くなっています。また、須山で「いずれも行っていない」の割合が高くなっています。



問 59 ご自分のお住まいの地域についてどのように感じていますか。
(それぞれの設問で1つに○)

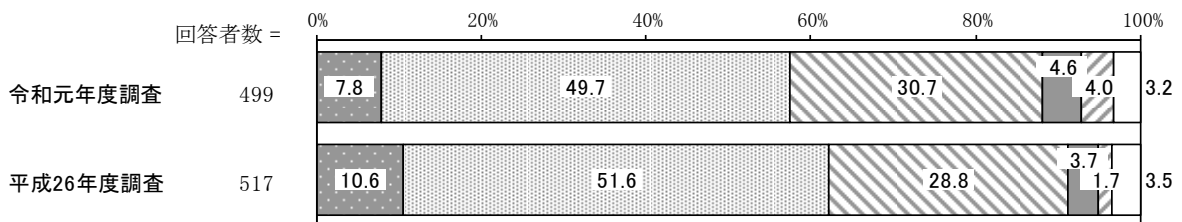
ア あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている

「強くそう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 57.5%、「どちらかといえばそう思わない」と「まったくそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 8.6%となっています。



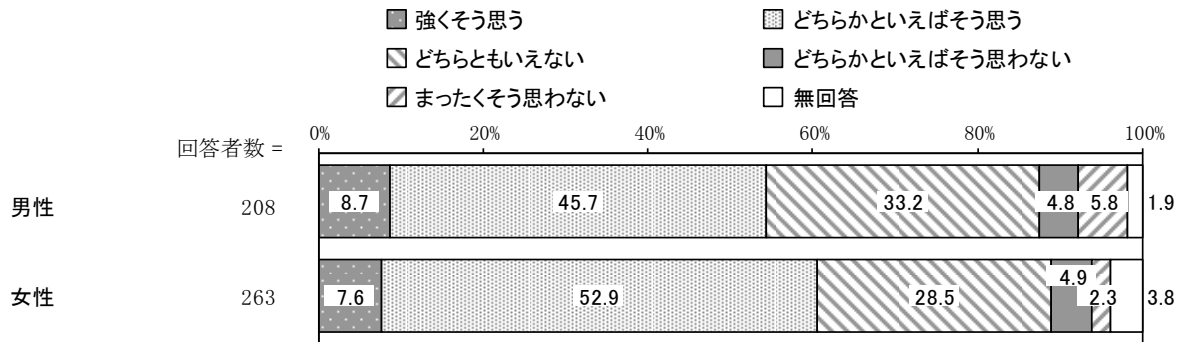
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



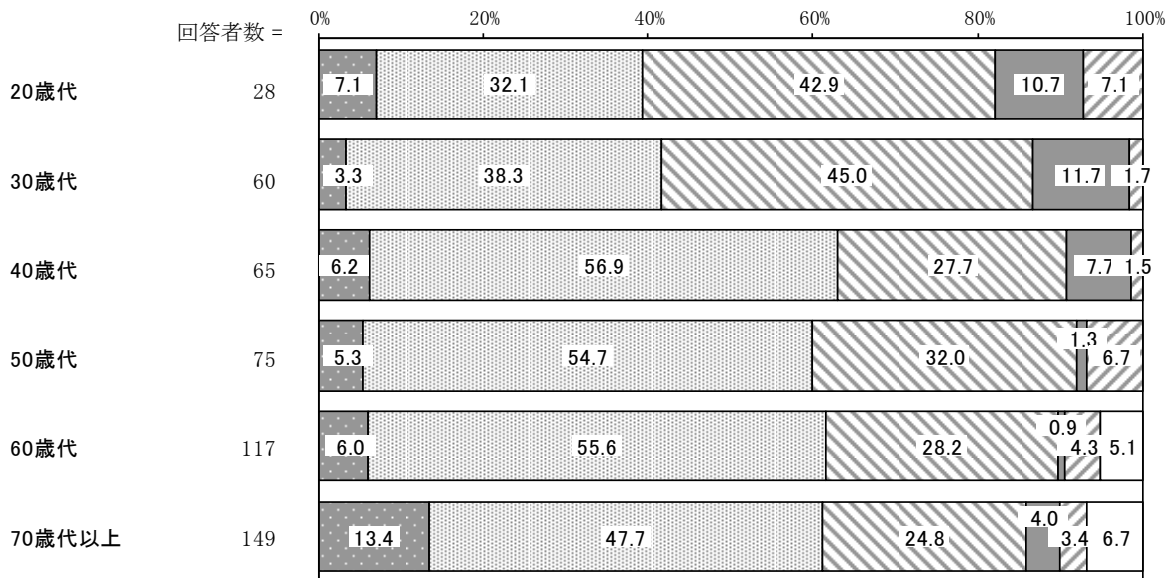
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



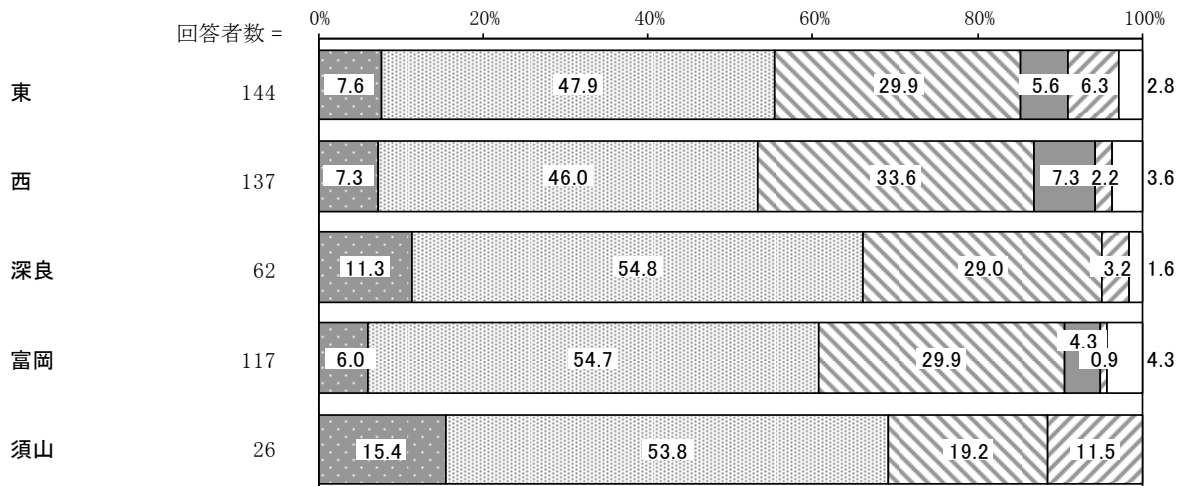
【年齢別】

年齢別でみると、30歳代以下に比べ、40歳代以上で“そう思う”の割合が高くなっています。また、20歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



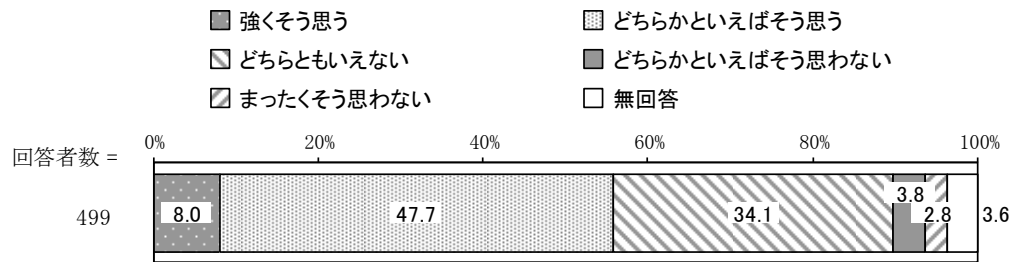
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、須山で“そう思う”の割合が高くなっています。



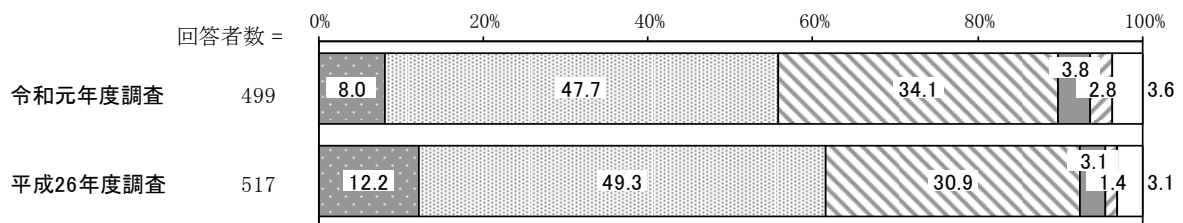
イ あなたのお住まいの地域の人々は、信頼できる

“そう思う”の割合が55.7%、“そう思わない”の割合が6.6%となっています。



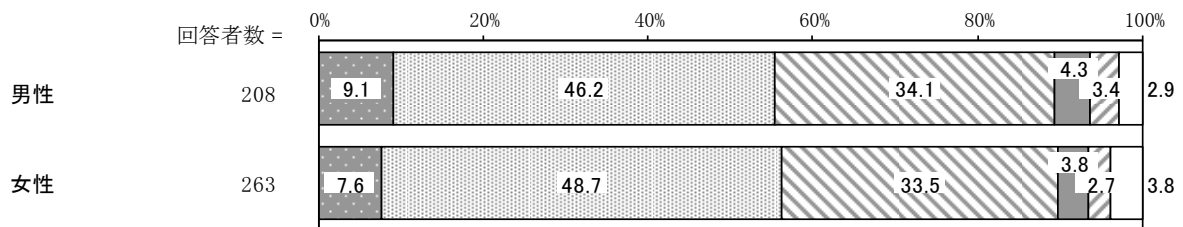
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、“そう思う”が5.8ポイント減少しています。



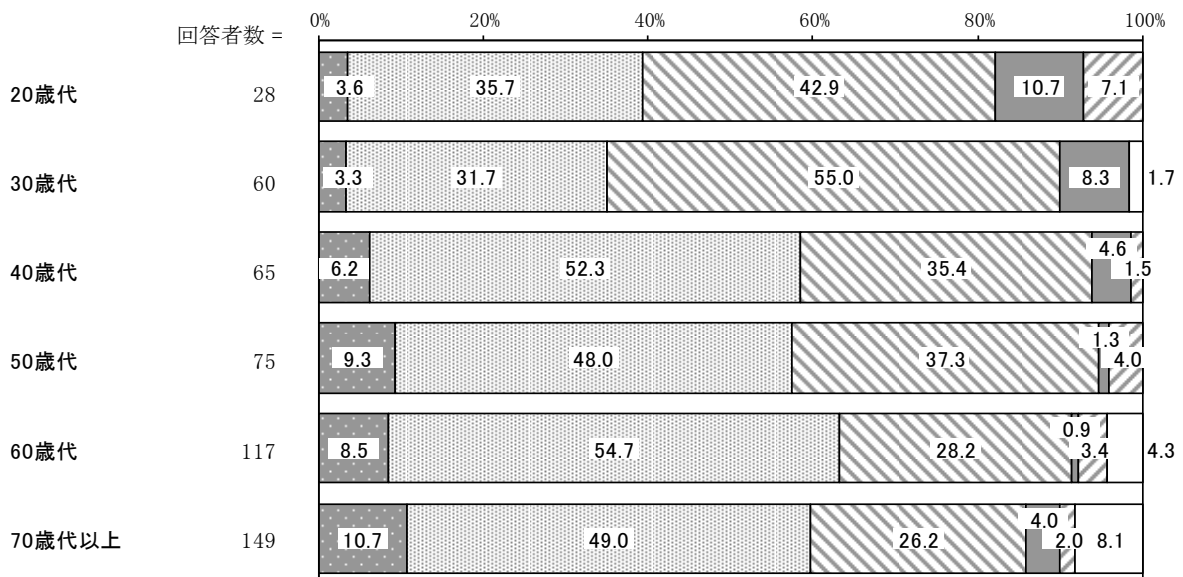
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



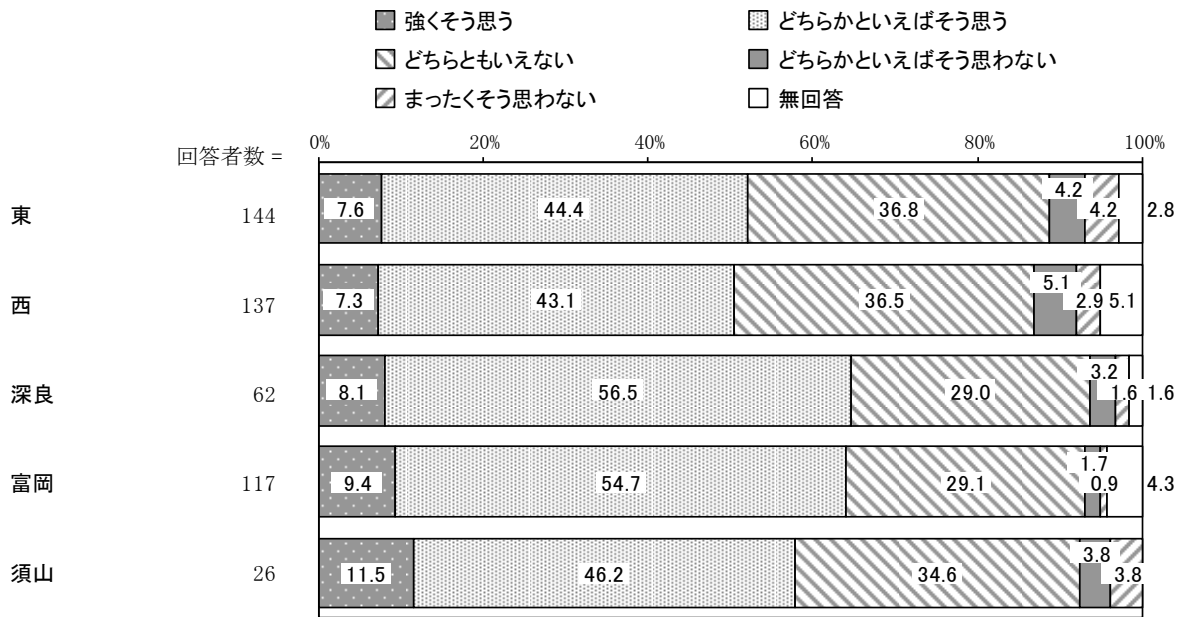
【年齢別】

年齢別で見ると、30歳代以下に比べ、40歳代以上で“そう思う”の割合が高くなっています。また、20歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



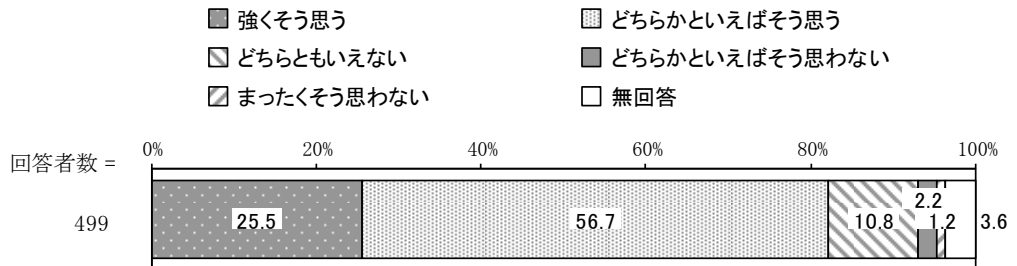
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、深良、富岡で“そう思う”の割合が高くなっています。



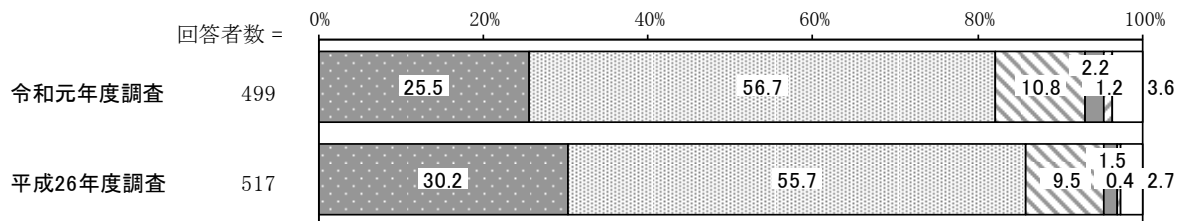
ウ あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに挨拶をしている

“そう思う”の割合が82.2%、“そう思わない”の割合が3.4%となっています。



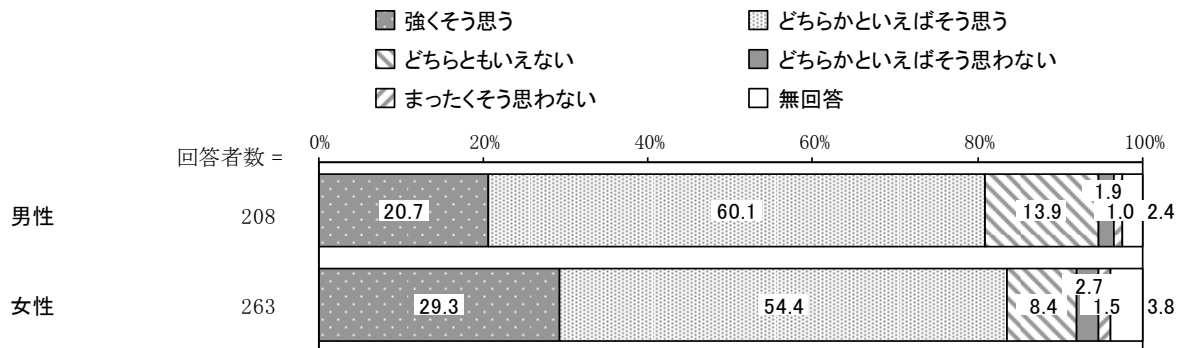
【前回調査との比較】

平成26年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



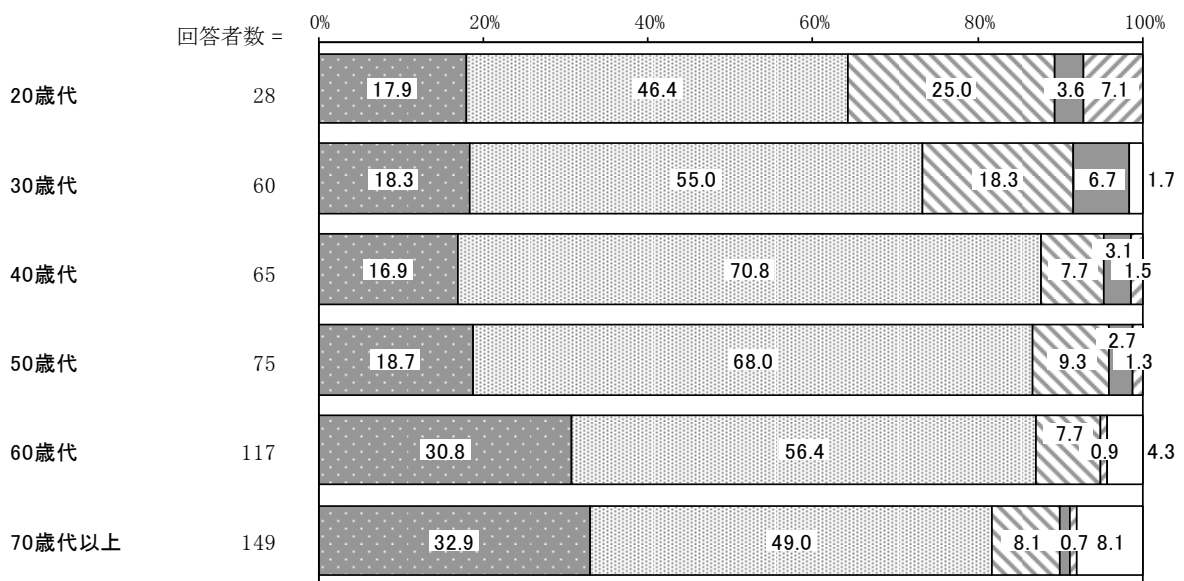
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「強くそう思う」の割合が高くなっています。



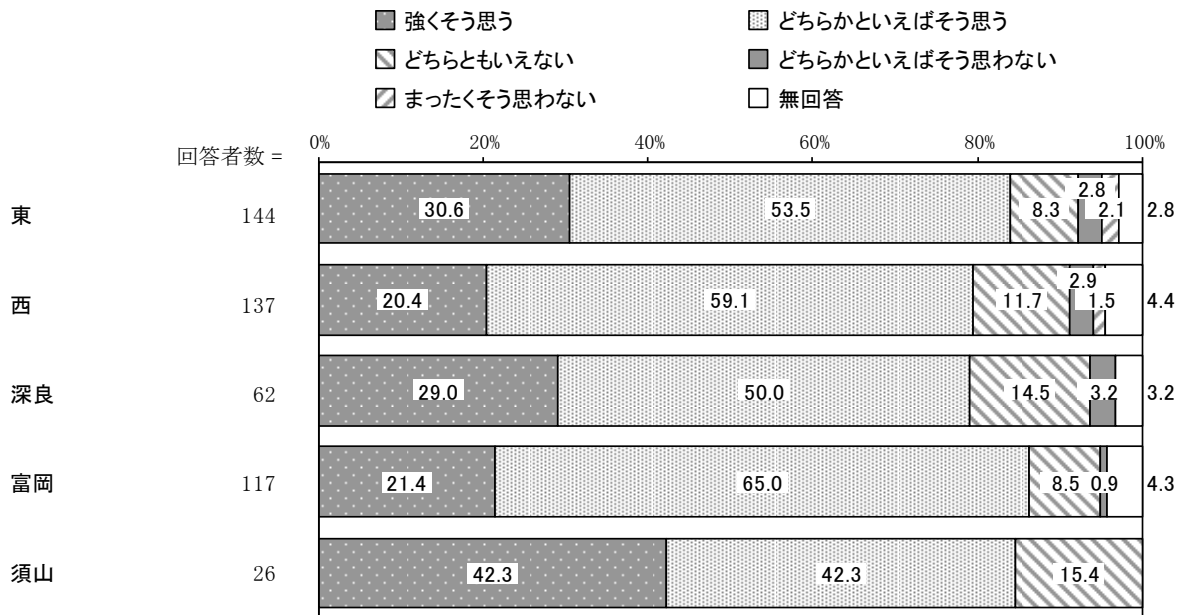
【年齢別】

年齢別でみると、30歳代以下に比べ、40歳代以上で“そう思う”の割合が高くなっています。また、20歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。

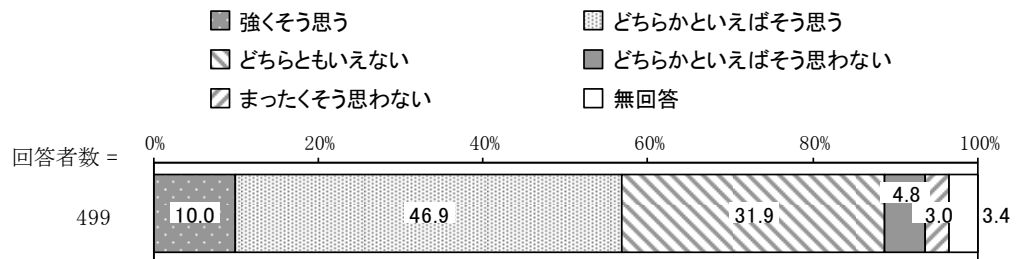


【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、東、富岡、須山で“そう思う”の割合が高くなっています。

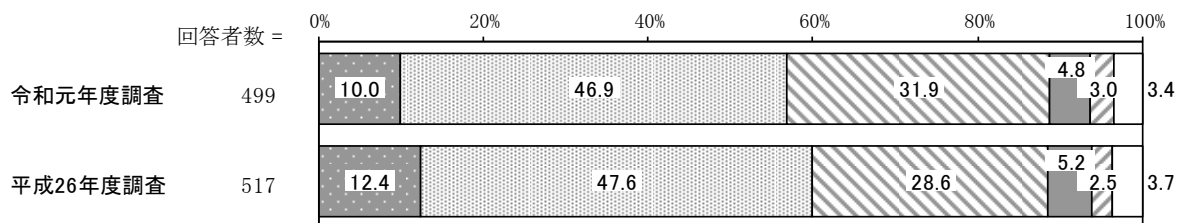


エ あなたのお住まいの地域では、問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする“そう思う”の割合が 56.9%、“そう思わない”の割合が 7.8%となっています。



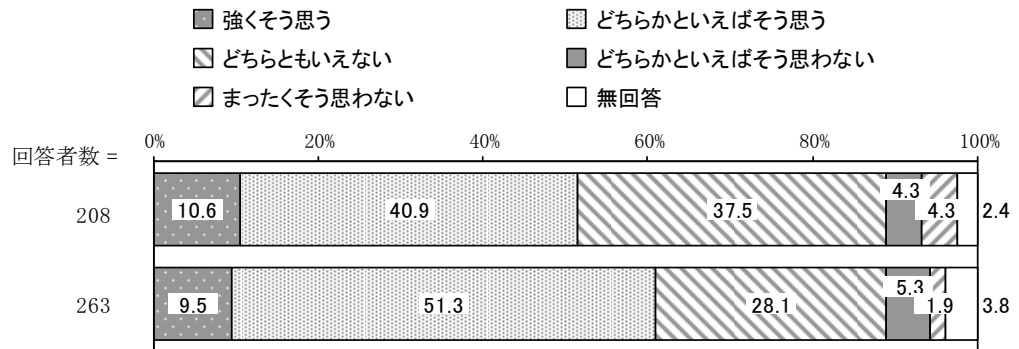
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



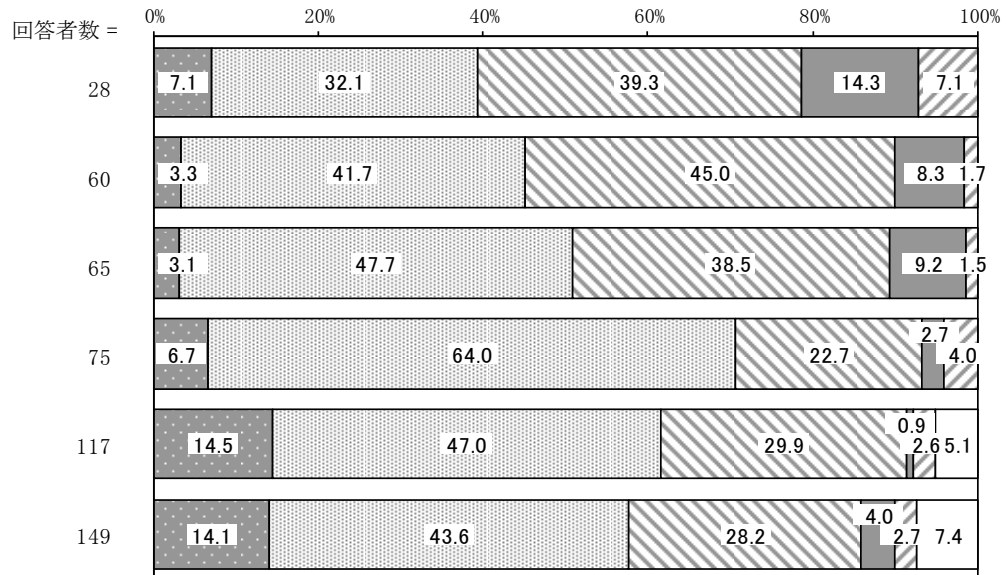
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。



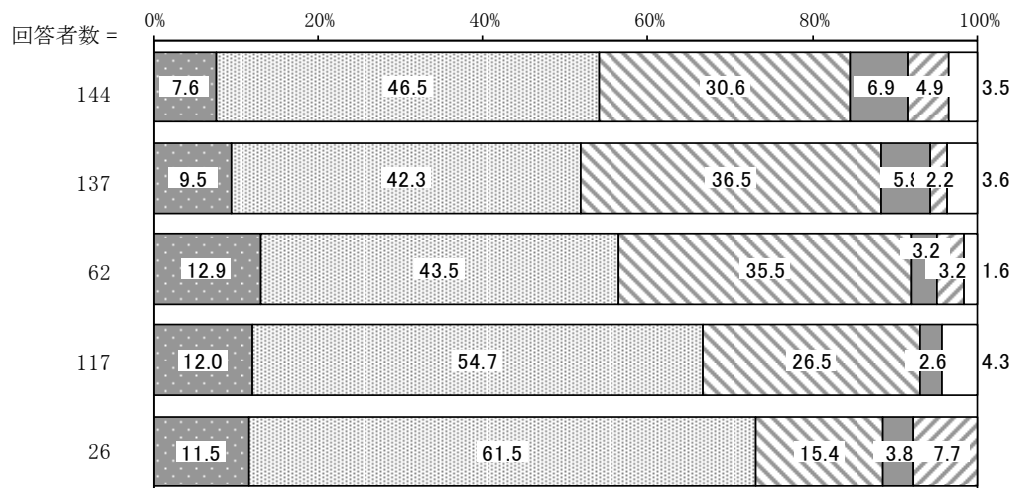
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。また、20歳代で“そう思わない”の割合が高くなっています。



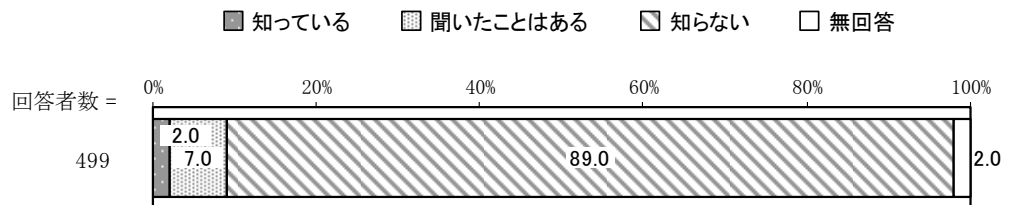
【地区別】

地区別でみると、他の地区に比べ、須山で“そう思う”の割合が高くなっています。



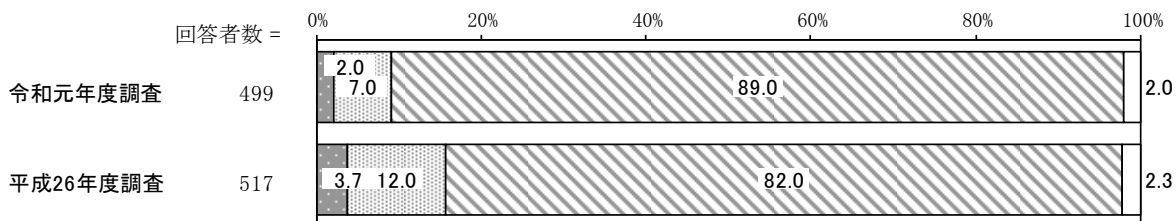
問 60 月曜日は「健康管理の日」、火曜日は「身体活動・運動」の日など曜日ごとにテーマがある「元気にかけめくーる あなたがつくる健康づくり実践カレンダー」を知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」の割合が 89.0%と最も高くなっています。



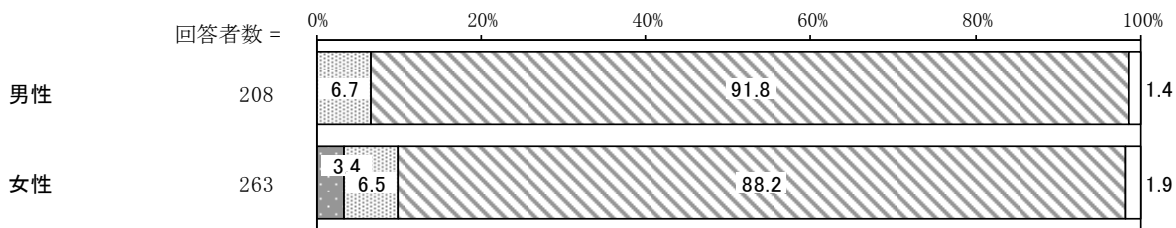
【前回調査との比較】

平成 26 年度調査と比較すると、「聞いたことはある」が 5.0 ポイント減少し、「知らない」が 7.0 ポイント増加しています。



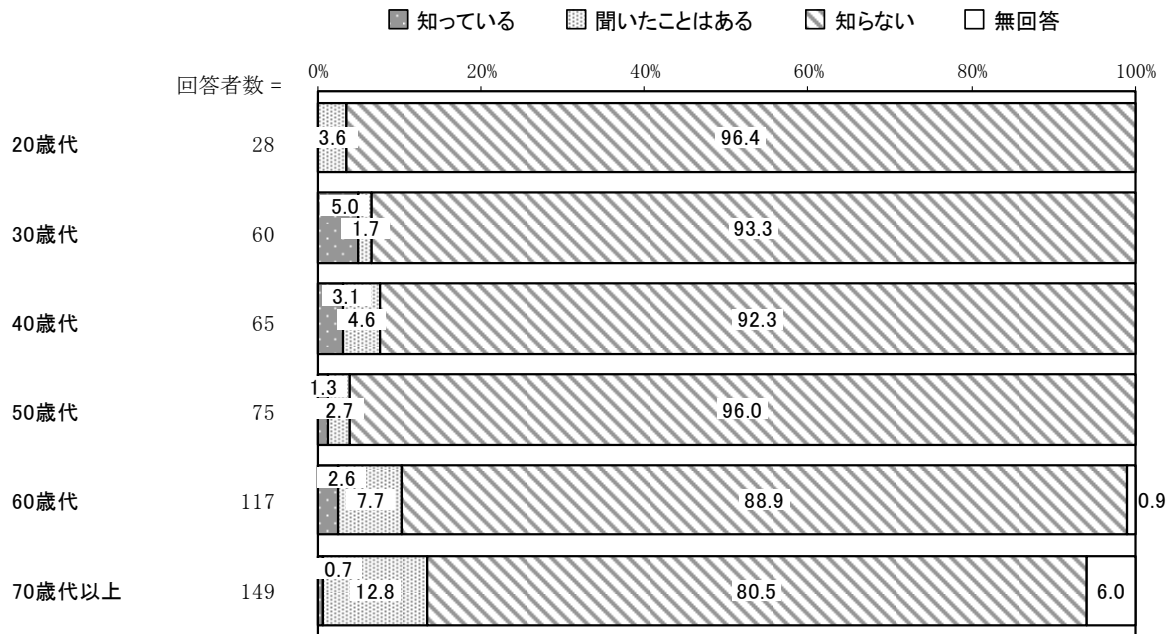
【性 別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



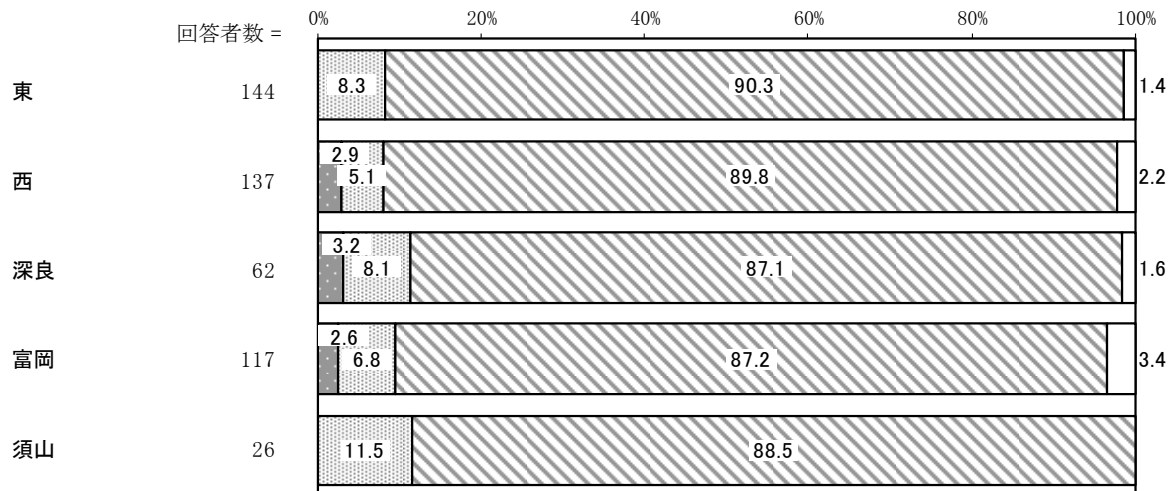
【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳代以上で「聞いたことはある」の割合が高くなっています。



【地区別】

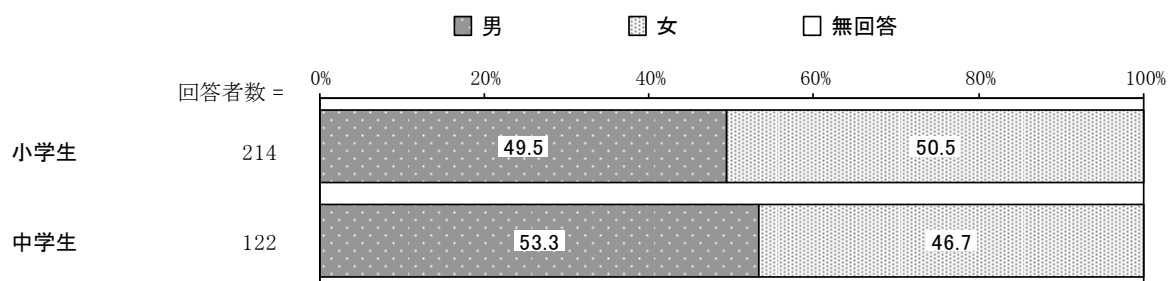
地区別でみると、他の地区に比べ、大きな差異はみられません。



2 小学校・中学校調査

問1 あなたの性別

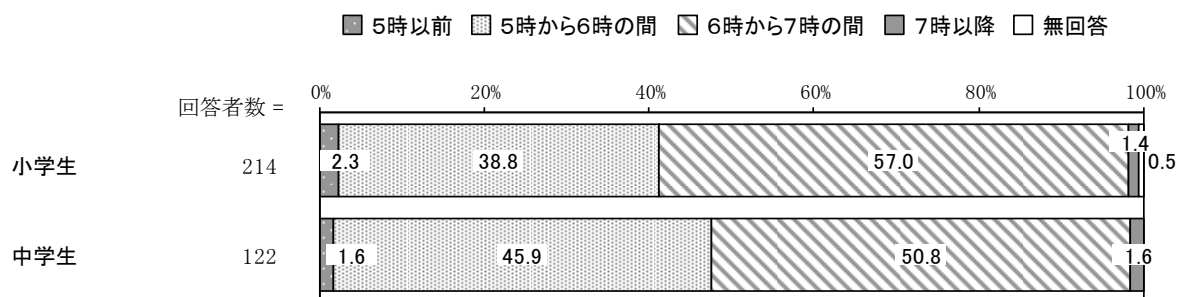
小学生では、「男」の割合が49.5%、「女」の割合が50.5%となっています。
 中学生では、「男」の割合が53.3%、「女」の割合が46.7%となっています。



問2 学校のある日の朝は、いつも何時頃に起きますか。(○はひとつ)

小学生では、「6時から7時の間」の割合が57.0%と最も高く、次いで「5時から6時の間」の割合が38.8%となっています。

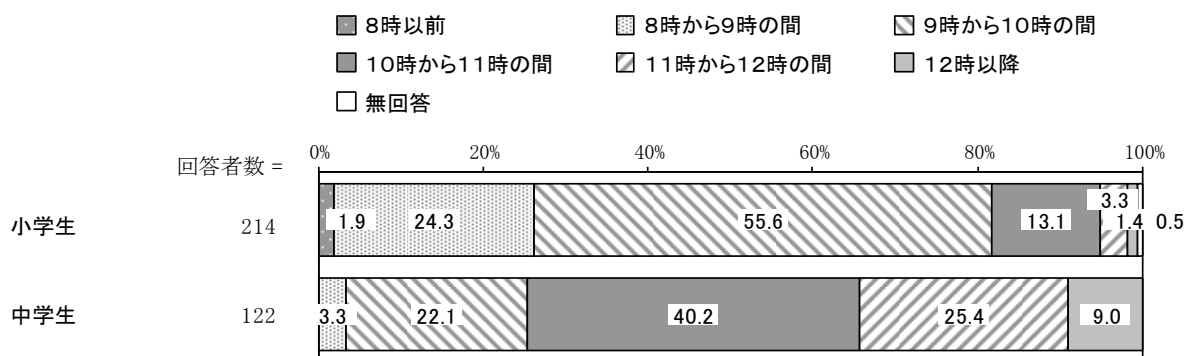
中学生では、「6時から7時の間」の割合が50.8%と最も高く、次いで「5時から6時の間」の割合が45.9%となっています。



問3 学校のある日の夜は、いつも何時頃に寝ますか。(○はひとつ)

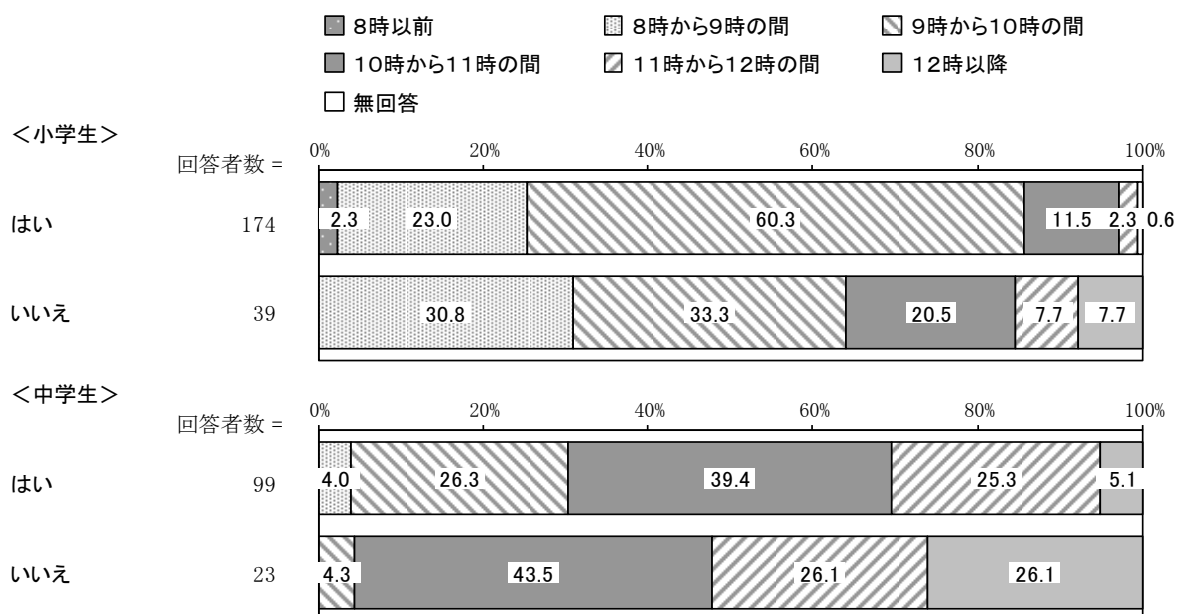
小学生では、「9時から10時の間」の割合が55.6%と最も高く、次いで「8時から9時の間」の割合が24.3%、「10時から11時の間」の割合が13.1%となっています。

中学生では、「10時から11時の間」の割合が40.2%と最も高く、次いで「11時から12時の間」の割合が25.4%、「9時から10時の間」の割合が22.1%となっています。



【健康状態別】(問3 就寝時間×問5 健康状態)

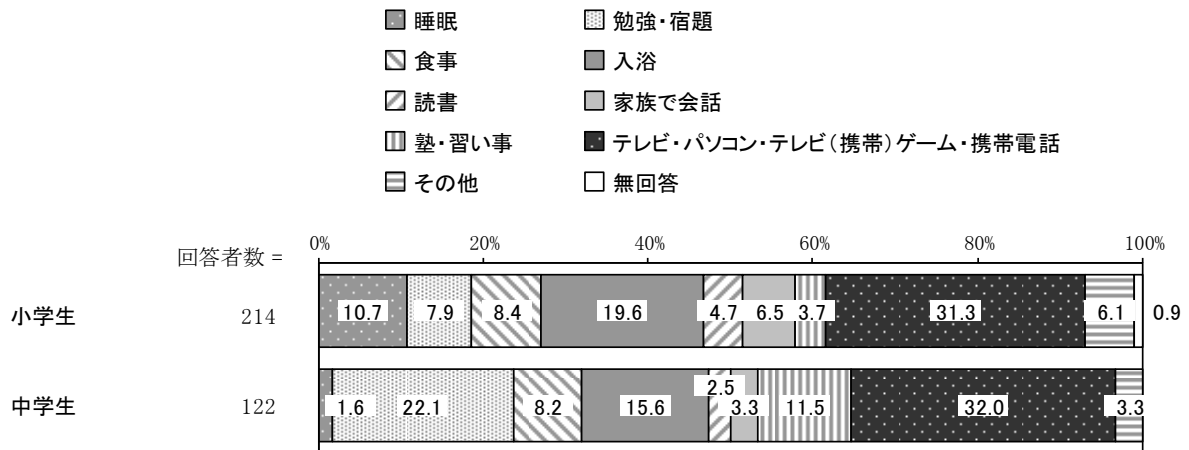
健康状態別でみると、小学生、中学生ともに、いいえ(健康ではない)に比べ、はい(健康である)で就寝時間が早い傾向がみられ、小学生、中学生ともに、はいで「9時から10時の間」の割合が高くなっています。



問4 昨日の20時～21時頃に主に何をしていましたか。(〇はひとつ)

小学生では、「テレビ・パソコン・テレビ(携帯)ゲーム・携帯電話」の割合が31.3%と最も高く、次いで「入浴」の割合が19.6%、「睡眠」の割合が10.7%となっています。

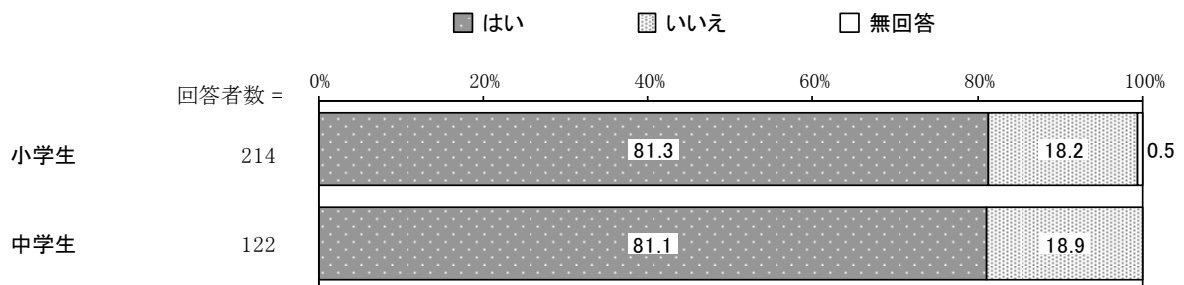
中学生では、「テレビ・パソコン・テレビ(携帯)ゲーム・携帯電話」の割合が32.0%と最も高く、次いで「勉強・宿題」の割合が22.1%、「入浴」の割合が15.6%となっています。



問5 あなたは、健康であると感じていますか。(〇はひとつ)

小学生では、「はい」の割合が81.3%、「いいえ」の割合が18.2%となっています。

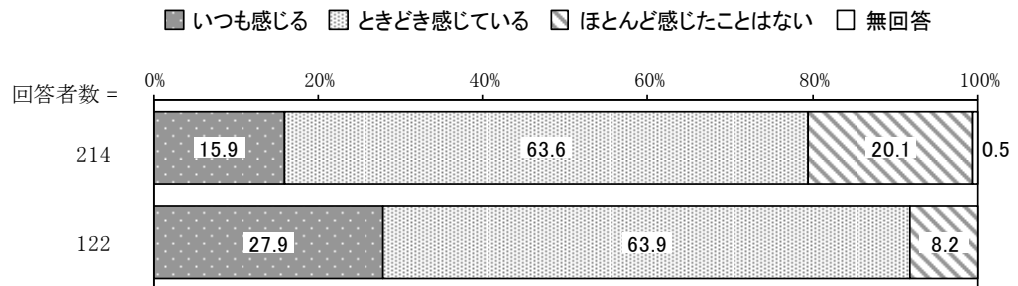
中学生では、「はい」の割合が81.1%、「いいえ」の割合が18.9%となっています。



問6 あなたは、体がだるい・疲れたと感じますか。(○はひとつ)

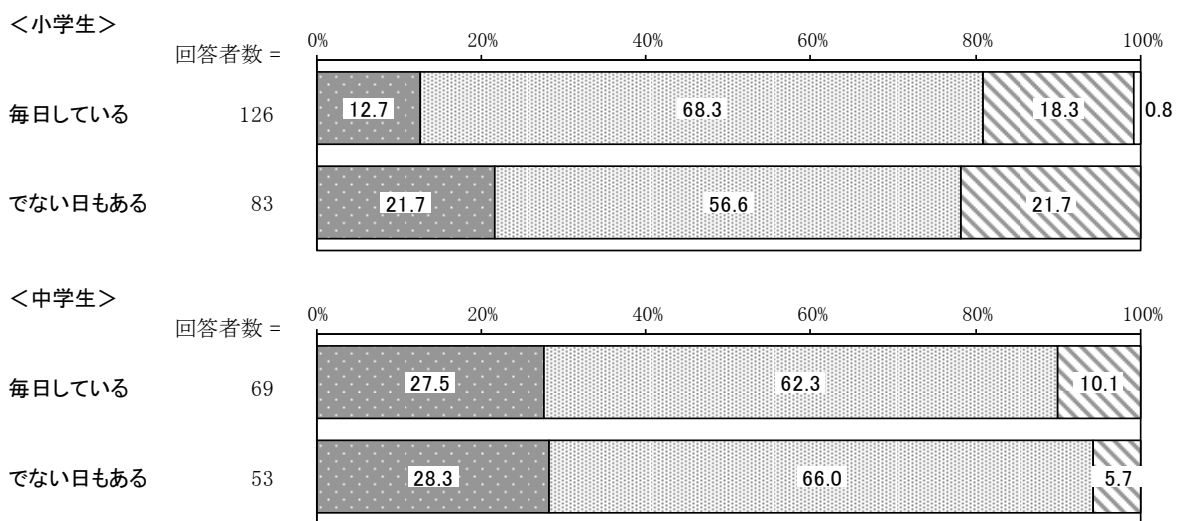
小学生では、「ときどき感じている」の割合が63.6%と最も高く、次いで「ほとんど感じたことはない」の割合が20.1%、「いつも感じる」の割合が15.9%となっています。

中学生では、「ときどき感じている」の割合が63.9%と最も高く、次いで「いつも感じる」の割合が27.9%となっています。



【毎日の排便別】(問6 だるさや疲れ×問7 毎日の排便)

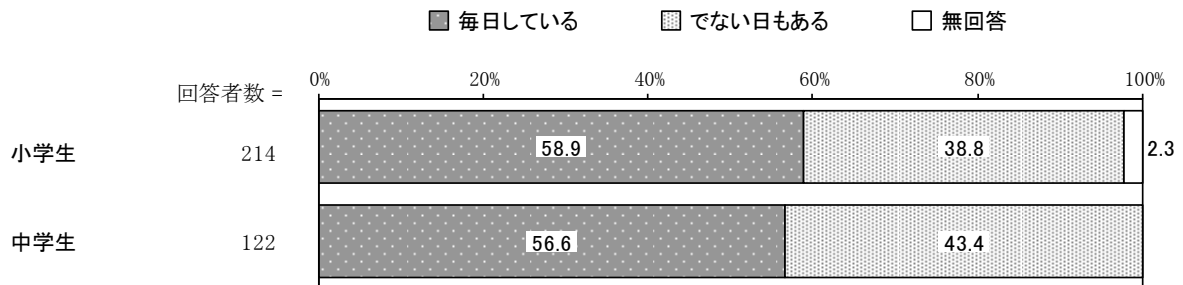
毎日の排便別でみると、小学生では、毎日している人に比べ、でない日もある人で「いつも感じる」の割合が高くなっています。中学生では、大きな差異はみられません。



問7 あなたは、毎日排便をしますか。(○はひとつ)

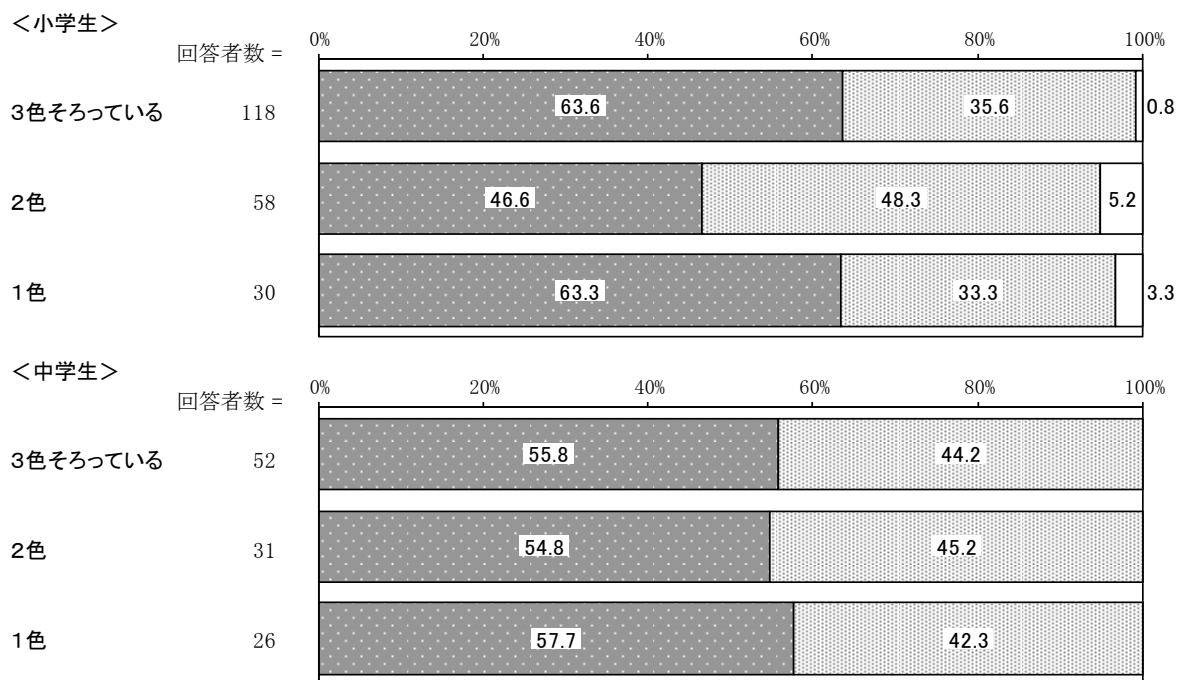
小学生では、「毎日している」の割合が58.9%、「でない日もある」の割合が38.8%となっています。

中学生では、「毎日している」の割合が56.6%、「でない日もある」の割合が43.4%となっています。



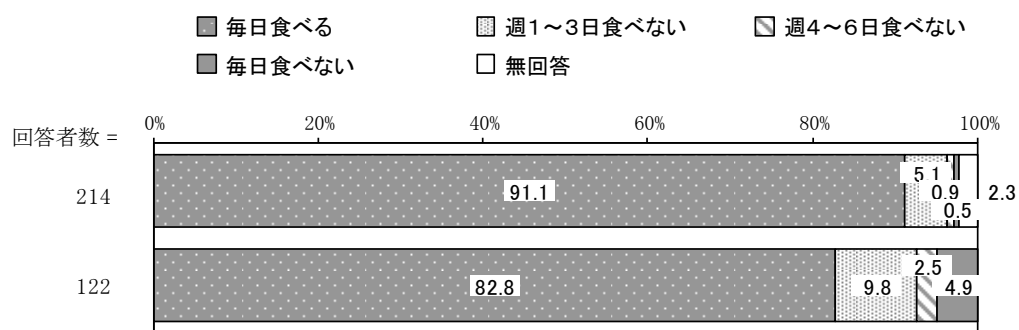
【朝食に食べた食品別】(問7 毎日の排便×問11 朝食に食べた食品)

朝食に食べた食品別でみると、小学生では、他に比べ、2色で「毎日している」の割合が低くなっています。中学生では、大きな差異はみられません。



問8 あなたは、朝食をいつも食べていますか。(〇はひとつ)

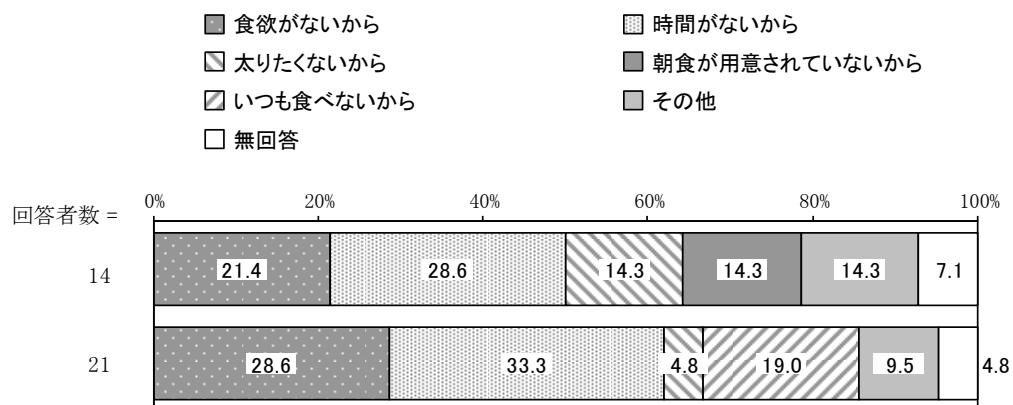
小学生では、「毎日食べる」の割合が91.1%と最も高くなっています。
 中学生では、「毎日食べる」の割合が82.8%と最も高くなっています。



問9 問8で、「週1~3日食べない」「週4~6日食べない」「毎日食べない」を選んだ人だけ教えてください。朝食を食べない主な理由は何ですか。(〇はひとつ)

小学生では、「時間がないから」の割合が28.6%と最も高く、次いで「食欲がないから」の割合が21.4%、「太りたくないから」、「朝食が用意されていないから」の割合が14.3%となっています。

中学生では、「時間がないから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「食欲がないから」の割合が28.6%、「いつも食べないから」の割合が19.0%となっています。

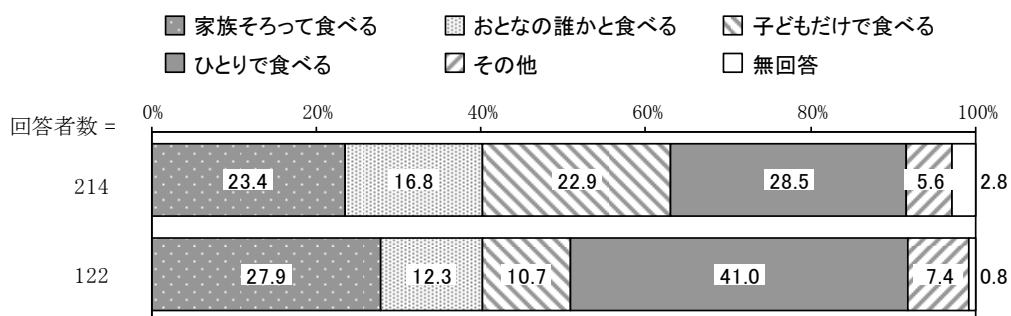


問 10 あなたは、食事をいつも誰と一緒に食べますか。

①朝食

小学生では、「ひとりで食べる」の割合が 28.5%と最も高く、次いで「家族そろって食べる」の割合が 23.4%、「子どもだけで食べる」の割合が 22.9%となっています。

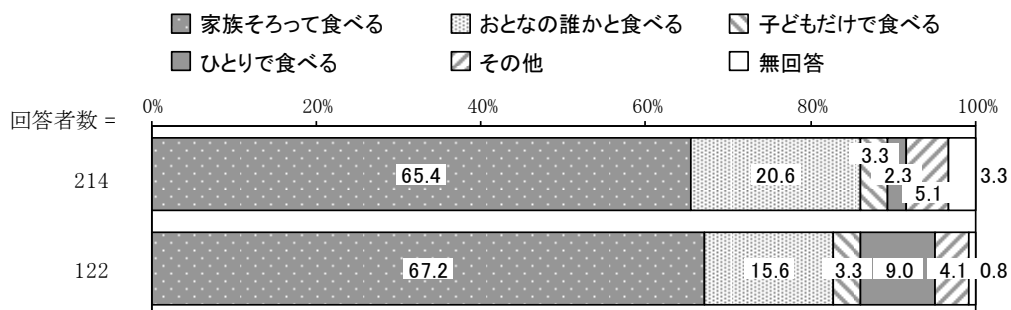
中学生では、「ひとりで食べる」の割合が 41.0%と最も高く、次いで「家族そろって食べる」の割合が 27.9%、「おとなの誰かと食べる」の割合が 12.3%となっています。



②夕食

小学生では、「家族そろって食べる」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「おとなの誰かと食べる」の割合が 20.6%となっています。

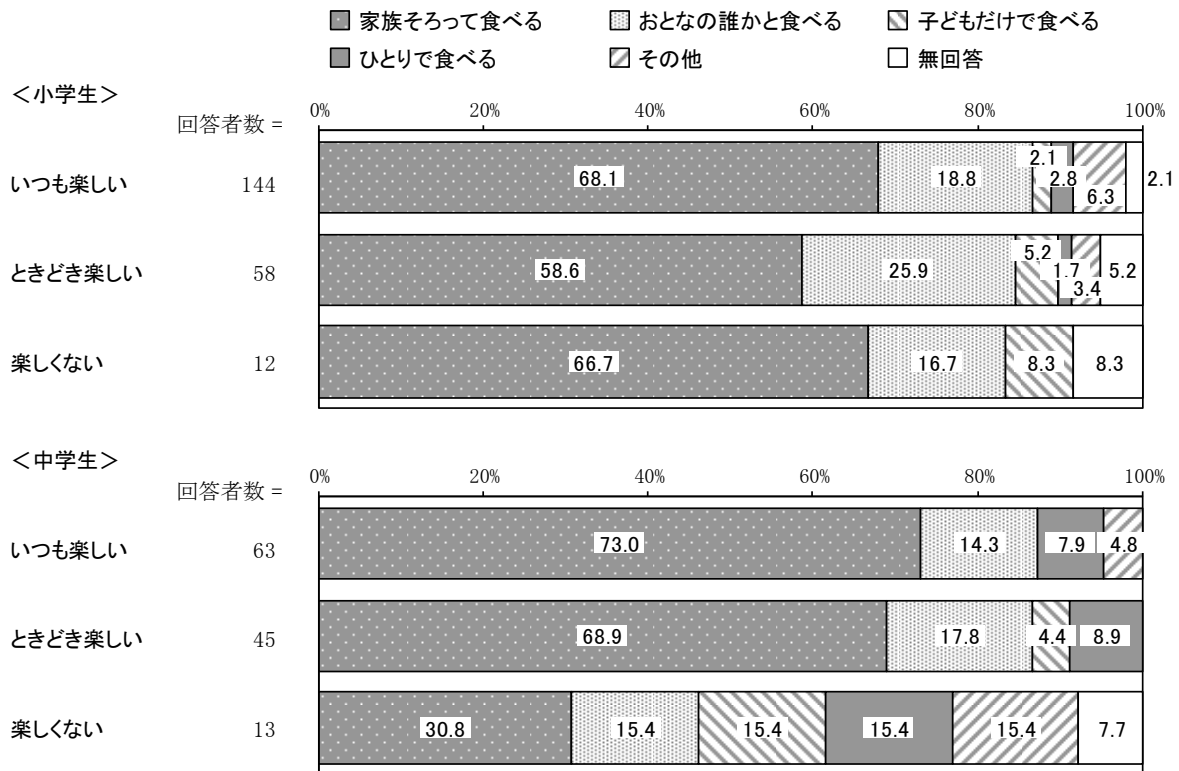
中学生では、「家族そろって食べる」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「おとなの誰かと食べる」の割合が 15.6%となっています。



【家での食事の楽しさ別】（問 10 食事を一緒に食べる人×問 16 家での食事の楽しさ）

家での食事の楽しさ別でみると、楽しくないほど「子どもだけで食べる」の割合が高くなっていきます。また、他に比べ、ときどき楽しいで「家族そろって食べる」の割合が低く、「おとなの誰かと食べる」の割合が高くなっていきます。

中学生では、楽しいほど「家族そろって食べる」の割合が、楽しくないほど「子どもだけで食べる」「ひとりで食べる」の割合が高くなっていきます。

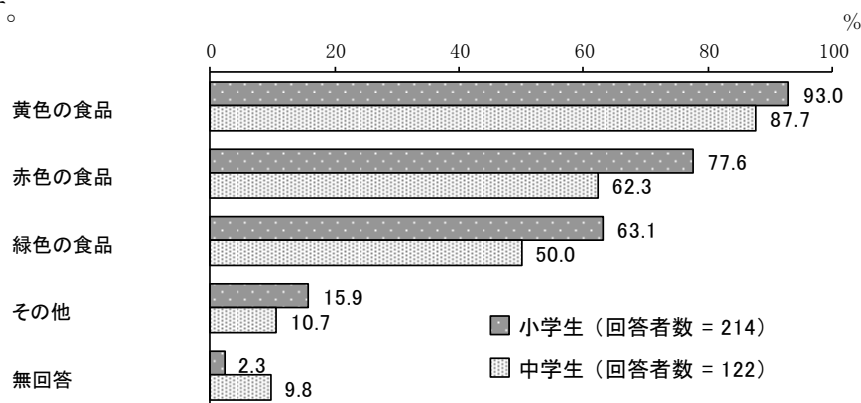


問11 今日朝食はどんな食品を食べましたか。3つの基礎食品群を参考に、食べた食品に○を入れてください。(食べなかった人は問12へすすんでください)

①食べた食品

小学生では、「黄色の食品」の割合が93.0%と最も高く、次いで「赤色の食品」の割合が77.6%、「緑色の食品」の割合が63.1%となっています。

中学生では、「黄色の食品（エネルギーのもと）」の割合が87.7%と最も高く、次いで「赤色の食品（体をつくるもと）」の割合が62.3%、「緑色の食品（体の調子を整える）」の割合が50.0%となっています。



【その他の主な意見】

(小学生)

- ・ヨーグルト
- ・はちみつ
- ・チョコレート など

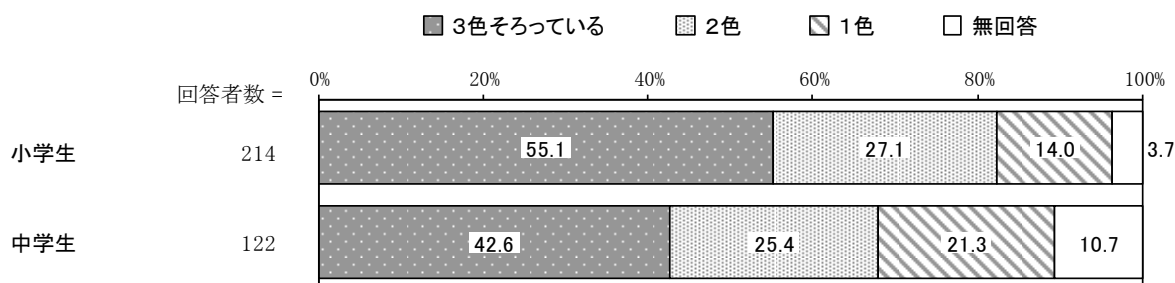
(中学生)

- ・はちみつ など

②3色そろっているか

小学生では、「3色そろっている」の割合が55.1%と最も高く、次いで「2色」の割合が27.1%、「1色」の割合が14.0%となっています。

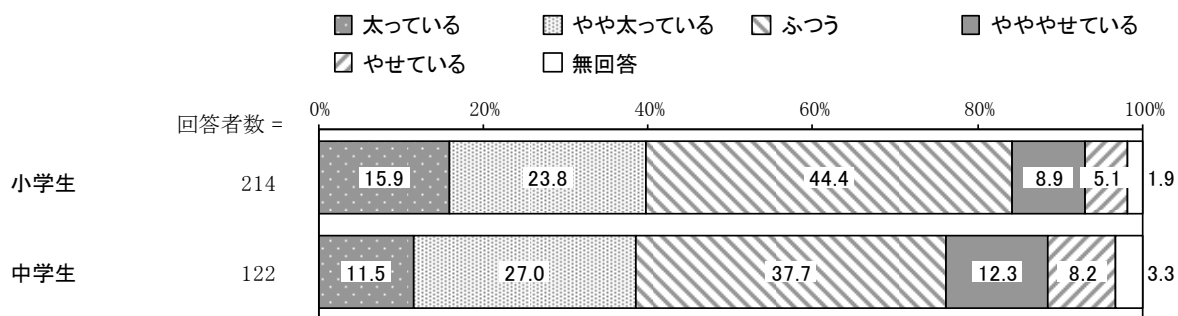
中学生では、「3色そろっている」の割合が42.6%と最も高く、次いで「2色」の割合が25.4%、「1色」の割合が21.3%となっています。



**問 12 あなたは、自分が太っていると思いますか。やせていると思いますか。
(○はひとつ)**

小学生では、「太っている」と「やや太っている」をあわせた“太っている”の割合が 39.7%、「ふつう」の割合が 44.4%、「やややせている」と「やせている」をあわせた“やせている”の割合が 14.0%となっています。

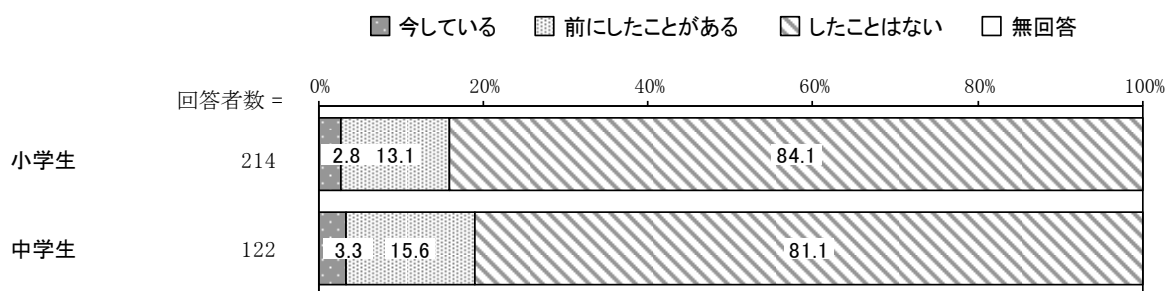
中学生では、“太っている”の割合が 38.5%、「ふつう」の割合が 37.7%、“やせている”の割合が 20.5%となっています。



問 13 あなたは、ダイエットのために食事の量を半分以下に減らしたことがありますか。(○はひとつ)

小学生では、「したことはない」の割合が 84.1%と最も高く、次いで「前にしたことがある」の割合が 13.1%となっています。

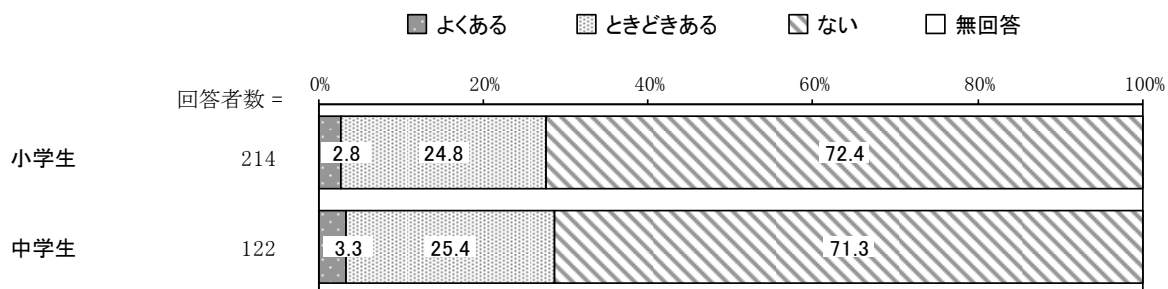
中学生では、「したことはない」の割合が 81.1%と最も高く、次いで「前にしたことがある」の割合が 15.6%となっています。



問 14 あなたは、おやつを食べ過ぎて、食事を食べられないことがありますか。(〇はひとつ)

小学生では、「ない」の割合が72.4%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が24.8%となっています。

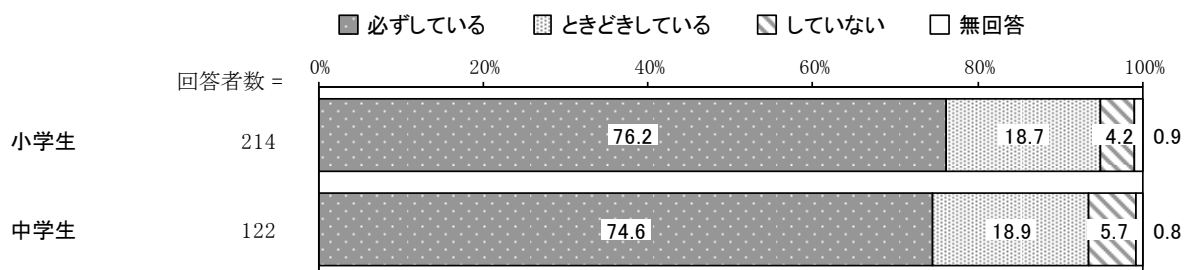
中学生では、「ない」の割合が71.3%と最も高く、次いで「ときどきある」の割合が25.4%となっています。



問 15 あなたは、家で食事をするときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。(〇はひとつ)

小学生では、「必ずしている」の割合が76.2%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が18.7%となっています。

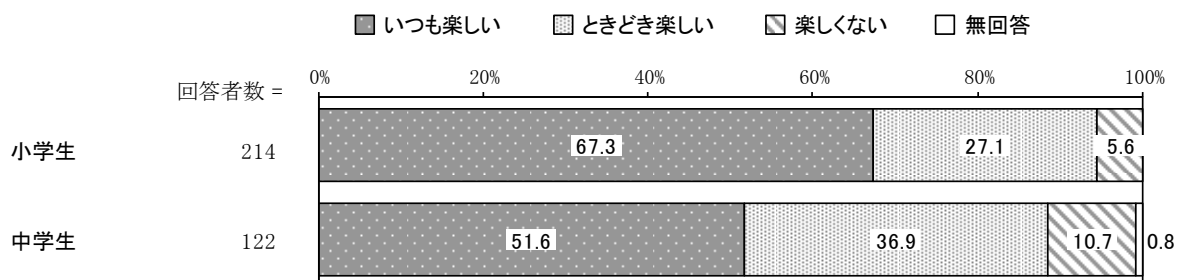
中学生では、「必ずしている」の割合が74.6%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が18.9%となっています。



問 16 あなたは、家で楽しく食事をしていますか。(〇はひとつ)

小学生では、「いつも楽しい」の割合が67.3%と最も高く、次いで「ときどき楽しい」の割合が27.1%となっています。

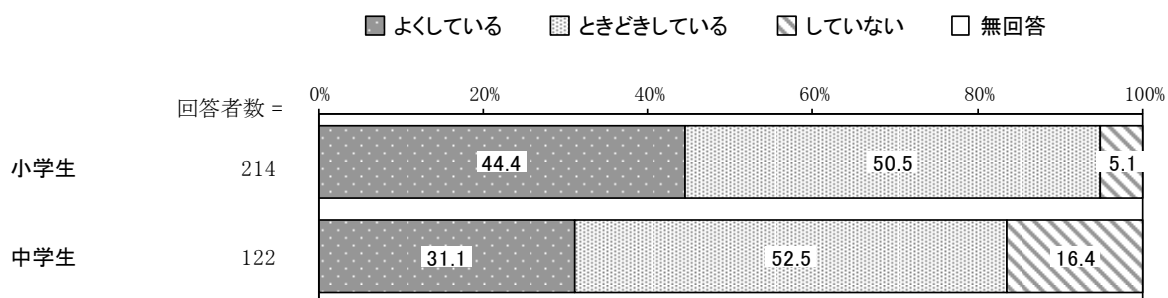
中学生では、「いつも楽しい」の割合が51.6%と最も高く、次いで「ときどき楽しい」の割合が36.9%、「楽しくない」の割合が10.7%となっています。



問 17 あなたは家で食事の手伝いをしますか。(〇はひとつ)

小学生では、「ときどきしている」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「よくしている」の割合が 44.4%となっています。

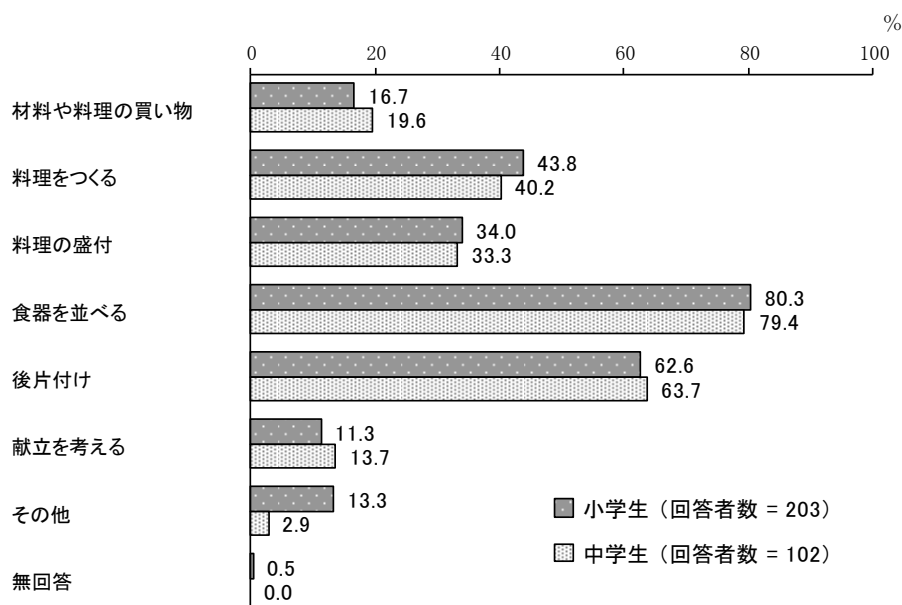
中学生では、「ときどきしている」の割合が 52.5%と最も高く、次いで「よくしている」の割合が 31.1%、「していない」の割合が 16.4%となっています。



問 18 問 17で、「よくしている」「ときどきしている」を選んだ人だけ教えてください。どのような食事の手伝いをしますか。(あてはまるものすべてに〇)

小学生では、「食器を並べる」の割合が 80.3%と最も高く、次いで「後片付け」の割合が 62.6%、「料理をつくる」の割合が 43.8%となっています。

中学生では、「食器を並べる」の割合が 79.4%と最も高く、次いで「後片付け」の割合が 63.7%、「料理をつくる」の割合が 40.2%となっています。

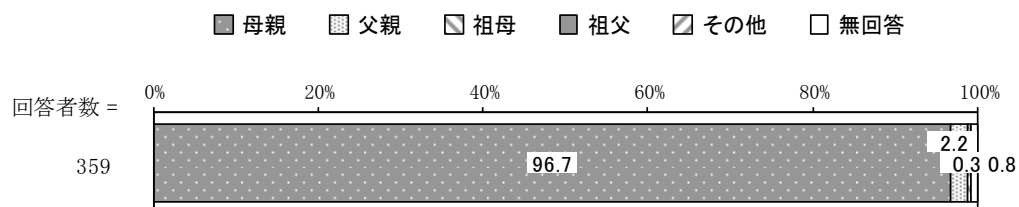


3 幼稚園・保育園年長児調査

(1) 基本事項について

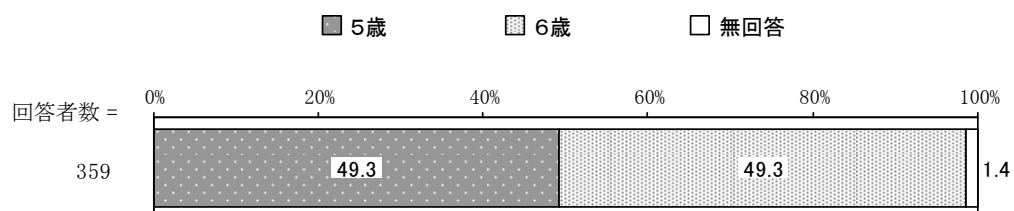
問1 このアンケートのご記入者はどなたですか。(〇は1つ)

「母親」の割合が96.7%と最も高くなっています。



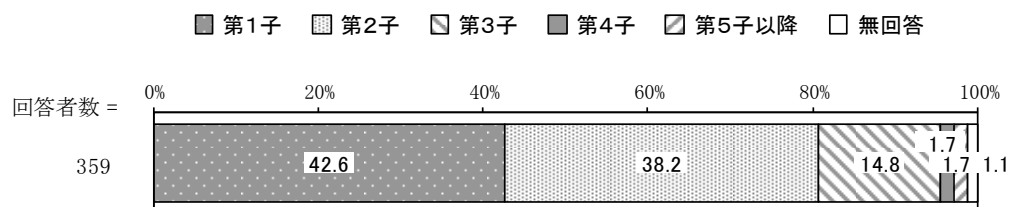
問2 お子さんの、年齢を教えてください。(数字を記入)

「5歳」の割合が49.3%、「6歳」の割合が49.3%となっています。



問3 お子さんの、生まれた順番を教えてください。(数字を記入)

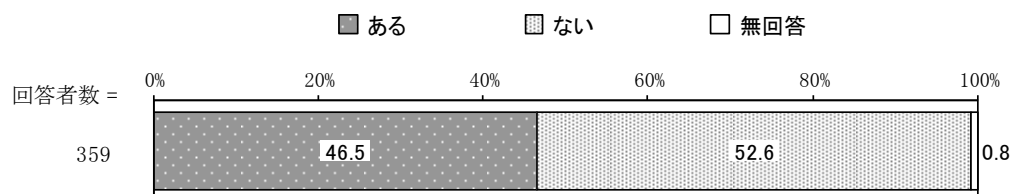
「第1子」の割合が42.6%と最も高く、次いで「第2子」の割合が38.2%、「第3子」の割合が14.8%となっています。



(2) お子さんの健康状態や生活状況について

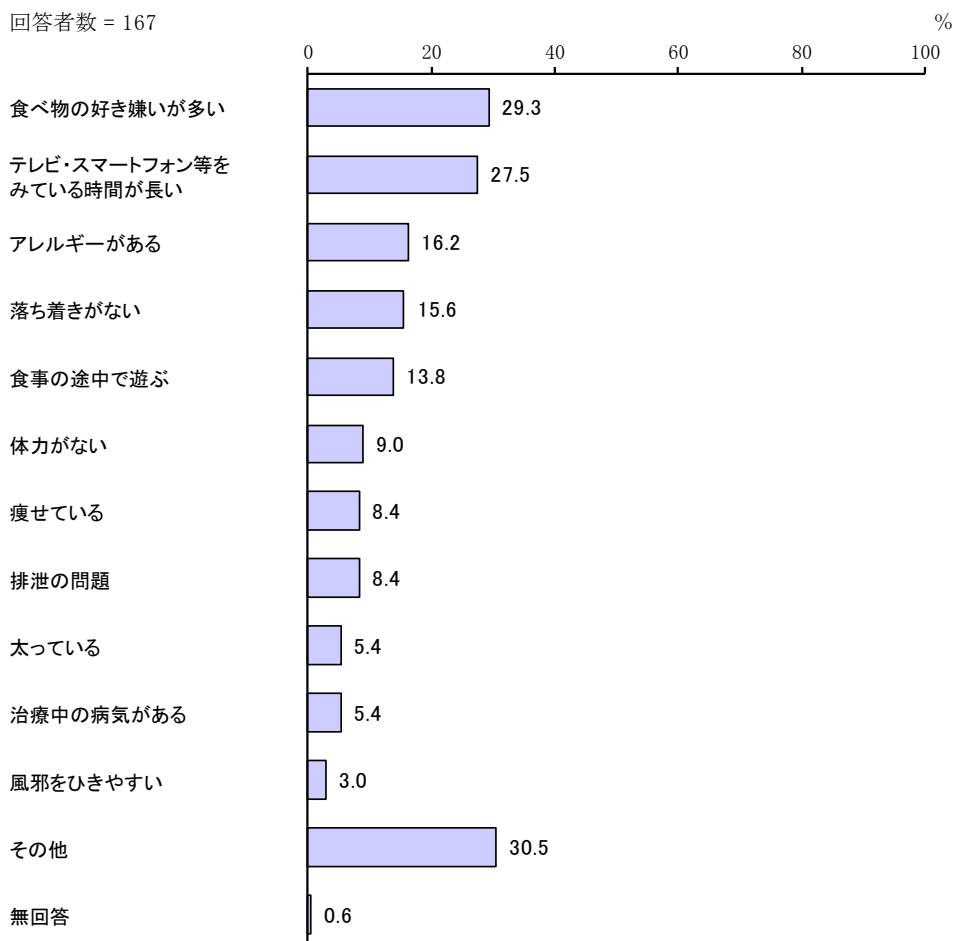
問4 現在、お子さんのことで、心配なことや困っていることはありますか。
(○は1つ)

「ある」の割合が46.5%、「ない」の割合が52.6%となっています。



問4-1 問4で「ある」と答えた方にうかがいます。
それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

「食べ物の好き嫌いが多い」の割合が29.3%と最も高く、次いで「テレビ・スマートフォン等をみている時間が長い」の割合が27.5%、「アレルギーがある」の割合が16.2%となっています。



【その他の主な意見】

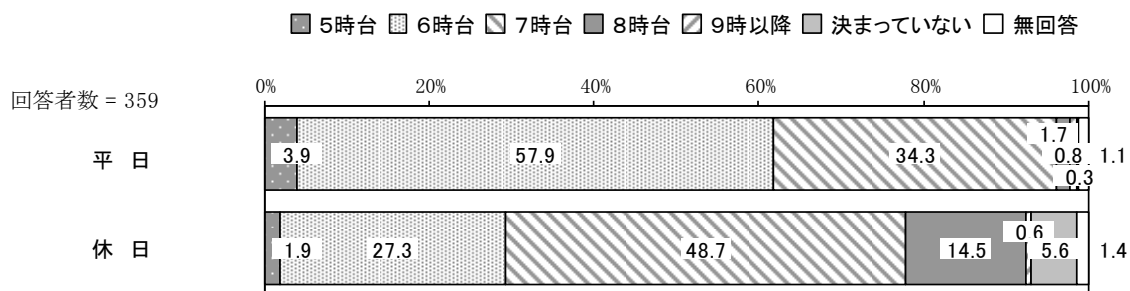
- ・言葉の遅れ
- ・指しゃぶり など

問5 お子さんの、朝起きる時間・夜寝る時間は何時ごろですか。(〇はそれぞれ1つ)

①起床時間

平日では、「6時台」の割合が57.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が34.3%となっています。

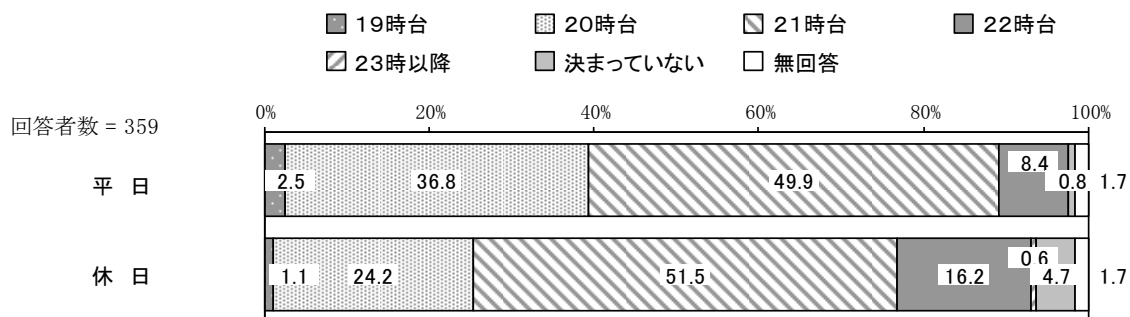
休日では、「7時台」の割合が48.7%と最も高く、次いで「6時台」の割合が27.3%、「8時台」の割合が14.5%となっています。



②就寝時間

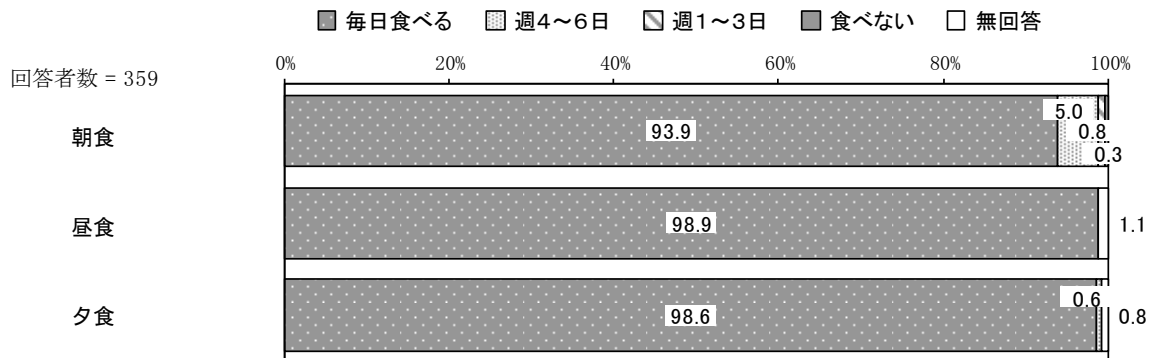
平日では、「21時台」の割合が49.9%と最も高く、次いで「20時台」の割合が36.8%となっています。

休日では、「21時台」の割合が51.5%と最も高く、次いで「20時台」の割合が24.2%、「22時台」の割合が16.2%となっています。



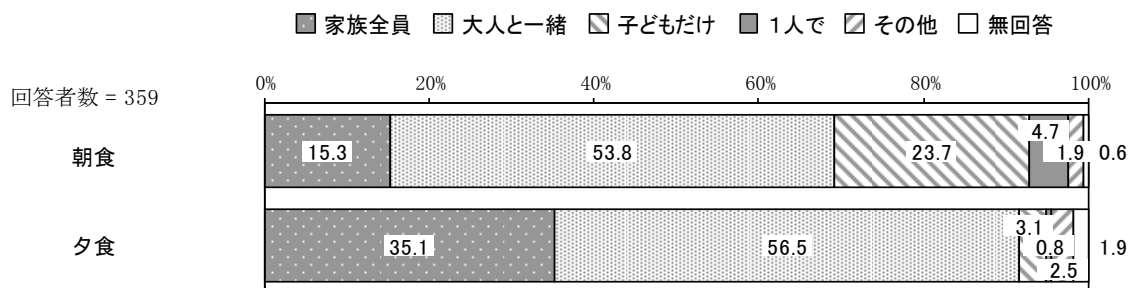
問6 お子さんは、食事を毎日食べますか。(○はそれぞれ1つ)

朝食では、「毎日食べる」の割合が93.9%と最も高くなっています。
 昼食では、「毎日食べる」の割合が98.9%と最も高くなっています。
 夕食では、「毎日食べる」の割合が98.6%と最も高くなっています。



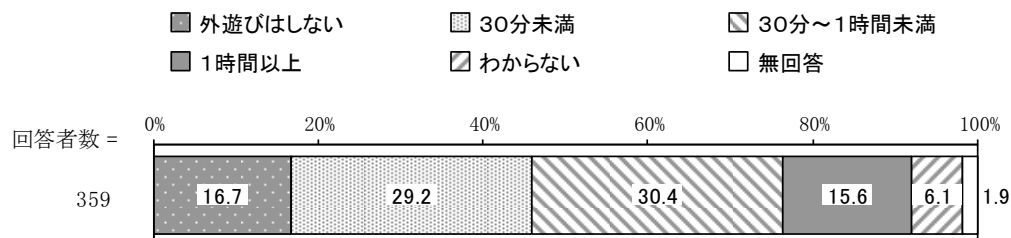
問7 お子さんは、ふだん食事を誰と一緒に食べていますか。(○はそれぞれ1つ)

朝食では、「大人と一緒に」の割合が53.8%と最も高く、次いで「子どもだけ」の割合が23.7%、「家族全員」の割合が15.3%となっています。
 夕食では、「大人と一緒に」の割合が56.5%と最も高く、次いで「家族全員」の割合が35.1%となっています。



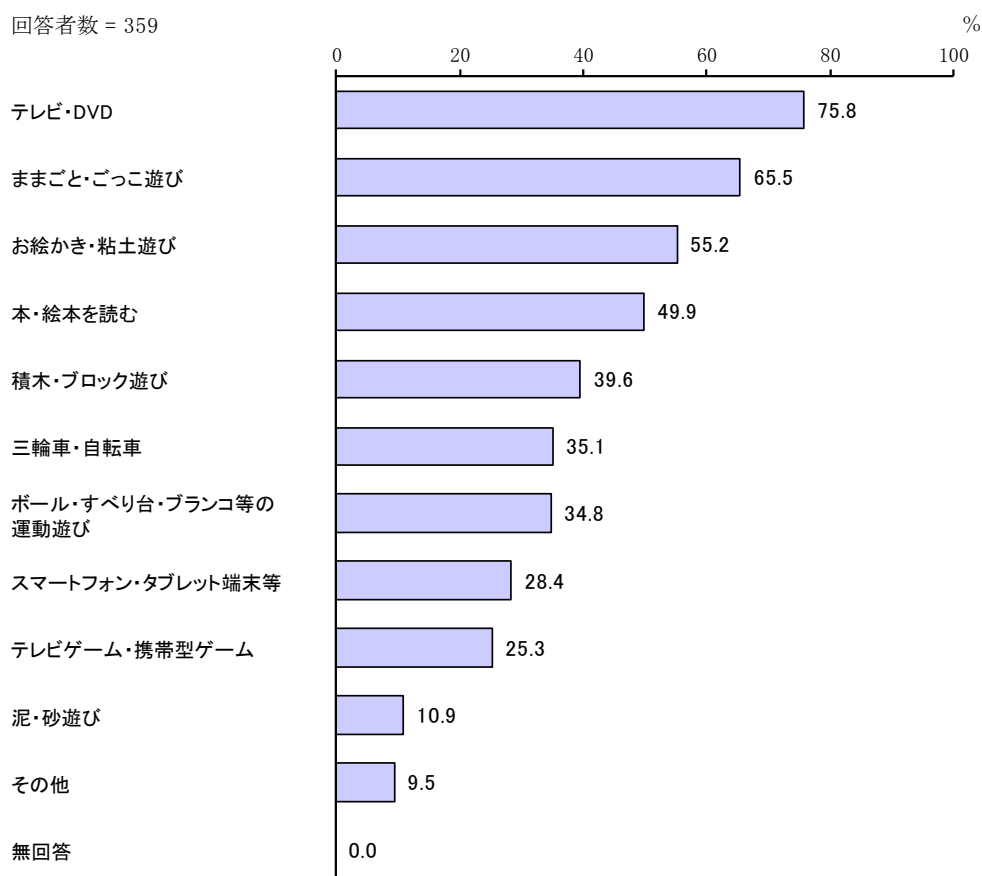
問8 お子さんは、ふだんどのくらい屋外で遊びますか。ただし幼稚園・保育園での外遊びは除きます。(〇は1つ)

「30分～1時間未満」の割合が30.4%と最も高く、次いで「30分未満」の割合が29.2%、「外遊びはしない」の割合が16.7%となっています。



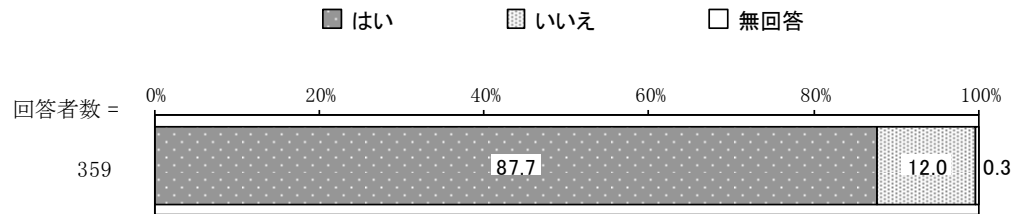
問9 お子さんは、普段はどのような遊びをしていますか。(よくする遊びすべてに〇)

「テレビ・DVD」の割合が75.8%と最も高く、次いで「ままごと・ごっこ遊び」の割合が65.5%、「お絵かき・粘土遊び」の割合が55.2%となっています。



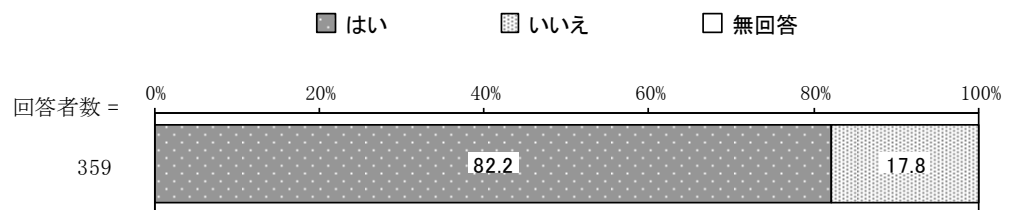
問10 昨晚、お子さんは寝る前に自分で歯磨きをしましたか。(○は1つ)

「はい」の割合が87.7%、「いいえ」の割合が12.0%となっています。



問11 昨晚、お子さんの歯を仕上げ磨きしましたか。(○は1つ)

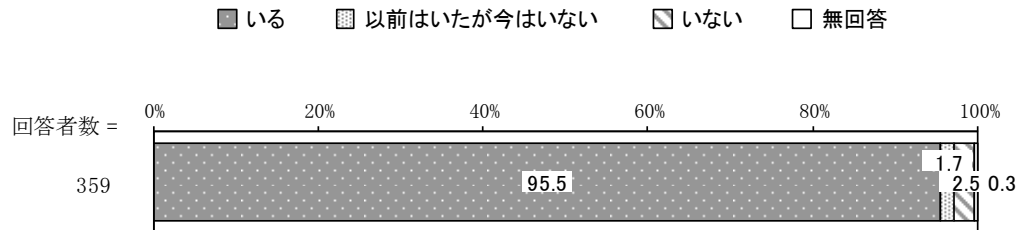
「はい」の割合が82.2%、「いいえ」の割合が17.8%となっています。



(3) 保護者について

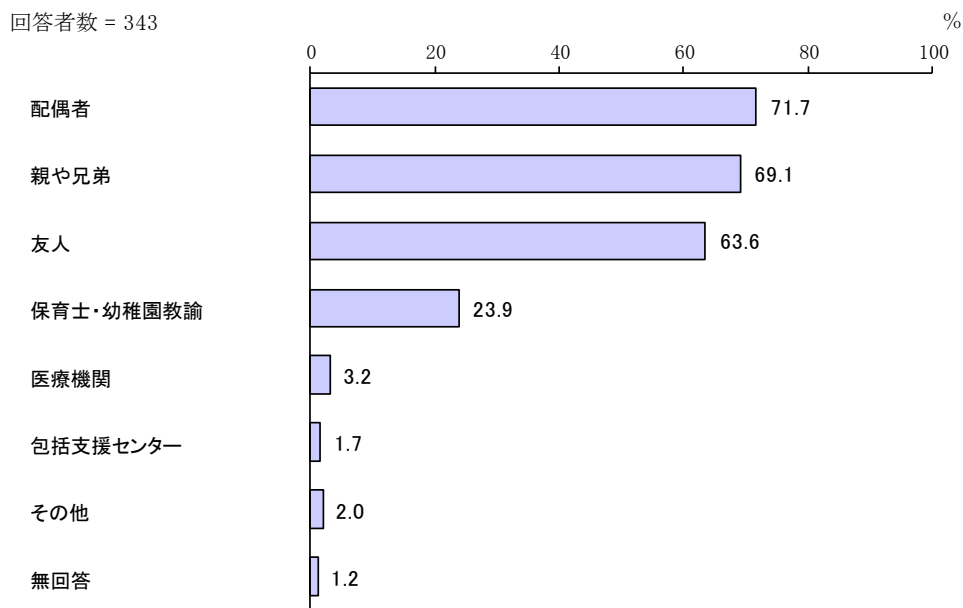
問 12 あなたは、子育てで困ったり悩んだりした時に相談する人がいますか。
(○は1つ)

「いる」の割合が95.5%と最も高くなっています。



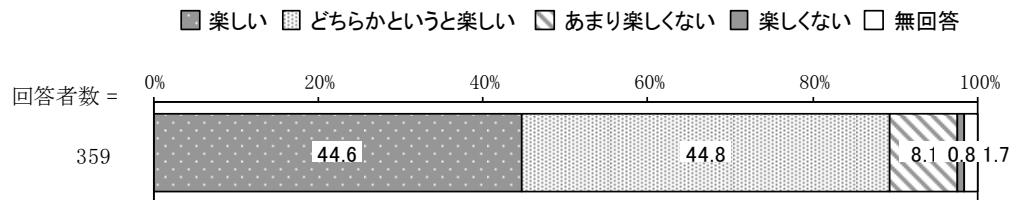
問 12-1 問 12 で「いる」と答えた方にうかがいます。
よく相談する相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」の割合が71.7%と最も高く、次いで「親や兄弟」の割合が69.1%、「友人」の割合が63.6%となっています。



問 13 あなたは、育児が楽しいと思いますか。(○は1つ)

「楽しい」と「どちらかという楽しい」を合わせた“楽しい”の割合が 89.4%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合が 8.9%となっています。

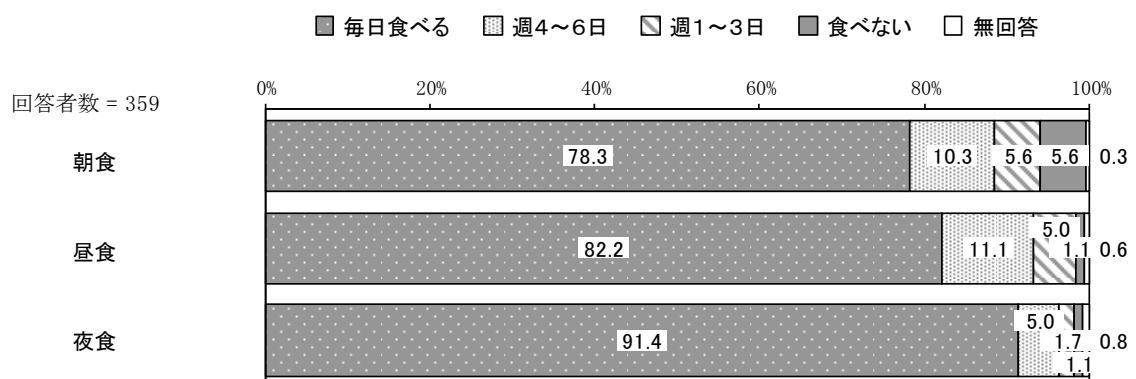


問 14 あなたは、食事を毎日食べますか。(○はそれぞれ1つ)

朝食では、「毎日食べる」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「週4～6日」の割合が 10.3%となっています。

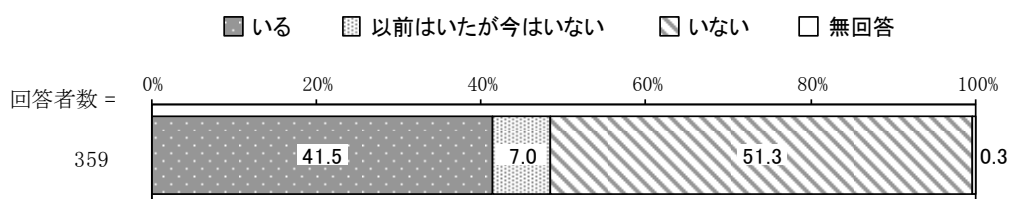
昼食では、「毎日食べる」の割合が 82.2%と最も高く、次いで「週4～6日」の割合が 11.1%となっています。

夜食では、「毎日食べる」の割合が 91.4%と最も高くなっています。



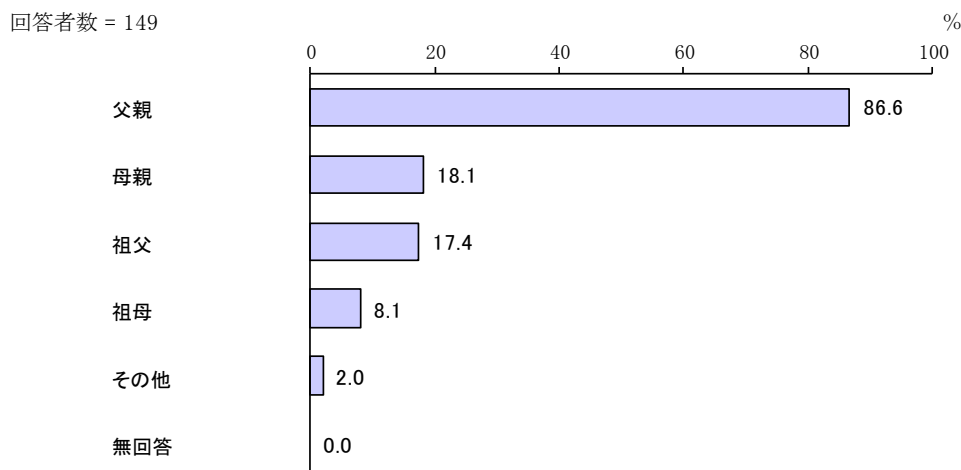
問 15 ご家族の喫煙習慣についておうかがいします。同居しているご家族でタバコで吸う方はいますか。(○は1つ)

「いない」の割合が51.3%と最も高く、次いで「いる」の割合が41.5%となっています。



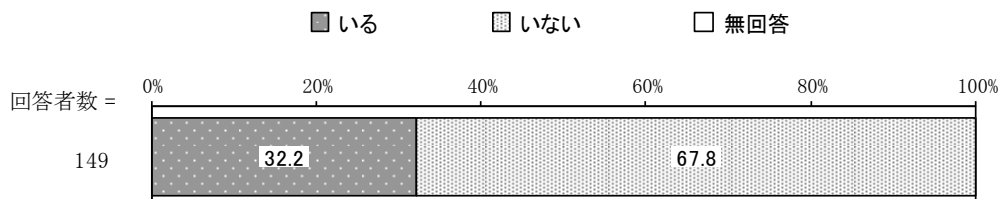
問 15-1 問 15 で「いる」と答えた方にうかがいます。
たばこを吸う方は、お子さんからみるとどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

「父親」の割合が86.6%と最も高く、次いで「母親」の割合が18.1%、「祖父」の割合が17.4%となっています。



問 15-2 問 15 で「いる」と答えた方にうかがいます。
お子さんの前でたばこを吸うご家族はいますか。(○は1つ)

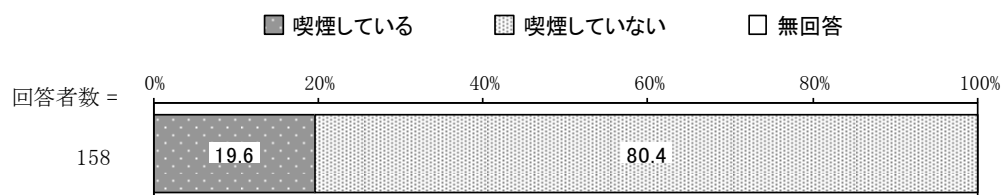
「いる」の割合が32.2%、「いない」の割合が67.8%となっています。



4 受動喫煙防止対策に関する調査

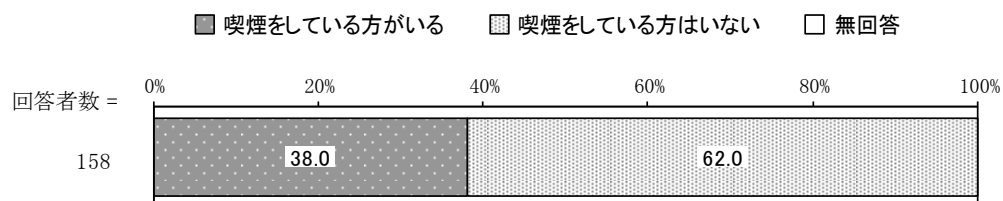
問1 施設を管理されている方の喫煙状況をおたずねします。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

「喫煙している」の割合が19.6%、「喫煙していない」の割合が80.4%となっています。



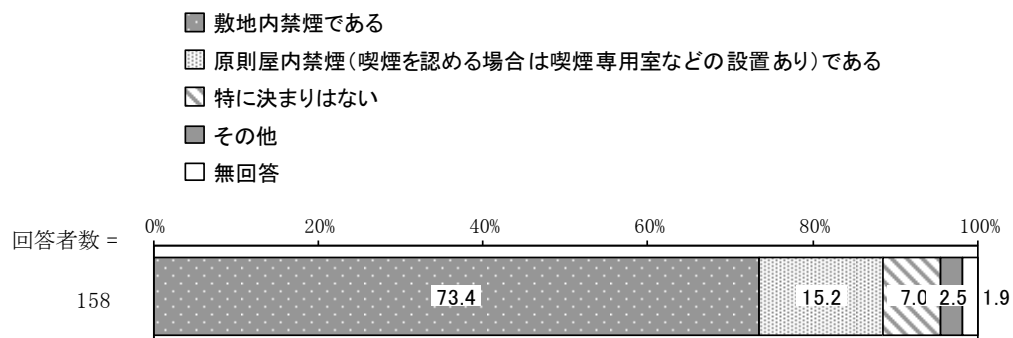
問2 施設の職員の方の喫煙状況をおたずねします。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

「喫煙をしている方がいる」の割合が38.0%、「喫煙をしている方はいない」の割合が62.0%となっています。



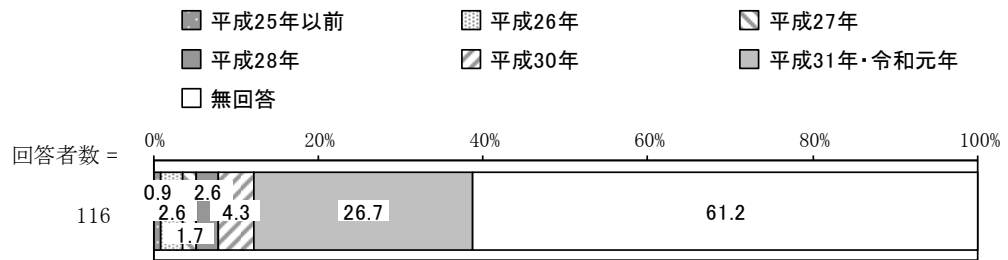
問3 施設の現在の状況としてあてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

「敷地内禁煙である」の割合が73.4%と最も高く、次いで「原則屋内禁煙（喫煙を認める場合は喫煙専用室などの設置あり）である」の割合が15.2%となっています。



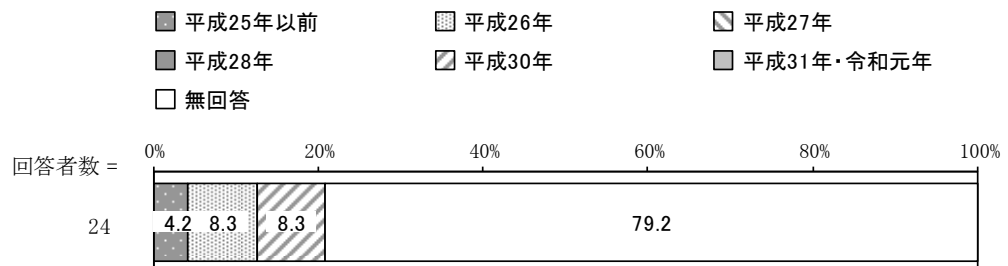
①敷地内禁煙の開始時期

「平成 31 年・令和元年」の割合が 26.7%と最も高くなっています。



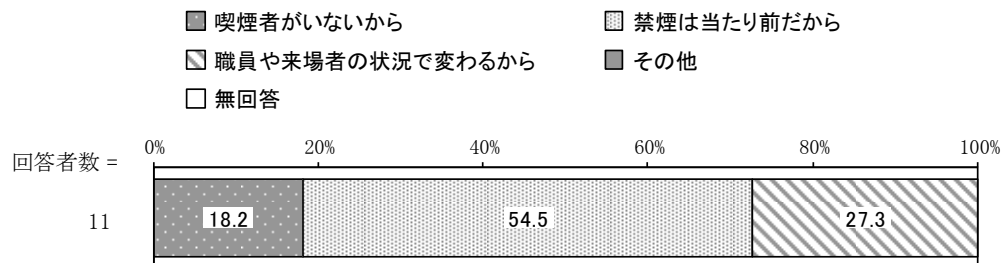
②屋内禁煙の開始時期

「平成 26 年」、「平成 30 年」の割合が 8.3%と最も高くなっています。



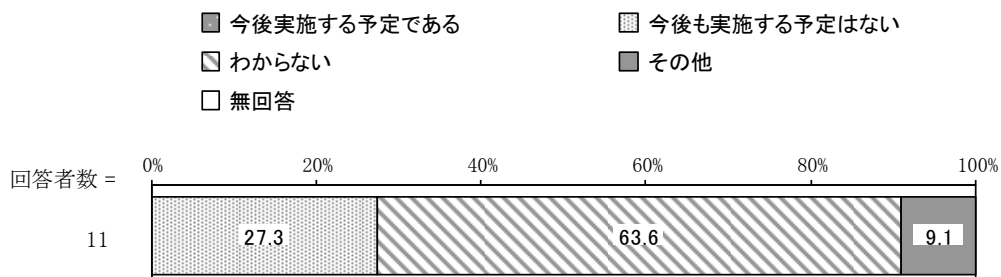
問 4 「問 3」で、「3. 特に決まりはない」と答えた方におたずねします。その理由をお答えください。あてはまる番号に 1 つだけ○印をつけてください。

「禁煙は当たり前だから」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「職員や来場者の状況で変わるから」の割合が 27.3%、「喫煙者がいないから」の割合が 18.2%となっています。



問5 「問3」で、「3. 特に決まりはない」と答えた方におたずねします。今後、たばこ対策を取り組む予定はありますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

「わからない」の割合が63.6%と最も高く、次いで「今後も実施する予定はない」の割合が27.3%となっています。

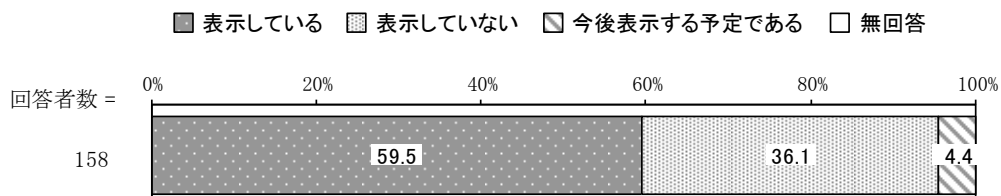


①開始予定時期

有効回答がありませんでした。

問6 施設が禁煙か分煙か等わかるように表示していますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

「表示している」の割合が59.5%と最も高く、次いで「表示していない」の割合が36.1%となっています。



Ⅲ 目標一覧

【評価方法】

比較対象	評価	基準
当初値	○	当初値に比べ改善している。
	×	当初値との変化なし、もしくは悪化している。
中間値	○	中間値に比べ改善している。
	×	中間値との変化なし、もしくは悪化している。
目標値	○	目標値を達成している。
	×	目標値を達成していない。

指標	対象者	当初値 (平成 21 年度)	中間値 (平成 26 年度)	現状値 (令和元 年度)	目標値 (令和2 年度)	当初値と の比較	中間値と の比較	目標値と の比較	
(1) 栄養・食生活									
食育に関心がある人の増加	20 歳以上	65.3%	63.2%	61.9%	90%以上	×	×	×	
朝食を毎日食べる人の増加	20 歳以上	84.3%	87.6%	87.0%	90%以上	○	×	×	
栄養バランスに気をつけている人の増加	20 歳以上	75.8%	76.0%	78.8%	85%以上	○	×	×	
1日 350g 以上の野菜を食べている人の増加	20 歳以上	19.2%	19.3%	11.6%	40%以上	×	×	×	
野菜料理を毎食 1 皿以上食べる人の増加	20 歳以上	—	—	52.7%	70%以上	—	—	×	
(2) 身体活動・運動									
日常生活における歩数の増加※1	20 歳以上	41.7%	41.2%	31.8%	45%以上	×	×	×	
意識的に運動を心がけている人の増加	20 歳以上	男性	72.9%	62.3%	70.2%	75%以上	×	○	×
		女性	70.3%	68.0%	73.8%	73%以上	○	○	○
		平均	71.8%	65.8%	72.5%	—	○	○	—
今よりも 10 分(1,000 歩)多く体を動かすようにしている人の増加	20 歳以上	—	—	—	50%以上	—	—	—	
(3) 休養・こころの健康づくり									
ストレス解消法がある人の増加	20 歳以上	66.7%	60.2%	69.7%	70%以上	○	○	×	
相談できる相手や場所がある人の増加	20 歳以上	75.7% (平成 23 年度)	72.1%	72.9%	90%以上	×	○	×	

※1 5,001 歩以上歩く人の割合

指標	対象者	当初値 (平成 21 年度)	中間値 (平成 26 年度)	現状値 (令和元 年度)	目標値 (令和2 年度)	当初値と の比較	中間値と の比較	目標値と の比較
(4)たばこ・アルコール・薬物								
喫煙している人の減少※2	20 歳以上	17.9%	13.0%	14.4%	10%以下	○	×	×
施設内禁煙率の増加	市内公共施設・ 医療機関施設等	82.4%	84.8%	88.6%	100%	○	○	×
休肝日を設けていない人の減少	20 歳以上	67.2%	60.6%	65.2%	60%以下	○	×	×
(5)歯と口腔の健康								
歯間部清掃用具の使用率の増加	20 歳以上	41.7%	49.7%	53.1%	50%以上	○	○	○
治療以外で 1 年に 1 回以上定期的な歯の検診を受けている人の増加	20 歳以上	32.8%	35.2%	40.7%	40%以上	○	○	○
(6)健康管理								
自分の健康状態が健康であると 感じる人の増加	20 歳以上	53.8%	58.8%	54.9%	60%以上	○	×	×
健診結果について医師や保健師 からアドバイスを受けたことがあ る人の増加	20 歳以上	46.0%	59.5% (平成 27 年度)	57.9%	55%以上	○	×	○
体重計や歩数計、血圧計等自らの 健康管理に必要な機器をそろ え、定期的に測定している人の増 加※3	20 歳以上	—	35.5%	35.4%	50%以上	—	×	×
「元気にかけめく〜 あなたが つくる健康づくり実践カレンダー」 を知っている人の増加	20 歳以上	—	3.7%	2.0%	10%以上	—	×	×
特定健康診査 受診率の増加	40 から 74 歳 国保被保険者	41.8%	44.3%		65%以上			
特定保健指導 実施率の増加	40 から 74 歳 国保被保険者	21.3%	23.5%		25%以上			
胃がん検診 受診率の増加	35 歳以上	27.5%	26.7%		50%以上			
大腸がん検診 受診率の増加	40 歳以上	39.0%	41.5%		50%以上			
肺がん検診 受診率の増加	40 歳以上	37.6%	45.2%		50%以上			
子宮がん検診 受診率の増加	20 歳以上女性	35.4%	32.8%		50%以上			
乳がん検診 受診率の増加	30 歳以上女性 (隔年)	25.4%	23.9%		50%以上			
前立腺がん検診 受診率の増加	50 歳以上男性	54.9%	56.8%		60%以上			
肝炎ウイルス検査 受診率の増 加	40 歳以上 (未実施者)	9.94%	3.4%		15%以上			

※2 喫煙している人とは、今までの合計が 100 本以上で、かつ月 1 回以上吸っている人

※3 定期的に測定している人とは、週 2～3 日以上測定している人

指標	対象者	当初値 (平成 21 年度)	中間値 (平成 26 年度)	現状値 (令和元 年度)	目標値 (令和2 年度)	当初値と の比較	中間値と の比較	目標値と の比較
(7)次世代の健康								
朝食を毎日食べる幼児・児童・生徒の増加	幼稚園・保育園	97.9%	96.5%	93.9%	100%	×	×	×
	小学生	94.5%	90.5%	91.1%	100%	×	○	×
	中学生	81.3%	88.0%	82.8%	100%	○	×	×
食に感謝した「いただきます、ごちそうさま」の挨拶をしている児童・生徒の増加	小学生	94.0%	95.1%	94.9%	95%以上	○	×	×
	中学生	88.3%	92.5%	93.5%	95%以上	○	○	×
朝食をバランスよく食べている児童・生徒の増加	小学生	55.7%	50.8%	55.1%	60%以上	×	○	×
	中学生	48.0%	51.1%	42.6%	60%以上	×	×	×
妊婦喫煙率の減少	母子健康手帳発行者	—	1.7%		0%			
1人で9本以上むし歯を持つ生徒の減少	中学3年生	1.6%	1.5%		0%			
仕上げみがきをする保護者の増加	年長児保護者	—	77.1%	82.2%	85%以上	—	○	×
(8)高齢者の健康								
栄養バランスに気をつけている人の増加	60歳代	74.7%	76.1%	80.4%	80%以上	○	○	○
	70歳以上	68.2%	78.8%	73.1%	80%以上	○	×	×
日常生活における歩数の増加	60歳代	55.3%	48.0%	52.1%	45%以上	×	○	○
	70歳以上	35.9%	39.4%	54.3%	45%以上	○	○	○
意識的に運動を心がけている人の増加	60歳代	83.7%	76.7%	76.1%	80%以上	×	×	×
	70歳以上	75.4%	78.8%	77.9%	80%以上	○	×	×
今よりも10分(1,000歩)多く体を動かすようにしている人の増加	60歳代	—	—	—	50%以上			
	70歳以上	—	—	—	50%以上			
休肝日を設けていない人の減少	60歳代	64.9%	61.5%	75.0%	60%以下	×	×	×
	70歳以上	60.6%	60.0%	67.9%	60%以下	×	×	×
相談できる相手や場所がある人の増加	60歳代	60～64歳 70.4% 65～69歳 69.6% (平成23年度)	75.2%	76.9%	90%以上	○	○	×
	70歳以上	70歳以上 72.7% (平成23年度)	70.5%	65.1%	90%以上	×	×	×
(9)地区組織・民間事業所との連携・協働								
地域の人たちとのつながりは強い方だと思う人の増加 ^{※4}	20歳以上	—	61.5%	57.5%	増加	—	×	×
(10)地域医療								
かかりつけ医をもっている人の増加	20歳以上	52.9%	63.8%	63.9%	増加	○	○	○

※4 お互いに助け合っているとと思う人の割合(現状)

IV 自由意見

1 一般調査

分類回答	件数
(1) 運動について	10
(2) 食生活について	8
(3) 歯の状況について	3
(4) こころの健康について	2
(5) 健康診断の受診状況について	5
(6) 健康づくりの意識について	10
(7) 交流・ふれあいについて	4
(8) 親子の健康作りについて	1
(9) 行政の広報・窓口等について	11
(10) 施設について	9
(11) 公共の交通機関について	5
(12) アンケートについて	5
(13) その他	15

(1) 運動について

- ・ 長泉町のようなトレーニングジム施設、プール、グラウンドを市民が無料で使えると嬉しい。3月に裾野市に引っ越してきたが、市民体育館の利用方法やトレーニングプログラムがいつ、どんなものがあるのか。いくらでやれるのか等の案内がなく、人から聞いたりしたが、定員オーバーだったりとできなかった。(女性/40歳代/深良)
- ・ 裾野市は健康について、日頃から取り組まれていると思いますが歯の健康について、毎年健康診断の中に項目が無いのは何故なのか不思議に思っています。これは、どこの健康診断でもそうですが、最近は歯周病が引き起こす病気が注目されているのに、必須項目になっていないので、関心が無い人が多いのではないかと考えています。運動についてですが、高齢者の閉じ込めが多いとされているのに移動手段が減っている様な気がしています。行政と民間とで、なんとかバスや乗合いタクシーなどの方法を考えていただけないでしょうか。既に取り組まれているかとは思いますが、よろしく願います。(女性/50歳代/富岡)
- ・ 市の体育館に運動に行く時があるが皆若い人ばかりで私なんか入りにくいし、使用しづらいと思う。(女性/70歳代以上/東)
- ・ 幼児を遊ばせたり、老人が散歩したりする公園が欲しい(東地区)(女性/70歳代以上/東)。
- ・ 今日、ヘルシーパーク裾野に行って感じた事。昼間だったので(平日)仕事を引退した70才以上の人が多く、風呂やサウナで皆イキイキとして楽しそうにしゃべっていた。自分は義父より無料券をもらって行っていたが、老人は裾野市から定期的に券がもらえるのかどうか。年を取った時に無料券で温泉やサウナに行かれて、知り合いと笑顔で昔話などを楽しく話が出来ると、そんな裾野なら住民税を払っていても納得出来る。欲をいうなら体育館だけではなくて民間のスポーツジム等がいくつか出来ればと思う。(男性/50歳代/東)
- ・ 市のテニスコートが1時間800円と高すぎる。安くして皆に利用して頂きたい。(男性/70歳代以上/深良)
- ・ 運動する場所が少ない。小さな公園などありますが運動している人は見ません。運動するスペース不足。歩行は早朝に見ることがありますが少ない。歩道が狭く凸凹多い。ラジオ体操している人も見られないです。毎朝6:30ラジオ体操曲を流す。本人に運動のやる気を出させるにはど

うすれば良いか。各地区に 4Km 歩行できるコースを設定(設置)できないものか。途中で飲料水があること。運動しやすい環境を整えることが重要。(男性/60 歳代/東)

- ・ウォーキングをしています、景色が良く安全で皆が歩けるような場所が欲しいです。(女性/60 歳代/深良)
- ・身体障害者のため運動が出きません。(不明/70 歳代以上/深良)
- ・健康についても市で開催されている運動・スポーツも昼間(平日)開催されているものが多く仕事をしていると参加できない。平日の夜に気軽に参加できる教室等があると良いと思う。(女性/50 歳代/富岡)

(2) 食生活について

- ・「ふれあい市」の場所を放課後児童・生徒が食事できる場所にしたらどうでしょうか。市場は 15:00 くらいから空いてくるでしょうから開けて、塾や習い事へ行く子ども達が軽く食事ができる場所として提供できたら親は助かると思います。有料(低価格)で、地元の野菜をたくさん使った料理を、料理の好きな(ふれあい市で余った野菜で ok)地域の方々に調理していただいて(調理場も必要となりますが)、習い事のバスも寄ってもらいおやつ、夕食作り、送迎に追われているお母様方の負担を減らせると思います。働いているお母さんは仕事に集中できません、女性の労働時間が増え、税収も多くなります。「すその〜」で各学校から来てもらい、軽食をとって、放課後の活動に集中してもらったらどうでしょうか。(女性/50 歳代/西)
- ・裾野ヘルスセンターを活用し、良い食事提供と健康プールの使い方などもっと PR して欲しい。裾野市民への割引を設けてほしい。(男性/60 歳代/富岡)
- ・食育についても行事会など身近なものからしっかり取り組んでいきたいと感じました。(女性/40 歳代/東)
- ・地元の食材を生かした、料理会をベテラン主婦の方たちの力で開いてほしいです。洋食というよりは日本食、地域のおかずメニューが知りたいです。(女性/40 歳代/西)
- ・健康づくり実践カレンダーはどこへ行けば有るでしょうか。裾野市でやっていた食育活動に参加(3 年間)していたので食べる事は一番大事なのでこれからも色々考えて行動していきたい。(女性/70 歳代以上/富岡)
- ・「食育」に関しては、栄養のバランスを考えたメニューを提供する食堂を造ってほしいです。今、「子ども食堂」もあちこちに出来ていると聞きます。裾野市も、取り組んでみてはどうでしょうか。(女性/60 歳代/富岡)
- ・食育のための、親子で参加できる農業体験イベントなどがあると良いなと思います。(男性/30 歳代/西)
- ・保健・健康施策は、平日・昼間に参加できる方が主な参加者と考えられて、時間設定されていると思います。大人がなかなか参加できないので市内の小中学校で食育やイベントを行っていただきたいと思います。(女性/40 歳代/東)

(3) 歯の状況について

- ・裾野市は健康について、日頃から取り組まれていると思いますが歯の健康について、毎年の健康診断の中に項目が無いのは何故なのか不思議に思っています。これは、どこの健康診断でもそうですが、最近では歯周病が引き起こす病気が注目されているのに、必須項目になっていないので、関心が無い人が多いのではないかと考えています。(女性/50 歳代/富岡)
- ・歯科についてですが、1 本の歯を治療するのに、両サイドの歯を削り、ブリッジを複数ヶ所行っています、削った歯がむし歯になります。この様な治療は正しいのか疑問に思うことがあります。また差し歯が何度も外れる等、歯科医の抜量を疑うことがしばしばあります。専門的なことは、よくわからないので、正しい治療が行われているのか、チェックできる方法を共有して頂きたい。また、行政からも監督して頂きたい。(男性/40 歳代/東)
- ・歯科の検診「三島市の医院」も含まれるとありがたい(現在、三島市佐野「遠藤歯科」(20 年以上)にかかっている。)(女性/60 歳代/東)

(4) こころの健康について

- ・ 「心と身体」に関する相談窓口があるといいと思う。(男性/70歳代以上/東)
- ・ 先日、裾野市の書店(戸田書店)がなくなるという話を聞きました。少し前には裾野駅近くのビデオ屋(ツタヤ)がなくなりました。本からの知識、音楽、余暇のための映画などによるストレス解消の手段が減っているように感じます。(男性/50歳代/東)

(5) 健康診断の受診状況について

- ・ 人間ドッグに関心がありますが、情報があまりなく、困っています。市で情報を頂けると助かります。(男性/30歳代/西)
- ・ 市民の健康診断に「肺癌検診」の胸部×線検査+喀痰検診を施行していますが、金額的に1800円。自己負担金で行なっています。現在低線量CT検診も主流になりつつあるのが現状です。自分も指数が600を超えていますので将来肺癌が心配です。そこで負担金を2000~3000円位で補助金額が増加しますがCT検診(低線量肺がんCT検診)の施行が望まれます。(男性/60歳代/西)
- ・ 職場の健診は受けていますが、その他ではあまり気にしたことがなかったので改めて見直すきっかけとなりました。ありがとうございました。(女性/40歳代/東)
- ・ 昔に比べると裾野市内の歯科や内科医院が増えて、ありがたいです。一方心臓血管外科や脳神経外科・乳腺外科など特殊な科の大きな病院がないのが残念です。乳がん検査のマンモグラフィーの設備が日赤にしかないのも希望する予約日がとれない原因ではないでしょうか。女性も仕事で平日限定になると検診を受けづらいです。もう少し、女性に対しての配慮をしていただければと思います。(女性/60歳代/西)
- ・ 年一度の健康診査で胃内視鏡検査がバリウムや内視鏡かどちらかということでしたが(有料)昨年まで無料でやってくれたものが今年から有料とのことですがどうしてですか。自分は77才ですが毎年検査を受けていますが胃カメラ・バリウム等無料も行って欲しいと思います。(男性/70歳代以上/西)

(6) 健康作りの意識について

- ・ どのような取り組みをしているのか知らないことが多い。自分も体調の変化を感じており、自分事として考えていけないといけないと思っています。親も70代、今後の高齢化も考えると人生100年時代「60代70代の予防」その本人たちの意識も変えていけないのかなとも思います。もちろん、そのような親を支える40代50代の子供世代も健康に気をつけていけないといけません。地域ごとに啓発など行くとよいのかなとも思ったりします。(女性/40歳代/須山)
- ・ 当市も高齢化が一段と進み、医療の発達とともに色んな形で本来の人間性が保てるのか不安です。そんな点からも元気なうちに保健、健康施策はとても大切だと考えていますが、実施する事は困難な年齢になってしまった。膝が、腰がと言いつけがましく。しかし、今の体力、精神力を維持出来たらと常々考えています。何か良い方法がありましたら、広執等で知らせてと思います。(女性/70歳代以上/西)
- ・ 健康教室的なものを増して欲しい(1人でも参加しやすくして欲しい)、保健センターで行えるような。歯には自信がないので、抱き合わせ行事は出席したくない。(女性/70歳代以上/西)
- ・ 日常、自分自身の健康は食と体力等、気にかけて過ごしているため、市の方で保健健康施策等の事があまり気にかけてと云うか、知らずに過ごしているが本音です。健康推進課の皆様(がんばって)大変と思いますが裾野市の人々のため、頑張ってください。長寿1番の市になれるよう。(女性/70歳代以上/深良)
- ・ テレビ等で医療番組、健康に関する番組等で色々知る事が出来るが、余り神経質には考えておりません。周りに医療関係者が多くいますので、話の中で少し知識を得ておりますが。(男性/70歳代以上/深良)
- ・ 市内の家庭内全戸に放送設備はあるのですか。健康対策の一つに各家庭でラジオ体操を朝6時頃してはどうですか。(不明/70歳代以上/東)

- ・夜勤の人は、大変ですよ。私の夫は以前そうでしたが、体調が悪く視力も低下して大変でした。無くすわけにはいかないとは思いますが、そういう人のための健康維持法があれば、知りたいです。(女性/30歳代/須山)
- ・人間若い内から健康と運動、特に食育を考えて生活して行かないとだめですね。(男性/70歳代以上/西)
- ・年齢的にこれから気をつけることが多くなると思います。健康年齢を延ばすためにも色々とお世話になることがあると思います。(男性/60歳代/富岡)
- ・規則正しい生活をし、何でも良く噛み家族団らん会話を楽しみ食事をする。適度に無理をしない運動をして健康で暮らしたいです。(女性/50歳代/西)

(7) 交流・ふれあいについて

- ・教室等は平日が多く働いている私は参加したくも出来ない事が多く少し二の足を踏んでしまうのです。年に何度かの休日予定があれば是非、参加したいものです。(女性/70歳代以上/西)
- ・昨年、仕事をやめて、自宅で生活する様になりました裾野市という場所は、家にいると、外からの情報が何も入ってきません、あいさつ程度のおつき合いで生活をしています。(女性/60歳代/富岡)
- ・以前に比べ行事・活動は増えているが、自分が積極的に参加しているかと考えるとしていない。個々の意識と努力が一番と思うが意志が弱いので市のリーダーシップによって手助けをしてもらい自分が出来る活動に参加したい。(女性/70歳代以上/西)
- ・一人暮らしで移転して来て1年、仕事もあり土、日、祝日勤務等地域との関わりができません。また集合住宅も単身が多く隣り近所との関わりもほとんどなく顔を見ても住人か分かりかねる所です。(女性/60歳代/西)

(8) 親子の健康作りについて

- ・家庭(家族)がとても大切な組織だと思うので家族で参加できる行事やセミナーをたくさん考えて欲しいです。(女性/50歳代/東)

(9) 行政の広報・窓口等について

- ・働くばかりで知っている様で知らない事が多いかもしれません。食べる事運動する事はどっちかと言うとそこそこかもしれません。色々な事について情報を下さい(元気にかけめくーる・カレンダー)知りたいです。(女性/60歳代/深良)
- ・食事バランスガイドのコマの図は、どこかで見たことがあるが、それが実際調理をする場にきちんと飾ったり立てかけられたりするものであるとよく目にする分、食生活に活用できると思う。月曜日は「健康管理の日」火曜日のカレンダーは全く知らなかった。庶民へのピーアールが今以上に必要だと感じる。(女性/70歳代以上/深良)
- ・裾野市に越してきて半年ですが、知らない事が多過ぎです。市報は届きますし、読んでいますが、今回のアンケートの内容に触れることもなく、数々のプロジェクトとやらは聞いたこともありません。スーパー等に掲示もされていないので、積極的に知ろうと思わなければわからないのではないのでしょうか。もっと「見える」活動を望みます。(女性/30歳代/深良)
- ・正直裾野市は、他の市・町と違って取り組みが遅い。財政難とは知っているが、東部地区では、周知が低い。もう少し色々な機関と連携していくことが良い。(男性/70歳代以上/西)
- ・ボランティア保険があると聞きその行政に行けば、「あなたは資格がない」と言われそれ以来入っていない。心の相談がある機関があり(市)それにと思ったら受付が市の秘書課の時がありそんな「ばか」な機関にはいけない。私自身がCOPDですが、有難いことに病気に感謝して日々新たに生活をさせて頂いています。(男性/70歳代以上/西)

- ・色々よい取り組みがあってもなかなか市民の間に浸透しているとは思えない。もっと上手にアナウンスしてくれないとせっかくの取り組みも、意味がなくなってしまうのではないのでしょうか。(男性/60歳代/深良)
- ・一部の市民のみ活動に熱心でその情熱がなかなか地域まで伝わってこないなあと思います。もっと身近でいつでも目にふれる感じる活動というか、インパクトのあるコマーシャルというかそういったものが足りないなあと思います。(女性/60歳代/深良)
- ・医療大学に行っているのでもぼ知っている言葉でした。市でこのようなことを行なっていることは知りませんでした。もう少し、市で食育などの発信をして、食育、保健健康施策をしていることが伝われば、1人1人が健康について興味を持つと思います。(男性/20歳代/東)
- ・携わっている方は、一生懸命取り組んでいいことをやっているとだと思います。いろいろイベントや講演等もやっているようですが、それらの情報や結果や内容等、市民に届けられたらよいと思っています。回覧板で知らせるとか何か方法はあるのでは。大変ですが、やれないことはないと思います。(女性/70歳代以上/西)
- ・食育の重要性はわかっているけど忙しい毎日でついつい手を抜く方向に行ってしまうため、～しましょうと言われても難しい。簡単にできることから発信してもらえると良いと思う。(女性/50歳代/富岡)
- ・食育や保健健康施策を実施していることを知らなかった。認知度が低いのであればやる意味がないのもっと効果的なことを考えるか、止めて、お金をつみ立てるなどして大きく使った方がよいと思う。企業の事業所の移転などで税収も減るので、よい施策を考えて下さい。(女性/60歳代/富岡)

(10) 施設について

- ・市民プールを早く使える様にして下さい。プールの無い市町村なんて、聞いた事がないですよ。ヘルシーパーク裾野の市民優遇措置、県外から来ている人と、裾野市民が同一料金って他の温泉は別料金で、市民にサービス還元していますよ。GW、盆休みなんて、県外からのキャンプ客等で、とても行きたくない。遊歩道、サイクリングロード、市営キャンプ場等の屋外健康施設を作して下さい。将来的に、他県からの利用者が増加すると思います(越前岳・下和田、須山の三角地域に)。(男性/40歳代/東)
- ・市健康福祉センターや生涯学習センターで行っているスポーツ関連の行事は大変良いと感じている。頭の健康に対する行事をもっと増して欲しい。(男性/70歳代以上/深良)
- ・耕作放棄地が増えているので、農地を気軽に利用できる市民農園の整備。市営プールが無くなり身近に運動できる施設(夏場)(富士マリンプール、富士宮市民プール、玉穂プールのような)さすが裾野と思われるようなのがあれば少しは人が集まるような。(男性/30歳代/深良)
- ・裾野市は健康に対する設備がなっていない。運動公園やヘルシーパーク等あるが、町から遠く使いづらいうえに、年寄りファーストで、働く世代に対しての恩恵が全くない。長泉町や御殿場市のように使いやすい体育館や、室内プール等の設備を整えてほしい。これから、子育て世代を増やして、市を活気づかせていくためには、年寄りにこびるのはやめにして若い世代に対してのアピールをどんどんして行ってほしいと思う。事実、子供たちが大学等で外へでて、その先、裾野に帰ってきたいとは思ってもらえない市なのだから。(女性/40歳代/西)
- ・親子で楽しく健康な体作りができる施設、例えばアスレチックや室内プール、室内でトランポリンや鉄棒などができる体育館などを市内に造ってほしいです。裾野は公園もありません。御殿場や長泉にはあるのに。(女性/60歳代/富岡)
- ・近隣の市町のように、気軽に使用できる、泳ぐことが出来る屋内(温水)プールの施設を建立して頂きたい(時間的余裕があるときに近隣の施設を利用しているが、そうでないときに気軽に利用できる近場の施設が欲しい)。(男性/50歳代/富岡)
- ・健康に関しては身近な施設が欲しい。あれば良いなあと思います。(女性/60歳代/深良)
- ・女性1人でも気軽に行ける健康施設がほしい。(女性/20歳代/東)
- ・裾野市に温水プール(25m)が欲しい。ヘルシーパークでは片道しか泳げない。遠泳ができないため。(男性/50歳代/富岡)

(11) 公共の交通機関について

- ・ 老人のためバスの乗り物を増やしてほしい。裾野市はだんだん暮らしぶらいもう長くないからお願ひします。(女性/70歳代以上/富岡)
- ・ 車が無いのでバスを利用しているが補助が少ないです補助をもっとして下さい。バスが2回/日しか通っていないので不便すぎる。他の交通は利用しにくい為利用していない予約しなければならない面倒。足が少し不自由で歩いて出かける気もしない。(男性/70歳代以上/不明)
- ・ 市には良いグラウンドや施設があるが、免許返納をした身には公共交通がなく、利用できない不便さがある。(男性/70歳代以上/深良)
- ・ バスを利用して出かけられるような場所で運動などの講習をしてもらえるとありがたいです。いつまでも歩けるようにしたいのでそうなれば参加できると思います。また、家の近くとかならいいなと思います。(女性/70歳代以上/東)
- ・ 携わっている方は、一生懸命取り組んでいいことをやっているとあります。いろいろイベントや講演等もやっているようですが、それらの情報や結果や内容等、市民に届けられたらよいと思っています。回覧板で知らせるとか何か方法はあるのでは。大変ですが、やれないことはないと思います。参加したいと思いますが交通の便が悪くついつい行きそびれてしまいます。(女性/70歳代以上/西)

(12) アンケートについて

- ・ このアンケートの解答が少しでもお役に立ちますように。(女性/70歳代以上/東)
- ・ このアンケートは紙だが、答える方も集計する方も手間がかかるので、web等でも回答できるようにしてほしい。(男性/30歳代/西)
- ・ アンケートの意味が良くわからないムダでは無いですか。(男性/70歳代以上/不明)
- ・ 食育や健康について地域の公民館で短時間(30分程度)で市の担当の方が説明、話に来る等はないのでしょうか。土、日とかです。公衆学の周知は医療費の削減にもつながるように思います。御一考ください(文化センターの場合、費用がかかり、かつ特定の人しか聞きに行かない。地区の代表が聞いても地域に広まらないし伝わりにくいから)。(男性/50歳代/東)
- ・ 今回のアンケート調査について。質問項目をよく吟味し、質問数を精選したい、→生活習慣等に関する窓口が広すぎないか。回答内容についても、二者択一だけでなく、多様性を含んだ項目もあるのではないだろうか。(男性/70歳代以上/東)

(13) その他

- ・ 障害者入院医療費免除制度を設立してほしい(1~2級の者の)。(女性/60歳代/東)
- ・ 桃園団地に集合浄化にして下さい。(男性/70歳代以上/西)
- ・ このアンケートに答えていくことで自分の食事健康生活を考えることができました。市では色々な活動をされていることと思います。知らないこともあると思います。情報誌などに目を通していいことと思います。(女性/50歳代/東)
- ・ 弱者にやさしい市政を。(男性/60歳代/東)
- ・ 裾野市は昔、水が旨かった。今は旨くない。防腐剤際限とする水がうまい。住民を呼ぶ室になるのでは。(男性/60歳代/東)
- ・ 年齢制限はどうしたか。年齢90才以上(皆無)は仕事ができない。(男性/70歳代以上/東)
- ・ ありがとうございます。述べたとおり、私は、写真撮影が大好きなので過去にカレンダーなど。他にも市に大変な協力していました。したがって、そういう人のために、今日の富士山ロードを、もっともっと、整備してほしい。私は来年80才を迎えます。記念に、写真展を文化センターで開かせてくれませんか。妻と二人でたくさんあります。大変失礼なことを書きまして、申し訳ありません。(男性/70歳代以上/西)

- ・ 今回アンケートを通して、知らなかった言葉を知る事ができたり、食育について、もっと学んで、自分の健康を考えていかなければいけない年齢になっているので、私にとっていい機会を頂いたと思いました。本当にありがとうございました。(女性/60歳代/富岡)
- ・ 地域の皆さんがいつも笑顔で過せる様に。(女性/70歳代以上/富岡)
- ・ 雑菌に強い体作りを。(男性/60歳代/西)
- ・ 昼間は市内に職場がないため、市の事業について触れることがなかったため、これらの事業に係る催物等も知りませんでした。15年くらい前に裾野市に引越してきたので、裾野市の伝統食についても知りませんでしたので、上手な回答ができません。(男性/50歳代/東)
- ・ 市民体育館や、運動公園のトレーニング室、生涯学習センターの講座を利用させて頂いております。職員の皆様、親切丁寧に指導して、対応して下さい、この場をお借りしてお礼申し上げます。いつもほんとにありがとうございます。(女性/50歳代/東)
- ・ 長い間裾野市にお世話になっております。今後共よろしく願います。(女性/70歳代以上/深良)
- ・ 市民への心身豊かな生活習慣づくり推進の計画、大変有益であることに感謝いたします。(男性/70歳代以上/深良)
- ・ 市のこれらの施策において、担当部署の方々は、大変に日頃から尽力されていると感じております。その割に、私のように勉強不足で、現在はまだ連康状態に問題がなく、日常生活にも不便さを感じないので、知識も取り入れようと努力しないのだと思います。これからは、年も老いていくばかりなので、あとに後悔することのないように健康寿命をできるだけ長く保つように努力したいと思います。(女性/60歳代/東)

2 受動喫煙防止対策に関する調査

- ・ 医療施設内では禁煙が常識であり、とくに表示等は考えていない。
- ・ 商工会館も建物内禁煙にするよう指導してほしい。入口左側の吹き抜けスペースが喫煙スペースになっていて、煙突効果で建物内全部くさい！何度話しても、勤務者が喫煙者なので変わらない！
- ・ 法律、または条例にて制定、規制してほしい。
- ・ 以前表示していたが、今は表示していない。
- ・ 問6の表示はどのぐらいの表示を出すのがよいのかわからない。おすすめのレベルを教えてください。待合室に小さく「禁煙」より上のレベルですよね。
- ・ 遅くなって申し訳ありません。
- ・ ステッカーを作成したらどうか。
- ・ 日本の受動喫煙防止の意識、機運の高まりから、行政も今の潮流に取り残されないよう、禁止の流れを推進するべきだと思います。
- ・ 集合住宅のベランダの喫煙をどうにかできないでしょうか。管理側や住民だけだと難しい。
- ・ 勤務時間内に喫煙する職員はいない。時間外について（特に私的な場、時間）は、個人の嗜好に関わることなので、答えられません。
- ・ 路上喫煙が見られる時がたまにある。受動喫煙防止のための働きかけを継続していただきたい。
- ・ 防止について等のポスターがあったので、園内に掲示し周知しています。
- ・ 賛成です。
- ・ 今回は職員のみですが、利用者は複数喫煙者有り。

V 調査票

1 一般調査

生活習慣等に関するアンケート調査 ご協力をお願い

日ごろより、市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
活力ある社会を実現し維持していくためには、生活習慣病を予防し、健康づくりを推進していくことが重要な課題となっております。

裾野市では市民の皆様が生涯にわたって健全な心身を保ち、豊かな人間性を育み、いきいきと暮らすことができる環境づくりを推進してまいりましたが、この度、現行の「その健康増進プラン」第2次裾野市健康増進計画「裾野市歯科保健計画」のちを支える裾野市自殺総合対策計画」の最終評価を行うこととしました。

この調査は、市民の皆様の食の現状や課題、普段の健康観や生活習慣などを把握することにより、計画の充実にと評価の基礎資料とし、計画をより実効性のあるものにするためのものです。

アンケートの対象になられた方は、令和元年8月1日現在の住民基本台帳から無作為に抽出させていただきます。ご回答いただきましたアンケート調査票は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしません。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣意をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月
裾野市長 高村 謙二

【ご記入にあたって】

- 記入は、原則としてあて名のご本人にお願いいたします。ただし病氣、あるいは高齢などの理由により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方等がご本人の回答として、ご記入ください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。答えが「その他」の場合には、番号を○で囲み()に具体的な内容を記入してください。
- 回答数が質問により異なりますので注意書きに従ってご記入ください。
- アンケート用紙は、**令和元年9月17日(火)**までに同封の返送用封筒にてご返送ください。(切手は不要です)

本調査について、ご不明な点やご質問があれば、下記までご連絡ください。

裾野市役所 健康推進課

〒410-1117 裾野市石脇 524-1 電話：055-992-5711 FAX：055-992-5733

1 あなた自身についてうかがいます

性別	1. 男性	2. 女性				
年齢	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上
身長/体重	身長：() cm		体重：() kg			
お住まいの地区	1. 東	2. 西	3. 深良	4. 雷岡	5. 須山	
現在の職業	1. 自営業	2. 農林水産業	3. 会社員・公務員・団体職員	4. 家事専業	5. 学生	6. パート・アルバイト
	7. 無職	8. その他 ()				
平均労働時間(1週間)	1. 20時間未満	2. 20~39時間	3. 40~59時間	4. 60時間以上		
世帯構成	1. ひとり暮らし	2. 1世代世帯(夫婦のみなど)	3. 2世代世帯(親と子など)	4. 3世代世帯(親と子と孫など)		
	5. その他 ()					
世帯収入	1. 200万円未満	2. 200~399万円	3. 400~599万円	4. 600~799万円未満	5. 800万円以上	6. 分からない

2 あなたの健康状態についてうかがいます

問1 自分の健康状態についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 健康である
- まあまあ健康である
- ふつう
- あまり健康ではない
- 健康ではない

問2 自分自身や家族の健康づくりに関心がありますか。(○は1つ)

- 関心がある
- どちらかといえば関心がある
- どちらかといえば関心がない
- 関心がない

問3 自分の適正体重を知っていますか。(○は1つ)

- はい
- いいえ

適正体重とは・・・身長(㎝)×身長(㎝)×22で算出できます。

問4 適正体重に近づくように体重コントロールを実践していますか。(○は1つ)

- はい
- いいえ

問5 ご自分の体型をどのように感じていますか。(○は1つ)

1. 太っている 2. やや太っている 3. ぶつう
4. やや やせている 5. やせている

問6 ご自分が実践している健康づくりに自信がありますか。(○は1つ)

1. 自信がある 2. どちらかという自信がある
3. どちらかという自信がない 4. 自信がない
5. 健康づくりは実践していない

問7 ご自分で体重計や歩数計、血圧計等自らの健康管理に必要な機器をそろえ、定期的に測定していますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日測定している 2. 週4～5日測定している
3. 週2～3日測定している 4. たまに測定している
5. ほとんど測定していない 6. 機器をもっていない

問8 ご自身やご家族の病気の予防や健康管理について相談できる「かかりつけ医」を持っていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問9 あなたは、ほぼ毎年、健康診査を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

問9で「2」と答え方にうかがいます。

問9-1 健康診査を受けていない理由はなんですか。(○は2つまで)

1. 健康に自信がある 2. 健診を受ける年代ではない
3. 健診等を知らない 4. 受ける時間がない
5. 受けるのが面倒 6. 費用がかかり経済的に負担
7. 病気が見つかるのが怖い 8. 現在医者にいかっていない
9. 特に理由はない 10. その他 ()

問10 あなたは、健康診査の結果について、医師、保健師、管理栄養士などから説明を受けたり、アドバイスを受けたりしたことがありますか。(○は1つ)

1. 受けた 2. 受けなかった

3 食生活についてうかがいます

問11 普段、朝食を食べますか。(○は1つ)

1. ほとんど毎日食べる 2. 週2～3日食べない
3. 週4～5日食べない 4. ほとんど食べない

問12 外食をするときや食品を購入するときに栄養成分表示を参考にしますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

栄養成分表示の例

主要栄養成分 1食(平均5g)当たり (当社分拆産)		糖質		ブトリアム	
エネルギー	たんぱく質	脂質	糖質	ブトリアム	ブトリアム
29kcal	0.3g	1.9g	2.6g	4mg	4mg
100g当たりエネルギー 58kcal					

問13 普段の食事で栄養のバランスに気をつけて食べていますか。(○は1つ)

1. 必ず気をつけている 2. しほしほ気をつけている
3. 時々気をつけている 4. あまり気をつけていない
5. まったく気をつけていない

問14 普段の食事で糖質をとりすぎないようにどのようかのように気をつけて食べていますか。(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

設問	はい	いいえ
ご飯は1食につき茶碗1杯程度にしている	1	2
めん類は頻度が多くならないようにしている	1	2
果物を食べすぎないようにしている	1	2
間食で菓子類を食べないようにしている	1	2
調味料(砂糖など)や食品(飲料、アルコールなど)を購入する際に、糖質が少ないものを選んで購入している	1	2

問15 普段の食事で塩分をとりすぎないようにどのようになことに気をつけて食べていますか。
(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

設問	はい	いいえ
めん類の汁を残すようにしている	1	2
味のついているおかず、しょう油・ソース・塩などをかけないようになっている	1	2
料理のとき、薄味に調味している(してもらっている)	1	2
生姜やこしょう、柚子、ハーブなどの香辛料をよく使う	1	2
干物やちりめんじゃこ、漬物などをとりすぎないようにしている	1	2
加工食品、インスタント食品、味付けの濃い出来合いのお惣菜などをとりすぎないようにしている	1	2
天然のだしを使っている	1	2
調味料(しょう油や味噌、マヨネーズなど)や食品(ハムや漬物など)を購入する際に、塩分が少ないものを選んで購入している	1	2

問16 普段の食事で脂質をとりすぎないようにどのようになことに気をつけて食べていますか。
(それぞれの設問で「1」か「2」のどちらか1つに○)

設問	はい	いいえ
肉の脂身をあまり食べないようにしている	1	2
ケーキ、チョコレート、アイスクリーム、スナック菓子など脂肪が多い菓子類は控えている	1	2
バター、マーガリン、マヨネーズ、ドレッシングをあまり使わないようにしている	1	2
炒め物や揚げ物など、油を多く使った料理を控えている	1	2
調味料(調理油やマヨネーズ、バターなど)や食品(惣菜など)を購入する際に、脂質やコレステロールが少ないものを選んで購入している	1	2

問17 副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などをかつかった料理のこと)を毎食1皿以上食べていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえぬ
-------	--------	-------------

問18 副菜(野菜・きのこ・いも・海藻などをかつかった料理のこと)を朝・昼・夕の食事の合計で1日にどのくらい食べていますか。下記の料理例を参考にしてください。(○は1つ)

1. 5つ分以上	2. 4つ分	3. 3つ分
4. 2つ分	5. 1つ分	6. ほとんど食べていない

(小鉢・小皿1皿) 1つ分 = = =

(中皿1皿) 2つ分 = =

例
 朝：鶏肉と野菜のトマト煮 (1つ分)
 昼：ほうれん草のおひたし (1つ分)
 具だくさんの味噌汁 (1つ分)
 夜：じゃがいもの炒め物 (2つ分)
 きゅうりとわかめ酢の物 (1つ分) 合計 副菜 6つ分

※女性や身体活動量が低い男性は1日に5〜6つ分(350g)、身体活動量がふつう以上の男性は6〜7つ分が自分にあった量の目安となります。

問19 20時以降に夕食や夜食をとることがありますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日食べる	2. 週4〜5日食べる	3. 週2〜3日食べる
4. 週に1日程度	5. ほとんど食べない	

問20 普段食事をとるときの食べる速さは、他の方と比べていかがですか。(○は1つ)

1. 非常に速い	2. 速い	3. 普通
4. やや速い	5. 遅い	

問21 裾野市の「ON野菜プロジェクト」を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことはある	3. 知らない
----------	-------------	---------

ON野菜プロジェクトとは…
 野菜摂取を促すための①ON 野菜料理を毎食食卓にON! ②ON 週野菜にして野菜をたくさん食べよう! ③ON 温故知新。野菜を活かした郷土料理を食べよう!の3つを柱とし、野菜を多く摂取することを推進する取り組みです。

4 食育についてうかがいます

問22 「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

- 1. 関心がある
- 2. どちらかといえば関心がある
- 3. どちらかといえば関心がない
- 4. 関心がない
- 5. わからない

食育とは…

「食育」は生きる上での基本であり、教育の基盤となるものです。様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものです。

問23 ご自分の食生活で、特にどのような面にかを入れていきますか。(あてはまるものすべてに○)

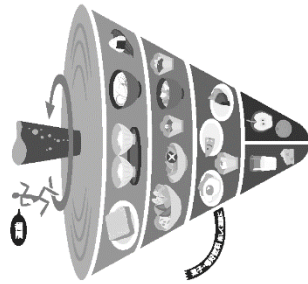
- 1. 家族や友人と食卓を囲む機会の増加
- 2. 食事の正しいマナーや作法の習得
- 3. 栄養バランスのとれた食事の実践
- 4. 規則正しい食生活リズムの実践
- 5. 地域性や季節感のある食事の実践
- 6. 地場産物の購入
- 7. 食品の安全性への理解
- 8. 食べ残しや食品の廃棄の削減
- 9. 生産から消費までのプロセスの理解
- 10. わからない
- 11. 特になし

問24 「食事バランスガイド」という言葉やその意味を知っていましたか。(○は1つ)

- 1. 言葉も意味も知っていた
- 2. 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3. 言葉も意味も知らなかった

食事バランスガイドとは…

「何を」「どれだけ」食べたらよいかをわかりやすくコマの図で示したものです。



問25 朝食や夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか。(○はそれぞれ1つ)

ア 朝食

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週に4～5日
- 3. 週に2～3日
- 4. 週に1日程度
- 5. ほとんどしない(一人暮らしも含む)

イ 夕食

- 1. ほとんど毎日
- 2. 週に4～5日
- 3. 週に2～3日
- 4. 週に1日程度
- 5. ほとんどしない(一人暮らしも含む)

問26 食事の際に「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしていますか。(○は1つ)

- 1. 必ずしている
- 2. しばしばしている
- 3. 時々している
- 4. あまりしていない
- 5. まったくしていない

問27 郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味で、次世代に伝えたいものがありますか。また、実際に伝えていきますか。(○は1つ)

- 1. 伝えたいものがあり、実際に伝えている
- 2. 伝えたいものがあるが、実際に伝えていない、または今後伝えたい
- 3. 伝えたいものがない、知らない
- 4. わからない

問28 自宅で行事食を伴う伝統的な行事を行っていますか。(○は1つ)

- 1. 行っている
- 2. 行っていない

行事食を伴う伝統的な行事とは…

< 例 >

- 正月 (1月：おせち、お雑煮、七草粥、もち等)
- ひな祭り (3月：ひな祭り、五目ずし等)
- こどもの日 (5月：ちまき、かしわ餅等)
- 土用のうし (7月：うなぎ、もち等)
- お月見 (9月：月見団子等)
- 七五三 (11月：干鰯等)
- 大みそか (12月：そば等)
- 節分 (2月：まめまき、恵方巻き等)
- 春分の日 (3月：ぼた餅等)
- たなぼた (7月：そうめん等)
- お盆 (8月：団子等)
- 秋分の日 (9月：おはき等)
- 冬至 (12月：かぼちや料理等)
- 収穫祭など

問29 「地産地消」に関心がありますか。(○は1つ)

- 1. 関心がある
- 2. まあまあ関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 関心がない
- 5. わからない

問30 地場産物を食事に取り入れていますか。(○は1つ)

1. 取り入れている 2. 取り入れていない

問31 あなたは、食品の安全に関する知識を持っていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分に持っていると思う 2. ある程度持っていると思う
3. あまり持っていないと思う 4. 全く持っていないと思う

【食品の安全に関する知識とは…
健康に影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだらよいか、どのような調理が必要かの知識のことです。】

5 運動および日常生活についてうかがいます

問32 運動習慣についてお聞きします。次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 定期的な運動を6ヶ月以上している
2. 定期的に運動をしているが、まだ6ヶ月たっていない
3. これから1ヶ月以内に定期的な運動をしようと思う
4. 運動を行っていないが、これから始めようと思っている
5. 運動をしていないし、これからは始める気もない

問32で「1」～「2」と回答した方に向かいます。

問32-1 平均すると、運動をどのくらい行っていますか。(○は1つ)

1. 週に3回以上 2. 週に1～2回
3. 月に2～3回 4. 月に1回

問32で「1」～「2」と回答した方に向かいます。

問32-2 運動する日の1日の平均的な時間を教えてください。(○は1つ)

1. 10分未満 2. 10～19分
3. 20～29分 4. 30分以上

問33 日常生活での平均の1日の歩数を教えてください。(○は1つ)

1. 5,000歩以下 2. 5,001歩～7,000歩
3. 7,001歩～9,000歩 4. 9,001歩以上
5. わからない

問34 意識的に身体を動かすように心がけていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問35 あなたが今後、運動を続ける(始める)ために、何が必要ですか。(3つまで)

1. 一緒に運動する仲間・家族 2. 家族など周りの理解と協力
3. 地域でのイベントや行事の開催 4. 身近な運動施設
5. 指導者によるアドバイス 6. 時間
7. お金 8. 健康
9. 体力 10. 運動に関する正しい知識
11. 情報通信技術(ICT)の活用 12. その他()

問36 あなたはロコモティブシンドロームについて知っていますか。(○は1つ)

1. 言葉も意味もよく知っていた
2. 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
3. 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった
4. 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らなかった
5. 言葉も意味も知らなかった(今回初めて聞いた場合を含む)

【ロコモティブシンドローム(運動機能障害)とは…
運動器(骨・関節、筋肉等)の衰えにより、日常生活での自立度が低下し、要介護になる可能性の高い状態をいいます。歩行速度が遅い高齢者ほど、要介護状態になりやすいことが知られています。】

6 アルコールについてうかがいます

問37 お酒を飲みますか。(○は1つ)

1. 毎日飲む 2. 週に4～5日飲む
3. 週に1～3日飲む 4. たまに飲む
5. 飲まない

問37で「1」～「2」のいずれかを回答した方に向かいます。

問37-1 週に何日、休肝日(お酒を飲まない日)を設けていますか。(○は1つ)

1. 連続した2日を含む2日以上設けている
2. 連続していないが2日以上設けている
3. 週1日設けている
4. 休肝日は設けていない

7 喫煙についてうかがいます

問38 たばこを吸いますか。(○は1つ)

1. 吸わない
2. 以前吸っていたが、今は吸っていない(今までの合計が100本以上)
3. 現在吸っている(今までの合計が100本以上で、かつ月に1回以上吸っている方)

問38で「3」と答えた方にうかがいます。

問38-1 たばこをやめたいと思えますか。(○は1つ)

1. 本数を減らしたい
2. やめたい
3. 考えたことがない
4. やめたくない

問39 喫煙の健康への影響について知っているものに○をつけてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 肺がん
2. 喉頭がん
3. 気管支炎
4. 心臓病
5. 脳卒中
6. 胃潰瘍・十二指腸潰瘍
7. 妊娠に関連した異常
8. 歯周病
9. 動脈硬化
10. 高血圧
11. 喘息
12. 皮膚の老化
13. シミ・シワ
14. COPD
15. わからない

※COPD(慢性閉塞性肺疾患)とは…

主に長期の喫煙による肺の炎症疾患で、咳・痰・息切れなどの症状があり、ゆるやかに呼吸障害が進行する。かつて「肺気腫」、「慢性気管支炎」と呼ばれた疾患です。

問40 同居家族や職場などでたばこを吸う人は、あなたがたばこの煙を吸わないように配慮してくれませんか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問41 この1か月間に、自分以外が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)はどこでありましたか。(多かった場所3つに○)

1. 家庭
2. 職場
3. 飲食店
4. 医療機関
5. 宿泊施設
6. 駅・電車内
7. 道路
8. 公共機関(市役所、公民館など)
9. 理容院、美容院、エステ
10. 遊技場(ゲームセンター、パチンコ、カラオケボックスなど)
11. その他()

8 こころの健康づくりについてうかがいます

問42 最近1ヶ月間に精神的な疲労やストレスを感じましたか。(○は1つ)

1. いつも感じている
2. ときどき感じている
3. あまり感じていない
4. 感じていない

問43 自分なりのストレス解消法がありますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問44 この1ヶ月間、睡眠によって体養が十分とれましたか。(○は1つ)

1. 十分にどれた
2. ほぼ十分だった
3. あまり十分でなかった
4. かなり不足していた

問45 ご自分の心配事や悩み事を相談できる相手や場所がありますか。(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問46 ストレスや体の衰弱を感じた時に相談できる相手や場所で知っているところがありますか(○はいくつでも)

1. 病院・医院
2. 保健センター
3. 保健所
4. NPO法人
5. ゲートキーパー
6. 知らない
7. その他()

問47 次の質問では、過去30日間、あなたがどのように感じていたかについておたずねします。それぞれの質問に対してそういう気持ちをどれくらいの頻度で感じたか、一番当てはまるものに○をつけてください。(各項目1つに○)

	全くない	少しだけ	ときどき	たいいて	いつも
(1) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(2) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(3) それぞれ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(4) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(5) 何をやるのも骨折りと感じましたか	1	2	3	4	5
(6) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問48 あなたは、これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがありますか。
(○は1つ)

1. ない
2. ある

問48で「2」と答えた方にかがいます。

問48-1 最近1年以内に自殺したいと思ったことがありますか。(○は1つだけ)

1. はい
2. いいえ

問48で「2」と答えた方にかがいます。

問48-2 そのように考えたとき、どのようにして乗り越えましたか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった
2. 医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した
3. 弁護士や司法書士、公的機関の相談員等、悩みの元となる分野の専門家に相談した
4. できるだけ休養を取るようになった
5. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた
6. その他 ()
7. 特に何もなかった

問49 あなたはもし、身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。(○は1つだけ)

1. 相談にのらない、もしくは、話題を変える
2. 「死んではいけない」と説得する
3. 「つまらないことを考えるな」と叱る
4. 「がんばって生きよう」と励ます
5. 「死にたいぐらいならいんだね」と共感を示す
6. 「医師など専門家に相談したほうが良い」と提案する
7. ひたすら耳を傾けて聞く
8. その他 ()
9. わからない

問50 もし仮に、あなたが自分自身の「うつ病のサイン」に気づいたとき、以下の専門の相談窓口のうち、どれを利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. かかりつけの医療機関 (精神科や心療内科等を除く)
2. 精神科や心療内科等の医療機関
3. 市役所・保健所等公的機関の相談窓口
4. いのちの電話等民間機関の相談窓口
5. その他 ()
6. 何も利用しない

うつ病のサインとは、気分が沈む、イライラする、集中力がでない、涙もろい、眠れない、食欲がない、疲れやすい等の症状が2週間以上続く場合のことをいいます。

問50で「6. 何も利用しない」を回答された方にお聞きします。
問50-1 何も利用しないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お金が掛かることは避けたい
2. 精神的な悩みを話すことに抵抗がある
3. 時間の都合がつかない
4. どれを利用したらよいか分からない
5. 過去に利用して嫌な思いをしたことがある
6. 根本的な問題の解決にはならない
7. うつ病は特別な人がかかる病気なので、自分には関係ない
8. 治療をしなくても、ほとんどのうつ病は自然に治ると思う
9. その他 ()

9 歯科保健についてうかがいます

問51 毎食後に歯磨きや歯菌の清掃など、歯や口の手入れをしていますか。(○は1つ)

1. 毎食後行っている
2. 1日2回行っている
3. 1日1回行っている
4. 行わない日がある
5. ほとんど行わない

問52 治療以外で1年に1回以上定期的な歯の健診を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている
2. 受けていない

問53 デンタルフロスや糸ようじ、歯間ブラシなどの歯間部清掃用具を使用していますか。
(○は1つ)

1. はい
2. いいえ

問54 歯周病と生活習慣病（糖尿病、心臓病等）が互いに影響することがあります。あなたはどのように感じていますか。（○は1つ）

1. はい 2. いいえ

問55 あなたの歯は、現在何本ありますか。（○は1つ）
 ※親知らず、義歯、ブリッジ、インプラントは含みません。差し歯は含みます。
 ※親知らずを含めないと通常28本ですが、28本より多或少なったりすることがあります。

1. 自分の歯は（ ）本）ある 2. わからない

問56 豊かな人生を過ごすために80歳になっても20本以上の自分の歯を保とうという「8020（ハチマルニイマル）運動」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている 2. 知らない

問57 8020運動を推進するために地域で啓発活動を行う「8020推進員」という人たちを知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている 2. 知らない

10 その他

問58 地域社会活動（町内会、地域行事など）、ボランティア活動、趣味やお稽古事などを行っていますか。（○は1つ）

1. 行っている 2. いずれも行っていない

問59 ご自分のお住まいの地域についてどのように感じていますか。（それぞれの設問で1つに○）

設問	強く思う	どちらかと思えばそう思う	どちらともいえない	どちらかと思えばそう思わない	まったく思わない
あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに助け合っている	1	2	3	4	5
あなたのお住まいの地域の人々は、信頼できる	1	2	3	4	5
あなたのお住まいの地域の人々は、お互いに挨拶をしている	1	2	3	4	5
あなたのお住まいの地域では、問題が生じた場合、人々は力を合わせて解決しようとする	1	2	3	4	5

問60 月曜日は「健康管理の日」、火曜日は「身体活動・運動」の日など曜日ごとにテーマがある「元気なかけめくーる あなたがつくる健康づくり実践カレンダー」を知っていますか。（○は1つ）

1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない



問61 裾野市の「食育」および「保健・健康施策」について、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

Blank lines for providing opinions and requests.

ご協力ありがとうございました

2 小学校・中学校調査

生活習慣等に関するアンケート あなたの年齢に○をつけてください。

〒市立()小学校()年()組

- 問1** あなたの性別 1 男 2 女
- 問2** 学校のある日の朝は、いつも何時頃に起きますか。(○はひとつ)
 1 5時以前 2 5時から6時の間 3 6時から7時の間
 4 7時以降
- 問3** 学校のある日の夜は、いつも何時頃に寝ますか。(○はひとつ)
 1 8時以前 2 8時から9時の間
 3 9時から10時の間 4 10時から11時の間
 5 11時から12時の間 6 12時以降
- 問4** 昨日の20～21時頃に主に何をしていますか。(○はひとつ)
 1 睡眠 2 勉強・宿題 3 食事 4 入浴
 5 読書 6 家族で会話 7 塾・習い事
 8 テレビ・パソコン・テレビ(携帯)ゲーム・携帯電話
 9 その他(詳細:)
- 問5** あなたは、健康であると感じていますか。(○はひとつ)
 1 はい 2 いいえ
- 問6** あなたは、体がだるい・疲れたと感じますか。(○はひとつ)
 1 いつも感じる 2 ときどき感じている
 3 ほとんど感じたことはない

問7 あなたは、毎日排便をしますか。(○はひとつ)

- 1 毎日している 2 でない日もある

問8 あなたは、朝食をいつも食べていますか。(○はひとつ)

- 1 毎日食べる
 2 週1～3日食べない
 3 週4～6日食べない
 4 毎日食べない



問9 問8で、「2, 3, 4」を選んだ人だけ答えてください。

朝食を食べない主な理由は何ですか。(○はひとつ)

- 1 食欲がないから 2 時間が足りないから
 3 足りたくないから 4 朝食が用意されていないから
 5 いつも食べないから
 6 その他(詳細:)

問10 あなたは、食事をいつも誰と一緒に食べますか。

<朝食のとき> (○はひとつ)

- 1 家族そろって食べる 2 おとなの誰かと食べる
 3 子どもだけで食べる 4 ひとりで食べる
 5 その他(詳細:)

<夕食のとき> (○はひとつ)

- 1 家族そろって食べる 2 おとなの誰かと食べる
 3 子どもだけで食べる 4 ひとりで食べる
 5 その他(詳細:)

※裏面へ続きます

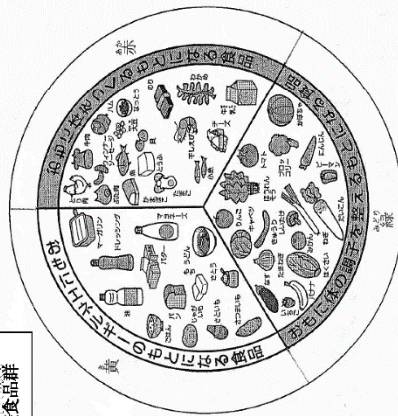
問11 今日の朝食はどんな食品を食べましたか。

3つの基礎食品群を参考に、食べた食品に○を入れてください。

(食べなかった人は問12へすすんでください)

黄色の食品 (エネルギーのもと)	赤色の食品 (体をつくるもと)	緑色の食品 (体の調子を整える)
その他 (わからないものは、食べた食品を下に書いてください)		

3つの基礎食品群



問12 あなたは、自分が太っていると思いますが、やせていると思えますか。(○はひとつ)

- 1 太っている
- 2 やや太っている
- 3 ふつう
- 4 やややせている
- 5 やせている

問13 あなたは、ダイエットのために食事の量を半分以下に減らしたことがありますか。(○はひとつ)

- 1 今している
- 2 前にしたことがある
- 3 したことはない

問14 あなたは、おやつを食べて過ぎて、食事を食べられないことがありますか。(○はひとつ)

- 1 よくある
- 2 ときどきある
- 3 ない

問15 あなたは、家で食事をするとときに「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしますか。(○はひとつ)

- 1 必ずしている
- 2 ときどきしている
- 3 していない

問16 あなたは、家で楽しく食事をしていますか。(○はひとつ)

- 1 いつも楽しい
- 2 ときどき楽しい
- 3 楽しくない

問17 あなたは、家で食事の手伝いをしますか。(○はひとつ)

- 1 よくしている
- 2 ときどきしている
- 3 していない

問18 問17で、「1、2」を選んだ人だけ答えてください。

どのような食事の手伝いをしますか。(あてはまるものをすべてに○)

- 1 材料や料理の買い物
- 2 料理をつくる
- 3 料理の盛り付け
- 4 食器を並べる
- 5 後片付け
- 6 献立を考える
- 7 その他 (真偽)

ご協力ありがとうございました

3 幼稚園・保育園年長児調査

生活習慣等に関するアンケートのご協力をお願い

日ごろより、市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
 子どもの他やかな発達とよりよい生活習慣は、健康づくりの基礎となります。
 このアンケートは、市内幼稚園・保育園に通う年長児の生活習慣を知り、今後の推野
 市の健康づくり対策を考えていくために行うものです。ご回答いただきましたアンケート
 調査結果はすべて統計的に処理し、上記の目的以外には一切使用いたしません。
 つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解
 いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月

網野市長 高村 謙二

【ご記入にあたって】

1. 記入は、できるだけお父さんと一緒に過ごしている方がご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。答えが「その他」の場合には、番号を○で囲み()に具体的な内容を記入してください。
3. 回答数が質問により異なりますので注意書きに従ってご記入ください。
4. アンケート用紙は、**令和元年9月25日(水)までに**通われている幼稚園・保育園へご提出ください。

本調査について、ご不明な点やご質問があれば、下記までご連絡ください。

福岡市役所 健康推進課

〒410-1117 福岡市石橋524-1 電話：055-992-5711 FAX：055-992-5733

○基本事項についてうかがいます。

問1 このアンケートのご記入者是谁ですか。(○は1つ)

- 1 母親 2 父親 3 祖母 4 祖父
 5 その他 ()

問2 お子さんの、年齢を教えてください。(数字を記入)

() 歳 () か月

問3 お子さんの、生まれた順番を教えてください。(数字を記入)

第 () 子

○お子さんの健康状態や生活状況についてうかがいます。

問4 現在、お子さんのことで、心配なことや困っていることはありませんか。(○は1つ)

- 1 ある 2 ない

問4で「1」と答えた方にうかがいます。

問4-1 それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- 1 風邪をひきやすい 2 体力がない 3 寝せている
 4 太っている 5 アンレギンがある 6 治療中の病気がある
 7 落ち着きがない 8 食べ物の好き嫌いが多い 9 食事の途中で遊ぶ
 10 排泄の問題 11 テレビ・スマートフォン等をみている時間が長い
 12 その他 ()

問5 お子さんの、朝起きる時間・夜寝る時間は何時ごろですか。(○はそれぞれ1つ)

- ア 平日(休日でない日)の朝起きる時間
- | | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 1 5時台 | 2 6時台 | 3 7時台 | 4 8時台 |
| 5 9時以降 | 6 決まっていない | | |
- イ 休日の朝起きる時間
- | | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 1 5時台 | 2 6時台 | 3 7時台 | 4 8時台 |
| 5 9時以降 | 6 決まっていない | | |
- ウ 平日(休日でない日)の夜寝る時間
- | | | | |
|---------|-----------|--------|--------|
| 1 19時台 | 2 20時台 | 3 21時台 | 4 22時台 |
| 5 23時以降 | 6 決まっていない | | |
- エ 休日の夜寝る時間
- | | | | |
|---------|-----------|--------|--------|
| 1 19時台 | 2 20時台 | 3 21時台 | 4 22時台 |
| 5 23時以降 | 6 決まっていない | | |

○保護者の方についてうかがいます。

問12 あなたは、子育てで困ったり悩んだりした時に相談する人がいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 以前はいたが今はいない 3 いない

問12で「1」 と答えた方(うかがいます)。

問12-1 よく相談する相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 配偶者 2 親や兄弟 3 友人 4 保育士・幼稚園教諭 5 医療機関
6 包括支援センター 7 その他 ()

包括支援センターとは…

妊婦・子育てに関する相談に応じ、必要な支援や関係機関との連絡調整など包括的な支援を行うところ。福野市では、健康推進課・子育て支援課・保育課・障がい福祉課・社会福祉課・生涯学習課・学校教育課が連携しています。

問13 あなたは、育児が楽しいと思えますか。(○は1つ)

- 1 楽しい 2 どちらかというとき楽しい
3 あまり楽しくない 4 楽しくない

問14 あなたは、食事を毎日食べますか。(○はそれぞれ1つ)

- ア 朝食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない
イ 昼食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない
ウ 夕食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない

問15 ご家族の喫煙習慣についておうかがいします。同居しているご家族でタバコを吸う方はいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 以前はいたが今はいない 3 いない

問15で「1」 と答えた方(うかがいます)。

問15-1 たばこを吸う方は、お子さんからみらるとなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母 5 その他 ()

問15で「1」 と答えた方(うかがいます)。

問15-2 お子さんの前でたばこを吸うご家族はいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない

ご協力ありがとうございました

問6 お子さんは、食事を毎日食べますか。(○はそれぞれ1つ)

- ア 朝食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない
イ 昼食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない
ウ 夕食 1 毎日食べる 2 週4～6日 3 週1～3日 4 食べない

問7 お子さんは、ふだん食事を誰と一緒に食べていますか。(○はそれぞれ1つ)

- ア 朝食 1 家族全員 2 大人と一緒に 3 子どもだけ 4 1人で
5 その他 ()
イ 夕食 1 家族全員 2 大人と一緒に 3 子どもだけ 4 1人で
5 その他 ()

問8 お子さんは、ふだんどのくらい屋外で遊びますか。ただし幼稚園・保育園での外遊びは除きます。(○は1つ)

- 1 外遊びはしない 2 30分未満 3 30分～1時間未満
4 1時間以上 5 わからない

問9 お子さんは、普段はどのような遊びをしていますか。(よくする遊びすべてに○)

- 1 テレビ・DVD 2 ままごと・ごっこ遊び 3 本・絵本を読む
4 泥・砂遊び 5 お絵かき・粘土遊び 6 積木・ブロック遊び
7 三輪車・自転車 8 テンビゲーム・携帯型ゲーム
9 ボール・すべり台・ブランコ等の運動遊び 10 スマートフォン・タブレット端末等
11 その他 ()

問10 昨晚、お子さんは寝る前に自分で歯磨きをしましたか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

問11 昨晚、お子さんの歯を仕上げ磨きしましたか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

- 3 -

4 受動喫煙防止対策に関する調査

受動喫煙防止対策に関する調査票

健康推進課 FAX:055-992-5733

記入日 _____ 施設名 _____ ご担当者 _____

問1 施設を管理されている方の喫煙状況をおたずねします。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 喫煙している 2. 喫煙していない

問2 施設の職員の方の喫煙状況をおたずねします。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 喫煙をしている方がいる 2. 喫煙をしている方はいない

問3 施設の現在の状況としてあてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 敷地内禁煙である → 年 月頃から開始
2. 原則屋内禁煙(喫煙を認める場合は喫煙専用室などの設置あり)である
→ 年 月頃から開始
3. 特に決まりはない→問4・問5へ
4. その他()

問4 「問3」で、「3. 特に決まりはない」と答えた方におたずねします。その理由をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 喫煙者がいないから
2. 禁煙は当たり前だから
3. 職員や来場者の状況で変わるから
4. その他(具体的に:)

問5 「問3」で、「3. 特に決まりはない」と答えた方におたずねします。今後、たばこ対策に取り組む予定はありますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 今後実施する予定である→ 年 月頃から実施予定
(内容:)
2. 今後も実施する予定はない→(理由:)
3. わからない
4. その他(具体的に:)

問6 施設が禁煙か分煙か等がわかるように表示していますか。あてはまる番号に1つだけ○印をつけてください。

1. 表示している
2. 表示していない
3. 今後表示する予定である

裾野市の受動喫煙防止対策についてご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください

()

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

裾野市 生活習慣等に関するアンケート調査
調査結果報告書

発行年月 令和2年3月

発行 裾野市役所 健康推進課

〒410-1117 裾野市石脇 524-1

電話：055-992-5711 FAX：055-992-5733